

昭和34年6月2日執行
参議院議員通常選挙

選挙の記録

青森県選挙管理委員会

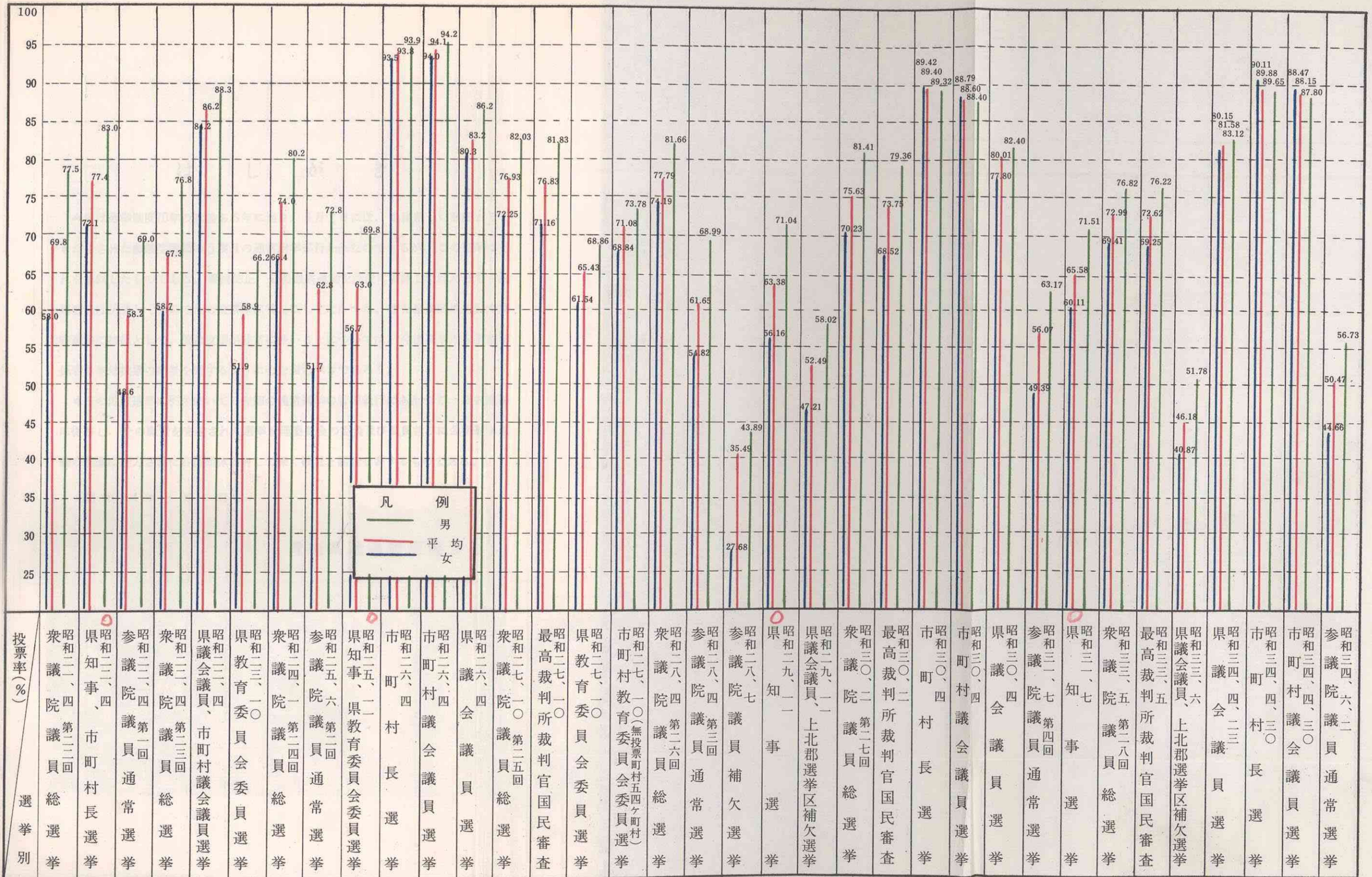
昭和34年6月2日執行
参議院議員通常選挙

選挙の記録

青森県選挙管理委員会

各種選挙投票率一覽表

昭和21年以降



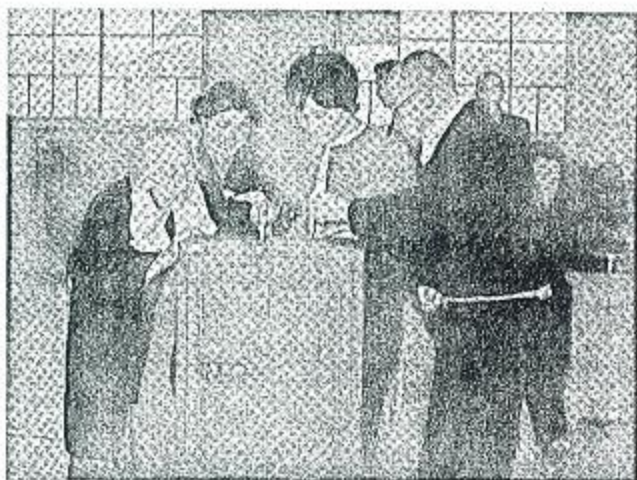
は し が き

今年は選挙制度70年の意義ある年に当り、6月2日には、戦後新しい制度としてもたらされた参議院議員の5度目の通常選挙が行われたのであるが、この記録はそれを集録したものである。乗権防止、公明選挙運動を活潑に展開したけれども、投票当日は折悪しく大雨のため投票率は香んばしくなかつた。また全国区地方区の同時選挙の特徴として、無効投票が非常に多いことについては、今後選挙人も事務関係者も無効投票の絶無を期するように心を留むべきであろう。

4月の地方選挙に引き続いての今回の通常選挙の管理執行にあたつて、日夜激務に従事し、その職責を完遂された選挙管理委員会の委員及び職員並びに公明選挙運動の推進に協力された各種団体に対して深く敬意と謝意を表するものである。

昭和34年9月1日

青森県選挙管理委員会



お婆さんも清き一掃



野良糞で投票所へ



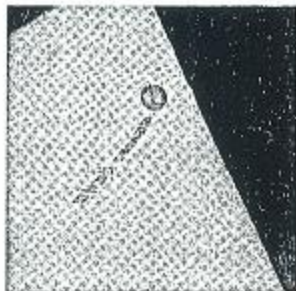
政治につながる一課



熱心な選挙の座談会



選挙啓発横断幕



投票日のお知らせアドバルーン

有権者の

みなさんへ



投票時間は午前七時から午後六時まで
ただし一部の市町村ではこの投票時間を変更しているところがありますから、時間に
おくれないようにご注意ください。

青森県選挙管理委員会
青森県公明選挙推進協議会

解散のない参議院！

参議院議員選挙は、六月二日執行されることになりました。参議院の構成は定員二五〇名(全国区一〇〇名、地方区一五〇名)で、議員の任期は六年です。そして議員は三年ごとにその半数ずつが改選されることとなります。こんど改選される議員は全国区は五二名(うち二名は補欠)、地方区は七五名、合計で二七七名であります。



参議院の性格

わが国では、衆議院のほかにも参議院があつて、これを二院制度といいますが、時としては多数派の横暴とか権力の乱用が行なわれ、国民の意思からはなれた政治が行なわれる危険があるからなのです。

したがって、参議院は、衆議院のかたわらにあつて、政治が一方にかたよらないように働きを見守る役目をしていられると申されてゐるのです。

また、参議院には、衆議院とは違って解散がありません。

これは各型の法律とか、予算の審議を慎重にしようとする目的からです。ともかく六年という長い間、国民の主権をあずけるわけですから、慎重にみなさんの一票を投じて下さい。

この一票明るい政治を生む力！

幸福の鍵はあなたの一票から

仕合せになりたいというのは国民全体の願いですが、それでは一体どうしたら仕合せをつかむことができるでしょうか。わたくしは、わたくしは人間が豊潤な生活を送る以上、自分だけの力で幸福の扉を開くことはできないと思います。みんなの力で住みよい社会をつくり、精神的にも、物質的にも、楽しい明るい生活が出来ますように努力する必要があります。この幸福な生活の基礎となり、生活に直結しているのが政治であります。この政治が正しく行なわれるようにするためには、しっかりとついで代表者を選ぶことが大切になってきます。

六月二日に行なわれる参議院議員選挙には、目先の利益や情実にとらわれることがなく、最も立派な人を選んで明るく住みよい国にしたいものです。

投票票についての注意

参議院議員の選挙は地方区議員と、全国区議員選挙の投票を行なうことになっております。色印刷の投票用紙には、全国区候補者の氏名を、黒黒印刷の投票用紙には地方区議員の候補者の氏名を書いて下さい。

不在者投票

投票日にやむを得ない理由で自分のお住いになつていない市町村の区別務に出るためその日に投票所に行けない人、また黒の選挙管理委員会が指定している別荘に入院中の人は不在者投票ができますから、一応所在の市町村の選挙管理委員会にお尋ね下さい。

字が書けないときの場合

投票は自分で書くのがたてまですが、文字が知らなかつたり、字をケガして書くことができない場合は、投票管理署に申し出ると、補助者が立会の上その申出のままに書いてくれます。

書いてくれたら、その票は有効です。書いてもらえないことになってしまふから安心して投票して下さい。

こんな投票は無効です

選挙人が自分の名前を書いたり、候補者の名前を何人も書いて、記号や符号(○△×)等を書くとその投票は無効になります。同じまた別名を候補者が二名以上ある場合は、その氏名をはずすより書くようにして下さい。

昭和三十四年五月十八日

青森県選挙管理委員会

委員長 伊藤正逸

青森県公明選挙推進協議会

副会長 武田澄江

青森県教育委員会

教育長 小出義雄

青森県知事 山崎岩男

各官公衛長
 各種団体長
 各会社工場長
 各事業所(場)長
 各学校長
 各公民館長

殿

選挙権の行使並びに棄権防止について

きたる六月二日には、第五回参議院議員通常選挙が執行されることになりました。

さて本選挙は全国的にも他の選挙と比較し、投票率が常に低下するのであります。

このことは国会の二院制度の性格が一般有権者によく理解されていないこと、地方選挙のように直
 接身近かに感じられない不利な条件が重なる結果によるものと思われまます。特に本県にありまして
 は六月二日投票日の前後が丁度農繁期となっております。

われわれといたしましてもこの点を考慮し有権者の啓発には各方面の御協力を得て公明選挙の推進と
 棄権の防止にあらゆる方途を尽しているのであります。

つきましては、この際各位の特段の御協力によりまして貴管下の諸機関はもとよりすべての系統を通
 じて有権者に対し、棄権しないようまた自らの一票がすでに国政に参加しているという点を強調願いま
 して棄権を最少限度にとどめるよう特別の御配慮をお願いする次第であります。

なおこの投票日には公職選挙法第六条第二項及び労働基準法第七条の規定にもありますが、公民権行
 使について特別な事情がない限り選挙権を行使するための必要な時間をお与え下さるよう何分の御配慮
 をお願い申し上げます。

◎公明選挙を实行しよう！

この一票

人のさしずは受けません

**6月2日は参議院議員
選挙の投票日！**

投票用紙……赤は全国区、黒は地方区
投票時間……午前七時^かから午後六時^まで

一部の投票所ではこの時間を変更しております。
投票におくれないようにしましょう。

青森県選挙管理委員会
青森県公明選挙推進協議会

目 次

第一. 地 方 区

一. 参議院議員通常選挙における事務日程表	1
二. 参議院地方選出議員選挙長及び同代理者調	3
三. 参議院全国選出議員選挙分会長及び同代理者調	3
四. 参議院地方選出議員候補者(当選人)氏名等に関する調	3
五. 投票に関する調	4
六. 開票に関する調	7
七. 候補者得票数に関する調	10
八. 無効投票に関する調	13
九. 参議院地方選出議員通常選挙第一班立会演説会順序決定表	18

第二. 全 国 区

一. 投票に関する調	19
二. 開票に関する調	22
三. 無効投票に関する調	25
四. 候補者得票数に関する調	30
五. 選挙人名簿登録人員数に関する調	78
六. 候補者に関する調	78
1. 候補者の届出に関する調	78
2. 職業別候補者数に関する調	78
3. 年齢別候補者数に関する調	78
七. 「全国区」党派別男女別得票数に関する調	78
八. 按分投票等に関する調	79
1. 按分投票に関する調	79
2. 点字投票に関する調	79
3. 代理投票に関する調	79
九. 不在者投票に関する調	80
1. 「全国区」不在者投票の事由に関する調	80
2. 「地方区」不在者投票の事由に関する調	80
3. 不在者投票の受理不受理に関する調	81
4. 不在者投票管理者別不在者投票に関する調	81
十. 投票管理者等に関する調	81
1. 投票管理者及び投票所事務従事者に関する調	81
2. 開票管理者及び開票所事務従事者に関する調	82
十一. 氏名等の掲示に関する調	82
十二. 立会演説会に関する調	82
1. 立会演説会の開催度数に関する調	82
2. 立会演説会の聴衆等に関する調	83
十三. 個人演説会の会場使用度数に関する調	83
十四. 全国区候補者の選挙運動用ポスター検印に関する調	83
十五. 政党その他の政治団体の政治活動用ポスター検印に関する調	83
十六. 選挙運動に関する収入及び支出の報告に関する調	84
附録 選挙公報に関する調	
1. 地 方 区	2
2. 全 国 区	6

第一、参議院議員通常選挙

(地 方 区)

一、参議院議員通常選挙における事務日程表

月日	曜日	公示後	期日前	県選挙管理委員会(選挙長・選挙分会長)	市町村選挙管理委員会(投・開票管理者)
4.28	火		35	立会演説会に関する各政党代表者との事務打合せ	
29	水		34		
30	木		33		
5.1	金		32		
2	土		31		
3	日		30		
4	月		29	県選挙管理委員会	
5	火		28	市町村選挙事務打合せ会	
6	水		27		
7	木	公示	26	選挙日公示 選挙長、同職務代理者の選任及びその住所氏名の告示 法定選挙運動費用の額告示 開票区の設定及び告示 投票用紙等様式決定告示 立会演説会開催計画の決定告示 補充選挙人名簿の調製等に関する決定告示 地方区選挙公報掲載申請の期限の告示 立候補届受付開始	不在者投票用紙交付場所等の告示 不在者投票封筒交付、同投票開始 投票管理者、同職務代理者の選任及びその住所氏名告示 開票管理者、同職務代理者の選任及び住所氏名告示 現に効力を有する選挙人名簿の閲覧の告示 個人演説会開催申出書の受理開始
8	金	1	25	立会演説会参加申出期限 立会演説会演説順序のくじ	
9	土	2	24		公営施設使用個人演説会開始(立札)
10	日	3	23		立会演説会周知用ポスター掲示
11	月	4	22		
12	火	5	21	政見放送第一回登録最終日	立会演説会開始
13	水	6	20		
14	木	7	19		
15	金	8	18		補充選挙人名簿調製現在期日
16	土	9	17		補充選挙人名簿登録申請開始 現に効力を有する選挙人名簿閲覧開始
17	日	10	16	全国区選挙公報掲載順序を定めるくじの執行日時場所の告示	
18	月	11	15	立候補届出最終日 全国区選挙公報の原稿自治庁より受領	
19	火	12	14	全国区選挙公報掲載順序を定めるくじの執行	
20	水	13	13	選挙公報掲載申請締切日、同くじ(地方区)	補充選挙人名簿登録申請最終日 現に効力を有する選挙人名簿閲覧最終日
21	木	14	12		補充選挙人名簿調製開始

月日	曜日	公示後	期日前	県選挙管理委員会(選挙長・選挙分会長)	市町村選挙管理委員会(投・開票管理者)
5.22	金	15	11	氏名等掲示順序のくじ(全国区)	
23	土	16	10	選挙公報送付(第一区,市町村)	補充選挙人名簿調製期限
24	日	17	9	選挙公報送付(第二区市町村)	氏名等掲示順序のくじ(地方区) 補充選挙人名簿縦覧及び異議申立開始
25	月	18	8		
26	火	19	7		氏名等掲示開始(全国区,地方区)
27	水	20	6		補充選挙人名簿縦覧及び異議申立期限
28	木	21	5	選挙会,選挙分会の日時,場所告示 選挙会,選挙分会立会人くじの日時,場所告示	投票所の告示 開票の場所,日時の告示 補充選挙人名簿異議決定開始 開票立会人のくじの場所,日時の告示
29	金	22	4		補充選挙人名簿異議決定期限
30	土	23	3	選挙立会人,選挙分会立会人届出最終日 補充立候補届出最終日	投票立会人選任通知 開票立会人届出最終日 補充選挙人名簿確定日 投票立会人の住所,氏名等を投票管理者へ通知
31	日	24	2	選挙立会人,選挙分会立会人のくじ 同 選任通知	選挙公報配布終了 開票立会人のくじ 開票立会人選任通知 立会演説会最終日
6.1	月	25	1		不在者投票最終日 選挙人名簿(抄本)を投票管理者へ送付 投票所開設準備完了 投票所内の氏名掲示の調製準備完了 投票所入場券交付終了 投票所を設けた場所の入口から約百メートル以内のポスター撤去
2	火	26	◎	選挙日	投票執行(開票)投票結果,開票結果の速報
3	水	27	1	選挙会,選挙分会準備	投票,開票,結果報告書を選挙長,選挙分会長に提出
4	木	28	2	〃	〃
5	金	29	3	〃	
6	土	30	4	選挙会,選挙分会開会	
7	日	31	5		
8	月	32	6		
省 略					
17	水	41	15	選挙運動費用収支報告書提出期限 政党等の選挙運動に関する収支報告書提出期限	

二. 参議院地方選出議員選挙長及び同代理者調

選挙区	選挙長		選挙長職務代理者	
	氏名	住所	氏名	住所
青森県	伊藤正逸	北郡金木町大字金木字背原222番地の17号	一戸昭三郎	西郡鱈ヶ沢町大字中村町字中山ノ井204番地

三. 参議院全国選出議員選挙分会長及び同代理者調

区分	選挙分会長		選挙分会長職務代理者	
	氏名	住所	氏名	住所
青森県	柳沢豊吉	三戸郡階上村大字角柄折字柳平9番地	伊東善五郎	青森市大字浜町44番地

四. 参議院地方選出議員候補者(当選人)氏名等に関する調

選挙区	当落の別	新前元別	氏名	住所	生年月日	党派	職業
青森県	当選	前	佐藤尚武	東京都渋谷区神泉町11	明治15.10.30	緑風	団体役員
	落選 (次点)	新	森田重次郎	青森市大字柳町5番地	〃 29. 5.25	自民	弁護士
	〃	〃	盛田三喜雄	青森市大字造道字浪打494の78	〃 41.10.27	社会	団体役員
	〃	〃	中村勝己	青森市大字新城字平岡259の8	大正14. 4. 1	共産	職安日雇

五. 投票に関する調

地方区

区分 市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
県計	377,815	407,018	784,833	214,353	181,766	396,119	163,462	225,252	388,714	56.73	44.66	50.47
市計	183,029	199,371	382,400	102,437	89,617	192,054	80,592	109,754	190,346	55.97	44.95	50.22
町村計	194,786	207,647	402,433	111,916	92,149	204,065	82,870	115,498	198,368	57.46	44.38	50.71
東郡計	16,198	17,797	33,995	9,999	8,601	18,000	6,799	9,136	15,935	58.03	48.49	53.04
西郡計	26,266	28,197	54,463	15,293	11,978	27,211	11,093	16,219	27,252	58.00	42.48	49.96
中郡計	7,458	7,548	15,006	3,541	2,207	5,748	3,917	5,341	9,258	47.48	29.24	38.90
南郡計	31,912	34,410	66,322	17,732	14,240	31,972	14,180	20,170	34,950	55.57	41.98	48.21
北郡計	22,845	24,101	46,946	14,030	11,493	25,463	8,815	12,668	21,483	61.41	47.44	54.24
上北郡計	33,981	35,926	69,907	19,169	15,933	35,102	14,812	19,993	34,805	56.41	44.35	50.21
下北郡計	26,313	27,195	53,508	15,598	13,592	29,190	10,715	13,603	24,318	59.28	49.98	54.55
三戸郡計	29,813	32,533	62,346	17,214	14,165	31,379	12,599	18,368	30,967	57.74	43.54	50.93

区分 市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
青森市	52,516	58,026	110,542	31,874	30,045	61,919	20,642	27,981	48,623	60.69	51.78	56.01
弘前市	40,858	46,479	87,337	22,015	19,278	41,293	18,843	27,201	46,044	53.88	41.48	47.28
八戸市	45,111	46,492	91,603	24,247	20,969	45,216	20,864	25,523	46,387	53.75	45.10	49.96
黒石市	11,223	12,489	23,712	6,439	5,219	11,658	4,784	7,270	12,054	57.37	41.79	49.16
五所川原市	13,081	14,129	27,210	7,206	5,219	12,425	5,875	8,910	14,785	55.09	36.94	45.66
十和田市	11,649	12,598	24,247	6,126	5,103	11,229	5,523	7,495	13,018	52.59	40.51	46.31
三沢市	8,591	9,158	17,749	4,530	3,784	8,314	4,061	5,374	9,435	52.73	41.32	46.84
市計	183,029	199,371	382,400	102,437	89,617	192,054	80,592	109,754	190,346	55.97	44.95	50.22

東津軽郡

区分 市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平内町	4,942	5,406	10,348	2,853	2,316	5,169	2,089	3,090	5,179	57.73	42.84	49.95
蟹田町	2,031	2,171	4,202	1,149	961	2,110	882	1,210	2,092	56.57	44.27	50.21
今別町	2,200	2,321	4,521	1,319	1,176	2,495	881	1,145	2,026	59.95	50.67	55.19
蓬田村	1,568	1,644	3,212	821	658	1,479	747	986	1,733	52.36	40.02	46.05
平館村	1,656	1,650	3,306	755	797	1,552	901	853	1,754	45.59	48.30	46.94
三厩村	1,509	1,477	2,986	989	1,002	1,991	520	475	995	65.54	67.84	66.68
野内村	2,292	3,068	5,360	1,513	1,691	3,204	779	1,377	2,156	66.01	55.12	59.78
東津軽郡計	16,198	17,737	33,935	9,399	8,601	18,000	6,799	9,136	15,935	58.03	48.49	53.04

投票に関する調

西津軽郡

地方区

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
鯉ヶ沢町	6,046	6,558	12,604	9,119	2,539	5,652	2,927	4,025	6,952	51.59	38.62	44.84
木造町	7,519	8,058	15,571	4,061	2,981	7,042	3,452	5,077	8,529	54.05	36.99	45.29
深浦町	9,972	4,278	8,250	2,439	2,009	4,442	1,539	2,269	3,808	61.25	46.96	53.84
森田村	1,838	1,944	3,782	1,099	727	1,826	799	1,217	1,956	59.79	37.40	48.28
岩崎村	1,486	1,639	3,125	918	921	1,839	568	718	1,286	61.78	56.19	58.85
柏村	1,451	1,582	3,033	1,164	1,111	2,275	287	471	758	80.22	70.23	75.01
稲垣村	1,930	2,074	4,054	1,251	801	2,052	729	1,273	2,002	63.18	38.62	50.62
車力村	1,980	2,064	4,044	1,188	895	2,083	792	1,169	1,961	60.00	43.36	51.51
西津軽郡計	26,265	28,197	54,463	15,233	11,978	27,211	11,033	16,219	27,252	58.00	42.48	49.96

中津軽郡

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
岩木村	4,082	4,353	8,435	1,831	1,285	3,116	2,251	3,068	5,319	44.86	29.52	36.94
相馬村	1,616	1,675	3,291	786	482	1,268	830	1,199	2,029	48.64	28.78	38.53
西目屋村	1,760	1,520	3,280	924	440	1,364	836	1,080	1,916	52.50	28.95	41.59
中津軽郡計	7,458	7,548	15,006	3,541	2,207	5,748	3,917	5,341	9,258	47.48	29.24	38.30

南津軽郡

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
藤崎町	3,561	3,850	7,451	2,129	1,640	3,769	1,432	2,250	3,682	59.79	42.16	50.58
大鰐町	5,038	5,644	10,682	2,549	2,323	4,872	2,489	3,321	5,810	50.60	41.16	45.61
尾上町	3,189	3,434	6,623	2,011	1,654	3,665	1,178	1,780	2,958	63.06	48.17	55.34
浪岡町	6,431	6,963	13,394	3,494	2,866	6,360	2,937	4,097	7,034	54.33	41.16	47.48
平賀町	7,144	7,446	14,590	3,364	2,346	5,710	3,780	5,100	8,880	47.09	31.51	39.14
常盤村	1,884	1,993	3,877	1,301	950	2,251	583	1,043	1,626	69.06	47.67	58.06
田舎館村	3,196	3,444	6,640	1,914	1,523	3,437	1,282	1,921	3,203	59.89	44.22	51.76
碓ヶ関村	1,469	1,596	3,065	970	938	1,908	499	658	1,157	66.03	58.77	62.25
南津軽郡計	31,912	34,410	66,322	17,732	14,240	31,972	14,180	20,170	34,350	55.57	41.38	48.21

北津軽郡

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
板柳町	5,735	6,188	11,923	3,742	2,921	6,663	1,993	3,267	5,260	65.25	47.20	55.88
金木町	4,373	4,509	8,882	2,663	2,077	4,740	1,710	2,432	4,142	60.90	46.06	53.37
中里町	4,365	4,472	8,837	2,275	1,881	4,156	2,090	2,591	4,681	52.12	42.06	47.03
鶴田町	5,278	5,765	11,043	3,808	3,162	6,970	1,470	2,603	4,073	72.15	54.85	63.12
市浦村	1,497	1,554	3,051	861	763	1,624	636	791	1,427	57.52	49.10	53.23
小泊村	1,597	1,613	3,210	681	629	1,310	916	984	1,900	42.64	39.00	40.81
北津軽郡計	22,845	24,101	46,946	14,030	11,433	25,463	8,815	12,668	21,483	61.41	47.44	54.24

投票に関する調

上北郡

地方区

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
野辺地町	4,755	5,226	9,981	2,341	2,255	4,596	2,414	2,971	5,385	49.29	49.15	46.05
上北町	2,916	3,116	6,032	1,824	1,599	3,423	1,092	1,529	2,621	62.55	51.12	56.64
七戸町	3,597	4,065	7,662	2,992	2,956	4,688	1,265	1,709	2,974	64.89	57.96	61.19
百石町	2,526	2,795	5,261	1,193	1,050	2,189	1,999	1,685	3,078	44.85	38.39	41.49
十和田町	2,684	2,855	5,599	1,416	978	2,994	1,268	1,877	3,145	52.76	34.26	49.22
横浜町	2,069	2,150	4,219	1,145	971	2,116	924	1,179	2,103	55.94	45.16	50.15
六戸町	2,875	3,021	5,896	1,672	1,918	2,990	1,209	1,709	2,906	58.15	49.62	50.71
天間林村	3,761	3,878	7,639	2,549	2,018	4,567	1,212	1,860	3,072	67.75	52.09	59.78
甲地村	3,450	3,550	7,000	2,002	1,475	3,475	1,448	2,077	3,525	58.09	41.49	49.64
下田村	1,988	2,015	4,003	1,194	954	2,148	794	1,061	1,855	60.06	47.34	59.66
六ヶ所村	3,360	3,315	6,675	1,561	967	2,528	1,799	2,348	4,147	46.46	29.17	37.87
上北郡計	33,981	35,926	69,907	19,169	15,933	35,102	14,812	19,993	34,805	56.41	44.35	50.21

下北郡

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
田名部町	6,329	6,878	13,207	3,307	2,884	6,191	3,022	3,994	7,016	52.25	41.99	46.88
川内町	2,616	2,820	5,436	1,660	1,440	3,100	956	1,380	2,336	63.46	51.06	59.09
大湊町	4,654	4,997	9,051	2,862	2,480	5,342	1,792	1,917	3,709	61.50	56.40	59.02
大畑町	3,440	3,754	7,194	1,894	1,880	3,774	1,546	1,874	3,420	55.06	50.08	52.46
大間町	2,067	2,069	4,136	1,261	919	2,180	806	1,150	1,956	61.01	44.42	52.71
東通村	3,296	3,221	6,457	2,159	1,594	3,747	1,089	1,627	2,710	66.59	49.49	58.09
風間浦村	1,922	1,960	2,682	776	676	1,452	546	684	1,230	58.70	49.71	54.14
佐井村	1,451	1,499	2,944	967	871	1,898	484	622	1,106	66.64	58.94	62.49
脇野沢村	1,198	1,209	2,401	718	848	1,566	480	955	895	59.99	70.49	65.22
下北郡計	26,313	27,195	53,508	15,598	13,592	29,190	10,715	13,603	24,318	59.28	49.98	54.55

三戸郡

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
三戸町	4,892	5,540	10,972	2,855	2,642	5,497	1,977	2,898	4,875	59.09	47.69	59.00
五戸町	5,764	6,946	12,110	3,440	2,829	6,269	2,324	3,529	5,847	59.68	44.48	51.72
田子町	3,207	3,922	6,529	1,900	1,518	3,418	1,307	1,804	3,111	59.25	45.70	52.95
名川町	3,599	3,906	7,499	1,841	1,276	3,117	1,752	2,690	4,382	51.24	32.67	41.57
隋上村	2,768	2,878	5,646	1,419	1,124	2,543	1,349	1,754	3,109	51.26	39.05	45.04
福地村	1,680	1,860	3,540	876	624	1,500	804	1,236	2,040	52.14	39.55	42.37
南郷村	2,708	2,896	5,604	1,590	1,405	2,995	1,178	1,491	2,669	56.50	48.52	52.97
南郷町	2,140	2,524	4,664	1,277	1,086	2,363	869	1,498	2,301	59.67	49.09	50.66
倉石村	1,350	1,419	2,769	817	558	1,375	599	861	1,994	60.52	39.92	49.66
新郷村	1,771	1,842	3,613	1,259	1,109	2,368	512	799	1,245	71.09	60.21	65.54
三戸郡計	29,813	32,533	62,346	17,214	14,165	31,379	12,599	18,368	30,967	57.74	43.40	50.33

六. 開 票 に 関 す る 調

地 方 区

区分 市町村	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
		有効投票	無効投票		
県 計	396,048	376,418	19,630	4.96	持帰り 61 不受理 10
市 計	192,095	184,646	7,389	3.85	〃 19
町 村 計	204,019	191,772	12,241	6.00	〃 42 〃 10
東 郡 計	17,996	16,695	1,301	7.23	〃 9 〃 1
西 郡 計	27,208	25,985	1,223	6.70	〃 9
中 郡 計	5,743	5,431	312	5.43	〃 5
南 郡 計	91,963	90,046	1,917	6.00	〃 9
北 郡 計	25,451	23,924	1,527	6.00	〃 6 〃 6
上北郡計	95,089	93,437	1,652	4.71	〃 12 〃 1
下北郡計	29,186	27,589	1,597	5.47	〃 9 〃 1
三戸郡計	91,977	29,265	2,112	6.79	〃 1 〃 1

区分 市町村	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
		有効投票	無効投票		
青 森 市	61,919	59,954	1,965	3.17	
弘 前 市	41,293	40,009	1,284	3.11	
八 戸 市	45,207	42,890	2,317	5.13	持帰り 9
黒 石 市	11,658	11,288	370	3.17	
五所川原市	12,415	11,815	600	4.83	〃 10
十和田市	11,229	10,680	549	4.89	
三 次 市	8,914	8,010	904	3.66	
市 計	192,035	184,646	7,389	3.85	持帰り 19

東 津 軽 郡

区分 市町村	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
		有効投票	無効投票		
平 内 町	5,116	4,723	443	8.58	持帰り 2 不受理 1
蟹 田 町	2,110	1,949	161	7.63	
今 別 町	2,495	2,246	249	9.98	
蓬 田 村	1,479	1,419	60	4.06	
平 館 村	1,552	1,439	113	7.28	
三 厩 村	1,991	1,842	149	7.48	
野 内 村	9,203	9,077	126	3.93	持帰り 1
東津軽郡計	17,996	16,695	1,301	7.23	持帰り 3 不受理 1

開 票 に 関 す る 調

西 津 軽 郡

地 方 区

市町村	区分	投 票 総 数	内 訳		無 効 投 票 率	備 考	
			有 効 投 票	無 効 投 票			
鯨ヶ沢町		5,651	5,313	338	5.98	持帰り 1	あん分 0.001
木造町		7,040	6,694	346	4.91	〃 2	〃 〃
深浦町		4,442	4,153	289	6.51		〃 〃
森田村		1,826	1,723	103	5.64		〃 〃
岩崎村		1,899	1,644	195	11.86		〃 〃
柏村		2,275	2,035	240	1.05		〃 〃
稲垣村		2,052	1,908	144	7.02		〃 〃
車力村		2,083	1,915	168	8.07		〃 〃
西津軽郡計		27,208	25,385	1,823	6.70	持帰り 3	

中 津 軽 郡

市町村	区分	投 票 総 数	内 訳		無 効 投 票 率	備 考	
			有 効 投 票	無 効 投 票			
岩木村		3,114	2,974	140	4.50	持帰り 2	
相馬村		1,268	1,217	51	4.02		
西目屋村		1,361	1,240	121	8.89	持帰り 3	
中津軽郡計		5,743	5,431	312	5.43	持帰り 5	

南 津 軽 郡

市町村	区分	投 票 総 数	内 訳		無 効 投 票 率	備 考	
			有 効 投 票	無 効 投 票			
藤崎町		3,769	3,488	281	7.46		
大鰐町		4,872	4,595	337	6.92		
尾上町		3,665	3,478	187	5.10		
浪岡町		6,360	5,992	368	5.79		
平賀町		5,701	5,428	273	5.03	持帰り 9	
常盤村		2,251	2,110	141	6.26		
田舎館村		3,437	3,220	217	6.31		
碓ヶ関村		1,908	1,795	113	5.92		
南津軽郡計		31,963	30,046	1,917	6.00	持帰り 9	

北 津 軽 郡

市町村	区分	投 票 総 数	内 訳		無 効 投 票 率	備 考	
			有 効 投 票	無 効 投 票			
板柳町		6,656	6,357	299	4.70	持帰り 1	不受理 6
金木町		4,740	4,480	260	5.49		
中里町		4,155	3,883	272	6.55	持帰り 1	
鶴田町		6,966	6,579	387	5.55	持帰り 4	
市浦村		1,624	1,389	235	14.47		
小泊村		1,310	1,236	74	5.65		
北津軽郡計		25,451	23,924	1,527	6.00	持帰り 6	不受理 6

開 票 に 関 す る 調

上 北 郡

地 方 区

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
			有効投票	無効投票		
野辺地町		4,596	4,453	143	3.11	
上北町		3,417	3,252	165	4.83	
七戸町		4,688	4,530	108	2.30	
百石町		2,189	2,105	78	3.57	
十和田町		2,994	2,215	179	7.48	
横浜町		2,116	2,011	105	4.96	
六戸町		2,990	2,879	111	3.71	
天間林村		4,566	4,325	241	5.27	不受理 1
甲地村		3,465	3,282	183	5.28	持帰り 10
下田村		2,148	2,026	122	5.67	
六ヶ所村		2,526	2,309	217	8.59	持帰り 2
上北郡計		35,089	33,437	1,652	4.71	持帰り 12 不受理 1

下 北 郡

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
			有効投票	無効投票		
田名部町		6,189	5,755	434	7.01	持帰り 2
川内町		3,100	2,921	179	5.77	
大湊町		5,941	5,098	243	4.55	持帰り 1
大畑町		3,774	3,624	150	3.97	
大間町		2,180	2,098	82	3.76	
東通村		3,746	3,459	287	7.66	不受理 1
風間浦村		1,452	1,373	79	5.44	
佐井村		1,838	1,738	100	5.44	
脇野沢村		1,566	1,523	43	2.75	
下北郡計		29,186	27,589	1,597	5.47	持帰り 3 不受理 1

三 戸 郡

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
			有効投票	無効投票		
三戸町		5,497	5,172	325	5.91	
五戸町		6,263	5,812	451	7.20	
田子町		3,418	3,157	261	7.64	
名川町		3,117	2,918	199	6.38	
階上村		2,542	2,429	113	4.45	不受理 1
福地村		1,500	1,421	79	5.26	
南郷村		2,934	2,632	302	10.29	持帰り 1
南部町		2,363	2,269	94	3.98	
倉石村		1,975	1,298	77	5.60	
新郷村		2,368	2,157	211	8.91	
三戸郡計		31,377	29,265	2,112	6.73	持帰り 1 不受理 1

34年

七. 候補者得票数調

地方区

候補者氏名 市町村	36 森田重次郎	37 佐藤尚武	38 盛田三喜雄	39 中村勝己	計
県計	137,977.238	141,656	85,863.691	10,921	376,417.929
市計	58,778.488	76,153	43,352.484	6,362	184,645.983
町村計	79,198.739	65,503	42,511.207	4,559	191,771.946
東郡計	6,628.319	6,314	3,422.676	330	16,694.995
西郡計	7,525.055	11,179	6,048.937	632	25,384.992
中郡計	990.491	3,302	1,050.507	148	5,430.998
南郡計	6,858.702	15,874	6,240.293	1,073	30,045.995
北郡計	5,965.108	12,511	4,752.886	695	23,923.994
上北郡計	21,070.251	3,274	8,689.738	403	33,436.989
下北郡計	12,684.046	6,910	7,368.945	626	27,588.991
三戸郡計	17,536.767	6,139	4,937.226	652	29,264.993

候補者氏名 市町村	森田重次郎	佐藤尚武	盛田三喜雄	中村勝己	計
青森市	15,664.275	27,528	14,042.721	2,719	59,953.996
弘前市	5,375.222	25,305	8,099.774	1,229	40,008.996
八戸市	20,703.152	9,699	11,206.845	1,281	42,889.997
黒石市	2,984.791	4,315	3,499.206	489	11,287.997
五所川原市	2,999.648	6,401	2,242.351	232	11,814.999
十和田市	6,729.212	1,540	2,219.787	191	10,679.999
三沢市	4,382.199	1,365	2,041.800	221	8,009.999
市計	58,778.499	76,153	43,352.484	6,362	184,645.983

東津軽郡

候補者氏名 市町村	森田重次郎	佐藤尚武	盛田三喜雄	中村勝己	計
平内町	1,918.452	1,822	887.548	95	4,723
蟹田町	739.724	803	355.275	51	1,948.999
今別町	805.638	732	686.361	22	2,245.999
蓬田村	476.873	648	244.126	50	1,418.999
平館村	758	464	192	25	1,439
三厩村	907.275	534	372.724	28	1,841.999
野内村	1,022.357	1,311	684.642	59	3,076.999
東津軽郡計	6,628.319	6,314	3,422.676	330	16,694.995

候 補 者 得 票 数 調

西 津 輕 郡

地 方 区

候補者氏名 市町村	森 田 重次郎	佐 藤 尚 武	盛 田 三喜雄	中 村 勝 己	計
鱒ヶ沢町	1,402.271	2,283	1,456.728	171	5,312.999
木 造 町	2,052.340	3,015	1,476.659	150	6,693.999
深 浦 町	899.927	1,929	1,214.072	110	4,152.999
森 田 村	498.970	819	369.029	96	1,722.999
岩 崎 村	484.148	737	362.851	60	1,643.999
栢 村	811.768	922	262.231	99	2,094.999
稻 垣 村	739.162	686	450.837	92	1,907.999
車 力 村	636.459	788	456.530	34	1,914.999
西津輕郡計	7,525.055	11,179	6,048.937	632	25,384.992

中 津 輕 郡

候補者氏名 市町村	森 田 重次郎	佐 藤 尚 武	盛 田 三喜雄	中 村 勝 己	計
岩 木 村	526.593	2,020	364.406	63	2,973.999
相 馬 村	206.690	654	315.309	41	1,216.999
西目屋村	197.208	628	370.792	44	1,240
中津輕郡計	930.491	3,302	1,050.507	148	5,430.998

南 津 輕 郡

候補者氏名 市町村	森 田 重次郎	佐 藤 尚 武	盛 田 三喜雄	中 村 勝 己	計
藤 崎 町	851.106	1,670	844.893	122	3,487.999
大 鰯 町	694.973	2,871	836.026	133	4,534.999
尾 上 町	626.123	1,792	824.877	235	3,478
浪 岡 町	1,531.264	2,953	1,249.736	258	5,992
平 賀 町	1,118.549	3,141	1,029.450	139	5,427.999
常 盤 村	852.599	802	392.401	63	2,110
田舎館村	775.261	1,778	605.738	61	3,219.999
碓ヶ関村	408.827	867	457.172	62	1,794.999
南津輕郡計	6,858.702	15,874	6,240.293	1,073	30,045.995

北 津 輕 郡

候補者氏名 市町村	森 田 重次郎	佐 藤 尚 武	盛 田 三喜雄	中 村 勝 己	計
板 柳 町	1,471.655	3,889	899.344	97	6,356.999
金 木 町	1,440.298	1,861	1,063.701	115	4,479.999
中 里 町	996.807	1,764	987.192	135	3,882.999
鶴 田 町	1,552.392	3,730	1,073.607	223	6,578.999
市 浦 村	276.897	677	410.102	25	1,988.999
小 泊 村	227.059	590	318.940	100	1,235.999
北津輕郡計	5,965.108	12,511	4,752.886	695	23,923.994

候補者得票数調

上北郡

地方区

候補者氏名 市町村	森田重次郎	佐藤尚武	盛田三喜雄	中村勝己	計
野辺地町	2,720.113	522	1,120.886	90	4,452.999
上北町	2,321.795	83	831.264	16	3,251.999
七戸町	2,361.215	308	1,874.784	36	4,579.999
百石町	1,563.499	264	262.500	15	2,104.999
十和田町	1,116.935	480	589.664	29	2,214.999
横浜町	943.878	518	475.121	74	2,010.999
六戸町	2,020.833	410	409.166	39	2,878.999
天間林村	2,369.339	167	1,768.660	20	4,924.999
甲地村	2,558.081	143	560.918	20	3,281.999
下田町	1,499.420	161	935.579	30	2,025.999
六ヶ所村	1,595.803	218	461.196	34	2,318.999
上北郡計	21,070.251	3,274	8,689.738	403	33,436.989

下北郡

候補者氏名 市町村	森田重次郎	佐藤尚武	盛田三喜雄	中村勝己	計
田名部町	2,629.639	1,774	1,263.360	88	5,754.999
川内町	1,261.935	509	1,025.064	125	2,920.999
大湊町	1,719.142	1,449	1,810.857	119	5,097.999
大畑町	1,491.198	875	1,196.861	61	3,623.999
大間町	1,264.506	501	308.493	24	2,097.999
東通村	1,802.534	969	622.465	71	3,458.999
風間浦村	859.798	248	241.201	24	1,372.999
佐井村	831.852	227	596.147	83	1,737.999
脇野沢村	823.502	364	304.497	31	1,522.999
下北郡計	12,684.046	6,910	7,368.945	626	27,588.991

三戸郡

候補者氏名 市町村	森田重次郎	佐藤尚武	盛田三喜雄	中村勝己	計
三戸町	2,796.124	1,376	891.875	108	5,171.999
五戸町	3,687.733	901	1,080.266	143	5,811.999
田子町	1,479.118	1,174	440.881	63	3,156.999
名川町	1,951.529	413	520.470	33	2,917.999
階上村	1,623.440	303	456.560	46	2,429
福地村	706.529	320	357.470	37	1,420.999
南郷村	1,869.916	309	346.084	107	2,632
南部町	1,245.185	639	350.814	34	2,268.999
倉石村	952.056	128	207.944	10	1,298
新郷村	1,225.134	576	284.865	71	2,156.999
三戸郡計	17,536.764	6,139	4,937.229	652	29,264.993

八. 無効投票に関する調

地 方 区

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したものの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載した何人かを記載したもの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
県計	11	15,003	—	312	—	175	8	1,142	7	1,531	664	777	19,630		
市計	2	5,885	—	105	—	50	7	313	—	482	233	312	7,389		
町村計	9	9,118	—	207	—	125	1	829	7	1,049	431	465	12,241		
東郡計	1	954	—	87	—	9	—	19	—	165	41	25	1,301		
西郡計	—	1,456	—	20	—	4	—	47	—	128	103	65	1,823		
中郡計	—	230	—	—	—	—	—	22	1	35	22	2	912		
南郡計	9	1,323	—	10	—	17	1	224	6	170	39	124	1,917		
北郡計	2	1,276	—	6	—	6	—	68	—	92	23	54	1,527		
上北郡計	2	1,180	—	—	—	15	—	133	—	162	86	74	1,652		
下北郡計	1	1,216	—	53	—	41	—	82	—	109	50	45	1,597		
三戸郡計	—	1,483	—	31	—	33	—	234	—	188	67	76	2,112		

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したものの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載した何人かを記載したもの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
青森市	1	1,613	—	2	—	9	—	102	—	137	34	73	1,965		
弘前市	—	988	—	10	—	21	—	69	—	99	21	76	1,284		
八戸市	1	1,896	—	42	—	8	2	97	—	148	62	61	2,317		
黒石市	—	280	—	6	—	10	—	6	—	24	16	28	370		
五所川原市	—	441	—	38	—	1	5	—	—	24	60	31	600		
十和田市	—	426	—	1	—	6	—	39	—	39	11	27	549		
三沢市	—	241	—	6	—	1	—	—	—	11	29	16	304		
市計	2	5,885	—	105	—	50	7	313	—	482	233	312	7,389		

無効投票に関する調

東津輕郡

地方区

区分 市町村	成規の用紙を用 いないもの	候補者でない者 の氏名を記載し たもの	候補者となるこ とができない者 の氏名を記載し たもの	候補者以上の候 補したものを 記載したもの	2人以上の候補 者の氏名を記載 したもの	被選挙権のない 候補者の氏名を 記載したもの	候補者の氏名を 記載したもの	候補者の氏名を 記載したもの	自書しないもの の氏名を記載し たもの	候補者の氏名を 記載したもの	記載したものを 確認したものを 記載したもの	記載したものを 記載したものを 記載したもの	議員の職に現 ある者の氏名を 記載したものを 記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載 したもの	単に記号符号を 記載したもの	計
平内町	—	269	—	54	—	—	—	—	—	—	19	—	—	82	15	10	493
蟹田町	—	116	—	28	—	—	—	9	—	—	—	—	—	5	3	—	161
今別町	—	193	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	—	12	249
蓬田村	—	55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	60
平館村	—	97	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	1	9	113
三厩村	1	123	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	11	—	149
野内村	—	107	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	6	—	126
東津輕郡計	1	954	—	87	—	—	—	9	—	—	19	—	—	165	41	25	1,301

西津輕郡

区分 市町村	成規の用紙を用 いないもの	候補者でない者 の氏名を記載し たもの	候補者となるこ とができない者 の氏名を記載し たもの	候補者以上の候 補したものを 記載したもの	2人以上の候補 者の氏名を記載 したもの	被選挙権のない 候補者の氏名を 記載したもの	候補者の氏名を 記載したもの	候補者の氏名を 記載したもの	自書しないもの の氏名を記載し たもの	候補者の氏名を 記載したもの	記載したものを 確認したものを 記載したもの	記載したものを 記載したものを 記載したもの	議員の職に現 ある者の氏名を 記載したものを 記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載 したもの	単に記号符号を 記載したもの	計
鱒ヶ沢町	—	269	—	1	—	—	—	—	—	—	17	—	—	17	29	16	338
木造町	—	298	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	14	15	346
深浦町	—	241	—	1	—	—	—	—	—	—	7	—	—	25	15	—	289
森田村	—	90	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	5	5	2	103
岩崎村	—	160	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	13	—	195
柏村	—	177	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	—	21	5	22	240
縮垣村	—	112	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	13	11	—	144
車力村	—	115	—	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	17	10	168
西津輕郡計	—	1,456	—	20	—	—	—	4	—	—	47	—	—	128	103	65	1,823

無効投票に関する調査

中津軽郡

地方区

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができないうの氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したものの氏名を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載したものを認し難いもの	候補者の何人がある者の氏名を記載したもの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
岩本村	—	—	81	—	—	—	—	—	—	22	—	—	29	14	—	140
相馬村	—	—	99	—	—	—	—	—	—	—	1	—	7	8	2	51
西目屋村	—	—	116	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	121
中津軽郡計	—	—	230	—	—	—	—	—	—	22	1	—	35	22	2	312

南津軽郡

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができないうの氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したものの氏名を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載したものを認し難いもの	候補者の何人がある者の氏名を記載したもの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
藤崎町	—	—	81	—	—	—	—	—	—	122	—	—	96	—	42	281
大鰐町	—	—	296	—	8	—	—	—	—	51	2	—	94	—	6	397
尾上町	—	—	147	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	1	21	187
浪岡町	—	2	918	—	—	—	—	—	—	21	—	—	19	—	8	968
平賀町	—	—	181	—	—	—	—	—	—	17	9	—	90	18	24	279
常盤村	—	—	105	—	—	—	4	—	—	—	1	—	8	20	9	141
田舎館村	—	—	174	—	1	—	19	1	—	6	—	—	15	—	9	217
碓ヶ関村	—	1	81	—	1	—	—	—	—	7	—	—	12	—	11	113
南津軽郡計	—	3	1,323	—	10	—	17	1	—	224	6	—	170	39	124	1,917

無効投票に関する調

北 軽 津 郡

地 方 区

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	候補者の何人かを記載したもの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
板柳町	2	234	—	—	—	—	—	—	39	—	—	8	3	13	299
金木町	—	219	—	—	6	—	—	—	10	—	—	15	1	15	260
中里町	—	220	—	—	—	—	5	—	6	—	—	16	15	10	272
鶴田町	—	365	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	—	7	387
市浦村	—	181	—	—	—	—	1	—	10	—	—	32	2	9	235
小泊村	—	63	—	—	—	—	—	—	3	—	—	6	2	—	74
北津軽郡計	2	1,276	—	—	6	—	6	—	68	—	—	92	23	54	1,527

上 北 郡

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	候補者の何人かを記載したもの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
野辺地町	—	107	—	—	—	—	2	—	15	—	—	16	1	2	143
上北町	—	129	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	1	22	165
七戸町	—	82	—	—	—	—	8	—	4	—	—	4	10	—	108
百石町	—	60	—	—	—	—	2	—	6	—	—	—	8	2	78
十和田町	—	134	—	—	—	—	—	—	4	—	—	23	13	—	179
横浜町	—	85	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	4	7	105
六戸町	2	57	—	—	—	—	2	—	43	—	—	7	—	—	111
天間林村	—	183	—	—	—	—	—	—	13	—	—	17	11	17	241
甲地村	—	120	—	—	—	—	1	—	29	—	—	11	22	—	183
下田村	—	85	—	—	—	—	—	—	13	—	—	21	—	3	122
六ヶ所村	—	138	—	—	—	—	—	—	6	—	—	41	11	21	217
上北郡計	2	1,180	—	—	—	—	15	—	133	—	—	162	86	74	1,652

無効投票に関する調

下北郡

地方区

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	候補者としたもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載したか人を確認したか	ある者の氏名を記載したもの	議員の職に現に就いたもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
田名部町	—	—	397	—	—	—	—	—	—	96	—	—	—	25	17	19	434
川内町	—	—	127	—	—	—	—	5	—	95	—	—	—	9	1	2	179
大湊町	—	—	181	—	44	—	—	—	—	—	—	—	—	8	5	5	243
大畑町	—	—	93	—	6	—	—	30	—	—	—	—	—	5	5	11	150
大間町	—	—	62	—	—	—	—	2	—	5	—	—	—	7	—	6	82
東通村	1	—	290	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	92	20	—	287
風間浦村	—	—	65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	79
佐井村	—	—	85	—	1	—	—	2	—	9	—	—	—	6	1	2	100
脇野沢村	—	—	36	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	4	1	—	43
下北郡計	1	—	1,216	—	53	—	—	41	—	82	—	—	—	109	50	45	1,597

三戸郡

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	候補者としたもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載したか人を確認したか	ある者の氏名を記載したもの	議員の職に現に就いたもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
三戸町	—	—	215	—	2	—	—	7	—	49	—	—	—	91	9	12	325
五戸町	—	—	279	—	4	—	—	18	—	102	—	—	—	10	28	10	451
田子町	—	—	187	—	4	—	—	3	—	25	—	—	—	10	7	25	261
名川町	—	—	132	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	49	2	10	199
階上村	—	—	86	—	—	—	—	1	—	11	—	—	—	12	1	2	113
福地村	—	—	67	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	7	—	—	79
南郷村	—	—	242	—	1	—	—	—	—	19	—	—	—	20	14	6	302
南部町	—	—	67	—	—	20	—	—	—	—	—	—	—	5	2	—	94
倉石村	—	—	60	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	13	2	1	77
新郷村	—	—	148	—	—	—	—	4	—	16	—	—	—	91	2	10	211
三戸郡計	—	—	1,483	—	31	—	—	33	—	234	—	—	—	188	67	76	2,112

九. 参議院(地方選出)議員通常選挙第一班立会演説会順序決定表

日 時	演説会場	順序	候補者氏名	日 時	演説会場	順序	候補者氏名
5月12日 午後7時	弘前市 第一大成小学校	1 2 3 4	盛中森佐 田村藤藤 三勝重尚 喜次郎武 雄己郎武	5月23日 午後7時	大湊町 大湊中学校	1 2 3 4	森佐盛中 田藤田村 重尚三勝 次郎武雄 己郎武
5月13日 午後7時	深浦町 深浦小学校	1 2 3 4	中森佐盛 村田藤田 勝重尚三 喜次郎武 雄己郎武	5月24日 午後1時	大畑町 大畑小学校	1 2 3 4	佐盛中森 藤田村田 尚三勝重 武雄己郎 武
5月14日 午後1時	鱈ヶ沢町 西浜小学校	1 2 3 4	森佐盛中 田藤田村 重尚三勝 喜次郎武 雄己郎武	5月24日 午後7時	田名部町 第二田名部 小学校	1 2 3 4	盛中森佐 田村藤藤 三勝重尚 喜次郎武 雄己郎武
5月14日 午後7時	木造町 木造高等学校	1 2 3 4	佐盛中森 藤田村田 尚三勝重 喜次郎武 雄己郎武	5月25日 午後7時	八戸市 湊小学校	1 2 3 4	中森佐盛 村田藤田 勝重尚三 喜次郎武 雄己郎武
5月15日 午後7時	金木町 金木町公会堂	1 2 3 4	盛中森佐 田村藤藤 三勝重尚 喜次郎武 雄己郎武	5月26日 午後7時	八戸市 八戸小学校	1 2 3 4	森佐盛中 田藤田村 重尚三勝 喜次郎武 雄己郎武
5月16日 午後1時	五所川原市 五所川原小学校	1 2 3 4	中森佐盛 村田藤田 勝重尚三 喜次郎武 雄己郎武	5月27日 午後1時	三戸町 三戸小学校	1 2 3 4	佐盛中森 藤田村田 尚三勝重 喜次郎武 雄己郎武
5月16日 午後7時	板柳町 板柳小学校	1 2 3 4	森佐盛中 田藤田村 重尚三勝 喜次郎武 雄己郎武	5月27日 午後7時	名川町 劍吉小学校	1 2 3 4	盛中森佐 田村藤藤 三勝重尚 喜次郎武 雄己郎武
5月17日 午後7時	大鰐町 大鰐小学校	1 2 3 4	佐盛中森 藤田村田 尚三勝重 喜次郎武 雄己郎武	5月28日 午後1時	五戸町 五戸小学校	1 2 3 4	中森佐盛 村田藤田 勝重尚三 喜次郎武 雄己郎武
5月18日 午後7時	弘前市 弘前市役所 大講堂	1 2 3 4	盛中森佐 田村藤藤 三勝重尚 喜次郎武 雄己郎武	5月28日 午後7時	十和田市 三本木小学校	1 2 3 4	森佐盛中 田藤田村 重尚三勝 喜次郎武 雄己郎武
5月19日 午後7時	岩木村 津軽中学校	1 2 3 4	中森佐盛 村田藤田 勝重尚三 喜次郎武 雄己郎武	5月29日 午後1時	七戸町 七戸小学校 第一校舎	1 2 3 4	佐盛中森 藤田村田 尚三勝重 喜次郎武 雄己郎武
5月20日 午後1時	黒石市 黒石小学校	1 2 3 4	森佐盛中 田藤田村 重尚三勝 喜次郎武 雄己郎武	5月29日 午後7時	三沢市 三沢第一中学校	1 2 3 4	盛中森佐 田村藤藤 三勝重尚 喜次郎武 雄己郎武
5月20日 午後7時	浪岡町 浪岡中学校	1 2 3 4	佐盛中森 藤田村田 尚三勝重 喜次郎武 雄己郎武	5月30日 午後1時	野辺地町 野辺地中学校	1 2 3 4	中森佐盛 村田藤藤 勝重尚三 喜次郎武 雄己郎武
5月21日 午後7時	蟹田町 蟹田小学校	1 2 3 4	盛中森佐 田村藤藤 三勝重尚 喜次郎武 雄己郎武	5月30日 午後7時	平内町 小湊小学校	1 2 3 4	森佐盛中 田藤田村 重尚三勝 喜次郎武 雄己郎武
5月22日 午後7時	青森市 野脇中学校	1 2 3 4	中森佐盛 村田藤藤 勝重尚三 喜次郎武 雄己郎武	5月31日 午後7時	青森市 古川小学校	1 2 3 4	佐盛中森 藤田村田 尚三勝重 喜次郎武 雄己郎武

第二、参議院議員通常選挙

(全 国 区)

五. 選挙人名簿登録人員数に関する調

名簿の種類 \ 男女別	市 部			郡 部			総 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
基本選挙人名簿	177,263	193,250	370,513	193,495	205,987	399,482	370,758	398,637	769,395
船員の基本選挙人名簿	—	—	—	—	—	—	—	—	—
整理名簿	407	512	919	92	95	187	499	547	986
補充選挙人名簿	7,641	7,523	15,164	5,114	6,106	11,220	12,755	13,629	26,384
合 計	185,311	201,285	386,596	198,641	211,528	410,169	383,952	412,813	796,765

六. 候補者に関する調

1. 候補者の届出に関する調

立候補届出期間に届出をした候補者の数			左記の期間中に死亡し又は辞退した者の数		立候補届出締切日現在における候補者の数	立候補届出締切日経過後に死亡し又は辞退した者の数		補充立候補届出期間に届出をした候補者の数			差引計 (A)
自ら届出をした候補者の数	推薦届出による候補者の数	計	死亡者	辞退者	計	死亡者	辞退者	計	計		
3	1	4	—	—	4	—	—	—	—	—	4

2. 職業別候補者数に関する調

教 育 家	宗 教 家	商 業 家	工 業 家	農 林 業	水 産 業	弁 護 士 (弁理士を含む)	計 理 士 (税理士を含む)	医 師 (歯科医を含む)	薬 剤 士	著 述 業	出 版 業	記 者	会 社 員 (重役を含む)	政 党 役 員	団 体 役 員	その 他 の 職 業	無 職	合 計
—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	4

3. 年齢別候補者数に関する調

90才以上 95才未満	95才以上 40才未満	40才以上 45才未満	45才以上 50才未満	50才以上 55才未満	55才以上 60才未満	60才以上 65才未満	65才以上 70才未満	70才以上	合 計
1	—	—	—	—	—	—	—	1	4

七. 「全国区」党派別男女別得票数に関する調

党派別 男女別	自 民 党	社 会 党	共 産 党	緑 風 会	中 政 連	諸 派	無 所 属	合 計
男	158,447.248	79,991.693	4,887.120	18,095	3,564	1,543.458	62,188.963	328,656.822
女	11,209.110	2,956	—	3,739	—	—	12,770.578	35,074.688
計	169,656.358	82,347.633	4,887.120	26,774	3,564	1,543.458	74,958.941	363,731.510

八. 按分投票等に関する調

1. 按分投票に関する調

区 分	法第68条の 2第1項以外 の投票数	法第68条の2第2項によつて按分した投票数						いずれの候 捕者にも属 しないもの	合 計	
		按分したも のの総数	左 記 の 内 訳				小 計			
		氏名を記 載したもの	氏を記載 したもの	名を記載 したもの	その他	按分の際 切捨てた 票数				
全国区	357,966	5,766	—	5,678. 990	87,621	—	5,765. 951	0.049	3	363,735
地方区	369,592	6,886	—	6,885. 929	—	—	6,885. 929	0.071	—	376,418

2. 点字投票に関する調

区 分	郡 市 別	総 数	内 訳	
			有 効	無 効
全国区	市 部	99	99	—
	郡 部	4	9	1
	計	37	36	1
地方区	市 部	99	99	—
	郡 部	5	5	—
	計	38	38	—

3. 代理投票に関する調

区 分	郡 市 別	総 数	投票当日投票所における代理投票			不在者投票管理者のもとにおける代理投票		
			身体の故障	文 盲	計	身体の故障	文 盲	計
全国区	市 部	1,427	96	1,986	1,422	—	5	5
	郡 部	2,899	55	2,755	2,810	22	7	29
	計	4,266	91	4,141	4,232	22	12	34
地方区	市 部	1,449	96	1,402	1,498	—	5	5
	郡 部	2,826	54	2,749	2,797	22	7	29
	計	4,269	90	4,145	4,235	22	12	34

九. 不在者投票に関する調

1. 全国区不在者投票の事由に関する調

事由別	郡市別	投票用紙の請求				交 付				投 票				船員で指定市町村から不在者投票用紙の交付を受けて投票したもの(B)	(A)+(B) 合計
		直 接		郵便	合計	直接	郵送	計	交付を拒絶したもの	合計	投票したもの(A)	投票しなかつたもの	計		
		本人	代理人												
法第49条第1号該当者	市部	2,077	—	659	2,736	2,075	608	2,683	53	2,736	2,451	292	2,683	—	2,451
	郡部	1,644	—	1,107	2,751	1,617	1,190	2,747	4	2,751	2,396	351	2,747	—	2,396
	計	3,721	—	1,766	5,487	3,692	1,798	5,430	57	5,487	4,847	583	5,430	—	4,847
法第49条第2号該当者	市部	176	—	8	184	176	8	184	—	184	181	3	184	—	181
	郡部	367	—	354	721	362	359	721	—	721	673	48	721	—	673
	計	543	—	362	905	538	367	905	—	905	854	51	905	—	854
法第49条第3号該当者	市部	4,103	1,216	2,251	1,037	1,177	2,214	37	2,251	2,179	95	2,214	—	2,179	
	郡部	90	443	1,555	2,028	965	1,662	2,027	1	2,028	2,011	16	2,027	—	2,011
	計	34,474	2,771	4,279	1,402	2,839	4,241	38	4,279	4,190	51	4,241	—	4,190	
法第49条第4号該当者	市部	85	—	—	85	85	—	85	—	85	85	—	85	—	85
	郡部	53	—	12	65	53	12	65	—	65	59	6	65	—	59
	計	138	—	12	150	138	12	150	—	150	144	6	150	—	144
合 計	市区部	2,342	1,031	1,883	5,256	3,373	1,793	5,166	90	5,256	4,896	270	5,166	—	4,896
	郡部	2,094	443	3,028	5,565	2,397	3,163	5,560	5	5,565	5,139	421	5,560	—	5,139
	計	4,436	1,474	4,911	10,821	5,770	4,956	10,726	95	10,821	10,035	691	10,726	—	10,035

2. 地方区不在者投票の事由に関する調

事由別	郡市別	投票用紙の請求				交 付				投 票				船員で指定市町村から不在者投票用紙の交付を受けて投票したもの(B)	(A)+(B) 合計
		直 接		郵便	合計	直接	郵送	計	交付を拒絶したもの	合計	投票したもの(A)	投票しなかつたもの	計		
		本人	代理人												
法第49条第1号該当者	市部	2,077	—	655	2,732	2,075	604	2,679	53	2,732	2,445	234	2,679	—	2,445
	郡部	1,650	—	1,106	2,756	1,623	1,129	2,752	4	2,756	2,401	351	2,752	—	2,401
	計	3,727	—	1,761	5,488	3,698	1,733	5,431	57	5,488	4,846	585	5,431	—	4,846
法第49条第2号該当者	市部	176	—	8	184	176	8	184	—	184	181	3	184	—	181
	郡部	368	—	354	722	363	359	722	—	722	673	49	722	—	673
	計	544	—	362	906	539	367	906	—	906	854	52	906	—	854
法第49条第3号該当者	市部	4,103	1,215	2,250	1,037	1,176	2,213	37	2,250	2,179	34	2,213	—	2,179	
	郡部	90	443	1,555	2,028	965	1,662	2,027	1	2,028	2,011	16	2,027	—	2,011
	計	34,474	2,770	4,278	1,402	2,838	4,240	38	4,278	4,190	50	4,240	—	4,190	
法第49条第4号該当者	市部	85	—	—	85	85	—	85	—	85	85	—	85	—	85
	郡部	53	—	12	65	53	12	65	—	65	59	6	65	—	59
	計	138	—	12	150	138	12	150	—	150	144	6	150	—	144
合 計	市部	2,342	1,031	1,878	5,251	3,373	1,788	5,161	90	5,251	4,890	271	5,161	—	4,890
	郡部	2,101	443	3,027	5,571	2,404	3,162	5,566	5	5,571	5,144	422	5,566	—	5,144
	計	4,443	1,474	4,905	10,822	5,777	4,950	10,727	95	10,822	10,034	693	10,727	—	10,034

3. 不在者投票の受理、不受理に関する調

区分	郡市別	投票管理者において受理と決定し且つ拒否の決定をしなかつたもの		投票管理者において不受理又は拒否と決定したもの			合計
		開票管理者において受理と決定したもの	開票管理者において不受理と決定したもの	計	計	計	
全国区	市部	4,896	—	—	—	—	4,896
	郡部	5,128	4	7	11	—	5,199
	計	10,024	4	7	11	—	10,035
地方区	市部	4,890	—	—	—	—	4,890
	郡部	5,194	4	6	10	—	5,144
	計	10,024	4	6	10	—	10,034

4. 不在者投票管理者別不在者投票に関する調

区分	選挙人の属する市町村の選管委員長に対してなしたものの			業務地又は旅行地の市町村の選管委員長に対してなしたものの			船長に対してなしたものの			病院々長又は国保養老所々長に対してなしたものの			監獄の長、代用監獄の管理者に対してなしたものの			少年院の長又は婦人補導院の長に対してなしたものの			合計		
	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計
全国区	4,454	15	4,469	1,465	—	1,465	18	—	18	4,015	19	4,034	47	—	47	2	—	2	210,001	34	210,035
地方区	4,457	15	4,472	1,460	—	1,460	18	—	18	4,016	19	4,035	47	—	47	2	—	2	210,000	34	210,034

十. 投票管理者等に関する調

1. 投票管理者及び投票所事務従事者に関する調

選挙別	市町村別	投票管理者				市町村の選挙管理委員会の書記	投票所事務従事者				合計
		投票管理者	職務代理者	臨時に職務を管理した者	合計		市町村の職員 吏員	その他の職員	学校職員	その他	
全国区	市区	—	—	—	—	—	19	—	—	—	19
	町村	—	—	—	—	1	19	2	10	18	
	計	—	—	—	—	1	26	2	10	18	
地方区	市区	274	1	—	275	2	1,322	272	31	278	
	町村	535	4	1	540	58	1,782	915	181	522	
	計	809	5	1	815	60	3,104	587	212	800	

3. 不在者投票の受理、不受理に関する調

区分	郡市別	投票管理者において受理と決定し且つ拒否の決定をしなかつたもの		投票管理者において不受理又は拒否と決定したもの			合計
		開票管理者において受理と決定したもの	開票管理者において不受理と決定したもの	計	計	計	
全国区	市部	4,896	—	—	—	—	4,896
	郡部	5,128	4	7	11	—	5,199
	計	10,024	4	7	11	—	10,035
地方区	市部	4,890	—	—	—	—	4,890
	郡部	5,194	4	6	10	—	5,144
	計	10,024	4	6	10	—	10,034

4. 不在者投票管理者別不在者投票に関する調

区分	選挙人の属する市町村の選管委員長に対してなしたものの			業務地又は旅行地の市町村の選管委員長に対してなしたものの			船長に対してなしたものの			病院々長又は国保養老所々長に対してなしたものの			監獄の長、代用監獄の管理者に対してなしたものの			少年院の長又は婦人補導院の長に対してなしたものの			合計		
	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計	本人	代理投票	計
全国区	4,454	15	4,469	1,465	—	1,465	18	—	18	4,015	19	4,034	47	—	47	2	—	2	210,001	34	210,035
地方区	4,457	15	4,472	1,460	—	1,460	18	—	18	4,016	19	4,035	47	—	47	2	—	2	210,000	34	210,034

十. 投票管理者等に関する調

1. 投票管理者及び投票所事務従事者に関する調

選挙別	市町村別	投票管理者				市町村の選挙管理委員会の書記	投票所事務従事者				合計
		投票管理者	職務代理者	臨時に職務を管理した者	合計		市町村の職員 吏員	その他の職員	学校職員	その他	
全国区	市区	—	—	—	—	—	19	—	—	—	19
	町村	—	—	—	—	1	19	2	10	18	44
	計	—	—	—	—	1	26	2	10	18	57
地方区	市区	274	1	—	275	2	1,322	272	31	278	1,905
	町村	535	4	1	540	58	1,782	915	181	522	2,858
	計	809	5	1	815	60	3,104	587	212	800	4,763

2. 開票管理者及び開票所事務従事者に関する調

選挙別	市町村別	開票管理者				開票所事務従事者					計
		開票 管理者	職務 代理者	臨時に職 務を管理 したもの	計	市町村の 選挙管理 委員の 書記	市町村の職員		学 校 職 員	そ の 他	
							吏 員	そ の 他 の 員			
全国区	市 区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	町 村	—	—	—	—	3	92	29	—	4	128
	計	—	—	—	—	3	92	29	—	4	128
地方区	市 区	16	1	—	17	7	710	162	3	37	919
	町 村	62	—	—	62	79	1,912	41	59	252	1,743
	計	78	1	—	79	86	2,022	203	62	289	2,662

十一. 氏名等の掲示に関する調

(全 国 区)

掲 示 総 数	市	町	村
815	275		540

(地 方 区)

市町村 の 別	掲 示 数 別 投 票 区 数			投 票 区 総 数	掲 示 総 数
	3ヶ所設けた 投票区数	4ヶ所設けた 投票区数	5ヶ所設けた 投票区数		
市 区	271	4	—	275	829
町 村	286	196	58	540	1,992
計	557	200	58	815	2,761

十二. 立会演説会に関する調

1. 立会演説会の開催度数に関する調

道府の選挙 管理委員の 定めた村数	左記の開催 度数	人口五万未 満の市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口五万以 上十未満の 市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口十以上 十五未満の 市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口十以上 二十未満の 市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口二十以 上二十五未 満の市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口二十以 上三十未満 の市の数	左記市に於 ける開催度 数	合 計	
														開催市町村 数	開催度 数
18	18	4	4	—	—	2	4	1	2	—	—	—	—	25	28

2. 開票管理者及び開票所事務従事者に関する調

選挙別	市町村別	開票管理者				開票所事務従事者					計
		開票 管理者	職務 代理者	臨時に職 務を管理 したもの	計	市町村の 選挙管理 委員の 書記	市町村の職員		学 校 職 員	そ の 他	
							吏 員	そ の 他 の 員			
全国区	市 区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	町 村	—	—	—	—	3	92	29	—	4	128
	計	—	—	—	—	3	92	29	—	4	128
地方区	市 区	16	1	—	17	7	710	162	3	37	919
	町 村	62	—	—	62	79	1,912	41	59	252	1,743
	計	78	1	—	79	86	2,022	203	62	289	2,662

十一. 氏名等の掲示に関する調

(全 国 区)

掲 示 総 数	市	町	村
815	275		540

(地 方 区)

市町村 の 別	掲 示 数 別 投 票 区 数			投 票 区 総 数	掲 示 総 数
	3ヶ所設けた 投票区数	4ヶ所設けた 投票区数	5ヶ所設けた 投票区数		
市 区	271	4	—	275	829
町 村	286	196	58	540	1,992
計	557	200	58	815	2,761

十二. 立会演説会に関する調

1. 立会演説会の開催度数に関する調

道府の選挙 管理委員の 定めた村数	左記の開催 度数	人口五万未 満の市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口五万以 上十未満の 市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口十以上 十五未満の 市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口十以上 二十未満の 市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口二十以 上二十五未 満の市の数	左記市に於 ける開催度 数	人口二十以 上三十未満 の市の数	左記市に於 ける開催度 数	合 計	
														開催市町村 数	開催度数
18	18	4	4	—	—	2	4	1	2	—	—	—	—	25	28

2. 立会演説会の聴衆等に関する調

立会演説 会開催の 総回数	左記演説会に集合した 聴衆総人員数			演 説 会 中					
				最も多く集合した 人員数		最も少なかった 人員数		平 均 (総人数÷回数)	
	市 部	郡 部	計	市 部	郡 部	市 部	郡 部	市 部	郡 部
28	3,535	3,132	6,667	800	700	90	90	353	174

十三. 個人演説会の会場使用度数に関する調

区 分	市 町 村 の 別	施 設 の 使 用 度 数						合 計	
		法第161条第1項 第1号の学校及び 公民館		法第161条第1項 第2号の公会堂及 び議事堂		法第161条第1項第3 号の市町村の選挙管理 委員会の指定した施設			
		公費負担	候補者負担	公費負担	候補者負担	公費負担	候補者負担	公費負担	候補者負担
全国区	市 区	10	—	1	—	—	—	11	—
	町 村	1	—	—	—	—	—	1	—
	計	11	—	1	—	—	—	12	—
地方区	市 区	99	—	—	—	—	—	99	—
	町 村	28	—	—	—	1	—	29	—
	計	67	—	—	—	1	—	68	—

十四. 全国区候補者の選挙運動用ポスター 検印に関する調

衆議院議員の 選挙区数	検印を受けた 候補者の数	検印をした選挙運動 用ポスターの総数	一候補者につき最 高の検印枚数	一候補者につき最 低の検印枚数
2	7	7,991	2,000	300

十五. 政党その他の政治団体の政治活動用 ポスター検印に関する調

衆議院議員選挙区数	検印を受けた政党等の数	ポ ス タ ー 一 検 印 数											計
		自民党	社会党	共産党	緑風会	中政連	憲法擁護 国連政委	全 政	労 委	国鉄労 組政委	日民教 政連	総評 政委	
2	9	2,000	1,993	1,942	1,950	2,000	612	—	2,000	1,982	—	1,957	16,436

2. 立会演説会の聴衆等に関する調

立会演説 会開催の 総回数	左記演説会に集合した 聴衆総人員数			演 説 会 中					
				最も多く集合した 人員数		最も少なかった 人員数		平 均 (総人数÷回数)	
	市 部	郡 部	計	市 部	郡 部	市 部	郡 部	市 部	郡 部
28	3,535	3,132	6,667	800	700	90	90	353	174

十三. 個人演説会の会場使用度数に関する調

区 分	市 町 村 の 別	施 設 の 使 用 度 数						合 計	
		法第161条第1項 第1号の学校及び 公民館		法第161条第1項 第2号の公会堂及 び議事堂		法第161条第1項第3 号の市町村の選挙管理 委員会の指定した施設		公費負担	候補者担
		公費負担	候補者担	公費負担	候補者担	公費負担	候補者負担		
全国区	市 区	10	—	1	—	—	—	11	—
	町 村	1	—	—	—	—	—	1	—
	計	11	—	1	—	—	—	12	—
地方区	市 区	99	—	—	—	—	—	99	—
	町 村	28	—	—	—	1	—	29	—
	計	67	—	—	—	1	—	68	—

十四. 全国区候補者の選挙運動用ポスター 検印に関する調

衆議院議員の 選挙区数	検印を受けた 候補者の数	検印をした選挙運動 用ポスターの総数	一候補者につき最 高の検印枚数	一候補者につき最 低の検印枚数
2	7	7,991	2,000	300

十五. 政党その他の政治団体の政治活動用 ポスター検印に関する調

衆議院議員選挙区数	検印を受けた政党等の数	ポ ス タ ー 一 検 印 数											計
		自民党	社会党	共産党	緑風会	中政連	憲法擁護 国連政委	全 政	労 委	国鉄 組	労 政 委	日 民 教 連	
2	9	2,000	1,993	1,942	1,950	2,000	612	—	2,000	1,982	—	1,957	16,436

十六. 選挙運動に関する収入及び支出の報告に関する調

- 1 選挙の種類 昭和34年6月2日執行 参議院(地方選出)議員通常選挙
 2 期 間 昭和34年5月7日から昭和34年6月10日まで第1回分
 3 報告書要旨

候補者氏名	出納責任者氏名	寄付及びその他の収入の総額	支出の総額		差 引	報告書受理年月日
			立候補準備のための支出	選挙運動のための支出		
佐藤尚武	田沼敬造	1,419,000.00	53,500.00	846,609.00	512,891.00	34. 6. 16
森田重次郎	森田哲郎	501,000.00	—	481,928.00	19,072.00	34. 6. 15
盛田三喜雄	佐藤義男	1,950,000.00	—	898,854.00	451,146.00	34. 6. 16
中村勝巳	大沢喜代一	70,000.00	—	61,690.00	8,310.00	34. 6. 16

4 主要な寄付者及び支出

(1) 寄 付 者

候補者氏名	寄付の総額	件数	寄付者の氏名又は団体	職 業	住所又は主たる事務所の所在地
1 佐藤尚武	1,400,000	1	緑風会		東京都千代田区参議院内
2 森田重次郎	200,000	1	沼田吉雄	会社々長	八戸市
	300,000	1	株式会社酒悦		東京都台東区
	1,000	1	竹花武寿		八戸市
3 盛田三喜雄	550,000	1	日本社会党		東京都千代田区
	800,000		日本民主教育政治連盟		東京都千代田区
4 中村勝巳	20,000	1	大塚英五郎	青森市議	青森市
	20,000	1	大沢久明	政党役員	青森市
	10,000	1	引田一雄	病院長	青森市
	10,000	1	高橋金三	診療所事務長	青森市
	10,000	1	塩崎要	診療所経営者	青森市

(2) 支 出

候補者氏名	支出の総額		支出の目的	支出の総額		支出の目的	支出の総額		支出の目的
	総額	件数		総額	件数		総額	件数	
1 佐藤尚武	196,620	64	人件費	109,900	101	休泊費	104,687	44	食糧費
	78,996	19	通信費	74,680	8	家屋費	9,797	18	雑費
	97,092	3	印刷費	234,472	204	交通費			
	6,790	18	文具費	48,995	5	広告費			
2 森田重次郎	99,530	48	人件費	6,170	2	休泊費	55,091	199	食糧費
	61,650	8	通信費	48,820	11	家屋費	26,850	97	雑費
	32,899	5	印刷費	102,822	49	交通費			
	16,582	25	文具費	37,580	9	広告費			
3 盛田三喜雄	147,500	99	人件費	60,020	22	休泊費	169,864	92	食糧費
	4,271	9	通信費	96,750	7	家屋費	58,569	41	雑費
	127,100	5	印刷費	214,401	96	交通費			
	6,197	6	文具費	80,188	6	広告費			
4 中村勝巳	12,000	9	人件費	9,000	2	食糧費	520	2	文具費
	1,250	9	通信費	19,920	4	家屋費	900	9	雑費
	10,100	9	広告費	20,000	2	印刷費			

一. 投票に関する調

全 国 区

区分 市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
県計	377,815	407,018	784,833	214,323	181,715	396,038	163,492	225,303	388,795	56.73	44.65	50.46
市計	183,029	199,371	382,400	102,427	89,581	192,008	80,602	109,790	190,392	55.96	44.93	50.21
町村計	194,786	207,647	402,433	111,896	92,134	204,030	82,890	115,513	198,403	57.45	44.37	50.70
東郡計	16,198	17,737	33,935	9,400	8,601	18,001	6,798	9,136	15,934	58.09	48.49	53.05
西郡計	26,266	28,197	54,463	15,230	11,977	27,207	11,036	16,220	27,256	57.98	42.48	49.96
中郡計	7,458	7,548	15,006	3,541	2,207	5,748	3,917	5,941	9,258	47.48	29.24	38.30
南郡計	31,912	34,410	66,322	17,729	14,237	31,966	14,183	20,173	34,356	55.56	41.37	48.20
北郡計	22,845	24,101	46,946	14,029	11,431	25,460	8,816	12,670	21,486	61.41	47.43	54.23
上北郡計	33,981	35,926	69,907	19,154	15,926	35,080	14,827	20,000	34,827	56.37	44.33	50.18
下北郡計	26,313	27,195	53,508	15,599	13,592	29,191	10,714	13,603	24,317	59.28	49.98	54.55
三戸郡計	29,813	32,533	62,346	17,214	14,163	31,377	12,599	18,370	30,969	57.74	43.53	50.33

区分 市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
青森市	52,516	58,026	110,542	31,869	30,037	61,906	20,647	27,989	48,636	60.68	51.76	56.00
弘前市	40,858	46,479	87,337	22,010	19,272	41,282	18,848	27,207	46,055	53.87	41.46	47.27
八戸市	45,111	46,492	91,603	24,246	20,956	45,202	20,865	25,536	46,401	53.75	45.07	49.35
黒石市	11,223	12,489	23,712	6,440	5,213	11,653	4,783	7,276	12,059	57.38	41.74	49.14
五所川原市	19,081	14,129	33,210	7,206	5,216	12,422	5,875	8,913	14,788	55.09	36.92	45.65
十和田市	11,649	12,598	24,247	6,126	5,103	11,229	5,523	7,495	13,018	52.59	40.51	46.31
三沢市	8,591	9,158	17,749	4,530	3,784	8,314	4,061	5,974	9,435	52.73	41.32	46.84
市計	183,029	199,371	382,400	102,427	89,581	192,008	80,602	109,790	190,392	55.96	44.93	50.21

東 津 軽 郡

区分 市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平内町	4,942	5,406	10,348	2,853	2,316	5,169	2,089	3,090	5,179	57.73	42.84	49.95
蟹田町	2,031	2,171	4,202	1,149	961	2,110	882	1,210	2,092	56.57	44.27	50.21
今別町	2,200	2,321	4,521	1,319	1,176	2,495	881	1,145	2,026	59.95	50.67	55.19
蓬田村	1,568	1,644	3,212	821	658	1,479	747	986	1,733	52.36	40.02	46.05
平館村	1,656	1,650	3,306	756	797	1,553	900	853	1,753	45.65	48.30	46.94
三厩村	1,509	1,477	2,986	989	1,002	1,991	520	475	995	65.54	67.84	66.68
野内村	2,292	3,068	5,360	1,513	1,691	3,204	779	1,377	2,156	66.01	55.12	59.78
東津軽郡計	16,198	17,737	33,935	9,400	8,601	18,001	6,798	9,136	15,934	58.03	48.49	53.05

投 票 に 関 す る 調

西 津 軽 郡

全 国 区

市町村	投票当日の有権者数			投 票 者 数			棄 権 者 数			投 票 率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
鱈ヶ沢町	6,046	6,558	12,604	9,116	2,582	5,648	2,980	4,026	6,956	51.54	38.61	44.81
木造町	7,513	8,058	15,571	4,061	2,981	7,042	3,452	5,077	8,529	54.05	36.99	45.29
深浦町	9,972	4,278	8,250	2,499	2,009	4,442	1,539	2,269	9,808	61.25	46.96	59.84
森田村	1,838	1,944	3,782	1,099	727	1,826	739	1,217	1,956	59.79	37.40	48.28
岩崎村	1,486	1,639	3,125	918	921	1,839	568	718	1,286	61.78	56.19	58.85
柏村	1,451	1,582	3,033	1,164	1,111	2,275	287	471	758	80.22	70.23	75.01
稲垣村	1,980	2,074	4,054	1,251	801	2,052	729	1,273	2,002	63.18	38.62	50.62
車力村	1,980	2,064	4,044	1,188	895	2,083	792	1,169	1,961	60.00	49.36	51.51
西津軽郡計	26,266	28,197	54,463	15,230	11,977	27,207	11,036	16,220	27,256	57.98	42.48	49.96

中 津 軽 郡

市町村	投票当日の有権者数			投 票 者 数			棄 権 者 数			投 票 率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
岩木村	4,082	4,359	8,495	1,891	1,285	3,116	2,251	3,068	5,319	44.86	29.52	36.94
相馬村	1,616	1,675	3,291	786	482	1,268	830	1,199	2,029	48.64	28.78	38.59
西目屋村	1,760	1,520	3,280	924	440	1,364	836	1,080	1,916	52.50	28.95	41.59
中津軽郡計	7,458	7,548	15,006	3,541	2,207	5,748	3,917	5,341	9,258	47.48	29.24	38.30

南 津 軽 郡

市町村	投票当日の有権者数			投 票 者 数			棄 権 者 数			投 票 率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
藤崎町	9,561	9,890	7,451	2,129	1,640	3,769	1,432	2,250	3,682	59.79	42.16	50.58
大鰐町	5,038	5,644	10,682	2,549	2,323	4,872	2,489	3,321	5,810	50.60	41.16	45.61
尾上町	3,189	3,434	6,623	2,010	1,654	3,664	1,179	1,780	2,959	63.03	48.17	55.32
浪岡町	6,431	6,969	13,394	3,491	2,869	6,354	2,940	4,100	7,040	54.28	41.12	47.44
平賀町	7,144	7,446	14,590	3,365	2,346	5,711	3,779	5,100	8,879	47.10	31.51	39.14
常盤村	1,884	1,999	3,877	1,901	950	2,251	538	1,049	1,626	69.06	47.67	58.06
田舎館村	3,196	3,444	6,640	1,914	1,523	3,437	1,282	1,921	3,203	59.89	44.22	51.76
碓ヶ関村	1,469	1,596	3,065	970	938	1,908	499	658	1,157	66.03	58.77	62.25
南津軽郡計	31,912	34,410	66,322	17,729	14,237	31,966	14,183	20,173	34,356	55.56	41.37	48.20

北 津 軽 郡

市町村	投票当日の有権者数			投 票 者 数			棄 権 者 数			投 票 率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
板柳町	5,735	6,188	11,923	3,742	2,921	6,663	1,999	3,267	5,260	65.25	47.20	55.88
金木町	4,373	4,509	8,882	2,663	2,076	4,739	1,710	2,493	4,143	60.90	46.04	53.96
中里町	4,365	4,472	8,837	2,275	1,880	4,155	2,090	2,592	4,682	52.12	42.04	47.02
鶴田町	5,278	5,765	11,043	3,808	3,162	6,970	1,470	2,603	4,073	72.15	54.85	63.12
市浦村	1,497	1,554	3,051	861	763	1,624	636	791	1,427	57.52	49.10	53.23
小泊村	1,597	1,619	3,210	680	629	1,309	917	984	1,901	42.58	39.00	40.78
北津軽郡計	22,845	24,101	46,946	14,029	11,431	25,460	8,816	12,670	21,486	61.41	47.43	54.23

投票に関する調査

上北郡

全国区

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
野辺地町	4,755	5,226	9,981	2,995	2,255	4,590	2,420	2,971	5,991	49.11	49.15	46.99
上北町	2,916	9,116	6,032	1,824	1,599	3,417	1,092	1,529	2,615	62.55	51.12	56.64
七戸町	3,597	4,065	7,662	2,927	2,956	4,689	1,270	1,709	2,979	64.69	57.96	61.12
百石町	2,526	2,795	5,261	1,199	1,050	2,189	1,399	1,685	3,078	44.85	98.99	41.49
十和田町	2,684	2,855	5,599	1,416	978	2,994	1,268	1,877	3,145	52.76	94.26	43.22
横浜町	2,069	2,150	4,219	1,145	971	2,116	924	1,179	2,109	55.34	45.16	50.15
六戸町	2,875	9,021	5,896	1,672	1,918	2,990	1,209	1,709	2,906	58.15	49.62	50.71
天間林村	3,761	9,878	7,699	2,549	2,018	4,567	1,212	1,860	3,072	67.75	52.09	59.78
甲地村	3,450	9,550	7,000	1,998	1,466	3,464	1,452	2,084	3,596	57.91	41.99	49.49
下田村	1,988	2,015	4,009	1,194	954	2,148	794	1,061	1,855	60.06	47.94	53.66
六ヶ所村	3,360	9,915	6,675	1,561	967	2,528	1,799	2,948	4,147	46.46	29.17	97.87
上北郡計	33,981	35,926	69,907	19,154	15,926	35,080	14,827	20,000	34,827	56.37	44.33	50.18

下北郡

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
田名部町	6,929	6,878	19,207	9,307	2,884	6,191	9,022	9,994	7,016	52.25	41.99	46.88
川内町	2,616	2,820	5,496	1,660	1,440	3,100	956	1,980	2,996	63.46	51.06	57.09
大湊町	4,654	4,997	9,051	2,864	2,480	5,944	1,790	1,917	3,707	61.54	56.40	59.04
大畑町	3,440	9,754	7,194	1,894	1,880	3,774	1,546	1,874	3,420	55.06	50.08	52.46
大間町	2,067	2,069	4,196	1,261	919	2,180	806	1,150	1,956	61.01	44.42	52.71
東通村	3,296	9,221	6,457	2,159	1,594	3,747	1,089	1,627	2,710	66.59	49.49	58.09
風間浦村	1,322	1,960	2,682	776	676	1,452	546	684	1,290	58.70	49.71	54.14
佐井村	1,451	1,499	2,944	967	871	1,898	484	622	1,106	66.64	58.94	62.43
脇野沢村	1,198	1,209	2,401	717	848	1,565	481	955	896	59.85	70.49	65.18
下北郡計	26,313	27,195	53,508	15,599	13,592	29,191	10,714	13,603	24,317	59.28	46.88	54.55

三戸郡

市町村	投票当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
三戸町	4,892	5,540	10,972	2,855	2,642	5,497	1,977	2,898	4,875	59.09	47.69	59.00
五戸町	5,764	6,946	12,110	3,440	2,821	6,261	2,924	3,525	5,847	59.68	44.45	51.70
田子町	3,207	9,922	6,529	1,900	1,518	3,418	1,907	1,804	3,111	59.25	45.70	52.95
名川町	3,599	9,906	7,499	1,841	1,276	3,117	1,752	2,690	4,982	51.24	92.67	41.57
階上村	2,768	2,878	5,646	1,419	1,124	2,549	1,349	1,754	3,109	51.26	99.05	45.04
福地村	1,680	1,860	3,540	876	624	1,500	804	1,236	2,040	52.14	99.55	42.97
南郷村	2,708	2,896	5,604	1,590	1,405	2,995	1,178	1,491	2,669	56.50	48.52	52.97
南部町	2,140	2,524	4,664	1,277	1,086	2,969	869	1,438	2,901	59.67	49.09	50.66
倉石村	1,950	1,419	2,769	817	558	1,975	599	861	1,994	60.52	99.92	49.66
新郷村	1,771	1,842	3,619	1,259	1,109	2,968	512	799	1,245	71.09	60.21	65.54
三戸郡計	29,813	32,533	62,346	17,214	14,163	31,377	12,599	18,370	30,969	57.73	43.53	50.32

二. 開 票 に 関 す る 調

全 国 区

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考		
			有効投票	無効投票		持帰り	不受理	考
県 計		395,869	363,735	32,134	8.12	持帰り 160	不受理	9
市 計		191,900	180,295	11,605	6.05	〃 108		
町 村 計		203,969	183,440	20,529	10.06	〃 52	〃	9
東 郡 計		17,989	16,300	1,689	9.99	〃 11	〃	1
西 郡 計		27,204	24,329	2,875	10.57	〃 3		
中 郡 計		5,747	5,038	709	12.34	〃 1		
南 郡 計		31,957	28,799	3,158	9.88	〃 9		
北 郡 計		25,449	23,000	2,449	9.62	〃 5	〃	6
上北郡計		35,072	31,063	4,009	11.43	〃 8		
下北郡計		29,185	26,687	2,498	8.56	〃 4	〃	2
三戸郡計		31,366	28,224	3,142	10.02	〃 11		

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考		
			有効投票	無効投票		持帰り	不受理	考
青 森 市		61,895	58,580	3,315	5.36	持帰り 11		
弘 前 市		41,278	38,940	2,338	5.66	〃 4		
八 戸 市		45,144	42,763	2,381	5.27	〃 58		
黒 石 市		11,648	10,444	1,204	10.34	〃 5		
五所川原市		12,394	11,295	1,099	8.87	〃 28		
十和田市		11,229	10,478	751	6.69			
三 沢 市		8,312	7,795	517	6.22	〃 2		
市 計		191,900	180,295	11,605	6.05	持帰り 108		

東 津 軽 郡

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考		
			有効投票	無効投票		持帰り	不受理	考
平 内 町		5,116	4,439	727	14.07	持帰り 2	不受理	1
蟹 田 町		2,107	1,977	130	6.17	〃 3		
今 別 町		2,489	2,261	228	9.16	〃 6		
蘆 田 村		1,479	1,291	188	12.71			
平 館 村		1,553	1,410	143	9.21			
三 厩 村		1,991	1,916	75	3.77			
野 内 村		3,204	3,006	198	6.18			
東津軽郡計		17,989	16,300	1,689	9.39	持帰り 11	不受理	1

開 票 に 関 す る 調

西 津 軽 郡

全 国 区

区分 市町村	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
		有効投票	無効投票		
鯉ヶ沢町	5,647	5,266	381	6.75	持帰り 1
木造町	7,042	6,253	789	11.20	
深浦町	4,442	3,916	526	11.84	
森田村	1,825	1,652	173	9.48	〃 1
岩崎村	1,899	1,659	180	9.79	
柏村	2,275	1,966	309	13.58	
稲垣村	2,052	1,860	192	9.36	
車力村	2,082	1,757	325	15.61	〃 1
西津軽郡計	27,204	24,329	2,875	10.57	持帰り 3

中 津 軽 郡

区分 市町村	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
		有効投票	無効投票		
岩木村	3,116	2,628	488	15.66	
相馬村	1,268	1,141	127	10.02	
西目屋村	1,363	1,269	94	6.90	持帰り 1
中津軽郡計	5,747	5,038	709	12.34	持帰り 1

南 津 軽 郡

区分 市町村	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
		有効投票	無効投票		
藤崎町	3,769	3,365	404	10.72	
大鰐町	4,872	4,424	448	9.20	
尾上町	3,664	3,167	497	13.56	
浪岡町	6,354	5,835	519	8.17	
平賀町	5,705	5,240	465	8.15	持帰り 6
常盤村	2,248	2,028	220	9.79	〃 3
田舎館村	3,497	2,953	484	14.08	
碓ヶ関村	1,908	1,787	121	6.34	
南津軽郡計	31,957	28,799	3,158	9.88	持帰り 9

北 津 軽 郡

区分 市町村	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
		有効投票	無効投票		
板柳町	6,653	6,055	598	8.99	持帰り 4 不受理 6
金木町	4,739	4,322	417	8.80	
中里町	4,155	3,851	304	7.32	
鶴田町	6,970	6,194	836	11.99	
市浦村	1,623	1,464	159	9.80	〃 1
小泊村	1,309	1,174	135	10.31	
北津軽郡計	25,449	23,000	2,449	9.62	持帰り 5 不受理 6

開 票 に 関 す る 調

上 北 郡

全 国 区

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
			有効投票	無効投票		
野辺地町		4,589	4,285	304	6.62	持帰り 1
上北町		3,417	2,895	522	15.27	
七戸町		4,683	4,149	534	11.43	
百石町		2,183	2,017	166	7.60	
十和田町		2,994	2,187	207	8.65	
横浜町		2,116	1,993	183	8.65	
六戸町		2,990	2,743	247	8.26	
天間林村		4,566	4,008	558	12.22	持帰り 1
甲地村		3,464	2,919	545	15.73	
下田村		2,143	1,804	339	15.82	持帰り 5
六ヶ所村		2,527	2,123	404	15.99	持帰り 1
上北郡計		35,072	31,063	4,009	11.43	持帰り 8

下 北 郡

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
			有効投票	無効投票		
田名部町		6,189	5,606	583	9.42	持帰り 2
川内町		3,100	2,816	284	9.16	
大湊町		5,344	5,125	219	4.10	
大畑町		3,774	3,367	407	10.78	
大間町		2,178	1,967	211	9.69	持帰り 2
東通村		3,746	3,318	428	11.43	不受理 1
風間浦村		1,452	1,340	112	7.71	
佐井村		1,838	1,723	115	6.26	
脇野沢村		1,564	1,425	139	8.89	不受理 1
下北郡計		29,185	26,687	2,498	8.56	持帰り 4 不受理 2

三 戸 郡

市町村	区分	投票総数	内 訳		無効投票率	備 考
			有効投票	無効投票		
三戸町		5,497	5,062	435	7.91	
五戸町		6,261	5,644	617	9.85	
田子町		3,418	3,117	301	8.81	
名川町		3,110	2,661	449	14.44	持帰り 7
階上村		2,542	2,311	231	9.09	不受理 1
福地村		1,500	1,365	135	9.00	
南郷村		2,932	2,597	335	11.43	持帰り 3
南部町		2,363	2,125	238	10.07	
倉石村		1,375	1,252	123	8.95	
新郷村		2,368	2,090	278	11.73	
三戸郡計		31,366	28,224	3,142	10.02	持帰り 10 不受理 1

三. 無効投票に関する調

全 国 区

区分	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を記載しなかったもの	自書しないもの	候補者の氏名を記載しなかったもの	議員の職に現に就いた者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
県 計	23	14,340	—	52	—	57	5	3,750	2	7,649	2,327	3,929	32,134		
市 計	9	5,255	—	10	—	20	2	958	—	2,986	752	1,619	11,605		
町 村 計	20	9,085	—	42	—	37	3	2,792	2	4,663	1,575	2,910	20,529		
東 郡 計	—	937	—	2	—	—	—	63	—	497	92	98	1,689		
西 郡 計	—	1,497	—	—	—	19	1	131	2	568	390	927	2,875		
中 郡 計	—	286	—	—	—	—	—	152	—	163	81	27	709		
南 郡 計	14	1,113	—	14	—	3	1	775	—	700	76	462	3,158		
北 郡 計	—	1,099	—	—	—	—	—	938	—	495	199	318	2,449		
上北郡計	5	1,807	—	—	—	6	—	399	—	916	409	467	4,009		
下北郡計	1	1,099	—	8	—	2	—	356	—	578	163	291	2,498		
三戸郡計	—	1,247	—	18	—	7	1	578	—	746	225	920	3,142		

区分	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を記載しなかったもの	自書しないもの	候補者の氏名を記載しなかったもの	議員の職に現に就いた者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
青 森 市	2	1,792	—	2	—	—	—	1	139	—	899	137	409	3,915	
弘 前 市	—	898	—	2	—	7	—	346	—	634	103	348	2,338		
八 戸 市	—	926	—	6	—	12	1	304	—	665	172	295	2,381		
黒 石 市	—	569	—	—	—	—	—	—	—	342	83	210	1,204		
五所川原市	—	496	—	—	—	—	—	—	—	245	175	183	1,099		
十和田市	1	276	—	—	—	—	—	169	—	191	26	88	751		
三 次 市	—	298	—	—	—	—	1	—	—	76	56	86	517		
市 計	3	5,255	—	10	—	20	2	958	—	2,986	752	1,619	11,605		

無効投票に関する調

東 津 軽 郡

全 国 区

市町村	区分	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したものの	候補者の氏名を自書しないもの	認し難いもの	記載したかを確認し難いもの	記載したものの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
平内町		—	—	991	—	2	—	—	—	—	—	—	—	248	37	49	727
蟹田町		—	—	97	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	—	8	190
今別町		—	—	165	—	—	—	—	—	—	—	—	—	59	—	10	228
蓬田村		—	—	98	—	—	—	—	—	—	—	—	—	98	37	15	188
平館村		—	—	61	—	—	—	—	—	—	19	—	—	49	1	13	143
三厩村		—	—	31	—	—	—	—	—	—	16	—	—	25	—	9	75
野内村		—	—	94	—	—	—	—	—	—	28	—	—	59	17	—	198
東津軽郡計		—	—	937	—	2	—	—	—	—	63	—	—	497	92	98	1 689

西 津 軽 郡

市町村	区分	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したものの	候補者の氏名を自書しないもの	認し難いもの	記載したかを確認し難いもの	記載したものの	議員の職に現にある者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
鱒ヶ沢町		—	—	187	—	—	—	7	1	56	—	—	—	79	28	29	981
木造町		—	—	381	—	—	—	—	—	—	—	—	—	129	198	141	789
深浦町		—	—	307	—	—	—	—	—	—	—	—	—	144	75	—	526
森田村		—	—	105	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	10	26	173
岩崎村		—	—	141	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	14	—	180
柏村		—	—	141	—	—	—	—	—	—	49	—	—	48	12	65	309
稲垣村		—	—	85	—	—	—	12	—	32	—	—	—	34	29	—	192
車力村		—	—	150	—	—	—	—	—	—	—	2	—	89	24	66	925
西津軽郡計		—	—	1,497	—	—	—	19	1	131	—	2	—	568	330	327	2,875

無効投票に関する調

中津軽郡

全国区

区分 市町村	成規の用紙を用 いないもの	候補者でない者 の氏名を記載し たもの	候補者となるこ とができない者 の氏名を記載し たもの	2人以上の候補 者の氏名を記載 したもの	被選挙権のない 候補者の氏名を 記載したもの	候補者の氏名を 記載し たもの	候補者の氏名を 自書しないもの	記載したかを確認 し難いもの	記載したかを確認 し難いもの	議員の職に現に ある者の氏名を 記載したもの	白紙 投票	単に雑事を記載 したもの	単に記号符号を 記載したもの	計
岩木村	—	158	—	—	—	—	—	145	—	—	122	63	—	488
相馬村	—	72	—	—	—	—	—	—	—	—	22	14	19	127
西目屋村	—	56	—	—	—	—	—	7	—	—	19	4	8	94
中津軽郡計	—	286	—	—	—	—	—	152	—	—	163	81	27	709

南津軽郡

区分 市町村	成規の用紙を用 いないもの	候補者でない者 の氏名を記載し たもの	候補者となるこ とができない者 の氏名を記載し たもの	2人以上の候補 者の氏名を記載 したもの	被選挙権のない 候補者の氏名を 記載したもの	候補者の氏名を 記載し たもの	候補者の氏名を 自書しないもの	記載したかを確認 し難いもの	記載したかを確認 し難いもの	議員の職に現に ある者の氏名を 記載したもの	白紙 投票	単に雑事を記載 したもの	単に記号符号を 記載したもの	計
藤崎町	—	—	—	—	—	—	—	248	—	—	96	—	60	404
大鰐町	—	122	—	2	—	1	—	163	—	—	112	4	44	448
尾上町	—	264	—	—	—	—	—	32	—	—	102	16	83	497
浪岡町	8	266	—	—	—	1	—	87	—	—	112	6	99	519
平賀町	9	138	—	9	—	—	—	96	—	—	92	18	109	465
常盤村	—	101	—	—	—	—	—	21	—	—	42	22	94	220
田舎館村	—	173	—	—	—	—	1	107	—	—	121	5	77	484
碓ヶ関村	9	49	—	9	—	1	—	21	—	—	23	5	16	121
南津軽郡計	14	1,113	—	14	—	3	1	775	—	—	700	76	462	3,158

無効投票に関する調

北 軽 津 郡

全 国 区

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	記載されたもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載したかを確認し難いもの	記載したものを現に現に	議員の職に現に現に	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
板柳町	—	—	316	—	—	—	—	—	—	—	—	59	—	—	119	24	80	598
金木町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	228	—	—	110	79	—	417
中里町	—	—	121	—	—	—	—	—	—	—	—	43	—	—	63	50	27	304
鶴田町	—	—	490	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	26	190	836
市浦村	—	—	107	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	—	21	159
小泊村	—	—	65	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	42	20	—	135
北津軽郡計	—	—	1,099	—	—	—	—	—	—	—	—	338	—	—	495	199	318	2,449

上 北 郡

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	候補者となることができない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	記載されたもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自書しないもの	候補者の氏名を認し難いもの	記載したかを確認し難いもの	記載したものを現に現に	議員の職に現に現に	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
野辺地町	—	5	141	—	—	—	—	—	—	—	—	34	—	—	90	8	25	304
上北町	—	—	163	—	—	—	—	—	—	—	—	86	—	—	118	14	141	522
七戸町	—	—	205	—	—	—	—	—	—	—	—	29	—	—	162	197	—	534
百石町	—	—	69	—	—	—	—	—	—	—	—	51	—	—	22	23	—	166
十和田町	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—	—	18	—	—	44	45	—	207
横浜町	—	—	60	—	—	—	—	—	—	—	—	37	—	—	28	31	27	183
六戸町	—	—	140	—	—	—	—	—	—	—	—	96	—	—	39	4	28	247
天間林村	—	—	288	—	—	—	—	—	—	—	—	27	—	—	80	95	128	558
甲地村	—	—	288	—	—	—	—	—	—	—	—	68	—	—	80	109	—	545
下田村	—	—	198	—	—	—	—	—	9	—	—	13	—	—	137	—	48	399
六ヶ所村	—	—	215	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	116	3	70	404
上北郡計	—	5	1,807	—	—	—	—	—	6	—	—	399	—	—	916	409	467	4,009

無効投票に関する調

下北郡

全国区

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自署しないもの	認し難いものを記載したかを確認し難いもの	議員の職に現にあり者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
田名部町	—	—	251	—	5	—	—	—	94	—	149	19	125	589
川内町	—	—	126	—	—	—	1	—	49	—	58	11	99	284
大湊町	—	—	86	—	—	—	1	—	27	—	71	20	14	219
大畑町	—	—	93	—	2	—	—	—	161	—	69	22	60	407
大間町	—	—	80	—	—	—	—	—	93	—	64	1	99	211
東通村	—	1	242	—	—	—	—	—	93	—	85	67	—	428
風間浦村	—	—	77	—	—	—	—	—	—	—	28	—	7	112
佐井村	—	—	71	—	1	—	—	—	19	—	17	9	4	115
脇野沢村	—	—	73	—	—	—	—	—	—	—	97	20	9	199
下北郡計	1	1	1,099	—	8	—	2	—	356	—	578	163	291	2,498

三戸郡

区分 市町村	いないもの	成規の用紙を用いたもの	候補者でない者の氏名を記載したもの	候補者となることのできなない者の氏名を記載したもの	2人以上の候補者の氏名を記載したもの	被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	外他事を記載したもの	候補者の氏名を自署しないもの	認し難いものを記載したかを確認し難いもの	議員の職に現にあり者の氏名を記載したもの	白紙投票	単に雑事を記載したもの	単に記号符号を記載したもの	計
三戸町	—	—	247	—	—	—	—	—	41	—	92	55	—	495
五戸町	—	—	190	—	18	—	1	1	114	—	133	65	95	617
田子町	—	—	97	—	—	—	1	—	107	—	20	11	65	901
名川町	—	—	90	—	—	—	—	—	153	—	174	4	28	449
階上村	—	—	92	—	—	—	3	—	41	—	48	28	19	231
福地村	—	—	74	—	—	—	—	—	19	—	14	9	19	135
南郷村	—	—	165	—	—	—	—	—	94	—	63	44	29	335
南部町	—	—	118	—	—	—	—	—	22	—	77	3	18	238
倉石村	—	—	42	—	—	—	—	—	31	—	35	3	12	123
新郷村	—	—	132	—	—	—	2	—	16	—	90	9	35	278
三戸郡計	—	—	1,247	—	18	—	7	1	578	—	746	225	320	3,142

四. 候補者得票数に関する調

全 国 区

届出 番号	党派	候 補 者	得 票	届出 番号	党派	候 補 者	得 票
1	自	こうのぎ いち 河野義一	3,679.270	21	自	さいとうとき ろう 斎藤時郎	1,770.600
2	自	たかの かづ お 高野 一夫	1,825.176	22	中	あいかわ よし す 鮎川 義介	2,339
3	無	おおき みのる 大木 実	1,935	23	社	ささき けん よ 佐々木 庸	2,996
4	社	やまもと いさぶろう 山本伊三郎	2,695.581	24	自	やまもと す ぎ 山本 守 ぎ	2,922.373
5	無	の だ こう さく 野田 耕作	382	25	無	なか お たつ よし 中尾 辰 義	175
6	自	もり た よし え 森 田 義 衛	5,431	26	無	みぞぶち はる じ 溝 淵 春 次	157
7	緑	か が やま ゆき お 加賀山 之雄	8,829	27	共	すずき 木 いち ぞう 鈴 木 市 蔵	4,252.120
8	自	た なか せい いち 田 中 清 一	4,220.419	28	無	かま だ ふみ を 鎌 田 文 雄	132.999
9	自	にな だ でん 花 田 伝	1,222	29	緑	とよ た まさ たか 豊 田 雅 孝	2,790
10	社	つばき せい いち 椿 精 一	1,368.949	30	無	ふく やす えん てい 福 安 堰 堤	8
小 計			31,582.395	小 計			17,483.092
11	自	たけまさ そういちろう 武正 総一郎	241	91	無	たぶち ひさし 田 淵 久	479
12	自	よねだ まさ ふみ 米 田 正文	10,656	92	自	おおやま しょう いち 青 山 正 一	2,681
13	社	まつもと じいちろう 松本 治一郎	964	93	自	せきや てい ぞう 関 屋 悌 蔵	244
14	自	の もと しな きち 野 本 品 吉	2,212	94	社	あくね のぼる 阿 具 根 登	1,659
15	自	なか がわ げんいちろう 中 川 源一郎	622	95	自	よこやま フ ク 横 山 フク	6,250.737
16	無	はやし しお 林 塩	9,511.215	96	社	の がみ げん 野 上 元	9,738
17	自	くすもと まさ やす 楠 本 正 康	2,708	97	社	やまぐち しげ ひこ 山 口 重 彦	1,818
18	自	よしだ セ イ 吉 田 セイ	2,036	98	自	おおき かず お 青 木 一 男	2,665.820
19	社	よない いち ろう 米 内 一 郎	9,916	99	社	おかさぶ ろう 岡 三 郎	9,936.420
20	自	うえがき や いちろう 植 垣 弥 一郎	8,299	40	自	すずき きよ ち 鈴 木 恭 一	7,245.813
小 計			41,165.215	小 計			42,717.790

候補者得票数に関する調

全 国 区

届出番号	党派	候補者				得票	届出番号	党派	候補者				得票
41	無	くさ	ま	とき	みち	81	61	無	こま	ざわ	ふみ	お	777.998
		草	間	時	光				駒	沢	文	雄	
42	社	おお	くら	せい	いち	5,991.618	62	自	かん	ばやし	ちゆう	じ	2,986
		大	倉	精	一				上	林	忠	次	
43	社	なが	おか	みつ	じ	292	63	社	えん	や	たけ	お	892
		永	岡	光	治				塩	谷	竹	雄	
44	社	いの	うえ	ぜん	じゆう	9,600.590	64	自	おお	たに	よ	お	2,995
		井	上	善	十郎				大	谷	し	雄	
45	無	く	ぼ	た	かつ	118	65	社	も	とい	まさ	しち	599
		久	保	田	勝太				基		政	七	
46	諸	しみ	ず		わた	184	66	無	かわ	ち	きん	じ	122
		清	水		る				河	内	金	次郎	
47	自	しげ	まさ	よう	とく	9,707	67	共	す	どう	ご	ろう	695
		重	政	庸	徳				須	藤	五	郎	
48	自	やま	ざわ	また	つ	1,059	68	諸	あさ	ぬま	み	ち	922
		山	沢	た	つ				浅	沼	美	知	
49	無	な	ら	しげ	やす	89	69	自	かじ	わら	も	か	8,126
		奈	良	繁	保				梶	原	茂	嘉	
50	無	いの	うえ	ナ	ツ	1,190.969	70	諸	い	とう	ぎ	けん	85.458
		井	上	ツ	エ				伊	藤	義	賢	
小 計					22,240.571	小 計					16,880.456		
51	社	なか	むら	じゆん	ぞう	5,095	71	自	ま	さき	かつ	じ	2,941
		中	村	順	造				真	崎	勝	次	
52	無	さ	ち	よ	こ	229	72	自	い	たに	のり	お	22,180
		迫	千	代	子				石	谷	憲	男	
53	自	しも	むら	さだ	む	4,058	73	自	か	しま	もり	の	19,601.762
		下	村	定	む				鹿	島	守	之	
54	自	あま	り	き	ち	9,390	74	無	よし	さき	ち	あ	2,684
		天	の	良	吉				吉	崎	千	秋	
55	社	かわ	かみ	よしみ		812.879	75	無	い	だ	つぎ	お	1,098
		川	上	嘉					石	田	次	男	
56	社	く	ぼ	ひと	し	4,014	76	自	きた	ばた	き	しん	997
		久	保	等					北	晶	き	真	
57	無	うし	だ	ひろ	し	26,111	77	無	い	とう		し	260.709
		牛	田	寛					伊	藤		修	
58	無	こ	ら	と	み	1,906	78	中	お	がわ	いち	き	782
		高	良						小	川	市	吉	
59	社	むか	い	なが	とし	2,578	79	社	とよ	せ	てい	いち	107
		向	井	長	年				豊	瀬	禎	一	
60	無	き	ど	ちう	あい	2,906	80	自	おお	つぼ	とう	いち	2,901
		城	戸	忠	愛				大	坪	藤	市	
小 計					56,433.879	小 計					46,832.471		

候補者得票数に関する調

全 国 区

届出 番号	党派	候 補 者	得 票	届出 番号	党派	候 補 者	得 票
81	社	ごとうとしお 後藤 俊 男	476.846	101	無	こ だい よ へ 小 平 芳 平	480
82	緑	たか せ そう た ろ 高 瀬 庄 太 郎	2,292	102	社	あか まつ つね こ 赤 松 常 子	1,517
83	無	つじ まさ のぶ 辻 政 信	6,301	103	緑	まい だ ひさ きち 前 田 久 吉	4,124
84	無	かね の た さ ろ 金 野 太 三 郎	208	104	社	つる その てつ お 鶴 園 哲 夫	8,649.750
85	自	おか むら ぶん し ろ 岡 村 文 四 郎	12,058	105	無	みや こし き すけ 宮 越 喜 助	363
86	無	かな まる と み を 金 丸 富 夫	14,558	106	無	やま だ よし た ろ 山 田 義 太 郎	199
87	自	か しま と し お 鹿 島 俊 雄	4,558.902	107	諸	ひら た う ちゆう 平 田 宇 宙	197
88	無	はら しま こう じ 原 島 宏 治	569	108	諸	こ が はじめ 古 賀 一	354
89	社	ち ば ち よ せ 千 葉 千 代 世	839	109	無	えん どう さぶ ろ 遠 藤 三 郎	276.562
90	無	くさ か たかし 日 下 隆	262	110	無	こう の こう めい 河 野 孔 明	101.105
小 計			42,097.148	小 計			16,202.017
91	無	すぎ やま り いち 杉 山 利 一	497	111	無	ね も と てい じ 根 木 貞 治	194
92	中	まつ ぎき けん きち 松 崎 健 吉	443	112	無	さい と う みち あつ 斎 藤 道 厚	89.378
93	社	き むら き はち ろ 木 村 晴 八 郎	4,059	113	無	よこ やま きく いち 横 山 菊 市	155.228
94	社	しば や か なめ 柴 谷 かなめ	7,912	114	無	い と う ただ て 伊 藤 忠 輝	55.813
95	自	とく なが まさ とし 徳 永 正 利	4,183	115	無	わた の しやう た ろ 綿 野 庄 太 郎	73
96	無	み ねん ゆめ ろ む 美 念 ゆめろむ	79	116	無	おき はら とし を 沖 原 紀 夫	—
97	諸	お だ とし よ 小 田 俊 与	283	117	無	え さき なみ を 江 崎 波 雄	99
98	自	こ にし ひで を 小 西 英 雄	1,255	118	無	ごん どう しやう いち 近 藤 昌 一	61
99	自	かわ かみ ため じ 川 上 ため 治	1,025.086	119	無	みず の てつ お 水 野 鉄 雄	90.242
100	緑	おく お め お 奥 村 め お	8,799	120	無	か と う だい ぞう 加 藤 大 三	202
小 計			28,475.086	小 計			1,019.661

候補者得票数に関する調

全 国 区

届出番号	党派	候補者	得票	(A) 得票総数	363,731.510
121	諸	なか 子 たけ いち 仲 武 一	178	(B) 法第68条の2第2項の規定による按分の際切り捨てた票数	0.490
122	無	ふく しま まさる 福 島 勝	92	(C) いずれの候補者にも属しない票数	3
123	無	はやし ぶ 一 林 武 一	991.729	(D) 有効投票数 (A)+(B)+(C)	963,795
				(E) 無効投票数	92,194
小		計	601.729	投票総数 (D) + (E)	395,869

市町村	1 河野義一 (自)	2 高野かつ夫 (自)	3 大木実 (無)	4 山本伊三郎 (社)	5 野田耕作 (無)	6 森田よし衛 (自)	7 加賀山崎之雄 (緑)	8 田中清一 (自)	9 花田伝 (自)	10 穂積せい一 (社)	小計
青森市	740.140	314.693	182	444.175	28	624	1,993	286.158	205	130.115	4,947.221
弘前市	449.448	267.518	294	443.426	41	613	1,536	216	119	139	4,052.392
八戸市	525.864	295	275	282.737	57	607	816	249	118	169	3,394.601
黒石市	310.652	246	61	115.526	9	57	257	409	26	14	1,505.178
五所川原市	122.766	41	54	124.732	23	104	169	337.152	49	23.078	1,047.728
十和田市	18	51	20	172.620	4	294	63	160	27	176	985.620
三沢市	96.934	20	99	85.723	15	148	107	48	62	22	643.657
市計	2,263.804	1,175.151	865	1,668.939	177	2,447	4,941	1,705.310	606	667.193	16,516.397

市町村	11 武正縫一郎 (自)	12 米田まさふみ (自)	13 松本治一郎 (社)	14 野木もとしなきち (自)	15 中川源一郎 (自)	16 林しお (無)	17 楠本とまさやす (自)	18 吉田セイ (自)	19 米内いちろう (社)	20 植垣弥一 (自)	小計
青森市	23	667	187	304	95	2,525.442	737	341	647	1,177	6,703.442
弘前市	24	1,416	150	538	63	1,146.550	422	253	442	904	4,758.550
八戸市	99	241	156	238	53	950.266	392	303	618	2,797	5,787.266
黒石市	10	388	16	133	18	251.489	80	25	197	179	1,297.489
五所川原市	7	1,350	29	132	31	287.542	92	63	212	101	2,304.542
十和田市	6	56	21	41	6	139.885	38	28	113	393	841.885
三沢市	1	51	16	7	10	102.755	50	146	122	136	641.755
市計	110	4,169	575	1,393	276	5,403.929	1,811	1,159	2,351	5,087	22,334.929

候補者得票数に関する調

全 国 区

届出番号	党派	候補者	得票	(A) 得票総数	363,731.510
121	諸	なか 子 たけ いち 仲 武 一	178	(B) 法第68条の2第2項の規定による按分の際切り捨てた票数	0.490
122	無	ふく しま まさる 福 島 勝	92	(C) いずれの候補者にも属しない票数	3
123	無	はやし ぶ いち 林 武 一	991.729	(D) 有効投票数 (A)+(B)+(C)	963,795
				(E) 無効投票数	92,194
小		計	601.729	投票総数 (D) + (E)	395,869

市町村	1 河野義一 (自)	2 高野かつ夫 (自)	3 大木実 (無)	4 山本伊三郎 (社)	5 野田耕作 (無)	6 森田よし衛 (自)	7 加賀山崎之雄 (緑)	8 田中清一 (自)	9 花田伝 (自)	10 穂積せいいち (社)	小計
青森市	740.140	314.693	182	444.175	28	624	1,993	286.158	205	130.115	4,947.221
弘前市	449.448	267.518	294	443.426	41	613	1,536	216	119	139	4,052.392
八戸市	525.864	295	275	282.737	57	607	816	249	118	169	3,934.601
黒石市	310.652	246	61	115.526	9	57	257	409	26	14	1,505.178
五所川原市	122.766	41	54	124.732	23	104	169	337.152	49	23.078	1,047.728
十和田市	18	51	20	172.620	4	294	63	160	27	176	985.620
三沢市	96.934	20	99	85.723	15	148	107	48	62	22	643.657
市計	2,263.804	1,175.151	865	1,668.939	177	2,447	4,941	1,705.310	606	667.193	16,516.397

市町村	11 武正縫一郎 (自)	12 米田まさふみ (自)	13 松本治一郎 (社)	14 野木としなきち (自)	15 中川源一郎 (自)	16 林しお (無)	17 楠本まさやす (自)	18 吉田セイ (自)	19 米内いちろう (社)	20 植垣弥一 (自)	小計
青森市	23	667	187	304	95	2,525.442	737	341	647	1,177	6,703.442
弘前市	24	1,416	150	538	63	1,146.550	422	253	442	904	4,758.550
八戸市	99	241	156	238	53	950.266	392	303	618	2,797	5,787.266
黒石市	10	388	16	133	18	251.489	80	25	197	179	1,297.489
五所川原市	7	1,350	29	132	31	287.542	92	63	212	101	2,304.542
十和田市	6	56	21	41	6	139.885	38	28	113	393	841.885
三沢市	1	51	16	7	10	102.755	50	146	122	136	641.755
市計	110	4,169	575	1,393	276	5,403.929	1,811	1,159	2,351	5,087	22,334.929

候補者得票数に関する調

全国区

市町村	21 森藤時郎 (自)	22 鮎川義介 (中)	23 佐々木庸 (社)	24 山本すぎ (自)	25 中尾辰義 (無)	26 溝淵春次 (無)	27 鈴木市蔵 (共)	28 鎌田文雄 (無)	29 豊田雅孝 (緑)	30 福安堰堤 (無)	小計
青森市	149,916	422	956	959,821	29	54	1,128,778	14	614	2	9,129,515
弘前市	194,047	379	445	423,570	32	38	654,427	17	285	—	2,462,044
八戸市	78,756	321	649	306,260	36	12	395,749	24,518	166	—	1,989,277
黒石市	29,666	70	92	97,479	1	3	275,800	4	69	—	509,999
五所川原市	46,926	400	137	129,267	3	1	102,265	4	72	—	895,458
十和田市	21,850	84	45	42,979	8	3	91,872	—	38	—	394,101
三沢市	37	49	75	67,276	5	2	68,095	2	14	—	919,371
市計	546,161	1,719	1,733	1,366,046	114	113	2,716,980	65,518	1,252	2	9,627,705

市町村	31 田淵久 (無)	32 青山正一 (自)	33 関屋栄蔵 (自)	34 阿貝登 (社)	35 横山フク (自)	36 野上元 (社)	37 山口重彦 (社)	38 青木一男 (自)	39 岡三郎 (社)	40 鈴木恭一 (自)	小計
青森市	192	181	92	105	1,000,104	1,816	112	249,966	1,018	814,218	5,519,688
弘前市	35	58	52	30	506,803	1,021	228	265,481	1,109,937	576,569	3,876,790
八戸市	52	1,551	96	29	777,954	651	261	934	750	578,254	5,620,208
黒石市	8	10	9	2	139,984	187	168	95	425,979	227,197	1,200,160
五所川原市	5	24	9	9	251,440	197	34	46	311,990	205,734	1,087,164
十和田市	—	6	24	5	209,789	151	32	22	360,988	169,128	979,899
三沢市	7	12	17	8	275,642	127	41	45	164	85,907	782,549
市計	299	1,842	167	188	3,155,710	4,150	876	1,596,847	4,134,894	2,657,007	19,066,458

市町村	41 草間時光 (無)	42 大倉精一 (社)	43 永岡光治 (社)	44 井上善十郎 (社)	45 久保田勝太郎 (無)	46 清水水互 (諸)	47 重政庸徳 (自)	48 山沢またつ (自)	49 奈良繁保 (無)	50 井上ナツエ (無)	小計
青森市	9	1,259,725	64	850,291	12	29	405	922	6	199,706	9,198,722
弘前市	10	650	32	993,905	7	28	1,026	113	7	241,691	2,447,996
八戸市	22	447	37	199,199	19	20	597	202	9	198,806	1,684,999
黒石市	—	191	8	145,138	7	1	189	25	—	18,860	584,998
五所川原市	4	224,768	16	90	2	5	416	29	6	18	810,768
十和田市	—	111	1	46,984	6	2	277	93	4	27,015	567,999
三沢市	2	166	18	99,191	4	1	17	65	—	18,808	924,999
市計	41	3,043,493	176	1,698,102	57	80	2,927	849	26	662,886	9,560,481

候補者得票数に関する調

全 国 区

市町村	中村順造 (社) 51	追代子 (無) 52	下村定 (自) 53	天の良吉 (自) 54	川上嘉 (社) 55	久保等 (社) 56	牛田寛 (無) 57	高良とみ (無) 58	向井長年 (社) 59	城戸忠愛 (無) 60	小計
青森市	949	26	704	3,214	108,658	998	4,227	405	499	529	11,587,658
弘前市	874	24	760	126	123,168	529	2,967	979	212	51	6,099,168
八戸市	942	25	499	1,644	91,264	560	5,158	262	448	90	9,719,264
黒石市	87	6	93	53	30,043	219	950	32	109	246	1,819,043
五所川原市	91	11	54	20	26,888	168	941	51	109	159	1,024,888
十和田市	67	8	59	25	43,032	107	1,099	29	55	14	1,446,032
三沢市	30	5	106	14	15,627	171	1,274	45	14	7	1,681,627
市計	3,040	105	2,275	5,096	438,680	2,746	15,956	1,197	1,380	1,084	33,317,680

市町村	駒沢文雄 (無) 61	上林忠次 (自) 62	塩治竹雄 (社) 63	大谷よし雄 (自) 64	基政七 (社) 65	河内金次郎 (無) 66	須藤五郎 (共) 67	浅沼美知雄 (諸) 68	梶原茂嘉 (自) 69	伊藤義賢 (諸) 70	小計
青森市	78	57	60	182	146	19	107	47	1,119	9,918	1,818,918
弘前市	70	96	196	159	44	33	115	25	621	15,569	1,908,569
八戸市	79,481	319	79	187	242	19	74	54	1,596	15,818	2,665,299
黒石市	76	12	71	79	9	1	18	9	245	1,250	515,250
五所川原市	93	10	59	81	13	1	24	7	100	2,727	390,727
十和田市	21	100	4	25	2	—	18	6	198	—	314
三沢市	11	8	9	12	10	1	10	6	168	—	229
市計	368,481	542	472	713	466	68	366	154	3,987	44,682	7,181,163

市町村	真崎勝次 (自) 71	石谷憲男 (自) 72	鹿島守之助 (自) 73	吉崎千秋 (無) 74	石田次男 (無) 75	北島教真 (自) 76	伊藤修 (無) 77	小川吉 (中) 78	豊瀬 (社) 79	大坪藤市 (自) 80	小計
青森市	78	3,998	1,970	425	172	126	49	24,926	279	14	6,355,751
弘前市	550	1,409	1,413	079	251	82	99	46,610	104	10	191,409,683
八戸市	205	418	1,942	949	132	98	84	9,151	57	12	135,249,100
黒石市	124	587	306	275	82	34	2	11,750	11	1	94,125,025
五所川原市	293	195	109	466	166	10	5	12,272	50	2	117,959,798
十和田市	15	352	1,480	947	84	23	4	6	7	4	78,205,947
三沢市	16	141	634	840	37	22	6	2	15	2	909,840
市計	1,281	6,500	7,257	975	924	395	189	112,109	517	45	18,115,084

候補者得票数に関する調

全国区

市町村	後藤 藤俊男 (社) 81	高瀬 瀬太郎 (緑) 82	辻 政信 (無) 89	かね野 太三郎 (無) 84	岡村 文四郎 (自) 85	かなまる 富夫 (無) 86	鹿島 俊雄 (自) 87	原島 宏治 (無) 88	千代 千代世 (社) 89	日下 隆 (無) 90	小計
青森市	82.197	484	1,207	48	987	2,512	820.972	127	127	65	6,459.569
弘前市	95.097	589	1,214	28	770	1,269	637.825	67	125	21	4,815.922
八戸市	91	427	1,007	46	809	1,242	422.048	51	130	34	4,259.048
黒石市	13.166	18	104	—	209	205	109.554	6	19	3	686.720
五所川原市	18	91	184	6	168	763	141.533	29	39	6	1,985.533
十和田市	14.120	66	148	3	1,467	93	108.931	6	25	8	1,999.051
三沢市	10.065	43	169	7	244	449	159.095	7	23	7	1,118.160
市計	323.645	1,658	4,033	138	4,654	6,533	2,399.358	293	488	144	20,664.003

市町村	杉山 利一 (無) 91	まつ崎 健吉 (中) 92	木村 福八郎 (社) 93	しばや かなめ (社) 94	とくなが まさと (自) 95	美念 ゆめろむ (無) 96	小田 俊与 (諸) 97	小西 英雄 (自) 98	川上 為治 (自) 99	奥むめお (緑) 100	小計
青森市	73	55	437	2,229	775	8	21	314	206.939	2,193	6,911.399
弘前市	51	123	332	1,010	200	16	41	101	124.828	1,495	3,493.828
八戸市	51	27	1,692	980	238	10	28	77	199.733	861	4,103.733
黒石市	5	3	60	196	58	6	2	32	16.955	311	689.955
五所川原市	50	13	32	177	109	—	8	47	28.111	313	784.111
十和田市	8	4	52	20	171	2	2	10	63.967	248	580.967
三沢市	13	16	581	82	61	5	1	29	40.372	129	957.972
市計	251	241	3,193	4,694	1,612	47	103	610	620.305	5,550	16,921.305

市町村	小平 芳平 (無) 101	あかまつ 常子 (社) 102	まえだ 久吉 (緑) 103	つるぞの 哲夫 (社) 104	みやこ しきすけ (無) 105	やま 義太郎 (無) 106	ひら 田宇治 (諸) 107	古賀 一 (諸) 108	遠藤 三郎 (無) 109	河野 孔明 (無) 110	小計
青森市	69	283	734	1,093.952	87	27	10	48	51	23.857	2,420.809
弘前市	56	248	524	357.938	79	33	15	44	34.061	14.549	1,405.548
八戸市	56	225	373	110	93	20	11	31	47	26.132	932.132
黒石市	7	33	82	191.975	2	6	1	10	8.020	4.346	345.341
五所川原市	14	40	133	281.982	7	6	1	9	3.009	4.233	549.224
十和田市	11	67	82	205	14	2	6	4	4.011	—	395.011
三沢市	5	36	35	45	10	8	5	18	3	1.065	166.065
市計	212	932	2,013	2,285.847	232	102	49	164	150.101	74.182	6,214.130

候補者得票数に関する調

全国区

市町村	根ねもと 本貞治 (無)	さいとう 藤道厚 (無)	よこやま 山菊市 (無)	伊藤 藤忠輝 (無)	わたの 野庄太郎 (無)	おきはら 原紀夫 (無)	江崎 さきなみ 波雄 (無)	近藤 藤昌一 (無)	みずの 野鉄雄 (無)	加か 藤大三 (無)	小計
青森市	96	9,089	14,892	7,951	20		6	8	6,047	26	127,979
弘前市	96	9,949	5,194	6,817	3		16	8	9,061	28	122,021
八戸市	49	5,249	21,049	6,029	4		19	5	9	92	198,915
黒石市	2	1,999	2,015	—	—		9	1	3,024	9	15,972
五所川原市	6	5,079	8,559	—	8		9	—	5,017	6	41,649
十和田市	4	1,150	4,216	—	5		9	2	4	9	25,966
三沢市	8	—	4,957	1	—		1	1	1	4	20,957
市計	135	25,831	60,276	21,197	40		45	25	37,149	102	491,453

市町村	なか 子武 (諸)	ふくしま 島勝 (無)	はやし 林武 (無)	小計	得票 総数 (A)	法第68条 の2第2 項の規 定に基 づいて の投票 率 (B)	いづれ の候補 者にも 属しな い票 数 (C)	有効 投票 数 (D)	(A)+(B)+(C)	無効 投票 数 (E)	投票 総数 (D)+(E)
青森市	21	11	94,554	66,554	58,579,959	0.041	—	58,580	9,915	61,895	
弘前市	5	15	41,446	61,446	38,999,957	0.049	—	38,940	2,998	41,278	
八戸市	6	19	22,791	41,791	42,762,979	0.027	—	42,763	2,981	45,144	
黒石市	—	5	16,509	21,509	10,449,979	0.021	—	10,444	1,204	11,648	
五所川原市	64	1	8,457	79,457	11,294,987	0.019	—	11,295	1,099	12,994	
十和田市	5	4	4,114	19,114	10,477,992	0.008	—	10,478	751	11,229	
三沢市	—	9	9,245	6,245	7,794,997	0.009	—	7,795	517	8,912	
市計	101	52	131,056	284,056	180,294,844	0.156	—	180,295	11,605	191,900	

東津軽郡

市町村	河野 義一 (自)	たか 野かつ 夫 (自)	おおき 木実 (無)	やまもと 山本伊三 郎 (社)	野の 田耕作 (無)	もり 森田義 衛 (自)	加か 賀山 之雄 (緑)	田中 清一 (自)	はな 田伝 (自)	つばき 椿精一 (社)	小計
平内町	19	72	21	98,744	4	78	209	94	20	2	485,744
蟹田町	—	1	14	2,400	9	22	49	20	16	—	127,400
今別町	5	—	1	90,600	—	24	59	12	2	—	199,600
蓬田村	4	—	8	52	2	15	86	8	1	1	177
平舘村	9	1	9	7	1	91	104	41	11	—	208
三既村	1	2	2	19,764	—	11	27	4	—	—	60,764
野内村	42	45	7	14,992	2	92	198	40	58	2,092	440,424
東津軽郡計	68	121	62	158,900	12	213	726	159	108	5,032	1,632,932

候補者得票数に関する調

全国区

市町村	根ねもと 本貞治 (無)	さいとう 藤道厚 (無)	よこやま 山菊市 (無)	伊藤 藤忠輝 (無)	わたの 野庄太郎 (無)	おきはら 原紀夫 (無)	江崎 さきなみ 波雄 (無)	近藤 藤昌一 (無)	みずの 野鉄雄 (無)	加か 藤大三 (無)	小計
青森市	96	9,089	14,892	7,951	20		6	8	6,047	26	127,979
弘前市	96	9,949	5,194	6,817	3		16	8	9,061	28	122,021
八戸市	49	5,249	21,049	6,029	4		19	5	9	92	198,915
黒石市	2	1,999	2,015	—	—		9	1	3,024	9	15,972
五所川原市	6	5,079	8,559	—	8		9	—	5,017	6	41,649
十和田市	4	1,150	4,216	—	5		9	2	4	9	25,966
三沢市	8	—	4,957	1	—		1	1	1	4	20,957
市計	135	25,831	60,276	21,197	40		45	25	37,149	102	491,453

市町村	なかこ 子武一 (諸)	ふくしま 福島勝 (無)	はやし 林武一 (無)	小計	得票 総数 (A)	法第68条 の2第2 項の規 定による 按分り 票数 (B)	いづれ の候補 者にも 属しな い票数 (C)	有効 投票 数 (D)	(A)+(B)+(C)	無効 投票 数 (E)	投票 総数 (D)+(E)
青森市	21	11	94,554	66,554	58,579,959	0.041	—	58,580	9,915	61,895	
弘前市	5	15	41,446	61,446	38,999,957	0.049	—	38,940	2,998	41,278	
八戸市	6	19	22,791	41,791	42,762,979	0.027	—	42,763	2,981	45,144	
黒石市	—	5	16,509	21,509	10,449,979	0.021	—	10,444	1,204	11,648	
五所川原市	64	1	8,457	79,457	11,294,987	0.019	—	11,295	1,099	12,994	
十和田市	5	4	4,114	19,114	10,477,992	0.008	—	10,478	751	11,229	
三沢市	—	9	9,245	6,245	7,794,997	0.009	—	7,795	517	8,912	
市計	101	52	131,056	284,056	180,294,844	0.156	—	180,295	11,605	191,900	

東津軽郡

市町村	河野 義一 (自)	たか 野かつ 夫 (自)	おおき 木実 (無)	やまもと 山本伊三 郎 (社)	野の 田耕作 (無)	もり 森田よし 衛 (自)	加か 賀やま ゆき 雄 (緑)	田中 なかせ い 一 (自)	はな 田だ 伝 (自)	つばき 椿精一 (社)	小計
平内町	19	72	21	98,744	4	78	209	94	20	2	485,744
蟹田町	—	1	14	2,400	9	22	49	20	16	—	127,400
今別町	5	—	1	90,600	—	24	59	12	2	—	199,600
蓬田村	4	—	8	52	2	15	86	8	1	1	177
平舘村	9	1	9	7	1	91	104	41	11	—	208
三既村	1	2	2	19,764	—	11	27	4	—	—	60,764
野内村	42	45	7	14,992	2	92	198	40	58	2,092	440,424
東津軽郡計	68	121	62	158,900	12	213	726	159	108	5,032	1,632,932

候補者得票数に関する調

東 津 軽 郡											全 国 区	
市町村	武正 隆一郎 (自)	米田 正文 (自)	松本 治一郎 (社)	野本 吉 (自)	中川 源一郎 (自)	林 嶺 (無)	楠本 正康 (自)	吉田 セイ (自)	米内 一郎 (社)	植垣 弥一郎 (自)	小計	
平内町	2	92	10	8	1	116.894	47	9	97	107	429.894	
蟹田町	—	65	4	—	—	38.916	16	3	18	112	256.916	
今別町	—	72	1	—	1	46	6	2	14	4	146	
蓬田村	1	11	1	—	—	24.960	4	1	18	20	80.960	
平館村	—	9	2	—	4	36	8	9	10	—	78	
三厩村	—	23	—	2	—	35	—	2	1	4	67	
野内村	1	60	9	—	1	138.926	29	4	28	96	366.926	
東津軽郡計	4	332	27	10	7	436.696	110	30	126	343	1,425.696	

市町村	斎藤 時郎 (自)	鮎川 義介 (中)	佐々木 庸 (社)	山本 すぎ (自)	中尾 辰義 (無)	溝淵 春次 (無)	鈴木 木市蔵 (共)	鎌田 文雄 (無)	豊田 雅孝 (緑)	福安 堰堤 (無)	小計
平内町	29.893	9	8	10.256	2	—	14.697	1	36	—	104.846
蟹田町	56	16	—	9.600	—	2	19.478	3	13	—	119.078
今別町	—	3	12	3.400	—	—	6.580	—	77	—	101.980
蓬田村	1	1	3	5	—	—	22	—	8	—	40
平館村	44	1	3	4	—	2	2	1	1	—	58
三厩村	1	4	—	4.235	—	—	21.878	—	43	—	74.119
野内村	—	8	5	16.607	4	1	25.568	—	8	—	68.175
東津軽郡計	131.893	36	31	53.098	6	5	112.201	5	186	—	566.192

市町村	田淵 久 (無)	青山 正一 (自)	せきや 悌蔵 (自)	阿具 根登 (社)	横山 フク (自)	野上 元 (社)	山口 重彦 (社)	青木 一男 (自)	岡 三郎 (社)	鈴木 恭一 (自)	小計
平内町	—	47	—	1	41	134	4	22	92	94.303	435.303
蟹田町	—	5	1	1	27.777	65	23	2	36	35.519	196.296
今別町	16	19	—	—	23	66	3	5	65	27.419	224.419
蓬田村	3	7	—	—	67	44	14	4	34	6	179
平館村	—	41	—	—	22	60	6	7	31	14	181
三厩村	—	3	—	—	1	41	—	2	36	16.121	99.121
野内村	—	13	—	63	36	159	1	14	69	64.431	419.431
東津軽郡計	19	135	1	65	217.777	569	51	56	363	257.793	1,734.570

候補者得票数に関する調

東 津 軽 郡

全 国 区

市 町 村	草間時光 <small>(無)</small> 41	大倉精一 <small>(社)</small> 42	永岡光治 <small>(社)</small> 43	井上善十郎 <small>(社)</small> 44	久保田勝太郎 <small>(無)</small> 45	清水みず <small>(諸)</small> 46	重政庸徳 <small>(自)</small> 47	山沢またつ <small>(自)</small> 48	奈良繁保 <small>(無)</small> 49	井上ナツエ <small>(無)</small> 50	小 計
平内町	1	78	2	13.684	1	—	56	—	—	6.916	158
蟹田町	—	7	3	6	—	2	55	5	4	1	89
今別町	—	—	1	94.690	—	—	31	—	—	2.909	128.999
蓬田村	—	—	1	17.875	1	—	37	—	—	4.125	61
平館村	—	—	1	4	1	—	18	2	—	9	29
三厩村	—	—	—	476.792	—	—	1	—	—	2.207	479.999
野内村	9	59.967	—	8	1	2	30	1	9	9	116.967
東津軽郡計	4	144.967	8	621.041	4	4	228	8	7	27.957	1,056.965

市 町 村	中村順造 <small>(社)</small> 51	迫千代子 <small>(無)</small> 52	下村定 <small>(自)</small> 53	天の良吉 <small>(自)</small> 54	川上嘉 <small>(社)</small> 55	久保保等 <small>(社)</small> 56	牛田寛 <small>(無)</small> 57	高良とみ <small>(無)</small> 58	向井長年 <small>(社)</small> 59	城戸忠愛 <small>(無)</small> 60	小 計
平内町	84	—	46	55	8.889	29	228	9	15	10	484.889
蟹田町	1	7	9	77	3.750	11	94	8	7	6	169.750
今別町	4	1	—	85	—	7	19	2	12	93	163
蓬田村	4	—	3	20	—	3	37	5	5	24	101
平館村	8	1	1	49	2	33	13	19	18	42	186
三厩村	—	—	1	21	—	1	64	—	8	10	105
野内村	31	5	9	61	4.666	40	122	10	7	2	291.666
東津軽郡計	132	14	69	368	19.305	124	517	53	72	127	1,495.305

市 町 村	駒沢文雄 <small>(無)</small> 61	上林忠次 <small>(自)</small> 62	塩治竹雄 <small>(社)</small> 63	大谷よし雄 <small>(自)</small> 64	基政七 <small>(社)</small> 65	河内金次郎 <small>(無)</small> 66	須藤五郎 <small>(共)</small> 67	浅沼美知雄 <small>(諸)</small> 68	梶原茂嘉 <small>(自)</small> 69	伊藤義賢 <small>(諸)</small> 70	小 計
平内町	2	50	1	594	1	—	8	—	65	—	721
蟹田町	—	—	—	52	—	1	4	—	47	1	105
今別町	—	3	—	18	—	—	1	2	79	—	103
蓬田村	—	—	—	17	—	—	3	—	55	—	75
平館村	—	—	—	65	1	—	1	—	62	—	129
三厩村	—	1	—	1	—	—	—	1	91	—	94
野内村	4	2	—	12	14	1	9	4	65	—	105
東津軽郡計	6	56	1	759	16	2	20	7	464	1	1,332

候補者得票数に関する調

東 津 軽 郡											全 国 区		
市	町	村	真 崎 勝 次 (自)	石 谷 憲 男 (自)	鹿 嶋 守 之 助 (自)	吉 崎 千 秋 (無)	石 田 次 男 (無)	北 島 教 真 (自)	伊 藤 修 (無)	小 川 吉 吉 (中)	豊 瀬 楨 一 (社)	大 坪 藤 市 (自)	小 計
平	内	町	1	279	120.800	19	19	2	—	2	1	18	455.800
蟹	田	町	4	221	27.600	19	9	1	4	2	3	12	296.600
今	別	町	—	256	111.648	4	2	—	1	—	—	11	285.648
蓬	田	村	—	191	46.024	7	5	—	—	2	—	4	255.024
平	館	村	—	285	2	5	8	—	1	1	1	9	906
三	舘	村	—	551	8.421	9	4	1	—	1	—	—	574.421
野	内	村	29	190	177.027	—	11	1	2	5	5	9	969.027
東津軽郡計			28	1,913	493.520	57	52	5	8	13	10	57	2,636.520
市	町	村	後 藤 俊 男 (社)	高 瀬 荘 太 郎 (緑)	辻 政 信 まさのぶ (無)	金 野 太 三 郎 (無)	岡 村 文 四 郎 (自)	金 丸 富 夫 (無)	鹿 嶋 俊 雄 (自)	原 島 宏 治 (無)	千 葉 千 代 世 (社)	日 下 隆 たかし (無)	小 計
平	内	町	2	19	48	1	141	149	30.200	5	5	1	995.200
蟹	田	町	2	9	6	11	192	110	98.400	9	2	1	308.400
今	別	町	2	1	15	—	14	919	30.951	7	1	1	990.951
蓬	田	村	—	4	6	5	84	77	4.975	11	1	1	199.975
平	館	村	2	4	6	—	85	57	7	—	—	1	162
三	舘	村	—	1	1	3	2	199	11.578	—	1	—	152.578
野	内	村	2	20	29	3	45	182	65.972	8	14	2	370.972
東津軽郡計			10	52	111	23	503	1,021	188.476	34	24	7	1,973.476
市	町	村	杉 山 利 一 (無)	松 崎 健 吉 (中)	木 村 八 郎 (社)	柴 谷 要 (社)	徳 永 正 利 (自)	美 念 ゆ め ろ む (無)	小 田 与 よ (諸)	小 西 英 雄 (自)	川 上 為 治 (自)	奥 む め お (緑)	小 計
平	内	町	7	2	29	305	301	2	9	8	1.111	41	699.111
蟹	田	町	—	—	9	56	24	—	1	8	2.250	11	104.250
今	別	町	1	—	10	2	—	—	—	3	2	8	26
蓬	田	村	4	—	1	22	1	—	1	2	—	14	45
平	館	村	—	1	4	5	9	—	3	8	2	7	99
三	舘	村	—	—	3	8	—	—	—	4	—	4	19
野	内	村	15	4	14	180	29	1	1	51	2.393	64	961.393
東津軽郡計			27	7	64	578	364	3	9	84	8.694	149	1,293.694

候補者得票数に関する調

東 津 軽 郡

全 国 区

市 町 村	小 計	こ 平 芳 平	あ 赤 松 常 子	ま 前 田 久 吉	つ 鶴 園 哲 夫	み 宮 越 喜 助	山 や 田 義 太 郎	平 ひ ら 田 宇 宙	古 こ 賀 一 一	え 遠 藤 三 郎	河 河 野 孔 明	小 計
平 内 町	5	7	12	28	—	9	—	2	1	—	—	58
蟹 田 町	2	6	25	159	—	6	5	—	—	1	—	204
今 別 町	—	9	4	451	—	—	—	—	—	—	—	458
蓬 田 村	1	8	—	69	—	—	1	—	—	—	—	79
平 館 村	9	1	6	8	9	—	1	—	—	1	—	24
三 厩 村	1	1	18	167	—	—	—	—	—	2	—	189
野 内 村	5	31	24	28	—	—	5	1	5	1	—	100
東 津 軽 郡 計	17	57	89	910	3	9	12	3	9	3	—	1,112

市 町 村	小 計	根 本 貞 治	斉 藤 道 厚	横 山 菊 市	伊 藤 忠 輝	綿 野 庄 太 郎	沖 原 紀 夫	江 崎 波 雄	近 藤 昌 一	水 野 鉄 雄	加 藤 大 三	小 計
平 内 町	1	1.107	—	—	1	1	—	9	—	—	1	8.107
蟹 田 町	2	—	2.222	—	—	—	—	3	—	—	—	7.222
今 別 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蓬 田 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2
平 館 村	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	2	5
三 厩 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
野 内 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東 津 軽 郡 計	3	2.107	4.222	1	1	1	—	6	—	1	4	22.329

市 町 村	小 計	得 票 総 数 (A)	法 第 68 条 の 2 第 2 項 に 分 り 票 数 (B)	い ず れ の 候 補 者 に も 属 し ない 票 数 (C)	有 効 投 票 数 (D)	無 効 投 票 数 (E)	投 票 総 数 (D)+(E)
平 内 町	3.106	4,439	—	—	4,439	727	5,166
蟹 田 町	5.081	1,976.993	0.007	—	1,977	190	2,107
今 別 町	—	2,260.997	0.003	—	2,261	228	2,489
蓬 田 村	2.040	1,290.999	0.001	—	1,291	188	1,479
平 館 村	5	1,410	—	—	1,410	143	1,553
三 厩 村	1	1,915.996	0.004	—	1,916	75	1,991
野 内 村	2.073	3,005.994	0.006	—	3,006	198	3,204
東 津 軽 郡 計	18.300	16,299.979	0.021	—	16,300	1,689	17,989

13.294

候補者得票数に関する調

西津軽郡

全国区

市町村	河野 (自) 1 義一	高野 (自) 2 一夫	大木 (無) 3 実	山本 (社) 4 伊三郎	野田 (無) 5 耕作	森田 (自) 6 義衛	加賀 (緑) 7 山之雄	田中 (自) 8 清一	花田 (自) 9 伝	松本 (社) 10 精一	小計
鯨ヶ沢町	114	11	19	44.107	9	91	105	96	29	5	463.107
木造町	30.993	32	60	166.492	7	63	79	319	22	11	784.425
深浦町	170	5.454	16	7.200	—	39	37	33	2	3	312.654
森田村	3	3	11	5.500	—	57	39	75	2	4	199.500
岩崎村	33	—	2	2	—	—	39	23	1	1	101
柏村	6	1	36	3	4	80	15	33	1	2	241
稲垣村	23	2.571	23	4	6	10	18	57	4	7	154.571
車力村	6	2	17	—	—	25	7	43	3	3	106
西津軽郡計	385.933	57.025	184	232.299	26	305	339	733	64	36	2,362.257

市町村	武正 (自) 11 総一郎	米田 (自) 12 正文	松本 (社) 13 治一郎	野本 (自) 14 品吉	中川 (自) 15 源一郎	林 (無) 16 塩	楠本 (自) 17 正康	吉田 (自) 18 セイ	米内 (社) 19 一太郎	植垣 (自) 20 弥一	小計
鯨ヶ沢町	2	169	10	29	8	111.894	15	16	98	75	473.834
木造町	7	256	16	60	11	900.803	47	25	42	84	848.803
深浦町	4	86	8	9	9	40.500	6	23	10	—	195.500
森田村	2	30	9	32	3	60.852	8	11	11	44	210.852
岩崎村	—	54	6	2	2	14	4	2	12	—	96
柏村	10	169	2	10	4	23.739	4	9	13	8	252.739
稲垣村	1	41	7	27	1	44.813	6	9	23	10	169.813
車力村	—	187	4	15	5	36	5	12	12	11	287
西津軽郡計	26	992	62	184	43	632.541	95	107	161	232	2,534.541

市町村	斎藤 (自) 21 時郎	鮎川 (中) 22 義介	佐々木 (社) 23 庸	山本 (自) 24 すぎ	中尾 (無) 25 辰義	溝淵 (無) 26 春次	鈴木 (共) 27 木市蔵	鎌田 (無) 28 文雄	豊田 (緑) 29 まさたか	福安 (無) 30 堰堤	小計
鯨ヶ沢町	25.454	36	28	50.892	1	—	33.113	3	35	2	214.459
木造町	20.222	28	54	33.507	2	2	72.680	7	129	—	948.409
深浦町	9	36	22	10.800	1	—	27.746	2	29	—	131.546
森田村	4	1	9	5.500	2	—	8.461	1.333	7	—	38.294
岩崎村	5	2	3	6	—	—	6	—	2	—	24
柏村	19.500	13	17	8	3	—	2.952	4	3	—	63.852
稲垣村	10	1	12	9	2	—	11.951	1	27	—	73.951
車力村	33	2	53	6	—	—	22.931	1	10	—	127.931
西津軽郡計	114.176	119	198	129.699	11	2	184.634	19.333	242	2	1,021.842

候補者得票数に関する調

西津軽郡

全国区

市町村	田淵 <small>たぶち</small> 久 <small>ひさし</small>	青山 <small>あおやま</small> 正 <small>ただし</small> 一 <small>いち</small>	関屋 <small>せきや</small> 節蔵 <small>せうざう</small>	阿具 <small>あぐ</small> 根登 <small>ねのぼる</small>	横山 <small>よこやま</small> フク	野上 <small>のがみ</small> 元 <small>げん</small>	山口 <small>やまぐち</small> 重彦 <small>しげひこ</small>	青木 <small>あおき</small> 一男 <small>かずお</small>	岡三 <small>おか</small> 三郎 <small>さぶろう</small>	鈴木 <small>すずき</small> 恭一 <small>きょういち</small>	小計
鰺ヶ沢町	14	20	2	1	98	148	28	37	295	80.886	663.886
木造町	4	25	—	6	118	141	39	59	250	99.919	669.319
深浦町	2	24	—	1	32.066	125	4	6.545	150.986	48.259	399.850
森田村	—	2	—	—	16	59	12	11	68	46.538	214.538
岩崎村	—	61	2	1	7	22	1	7	22	50	179
柏村	—	2	1	2	17	157	8	9	98	97.647	271.647
稲垣村	—	6	2	2	50.916	39	18	6.428	95	30.648	249.992
車力村	4	6	—	4	28	21	19	8	62	72.065	224.069
西津軽郡計	24	146	7	17	306.982	712	123	137.973	980.986	405.360	2,860.301

市町村	草間 <small>くさま</small> 時 <small>とき</small> 光 <small>みつ</small>	大倉 <small>おおくら</small> 精 <small>せい</small> 一 <small>いち</small>	永岡 <small>ながおか</small> 光治 <small>みつじ</small>	井上 <small>いのうえ</small> 善十郎 <small>ぜんじゅうろう</small>	久保田 <small>くぼた</small> 勝太郎 <small>かつたろう</small>	清水 <small>しみず</small> 互 <small>むた</small>	重政 <small>しげまさ</small> 庸徳 <small>ようとく</small>	山沢 <small>やまざわ</small> またつ	奈良 <small>なら</small> 良繁保 <small>らふよし</small>	井上 <small>いのうえ</small> ナツエ	小計
鰺ヶ沢町	—	107	15	73.620	8	10	149	10	1	31.979	398.999
木造町	—	58	3	45.070	4	4	515	4	1	34.929	668.999
深浦町	8	47	4	98.571	—	—	149	14	1	6.428	261.999
森田村	—	25	1	10	—	—	39	2	4	4	79
岩崎村	—	5	—	21	1	—	9	—	—	—	96
柏村	1	49	2	7.089	1	1	54	9	—	9.916	127.99
稲垣村	—	51	2	99.757	—	1	170	2	—	1.242	266.999
車力村	—	20	2	7	—	1	172	—	—	9	205
西津軽郡計	9	362	29	242.101	14	17	1,239	35	7	90.894	2,044.995

市町村	中村 <small>なかむら</small> 順造 <small>じゆんぞう</small>	迫 <small>さき</small> 千代子 <small>ちよこ</small>	下村 <small>しもむら</small> 定 <small>さだ</small>	天 <small>あま</small> の良吉 <small>りょうきち</small>	川上 <small>かわかみ</small> 嘉 <small>よしみ</small>	久保 <small>くぼ</small> 保等 <small>ほらう</small>	牛田 <small>うしだ</small> 寛 <small>ひろし</small>	高良 <small>たから</small> とみ	向井 <small>むかい</small> 井長年 <small>いながとし</small>	城戸 <small>きやど</small> 忠愛 <small>ちゅうあい</small>	小計
鰺ヶ沢町	27	6	29	19	48.963	29	982	18	52	41	651.363
木造町	44	1	42	12	21	21	302	22	36	50	551
深浦町	32	3	11	445	6	20	74	6	12	1	610
森田村	10	—	167	2	—	19	22	9	1	91	255
岩崎村	3	—	5	57	4	17	79	10	17	4	196
柏村	14	—	27	1	5	7	26	7	9	2	98
稲垣村	12	—	33	—	—	1	49	2	4	14	115
車力村	10	—	2	1	—	1	16	5	6	5	46
西津軽郡計	152	10	316	537	84.363	109	950	79	137	148	2,522.363

候補者得票数に関する調

西津軽郡

全国区

市町村	駒沢文雄 (無)	上林忠次 (自)	塩治竹雄 (社)	大谷よし雄 (自)	基政七 (社)	河内金次郎 (無)	須藤五郎 (共)	浅沼美知雄 (諸)	桐原茂嘉 (自)	伊藤義賢 (諸)	小計
鰺ヶ沢町	8	1	48	107	4	2	20	5	86	—	281
木造町	100	6	29	95	10	—	14	12	82	6.666	294.666
深浦町	—	—	10	95	2	1	9	1	20	—	72
森田村	2.666	1	18	5	—	—	4	—	9	—	39.666
岩崎村	—	—	—	1	1	—	2	9	—	—	7
柏村	—	1	1	51	6	—	2	—	16	9	80
稲垣村	—	—	9	1	9	—	4	2	5	—	24
車力村	—	1	92	16	9	—	1	4	6	—	69
西津軽郡計	110.666	10	147	251	29	3	50	27	224	9.666	861.332

市町村	真崎勝次 (自)	石谷憲男 (自)	鹿島守之助 (自)	吉崎千秋 (無)	石田次男 (無)	北島教真 (自)	伊藤修 (無)	小川吉 (中)	豊瀬一 (社)	大坪藤市 (自)	小計
鰺ヶ沢町	87	425	229.991	16	31	—	12.444	9	1	16	821.495
木造町	142	149	56.549	34	17	3	3.999	9	8	49	464.876
深浦町	7	725	158.968	6	19	—	3	9	—	66	987.968
森田村	26	62	8.999	29	7	1	—	—	1	96	160.999
岩崎村	4	284	995	9	6	—	6	—	—	5	709
柏村	50	19	19	49	—	2	—	6	—	185	912
稲垣村	79	11	94	6	4	—	9	—	1	54	198
車力村	27	221	22	22	9	—	1	9	—	28	399
西津軽郡計	422	1,890	917.235	159	93	6	34.777	18	11	429	3,980.012

市町村	後藤俊男 (社)	高瀬庄太郎 (緑)	辻まさのぶ (無)	金野たさぶろう (無)	岡村文四郎 (自)	金丸富夫 (無)	鹿島俊雄 (自)	原島宏治 (無)	千代世 (社)	日下隆 (無)	小計
鰺ヶ沢町	14.245	14	61	—	55	279	48.762	10	29	10	515.007
木造町	4	40	87	4	196	478	96.456	6	14	4	869.456
深浦町	—	11	25	1	2	257	18.691	9	7	—	990.691
森田村	2	5	25	1	96	180	16.666	—	6	2	279.666
岩崎村	1	1	12	9	—	61	58	1	2	—	199
柏村	2	10	42	—	2	280	4	—	9	1	944
稲垣村	2	1	92	—	124	140	92	—	5	—	996
車力村	—	2	15	1	42	96	—	7	8	—	171
西津軽郡計	25.245	84	299	10	397	1,771	274.515	33	68	17	2,978.760

候補者得票数に関する調

西津軽郡

全国区

市町村	91 杉山利一 (無)	92 松崎健吉 (中)	93 木村福八郎 (社)	94 柴谷要 (社)	95 徳永正利 (自)	96 美念ゆめろむ (無)	97 小田俊与 (諸)	98 小西英雄 (自)	99 川上為治 (自)	100 奥むめお (緑)	小計
鰯ヶ沢町	9	2	22	282	60	2	9	25	7,636	88	494.636
木造町	1	8	27	42	87	1	4	59	—	129	346
深浦町	3	3	15	98	72	—	2	29	3	20	239
森田村	—	—	12	24	19	—	—	15	—	16	80
岩崎村	—	25	2	32	11	—	—	3	—	34	107
柏村	2	4	12	91	4	1	1	1	5	51	112
稲垣村	4	—	1	5	46	1	1	1	3	118	180
車力村	1	—	15	9	51	—	4	8	2	29	113
西津軽郡計	14	42	106	523	344	5	15	129	20.636	473	1,671.636

市町村	101 小平芳平 (無)	102 赤松常子 (社)	103 前田久吉 (無)	104 鶴園哲夫 (社)	105 宮越喜助 (無)	106 山田義太郎 (無)	107 平田宇宙 (諸)	108 古賀一 (諸)	109 遠藤三郎 (無)	110 河野孔明 (無)	小計
鰯ヶ沢町	10	7	88	193	1	2	9	17	8	—	269
木造町	19	15	24	230.990	58	2	4	7	5	1.066	960.056
深浦町	1	14	107	219	10	1	3	2	2.013	—	959.013
森田村	6	9	5	79	—	1	1	—	—	—	95
岩崎村	—	4	14	47	5	—	—	—	—	—	70
柏村	—	8	16	22	—	2	4	1	3	—	56
稲垣村	4	10	29	34	—	1	6	2	—	—	86
車力村	5	4	22	39	—	—	1	—	1	—	72
西津軽郡計	39	65	305	803.990	74	9	22	29	19.013	1.066	1,367.069

市町村	111 根本貞治 (無)	112 斉藤道厚 (無)	113 横山菊市 (無)	114 伊藤忠輝 (無)	115 綿野庄太郎 (無)	116 沖原紀夫 (無)	117 江崎波雄 (無)	118 近藤昌一 (無)	119 水野鉄雄 (無)	120 加藤大三 (無)	小計
鰯ヶ沢町	—	2.545	—	1.555	1	—	—	—	—	4	9.100
木造町	3	5.777	—	4.999	—	—	4	2	2.008	6	27.784
深浦町	4	3	4.933	—	—	—	2	—	1	—	14.933
森田村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
岩崎村	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	6
柏村	1	1.500	—	—	—	—	2	1	—	—	3.500
稲垣村	—	—	1.083	—	—	—	—	—	—	3	4.083
車力村	—	—	1	1	—	—	2	1	—	—	5
西津軽郡計	10	13.822	7.016	7.554	1	—	10	4	3.008	16	72.400

候補者得票数に関する調

西津軽郡				全国区						
市町村	佐々子(無) なかにこ(無) たけいち	福島(無) ふくしま(無) まさる	林(無) はやし(無) ぶいつ	小計	得票数 (A)	法第68条 の2項の 規定による 捨り票 数(B)	いずれ の候補 者にも 属しな い票数 (C)	有効投票 数 (D)	無効投票 数 (E)	投票 総数 (D)+(E)
鯨ヶ沢町	5	2	3.165	10.165	5,265.991	0.009	—	5,266	981	5,647
木造町	7	2	10.196	19.196	6,252.989	0.011	—	6,253	789	7,042
深浦町	9	—	4.500	7.500	3,915.994	0.006	—	3,916	526	4,442
森田村	1	—	3.147	4.147	1,651.996	0.004	—	1,652	173	1,825
岩崎村	—	1	—	1	1,659	—	—	1,659	180	1,839
柏村	1	—	2.260	3.260	1,965.997	0.008	—	1,966	909	2,275
稲垣村	—	—	2.186	2.186	1,859.995	0.005	—	1,860	192	2,052
車力村	—	—	4	4	1,757	—	—	1,757	925	2,082
西津軽郡計	17	5	29.454	51.454	24,328.962	0.038	—	24,329	2,875	27,204

中津軽郡

市町村	河野(自) こうの(自) ぎいち	高野(自) たかの(自) かづお	大木(無) おおき(無) みのる	山本(社) やまもと(社) いさぶろう	野田(無) のた(無) こうさく	森田(自) もりた(自) よしえ	加賀(緑) かが(緑) まゆきお	田中(自) たなか(自) せいいち	花田(自) はなだ(自) でん	権精(社) つばき(社) せいいち	小計
岩木村	7.714	16	29	6.900	11	41	92	28	14	5	244.014
相馬村	4	—	13	1	9	19	10	28	1	9	82
西目屋村	5	1	9	9	1	4	9	99	1	4	76
中津軽郡計	16.714	17	45	10.300	15	64	111	95	16	12	402.014

市町村	武正(自) たけまさ(自) せういちろう	米田(自) よねだ(自) まさふみ	松本(社) まつもと(社) いちろう	野本(自) ののもと(自) しなきち	中川(自) なかがわ(自) げんいちろう	林(無) はやし(無) しお	楠本(自) くすもと(自) まさやす	吉田(自) よしだ(自) セイ	米内(社) よねない(社) いちろう	植垣(自) うえがき(自) やいちろう	小計
岩木村	2	129	10	25	5	41.538	8	25	16	6	261.538
相馬村	—	90	1	9	5	8	9	5	3	—	64
西目屋村	—	96	9	6	2	11	9	12	8	7	148
中津軽郡計	2	249	14	40	12	60.538	14	42	27	13	473.538

候補者得票数に関する調

西津軽郡				全国区						
市町村	佐々子(無) なかにこ(無) たけいち	福島(無) ふくしま(無) まさる	林(無) はやし(無) ぶいつ	小計	得票数 (A)	法第68条 の2第2項 の規定に よる際切 捨た票 数(B)	いづれ の候補 者にも 属しな い票 数(C)	有効投票 数(D)	無効投票 数(E)	投票 総数 (D)+(E)
鯉ヶ沢町	5	2	3.165	10.165	5,265.991	0.009	—	5,266	981	5,647
木造町	7	2	10.196	19.196	6,252.989	0.011	—	6,253	789	7,042
深浦町	9	—	4.500	7.500	3,915.994	0.006	—	3,916	526	4,442
森田村	1	—	3.147	4.147	1,651.996	0.004	—	1,652	173	1,825
岩崎村	—	1	—	1	1,659	—	—	1,659	180	1,839
柏村	1	—	2.260	3.260	1,965.997	0.003	—	1,966	909	2,275
稲垣村	—	—	2.186	2.186	1,859.995	0.005	—	1,860	192	2,052
車力村	—	—	4	4	1,757	—	—	1,757	925	2,082
西津軽郡計	17	5	29.454	51.454	24,328.962	0.038	—	24,329	2,875	27,204

中津軽郡

市町村	河野(自) こうの(自) ぎいち	高野(自) たかの(自) かづお	大木(無) おおき(無) みのる	山本(社) やまもと(社) いさぶろう	野田(無) のた(無) こうさく	森田(自) もりた(自) よしえ	加賀(緑) かが(緑) まゆき	田中(自) たなか(自) せいいち	花田(自) はなだ(自) でん	権精(社) つばき(社) せいいち	小計
岩木村	7.714	16	29	6.900	11	41	92	28	14	5	244.014
相馬村	4	—	13	1	3	19	10	28	1	3	82
西目屋村	5	1	9	3	1	4	9	39	1	4	76
中津軽郡計	16.714	17	45	10.300	15	64	111	95	16	12	402.014

市町村	武正(自) たけまさ(自) そらいちろう	米田(自) よねだ(自) まさふみ	松本(社) まつもと(社) いちろう	野本(自) ののもと(自) しなきち	中川(自) なかがわ(自) げんいちろう	林(無) はやし(無) しお	楠本(自) くすもと(自) まさやす	吉田(自) よしだ(自) セイ	米内(社) よねない(社) いちろう	植垣(自) うえがき(自) やいちろう	小計
岩木村	2	129	10	25	5	41.538	8	25	16	6	261.538
相馬村	—	30	1	9	5	8	3	5	3	—	64
西目屋村	—	96	3	6	2	11	3	12	8	7	148
中津軽郡計	2	249	14	40	12	60.538	14	42	27	13	473.538

候補者得票数に関する調

中津軽郡

全国区

市町村	齋藤時郎 (自)	鮎川義介 (中)	佐々木庸 (社)	山本すき (自)	なかお辰義 (無)	溝淵春次 (無)	鈴木木市蔵 (共)	鎌田文雄 (無)	豊田雅孝 (緑)	福安堰堤 (無)	小計
岩木村	26.928	19	10	95.700	4	—	9.111	—	19	—	111.799
相馬村	41.859	2	4	14	1	—	1.171	—	—	—	64.024
西目屋村	1	1	9	4	—	—	7.057	—	—	—	16.057
中津軽郡計	69.781	16	17	53.700	5	—	17.339	—	13	—	191.820

市町村	田淵久 (無)	青山正一 (自)	関屋倂蔵 (自)	阿貝根登 (社)	横山フク (自)	野上元 (社)	山口重彦 (社)	青木かずお (自)	岡三郎 (社)	鈴木恭一 (自)	小計
岩木村	1	5	—	2	52.875	59	5	19	28	91.888	197.769
相馬村	1	—	—	—	69	19	8	10	41	114.828	250.828
西目屋村	1	9	—	118	10	17	5	5	29	115.942	909.942
中津軽郡計	3	8	—	120	125.875	83	18	34	98	262.658	752.533

市町村	草間時光 (無)	大倉精一 (社)	永岡光治 (社)	井上善十郎 (社)	久保田勝太郎 (無)	清水おたる (諸)	重政庸徳 (自)	山沢またつ (自)	奈良繁保 (無)	井上ナツエ (無)	小計
岩木村	1	16	2	8.400	—	—	209	1	—	15.600	247.000
相馬村	—	19	2	1	—	1	94	—	—	14	191
西目屋村	—	9	2	5	1	1	52	—	—	2	66
中津軽郡計	1	38	6	14.400	1	2	349	1	—	31.600	444

市町村	中村順造 (社)	迫代子 (無)	下村定 (自)	天の良吉 (自)	川上嘉 (社)	久保等 (社)	牛田寛 (無)	高良とみ (無)	向井ながとし (社)	城戸忠愛 (無)	小計
岩木村	45	2	46	11	14	12	290	26	92	11	429.000
相馬村	11	4	7	9	5	7	92	4	7	9	89
西目屋村	7	1	6	1	—	2	102	5	8	—	192
中津軽郡計	63	7	59	15	19	21	364	35	47	14	644

候補者得票数に関する調

中津軽郡

全国区

市町村	駒沢文雄 61 (無)	上林忠次 62 (自)	塩冶竹雄 63 (社)	大谷よし雄 64 (自)	基政七 65 (社)	河内金次郎 66 (無)	須藤五郎 67 (共)	浅沼美知雄 68 (諸)	堀原茂嘉 69 (自)	伊藤義賢 70 (諸)	小計
岩木村	5	2	18	12	1	—	9	1	26	—	74
相馬村	—	—	3	3	—	—	2	1	22	—	31
西目屋村	—	1	94	12	2	—	1	2	3	1	56
中津軽郡計	5	3	55	27	3	—	12	4	51	1	161

市町村	真崎勝次 71 (自)	石谷憲男 72 (自)	鹿嶋守之助 73 (自)	吉崎千秋 74 (無)	石田次男 75 (無)	北島教真 76 (自)	伊藤修 77 (無)	小川吉 78 (中)	豊瀬禎一 79 (社)	大坪藤市 80 (自)	小計
岩木村	58	160	41.848	50	8	—	—	5	1	6	929.848
相馬村	7	108	14.823	1	6	—	—	6	—	3	145.823
西目屋村	3	200	130.499	—	5	—	1	1	2	6	348.499
中津軽郡計	68	468	187.170	51	19	—	1	12	3	15	824.170

市町村	後藤俊男 81 (社)	高瀬庄太郎 82 (緑)	辻まさのぶ 83 (無)	金野太三郎 84 (無)	岡村文四郎 85 (自)	金丸富夫 86 (無)	鹿島俊雄 87 (自)	原島宏治 88 (無)	千代世 89 (社)	日下隆 90 (無)	小計
岩木村	3	32	70	1	98	231	45.151	—	4	2	486.151
相馬村	3	14	25	—	12	24	6.176	1	4	—	89.176
西目屋村	—	4	21	—	1	12	5.499	1	3	—	47.499
中津軽郡計	6	50	116	1	111	267	56.826	2	11	2	622.826

市町村	杉山利一 91 (無)	松崎健吉 92 (中)	木村福八郎 93 (社)	柴谷要 94 (社)	徳永正利 95 (自)	美念ゆめろむ 96 (無)	小田俊与 97 (諸)	小西英雄 98 (自)	川上為治 99 (自)	奥むめお 100 (緑)	小計
岩木村	4	33	6	17	19	—	1	2	2	80	164
相馬村	1	5	104	—	33	—	—	—	3	23	169
西目屋村	1	—	4	4	—	—	—	1	21	13	44
中津軽郡計	6	38	114	21	52	—	1	3	26	116	377

候補者得票数に関する調

中津軽郡

全国区

市町村	小平芳平 <small>(無)</small> ¹⁰¹	赤松常子 <small>(社)</small> ¹⁰²	前田久吉 <small>(緑)</small> ¹⁰³	鶴園哲夫 <small>(社)</small> ¹⁰⁴	宮越喜助 <small>(無)</small> ¹⁰⁵	山田義太郎 <small>(無)</small> ¹⁰⁶	平田宇宙 <small>(諸)</small> ¹⁰⁷	古賀一 <small>(諸)</small> ¹⁰⁸	遠藤三郎 <small>(無)</small> ¹⁰⁹	河野孔明 <small>(無)</small> ¹¹⁰	小計
岩木村	3	3	32	15	2	3	2	5	4	1.285	70.285
相馬村	1	6	3	4	1	1	—	2	1	—	19
西目屋村	1	8	3	10	4	—	—	3	—	—	29
中津軽郡計	5	17	38	29	7	4	2	10	5	1.285	118.285

市町村	根本貞治 <small>(無)</small> ¹¹¹	斎藤道厚 <small>(無)</small> ¹¹²	横山菊市 <small>(無)</small> ¹¹³	伊藤忠輝 <small>(無)</small> ¹¹⁴	綿野庄太郎 <small>(無)</small> ¹¹⁵	沖原紀夫 <small>(無)</small> ¹¹⁶	江崎波雄 <small>(無)</small> ¹¹⁷	近藤昌一 <small>(無)</small> ¹¹⁸	水野鉄雄 <small>(無)</small> ¹¹⁹	加藤大いぞう <small>(無)</small> ¹²⁰	小計
岩木村	1	2.071	1.125	—	—	—	1	—	1	—	6.196
相馬村	1	2.146	1	—	—	—	1	—	—	3	8.146
西目屋村	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
中津軽郡計	2	4.217	2.125	—	—	—	2	—	2	3	15.342

市町村	仲子武 <small>(諸)</small> ¹²¹	福島勝 <small>(無)</small> ¹²²	林武 <small>(無)</small> ¹²³	小計	得票総数 (A)	法第68条の2第2項の規定による際切りの票数 (B)	いずれの候補者にも属しない票数 (C)	有効投票数 (A)+(B)+(C) (D)	無効投票数 (E)	投票総数 (D)+(E)
岩木村	3	—	3.461	6.461	2,627.995	0.005	—	2,628	488	3,116
相馬村	2	—	2	4	1,140.997	0.003	—	1,141	127	1,268
西目屋村	1	—	—	1	1,268.997	0.003	—	1,269	94	1,363
中津軽郡計	6	—	5.461	11.461	5,037.989	0.011	—	5,038	709	5,747

候補者得票数に関する調

南津軽郡

全国区

市町村	河野義一 (自)	高野の (自)	大木 (無)	山本伊三郎 (社)	野田耕作 (無)	森田義衛 (自)	加賀山 (緑)	田中清一 (自)	花田 (自)	権精一 (社)	小計
藤崎町	91	12	19	5,714	2	122	62	70	7	21	951.714
大鰯町	24.652	32	19	15.262	1	92	159	45	12	1	400.914
尾上町	29	27	15	13.028	4	113	15	42.221	7	5.026	270.275
浪岡町	28.695	24	34	14.988	7	211	108	21	32	36	516.689
平賀町	34.757	26	67	89.566	7	75	76	108.892	19	12.099	515.314
常盤村	107.608	2	13	9	1	38	21	27	38	2	258.608
田舎館村	11	31	11	10.793	6	50	72	69	5	10	275.793
碓ヶ関村	13	4	9	—	2	30	27	4	2	2	93
南津軽郡計	279.712	158	187	158.351	30	731	540	387.113	122	89.125	2,682.301

市町村	武正総一郎 (自)	米田正文 (自)	松本治一郎 (社)	野本品吉 (自)	中川源一郎 (自)	林 (無)	楠本正康 (自)	吉田セイ (自)	米内 (自)	植垣弥一 (自)	小計
藤崎町	2	168	14	19	9	198.359	13	12	28	34	497.359
大鰯町	7	145	8	12	2	174.208	93	20	33	15	449.208
尾上町	4	38	13	22	6	75.891	15	6	35	22	236.891
浪岡町	6	47	16	57	6	127.938	99	32	53	87	470.938
平賀町	11	106	18	28	7	56.961	56	35	65	10	392.961
常盤村	—	28	2	6	10	33.777	10	32	11	10	142.777
田舎館村	2	317	7	14	4	49.882	10	10	19	9	441.882
碓ヶ関村	8	7	3	5	13	7	2	7	10	—	62
南津軽郡計	40	856	81	163	57	724.016	178	154	254	187	2,694.016

市町村	斎藤時郎 (自)	鮎川義介 (中)	佐々木 (社)	山本 (自)	中尾辰義 (無)	溝淵春次 (無)	鈴木木市 (共)	鎌田文雄 (無)	豊田 (緑)	福安 (無)	小計
藤崎町	9	18	131	178.285	2	—	53.098	4	49	—	444.323
大鰯町	33	19	18	117.797	—	20	16.818	—	31	—	255.555
尾上町	8	11	12	24.971	—	—	185.751	2	39	—	282.722
浪岡町	62.213	10	42	76.011	2	—	125.413	12	33	—	422.637
平賀町	13.500	17	59	87.434	1	5	59.656	—	89	—	331.590
常盤村	83.999	3	7	33	—	—	36.535	—	29	—	192.534
田舎館村	11	11	6	57.206	—	—	21.348	1	3	—	110.554
碓ヶ関村	—	12	6	15	—	—	5.805	—	5	—	43.805
南津軽郡計	220.712	101	281	589.644	5	25	504.364	19	338	—	2,083.720

候補者得票数に関する調

南 津 軽 郡		全 国 区									小 計
市 町 村	田 淵 (無)	青 山 (自)	関 屋 (自)	阿 具 (社)	横 山 (自)	野 上 (社)	山 口 (社)	青 木 (自)	岡 三 (社)	鈴 木 (自)	
	久 久	正 一	梯 藏	根 登	フ ク	元 げん	重 彦	一 男	三 郎	木 恭 一	
藤 崎 町	2	25	—	1	40,288	149	22	21	68	146.961	469.249
大 鰯 町	7	24	2	8	96.957	70	15	27	82.987	57.181	990.125
尾 上 町	—	7	—	2	58	196	12	16	84	32.248	407.248
浪 岡 町	2	7	4	—	98	995	54	11	191.997	59.585	756.522
平 賀 町	1	18	9	9	196.420	199	92	46	148.979	27.949	608.796
常 盤 村	—	—	—	2	50.916	28	16	7	56	25.464	185.980
田 舎 館 村	1	—	—	2	86	59	8	19	55	32.651	256.651
碓 ヶ 関 村	2	—	—	2	26	20	4	1	24	30.190	109.190
南津軽郡計	15	81	9	20	592.581	1,044	163	142	710.897	405.623	3,183.101

市 町 村	草 間 (無)	大 倉 (社)	永 岡 (社)	井 上 (社)	久 保 (無)	清 水 (社)	重 政 (自)	山 沢 (自)	奈 良 (無)	井 上 (無)	小 計
	時 光	精 一	光 治	善 十 郎	勝 太 郎	亘 亘	庸 徳	またつ	繁 保	ナ ツ エ	
藤 崎 町	1	65	—	1	22.807	9	4	219	9	5.192	318.999
大 鰯 町	2	141	9	3	10.494	1	2	177	2	19.565	952.999
尾 上 町	—	149.752	—	—	26.066	—	2	104	4	7.999	291.751
浪 岡 町	1	110	—	—	42.145	2	6	407	8	18.854	596.999
平 賀 町	2	129.008	1	90.450	2	7	247	4	7	11.550	495.008
常 盤 村	—	58	—	—	51.622	—	5	82	4	5.977	205.999
田 舎 館 村	—	36	—	11	—	—	—	359	1	9	416
碓 ヶ 関 村	—	27	—	5	—	—	—	44	4	9	91
南津軽郡計	6	703.760	5	199.524	9	26	1,633	30	16	80.471	2,708.755

市 町 村	中 村 (社)	迫 千 (無)	下 村 (自)	天 之 (自)	川 上 (社)	久 保 (社)	牛 田 (無)	高 良 (無)	向 井 (社)	城 戸 (無)	小 計
	順 造	代 子	村 定	長 吉	嘉 嘉	等 等	寛 寛	と み	長 年	忠 愛	
藤 崎 町	25	9	99	29	9.818	4	97	10	12	1	217.818
大 鰯 町	41	2	35	25	4.500	69	592	15	14	6	797.500
尾 上 町	51	—	90	2	8.750	20	186	11	22	34	364.750
浪 岡 町	92	2	81	95	13.440	96	614	28	22	19	942.440
平 賀 町	80	22	22	40	17.809	96	998	30	60	14	719.809
常 盤 村	26	6	8	1	1	9	243	8	8	—	310
田 舎 館 村	58	—	52	7	1.750	8	107	12	6	35	286.750
碓 ヶ 関 村	9	2	4	9	9	1	110	6	8	3	149
南津軽郡計	382	37	265	136	60.067	177	2,347	120	152	112	3,788.067

候補者得票数に関する調

南津軽郡

全国区

市町村	駒沢文雄 (無)	上林忠次 (自)	塩治竹雄 (社)	大谷よし雄 (自)	基政七 (社)	河内きんじろう (無)	須藤五郎 (共)	浅沼美知雄 (諸)	梶原茂嘉 (自)	伊藤義賢 (諸)	小計
藤崎町	5	3	6	17	—	4	6	11	99	1	92
大鰐町	19	5	6	13	2	—	10	2	98	—	155
尾上町	—	4	1	22	—	—	8	2	42	—	79
浪岡町	3	10	13	62	4	1	13	2	88	1.250	197.250
平賀町	4	9	20	33	1	3	18	7	72	2.461	169.461
常盤村	28	3	5	9	1	—	2	3	46	1	98
田舎館村	1	1	4	10	—	—	5	2	22	—	45
碓ヶ関村	1	—	2	8	—	1	3	—	18	—	33
南津軽郡計	61	35	57	174	8	9	65	29	425	5.711	868.711

市町村	真崎勝次 (自)	石谷憲男 (自)	鹿島守之助 (自)	吉崎千秋 (無)	石田次男 (無)	北島教真 (自)	伊藤修 (無)	小川吉 (中)	豊瀬禎一 (社)	大坪藤市 (自)	小計
藤崎町	36	24	47.882	96	1	49	—	12	5	25	295.882
大鰐町	16	380	64.615	4	33	4	5.250	3	—	45	554.865
尾上町	69	176	146.448	11	5	—	10	6	1	61	479.448
浪岡町	128	353	94.073	15	27	3	3.750	14	1	74	712.823
平賀町	34	247	246.783	35	31	6	12.307	12	5	204	833.090
常盤村	62	8	23	13	4	9	—	16	1	41	177
田舎館村	67	98	66	11	4	—	2	2	2	41	233
碓ヶ関村	7	772	3	2	24	1	—	5	2	4	820
南津軽郡計	413	1,998	691.801	187	129	72	33.307	70	17	495	4,106.108

市町村	後藤俊男 (社)	高瀬庄太郎 (緑)	辻まさのぶ (無)	金野たさぶろう (無)	岡村文四郎 (自)	金丸富夫 (無)	鹿島俊雄 (自)	原島宏治 (無)	千代世 (社)	日下隆 (無)	小計
藤崎町	7	5	61	1	43	115	26.117	2	9	1	270.117
大鰐町	5	23	72	5	43	72	75.984	6	12	—	313.984
尾上町	2	16	23	—	181	155	54.551	14	5	—	450.551
浪岡町	12	90	93	—	47	212	98.926	6	10	9	457.926
平賀町	12	16	125	3	201	157	55.216	—	22	2	533.216
常盤村	1	8	43	—	53	73	6	1	4	4	133
田舎館村	1	10	22	—	395	91	11	2	1	—	533
碓ヶ関村	—	2	14	—	13	75	3	5	2	—	114
南津軽郡計	40	110	453	9	976	950	270.194	36	65	16	2,925.194

候補者得票数に関する調

南津軽郡

全国区

市町村	91 杉山利一 (無)	92 まつぎけんきち 松崎健吉 (中)	93 木村福八郎 むらきはちろう (社)	94 しばやかなめ 柴谷要 (社)	95 とくながまさとし 徳永正利 (自)	96 みねゆめろむ 美念ゆめろむ (無)	97 小田としよ 小田俊与 (諸)	98 小にしひで 小西英雄 (自)	99 川上たみため かわかみため 川上治 (自)	100 おくむめお 奥むめお (緑)	小計
藤崎町	5	1	15	72	68	—	2	19	8,181	50	294,181
大尾上町	4	1	22	101	106	—	1	12	4,500	96	347,500
浪岡町	4	—	18	25	68	—	5	11	16,250	69	210,250
平賀町	5	5	52	141	67	—	25	79	14,560	71	459,560
常盤村	2	9	26	50	62	2	9	17	4,190	295	404,190
田舎館村	2	1	5	60	4	—	1	5	4	87	169
碓ヶ関村	18	—	10	115	17	—	4	69	5,250	97	269,250
南津軽郡計	9	—	2	69	—	—	2	6	1	25	114
南津軽郡計	49	11	150	633	392	2	42	200	53,931	664	2,201,931

市町村	101 小平芳平 (無)	102 あかまつつねこ 赤松常子 (社)	103 まえだひさきち 前田久吉 (緑)	104 つるぞのてつお 鶴園哲夫 (社)	105 みやこしきすけ 宮越喜助 (無)	106 やまだよし太郎 山田義太郎 (無)	107 ひらた宇宙 平田宇宙 (諸)	108 古賀一はる 古賀一はる (諸)	109 えんどうさぶろう 遠藤三郎 (無)	110 こうのこうめい 河野孔明 (無)	小計
藤崎町	4	12	22	94	6	2	2	4	—	—	146
大尾上町	3	19	50	274	5	5	5	2	1,012	2,947	966,959
浪岡町	1	8	29	48	—	1	1	2	1	—	85
平賀町	9	91	154	73,979	—	1	2	6	4,062	1,904	282,939
常盤村	9	23	28	99,951	—	2	16	16	4,026	2,242	200,219
田舎館村	—	17	28	95	—	1	1	1	—	2,991	85,991
碓ヶ関村	1	10	16	40	2	2	1	2	1	—	75
南津軽郡計	2	4	8	131	5	—	1	—	—	—	151
南津軽郡計	29	124	329	795,924	18	14	29	33	11,100	8,284	1,391,308

市町村	111 根本貞治 (無)	112 さいとうみちあつ 斉藤道厚 (無)	113 よこやまきくいち 横山菊市 (無)	114 いとうただてる 伊藤忠輝 (無)	115 わたのしやうたろう 綿野庄太郎 (無)	116 おきはらとし夫 沖原紀夫 (無)	117 江崎さきなみ 江崎波雄 (無)	118 こんどうよういち 近藤昌一 (無)	119 みずのてつお 水野鉄雄 (無)	120 かかとうだいぞう 加藤大三 (無)	小計
藤崎町	—	—	8,711	—	—	—	1	2	—	—	11,711
大尾上町	1	—	1,042	1,750	—	—	—	2	18	—	29,792
浪岡町	1	—	—	—	2	—	—	—	—	4	7
平賀町	4	6,786	—	—	—	—	1	2	2,026	1	16,812
常盤村	2	4,500	7,578	1,290	1	—	1	—	5,048	4	26,356
田舎館村	—	1	1,089	1	1	—	—	1	—	—	5,089
碓ヶ関村	1	1	1	—	—	—	—	—	1	2	5
南津軽郡計	10	13,286	19,414	3,980	4	—	3	7	26,074	11	97,754

候補者得票数に関する調

南 津 軽 郡

全 国 区

市町村	な か 子 武 一 一 121	ふ く し ま 勝 まさる 122	は やし 林 武 一 いつ 123	小 計	(A) 得 票 総 数	法第68条 の2第2 項の規定 による際 に於てた り捨てた 票数 (B)	い ず れ の 候 補 者 に も な ら ず の 票 数 (C)	有 効 投 票 数 (D)	無 効 投 票 数 (E)	投 票 総 数 (D)+(E)
藤崎町	9	2	4.699	15.699	9,964.992	0.008	—	3,365	404	3,769
大鰐町	—	—	16.791	16.791	4,429.992	0.008	—	4,424	448	4,872
尾上町	—	—	2.109	2.109	3,166.995	0.005	—	3,167	497	3,664
浪岡町	4	—	4.061	8.061	5,834.990	0.010	—	5,835	519	6,354
平賀町	1	1	8.097	10.097	5,239.987	0.019	—	5,240	465	5,705
常盤村	1	—	4.222	5.222	2,027.994	0.006	—	2,028	220	2,248
田舎館村	1	1	3.117	5.117	2,952.997	0.003	—	2,953	484	3,437
碓ヶ関村	—	2	3	5	1,786.995	0.005	—	1,787	121	1,908
南津軽郡計	16	6	45.976	67.976	28,798.942	0.058	—	28,799	3,158	31,957

北 津 軽 郡

市町村	こ う 野 義 一 いち 1	た か 野 一 夫 お 2	お お 木 実 み 3	や ま も と 伊 三 郎 4	野 の 田 耕 作 5	も り 田 義 衛 え 6	か が や ま ゆ き 之 お 7	た な 中 清 一 いち 8	は な 田 伝 でん 9	つ ば き 精 一 いち 10	小 計
板柳町	21	8	29	16.930	19	129	141	68	21	8.063	454.996
金木町	37	14	17	32	1	23	12	150	7	5	298
中里町	20	6	14	6.857	2	30	16	79	12	4	189.857
鶴田町	24	35	49	13.641	10	133	61	118	28	11	482.641
市浦村	4	5	7	34	—	18	1	92	5	2	168
小泊	11	10	19	9.916	—	21	3	10	14	—	97.916
北津軽郡計	117	78	135	113.344	26	354	234	517	87	30.063	1,691.407

市町村	た け ま さ そ う 一 いち 郎 11	よ ね 田 正 文 12	ま つ も と 治 一 いち 郎 13	野 の も と し な き ち 吉 14	中 川 源 一 いち 郎 15	は やし 林 塩 し お 16	く す も と ま さ や す 康 17	吉 田 セ イ 18	米 よ 内 一 いち 郎 19	植 垣 弥 一 いち 郎 20	小 計
板柳町	2	561	18	19	20	69.294	98	22	67	41	857.294
金木町	2	609	5	27	50	63	20	8	42	20	846
中里町	1	419	11	6	13	75.807	9	17	29	33	613.807
鶴田町	4	680	9	42	6	244.819	50	39	41	77	1,192.819
市浦村	2	129	4	—	—	31	5	1	16	—	188
小泊	—	136	1	2	3	14.933	1	7	15	3	182.933
北津軽郡計	11	2,534	48	96	92	498.853	123	94	210	174	3,880.853

候補者得票数に関する調

南津軽郡

全国区

市町村	なかにこ 子たけいち 一	ふくしま 勝まさる	はやし 林武 一いつ	小計	(A) 得票 総 数	法第68条 第2項の 規定による 際切捨てた 票数	いづれの 候補者にも 属しない 票数	(A)+(B)+(C) 有効 投票 数	(E) 無効 投票 数	(D)+(E) 投票 総 数
藤崎町	9	2	4.699	15.699	9,964.992	0.008	—	9,965	404	9,769
大鰐町	—	—	16.791	16.791	4,429.992	0.008	—	4,424	448	4,872
尾上町	—	—	2.109	2.109	9,166.995	0.005	—	9,167	497	9,664
浪岡町	4	—	4.061	8.061	5,894.990	0.010	—	5,895	519	6,954
平賀町	1	1	8.097	10.097	5,299.987	0.019	—	5,240	465	5,705
常盤村	1	—	4.222	5.222	2,027.994	0.006	—	2,028	220	2,248
田舎館村	1	1	9.117	5.117	2,952.997	0.009	—	2,959	484	9,497
碓ヶ関村	—	2	9	5	1,786.995	0.005	—	1,787	121	1,908
南津軽郡計	16	6	45.976	67.976	28,798.942	0.058	—	28,799	3,158	31,957

北津軽郡

市町村	こうの 野義いち 一	たかの 野かつ 夫お	おおき 木実 み	やまもと 山本伊三 郎	野の 田たこう 耕作	もり 森田たよ し衛え	かがや 賀山ゆき 之お	たなか 田中清 一いち	はなだ 花田でん 伝	つばき 椿精いち 一	小計
板柳町	21	8	29	16.990	19	129	141	68	21	8.069	454.996
金木町	37	14	17	32	1	29	12	150	7	5	298
中里町	20	6	14	6.857	2	90	16	79	12	4	189.857
鶴田町	24	95	49	19.641	10	199	61	118	28	11	482.641
市浦村	4	5	7	34	—	18	1	92	5	2	168
小泊	11	10	19	9.916	—	21	9	10	14	—	97.916
北津軽郡計	117	78	135	113.344	26	354	234	517	87	30.069	1,691.407

市町村	たけまさ 武正総一 郎	よねだ 米田まさ ふみ文	まつもと 松本治 一郎	野の もとし 品吉	なかがわ 中川源一 郎	はやし 林しお 塩	くすもと 楠本まさ やす康	よし 吉田セ イ	米よ 米内い いち郎	うねが 植垣弥一 郎	小計
板柳町	2	561	18	19	20	69.294	98	22	67	41	857.294
金木町	2	609	5	27	50	69	20	8	42	20	846
中里町	1	419	11	6	19	75.807	9	17	29	39	613.807
鶴田町	4	680	9	42	6	244.819	50	39	41	77	1,192.819
市浦村	2	129	4	—	—	31	5	1	16	—	188
小泊	—	196	1	2	9	14.999	1	7	15	9	182.999
北津軽郡計	11	2,534	48	96	92	498.853	123	94	210	174	3,880.853

候補者得票数に関する調

北 津 軽 郡

全 国 区

市 町 村	齋藤時郎 (自) 21	鮎川義介 (中) 22	佐々木庸 (社) 23	山本すぎ (自) 24	中尾辰義 (無) 25	溝淵春次 (無) 26	鈴木木蔵 (共) 27	鎌田文雄 (無) 28	豊田まさたか (緑) 29	福安堰堤 (無) 30	小 計
板柳町	57.411	20	16	95.069	9	1	25.882	6.148	197	—	961.510
金木町	19	6	11	93	9	—	41	5	49	—	167
中里町	—	2	14	9.142	—	—	45.169	1	15	—	86.311
鶴田町	31	20	28	71.358	6	—	44.492	—	25	—	225.850
市浦村	4	1	3	4	—	1	4.285	—	2	—	19.285
小泊村	16	6	4	7.083	1	—	57.288	4	—	—	95.371
北津軽郡計	127.411	55	76	159.652	13	2	218.116	16.148	288	—	955.327

市 町 村	田淵久 (無) 31	青山正一 (自) 32	関屋梯蔵 (自) 33	阿具根登 (社) 34	横山フク (自) 35	野の上元 (社) 36	山口重彦 (社) 37	青木かずお (自) 38	岡三郎 (社) 39	鈴木木恭一 (自) 40	小 計
板柳町	8	43	6	1	48.996	191	66	90	155.850	154.117	709.903
金木町	2	2	3	2	32	106	22	26	149	20	364
中里町	1	5	—	3	60.509	114	14	10	86	68.890	362.399
鶴田町	1	23	3	—	96.898	148	21	14	220	188.507	715.405
市浦村	—	9	—	1	29	191	2	8	43	70.714	293.714
小泊村	—	8	—	1	39	32	2	5	95	7.711	189.711
北津軽郡計	12	90	12	8	306.343	722	127	93	748.850	509.879	2,629.072

市 町 村	草間時光 (無) 41	大倉精一 (社) 42	永岡光治 (社) 43	井上善十郎 (社) 44	久保田勝太郎 (無) 45	清水みず (諸) 46	重政庸徳 (自) 47	山沢またつ (自) 48	奈良繁保 (無) 49	井上ナツエ (無) 50	小 計
板柳町	1	118.936	6	69.565	—	6	287	16	3	10.434	517.995
金木町	—	22	1	39	—	3	100	—	2	2	167
中里町	1	2	2	19.125	1	5	152	1	1	7.875	192
鶴田町	1	51	1	33.142	2	—	293	6	5	14.857	946.999
市浦村	—	3	—	3	—	—	52	1	1	1	61
小泊村	—	2	1	21.789	—	1	15	—	—	1.210	41.999
北津軽郡計	3	198.936	11	185.621	3	15	839	24	10	37.376	1,326.933

候補者得票数に関する調

北津軽郡

全国区

市町村	なかむらじゅんぞう 51 (社)	さきちよこ 52 (無)	しもむら 53 (自)	あまのりょうきち 54 (自)	かわかみ 55 (社)	久保 56 (社)	うしだ 57 (無)	高良とみ 58 (無)	むかいながとし 59 (社)	城戸忠愛 60 (無)	小計
板柳町	25	1	33	28	9,939	14	204	23	14	8	959,939
金木町	27	2	26	9	2	98	128	45	9	147	427
中里町	22	1	1	9	18,750	13	47	5	19	54	189,750
鶴田町	55	1	461	9	4	17	71	25	28	8	673
市浦村	1	1	—	93	2	6	12	4	8	1	68
小泊村	6	1	2	92	5	2	11	4	2	8	133
北津軽郡計	136	7	523	162	41,083	90	473	106	80	226	1,844,083

市町村	こまざわふみ 61 (無)	かんばやし 62 (自)	えんや 63 (社)	おおたに 64 (自)	もと 65 (社)	かわちぎん 66 (無)	須藤 67 (共)	あさぬま 68 (諸)	かじわら 69 (自)	伊藤 70 (諸)	小計
板柳町	117,851	4	4	14	1	6	26	1	38	2,939	214,184
金木町	19	80	4	39	8	—	7	2	145	—	304
中里町	—	22	31	77	1	2	9	8	53	4	201
鶴田町	3	3	12	57	1	10	4	3	50	—	143
市浦村	—	—	12	33	1	—	2	2	64	—	114
小泊村	—	—	3	4	1	1	5	1	136	—	151
北津軽郡計	139,851	109	66	224	13	19	47	17	486	6,333	1,127,184

市町村	まさきかつ 71 (自)	いしたに 72 (自)	かしまもり 73 (自)	よしざき 74 (無)	いしだ 75 (無)	きたばけ 76 (自)	伊藤 77 (無)	小川 78 (中)	とよせ 79 (社)	おおつぼ 80 (自)	小計
板柳町	145	22	121,923	99	6	21	7	5	3	25	454,923
金木町	58	345	129,994	21	5	—	4	13	3	66	644,994
中里町	134	975	104,928	20	18	—	—	8	2	41	1,302,928
鶴田町	185	54	54,939	232	18	4	10	35	2	51	745,939
市浦村	1	236	22	1	4	—	5	1	—	18	288
小泊村	1	120	19,555	3	1	3	—	2	—	4	153,555
北津軽郡計	524	1,752	452,193	476	52	28	26	64	10	205	3,589,193

候補者得票数に関する調

北 津 軽 郡

全 国 区

市町村	後藤 俊男 (81)	高瀬 庄太郎 (82)	辻 政信 (83)	かね野 太三郎 (84)	岡村 文四郎 (85)	金丸 富夫 (86)	鹿嶋 俊雄 (87)	原島 宏治 (88)	千代 世 (89)	日下 隆 (90)	小計
板金	4	22	90	2	541	497	28,676	9	11	9	1,219.676
柳町	1	14	42	—	57	196	72,005	12	9	1	998.005
中里	—	2	68	—	28	159	8,071	—	6	2	279.071
鶴田	9	21	89	—	68	565	48,606	2	6	1	803.606
市浦	—	1	9	—	5	27	—	2	5	—	49
小泊	—	1	9	—	2	7	2,444	9	2	1	27.444
北津軽郡計	8	61	307	2	701	1,451	159,802	28	33	14	2,764.302

市町村	杉山 利一 (91)	松崎 健吉 (92)	木村 禧八郎 (93)	柴谷 要 (94)	徳永 正利 (95)	美念 ゆめ (96)	小田 俊与 (97)	小西 英雄 (98)	川上 治 (99)	奥村 睦 (100)	小計
板金	12	2	95	109	21	1	12	32	2,666	447	679.666
柳町	19	2	10	92	61	—	18	19	5	39	199
中里	2	—	15	11	59	2	7	6	6,250	29	191.250
鶴田	1	6	12	71	278	2	9	16	21	149	559
市浦	1	1	—	6	31	—	2	1	4	11	57
小泊	1	1	2	9	1	—	—	6	2	4	20
北津軽郡計	36	12	74	232	451	5	42	74	40,916	673	1,639.916

市町村	小平 芳平 (101)	赤松 常子 (102)	前田 久吉 (103)	鶴園 哲夫 (104)	宮越 喜助 (105)	山田 義太郎 (106)	平田 宇宙 (107)	古賀 一 (108)	遠藤 三郎 (109)	河野 孔明 (110)	小計
板金	2	10	109	49	2	9	5	19	8,149	—	207.149
柳町	8	16	94	328	1	9	—	2	1	—	458
中里	2	19	58	214	2	1	—	9	—	—	298
鶴田	11	10	107	72	7	2	9	7	2	—	221
市浦	2	—	4	145	—	4	—	—	—	—	155
小泊	2	9	18	51	—	1	—	4	—	—	79
北津軽郡計	27	52	390	859	12	14	8	35	11,149	—	1,408.149

候補者得票数に関する調

北 津 軽 郡

全 国 区

市町村	根ねもとしてい 本貞治 <small>111</small>	さいとうみちあつ 藤道厚 <small>112</small>	よこやまきくいち 山菊市 <small>113</small>	いとうただてる 藤忠輝 <small>114</small>	わたしのしょうたろう 野庄太郎 <small>115</small>	おきはらとし 中原紀夫 <small>116</small>	江えさきなみ 崎波雄 <small>117</small>	こんどうしやういち 近藤昌一 <small>118</small>	みずのてつお 野鉄雄 <small>119</small>	かとうだいぞう 藤大三 <small>120</small>	小計
板柳町	2	3,588	1,063	4,666	14	—	1	—	1	2	29,317
金木町	—	5	34	4	—	—	1	1	1	9	49
中里町	—	7	3,490	—	—	—	—	—	—	2	12,490
鶴田町	—	—	1,101	—	—	—	2	3	—	8	14,101
市浦村	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2
小泊村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北津軽郡計	2	15,588	39,654	8,666	14	—	5	4	3	15	106,908

市町村	なかこたけいち 仲子武一 <small>121</small>	ふくしま 福島勝 <small>122</small>	はやし 林武一 <small>123</small>	小計	得票総数 (A)	法第68条第2項の 規定による際 際た 分り捨 票数 (B)	いづれの候補者にも 属しない票数 (C)	有効投票数 (D)	無効投票数 (E)	投票総数 (D)+(E)
板柳町	1	—	6,705	7,705	6,054,998	0.012	—	6,055	598	6,653
金木町	—	2	3	5	4,321,999	0.001	—	4,322	417	4,739
中里町	3	1	5,192	9,192	3,850,995	0.005	—	3,851	904	4,155
鶴田町	1	1	9,180	11,180	6,193,994	0.006	—	6,194	836	6,970
市浦村	1	—	—	1	1,463,999	0.001	—	1,464	159	1,623
小泊村	—	—	1,066	1,066	1,172,995	0.005	1	1,174	135	1,309
北津軽郡計	6	4	25,143	35,143	22,998,970	0.030	1	23,000	2,449	25,449

上 北 郡

全 国 区

市町村	河野の自 義一 <small>1</small>	高野の自 かつ夫 <small>2</small>	おおき 木実 <small>3</small>	やまもと 伊三郎 <small>4</small>	野の 田耕作 <small>5</small>	もり 田義衛 <small>6</small>	加賀が 山崎之雄 <small>7</small>	田なかせい 中瀬一 <small>8</small>	はな 田伝 <small>9</small>	つばき 精一 <small>10</small>	小計
野辺地町	19	14	15	10,730	—	84	218	58	9	5	432,730
上北町	4	7	9	5,769	4	48	94	28,275	6	9,088	215,132
七戸町	4	31	19	85,983	4	97	4	38	9	30	321,383
百石町	2	9	1	7,598	2	43	12	9	2	9	96,598
十和田町	—	—	5	2	—	45	12	25	1	55	145
横浜町	8	7	8	—	—	12	77	3	2	1	118
六戸町	6	8	19	6,620	3	81	27	20	8	22	200,620
天間林村	4	—	15	2,400	3	72	69	11	5	39	220,400
甲地村	3	—	16	3,642	4	63	105	10	5	12	221,642
下田村	7	2	11	2	3	55	101	11	13	73,608	278,608
六ヶ所村	9	1	20	1,166	—	54	6	20	—	4	115,166
上北郡計	66	79	138	127,248	23	654	725	233,275	60	259,696	2,365,219

候補者得票数に関する調

北 津 軽 郡

全 国 区

市町村	根ねもともとい根本貞治 <small>111</small>	さいとう藤道厚 <small>112</small>	よこやまきくいち横山菊市 <small>113</small>	いとう忠輝 <small>114</small>	わたの庄太郎 <small>115</small>	おきはらとし夫 <small>116</small>	江えさきなみ崎波雄 <small>117</small>	こんどうしやいち近藤昌一 <small>118</small>	みず野の鉄雄 <small>119</small>	かとうたいぞう藤大三 <small>120</small>	小計
板柳町	2	3,588	1,063	4,666	14	—	1	—	1	2	29,317
金木町	—	5	34	4	—	—	1	1	1	9	49
中里町	—	7	3,490	—	—	—	—	—	—	2	12,490
鶴田町	—	—	1,101	—	—	—	2	3	—	8	14,101
市浦村	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2
小泊村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北津軽郡計	2	15,588	39,654	8,666	14	—	5	4	3	15	106,908

市町村	なかこたけいち仲子武一 <small>121</small>	ふくしま勝まさる <small>122</small>	はやし武ぶいつ <small>123</small>	小計	得票総数 (A)	法第68条第2項の2の規定による際取り捨票数 (B)	いづれの候補者にもない票数 (C)	有効投票数 (D)	無効投票数 (E)	投票総数 (D)+(E)
板柳町	1	—	6,705	7,705	6,054,998	0.012	—	6,055	598	6,653
金木町	—	2	3	5	4,321,999	0.001	—	4,322	417	4,739
中里町	3	1	5,192	9,192	3,850,995	0.005	—	3,851	904	4,155
鶴田町	1	1	9,180	11,180	6,193,994	0.006	—	6,194	836	6,970
市浦村	1	—	—	1	1,463,999	0.001	—	1,464	159	1,623
小泊村	—	—	1,066	1,066	1,172,995	0.005	1	1,174	135	1,309
北津軽郡計	6	4	25,143	35,143	22,998,970	0.030	1	23,000	2,449	25,449

上 北 郡

全 国 区

市町村	こう野の自 <small>1</small>	たか野の自 <small>2</small>	おおき木 <small>3</small>	やまもと伊三郎 <small>4</small>	野の田耕作 <small>5</small>	もり田の自 <small>6</small>	かか賀が山 <small>7</small>	田なかせいいち <small>8</small>	はな田の自 <small>9</small>	つばき精一 <small>10</small>	小計
野辺地町	19	14	15	10,730	—	84	218	58	9	5	432,730
上北町	4	7	9	5,769	4	48	94	28,275	6	9,088	215,132
七戸町	4	31	19	85,983	4	97	4	38	9	30	321,383
百石町	2	9	1	7,598	2	43	12	9	2	9	96,598
十和田町	—	—	5	2	—	45	12	25	1	55	145
横浜町	8	7	8	—	—	12	77	3	2	1	118
六戸町	6	8	19	6,620	3	81	27	20	8	22	200,620
天間林村	4	—	15	2,400	3	72	69	11	5	39	220,400
甲地村	3	—	16	3,642	4	63	105	10	5	12	221,642
下田村	7	2	11	2	3	55	101	11	13	73,608	278,608
六ヶ所村	9	1	20	1,166	—	54	6	20	—	4	115,166
上北郡計	66	79	138	127,248	23	654	725	233,275	60	259,696	2,365,219

候補者得票数に関する調

上 北 郡

全 国 区

市町村	武正 総一郎 (自)	米田 正文 (自)	松本 治一郎 (社)	野本 もとしなきち (自)	中川 源一郎 (自)	林 (無)	楠本 正康 (自)	吉田 セイ (自)	米内 一三郎 (社)	植垣 一三郎 (自)	小 計
野辺地町	4	22	9	19	6	60.677	21	18	76	29	258.677
上北町	—	12	10	—	5	99.529	11	15	16	95	197.529
七戸町	9	79	7	26	9	91.550	25	29	76	28	967.550
百石町	2	122	4	4	9	14	8	19	26	145	941
十和田町	—	15	—	8	2	29.866	18	9	24	16	115.866
横浜町	—	1	1	9	—	17	8	2	26	—	58
六戸町	1	107	6	6	9	61.672	9	30	91	191	985.672
天間林村	1	40	6	4	1	95.828	5	12	21	18	149.828
甲地村	—	9	2	1	—	13	9	17	18	15	72
下田村	—	128	2	7	1	10	6	8	24	111	297
六ヶ所村	—	22	2	2	6	15.625	2	52	29	12	196.625
上北郡計	17	545	49	80	30	382.747	116	199	361	534	2,313.747

市町村	斎藤 時郎 (自)	鮎川 義介 (中)	佐々木 庸 (社)	山本 すすぎ (自)	中尾 辰義 (無)	溝淵 春次 (無)	鈴木 市蔵 (共)	鎌田 文雄 (無)	豊田 雅孝 (緑)	福安 堰堤 (無)	小 計
野辺地町	8	17	25	20.269	—	—	62.619	—	19	—	145.888
上北町	11	2	162	9.290	—	—	9.937	—	12	—	199.567
七戸町	7.875	42	91	21.616	1	1	9.422	—	119	—	292.919
百石町	16	5	8	6.461	—	—	6.292	—	8	—	49.759
十和田町	11.916	4	6	9	—	—	5.600	1	—	—	37.516
横浜町	—	1	2	9	—	—	96.081	—	12	—	54.081
六戸町	6.428	10	99	25.979	5	—	16.500	—	5	1	102.907
天間林村	14	60	22	21.600	1	—	9.899	—	2	—	124.499
甲地村	7	2	10	13.957	—	—	9.008	—	8	—	49.965
下田村	5	9	10	7	—	—	4.125	—	—	—	29.125
六ヶ所村	7	1	20	12.899	—	—	5.866	1	1	—	48.699
上北郡計	94.219	147	329	149.745	7	1	162.683	2	180	1	1,073.647

候補者得票数に関する調

上 北 郡										全 国 区	
市町村	田た 淵ぶ 久ひ し	青あ 山お 正し 一い ち	関せ 屋や 悌て いそ う	阿あ 具く ねの 登ぼ る	横よ 山か フマ ク	野の 上が み社 元げ ん	山や ま口 電し げひ こ	青あ 木き かず 男お	岡お 三三 郎さ ぶら う	鈴す 木き 恭き 一い ち	小 計
野辺地町	3	5	7	2	170.791	170	10	58	131	59.380	610.111
上北町	—	2	—	—	71.885	55	9	6	77	85.662	906.547
七戸町	—	6	4	13	129	193	20	6	109	202.577	682.577
百石町	—	5	7	—	93	54	15	6	83	79.707	942.707
十和田町	1	5	1	—	66.969	106	2	1	94.989	50.400	926.958
横浜町	—	1	—	—	34.612	19	6	18	71	94.918	184.530
六戸町	—	5	2	—	89.876	27	39	9	77	104.500	959.376
天間林村	—	4	—	1,169	85.976	41	3	129	113.974	42.166	1,588.116
甲地村	2	1	—	—	32	100	21	8	94	124.991	982.991
下田村	3	2	2	1	35	38	34	12	44	61.875	232.875
六ヶ所村	1	25	—	—	15	105	17	7	83	143.133	996.133
上北郡計	10	59	23	1,185	824.049	908	176	260	977.963	983.309	5,406.321

市町村	草く 間ま 時と きみ つ	大お 倉く 精ら 一い ち	永なが 陶お かか みつ 治じ	井い のう えせ んし ゆう ろう	久く 保ぼ たか つた ろう	清し みみ ずお た る	重し げま 政さ 庸う 徳と く	山や まざ わ自 また つ	奈な 長ら しげ 繁や 保す	井い のう え ナツ エ	小 計
野辺地町	—	51	3	13	2	—	38	5	1	8	121
上北町	1	167.635	—	284.540	1	1	44	—	—	7.459	506.634
七戸町	1	15	10	76.363	2	—	76	4	—	7.636	191.999
百石町	2	5	3	5	—	—	114	6	—	—	135
十和田町	1	4	—	4.500	—	1	81	—	—	4.500	96
横浜町	—	42	1	3	—	—	24	—	—	—	70
六戸町	1	104	—	2	7	2	148	3	—	10	277
天間林村	—	3	1	47.659	—	1	370	1	—	8.340	431.999
甲地村	—	42	1	12.833	1	—	73	1	—	8.166	138.999
下田村	—	47.392	1	2.500	—	4	91	—	1	2.500	149.392
六ヶ所村	—	8	—	7.090	1	—	98	4	—	5.909	123.999
上北郡計	6	489.027	20	458.485	14	9	1,157	24	2	62.510	2,242.022

候補者得票数に関する調

上 北 郡

全 国 区

市 町 村	中 村 順 造 51 (社)	追 ち 代 子 52 (無)	下 村 定 53 (自)	天 の 良 吉 54 (自)	川 上 嘉 55 (社)	久 保 等 56 (社)	牛 田 寛 57 (無)	高 良 と み 58 (無)	向 井 長 年 59 (社)	城 戸 忠 愛 60 (無)	小 計
野辺地町	176	2	13	88	10	46	196	25	27	51	634
上北町	19	—	10	8	5.673	3	437	4	13	1	500.673
七戸町	14	5	41	7	9.483	29	327	16	48	16	512.483
百石町	9	2	7	39	4.285	1	192	1	3	6	264.285
十和田町	5	2	21	—	1.500	6	327	8	83	—	453.500
横浜町	11	1	2	33	6	6	190	3	12	1	265
六戸町	22	1	25	8	12.832	4	205	7	5	6	295.832
天間林村	20	5	10	16	4.600	7	160	10	13	16	261.600
甲地村	25	3	135	17	3.656	7	199	19	19	34	461.656
下田村	16	1	14	—	1	2	245	4	7	8	298
六ヶ所村	8	2	4	6	4.500	12	70	3	10	7	126.500
上北郡計	325	24	282	222	63.539	123	2,548	100	240	146	4,073.539

市 町 村	駒 沢 文 雄 61 (無)	上 林 忠 次 62 (自)	塩 治 竹 雄 63 (社)	大 谷 よ し 雄 64 (自)	基 政 七 65 (社)	河 内 金 次 郎 66 (無)	須 藤 五 郎 67 (共)	浅 沼 美 知 雄 68 (諸)	梶 原 茂 嘉 69 (自)	伊 藤 義 賢 70 (諸)	小 計
野辺地町	17	2	1	35	2	—	2	2	100	2	163
上北町	5	120	1	1	—	—	6	2	17	—	152
七戸町	9	102	19	3	2	2	7	3	66	—	213
百石町	—	11	—	2	—	—	3	3	96	—	115
十和田町	—	18	1	—	2	—	—	2	21	—	44
横浜町	—	—	1	3	—	—	1	—	29	—	34
六戸町	—	66	—	8	—	—	5	1	58	2	140
天間林村	7	162	1	9	—	—	3	1	8	—	191
甲地村	5	91	—	4	1	—	2	—	69	—	172
下田村	1	37	—	—	1	—	2	4	16	—	61
六ヶ所村	2	—	1	4	—	—	3	2	86	—	98
上北郡計	46	609	25	69	8	2	34	20	566	4	1,383

候補者得票数に関する調

上 北 郡										全 国 区	
市 町 村	真崎勝次 (自) 71	石谷憲男 (自) 72	鹿島守之助 (自) 73	吉崎千秋 (無) 74	石田次男 (無) 75	北皇教真 (自) 76	伊藤修 (無) 77	小川吉 (中) 78	豊瀬一 (社) 79	大坪藤市 (自) 80	小 計
野辺地町	39	430	255.909	47	19	—	1	—	—	51	896.909
上北町	—	38	98.678	2	7	—	—	6	1	29	181.678
七戸町	12	148	197.989	7	12	1	2	5	1	66	391.989
百石町	2	29	355.972	11	2	—	—	1	—	5	405.972
十和田町	1	169	208.075	31	9	1	—	—	—	15	428.075
横浜町	—	608	88.666	7	16	—	—	1	—	9	729.666
六戸町	11	19	226.420	14	10	3	—	1	1	40	325.420
天間林村	9	210	188.121	4	7	1	—	2	—	32	447.121
甲地村	1	661	86.992	2	24	—	1	—	—	19	794.992
下田村	24	18	55.782	32	8	—	—	1	—	17	155.782
六ヶ所村	9	154	296.519	51	2	—	—	2	—	22	470.519
上北郡計	90	2,478	936.717	208	116	6	4	19	3	305	5,165.717

市 町 村	後藤俊男 (社) 81	高瀬太朗 (緑) 82	辻政信 (無) 83	金野大三郎 (無) 84	岡村文四郎 (自) 85	金丸富夫 (無) 86	鹿島俊雄 (自) 87	原島宏治 (無) 88	千葉世 (社) 89	日下隆 (無) 90	小 計
野辺地町	4	9	66	—	124	126	39.690	6	11	—	985.690
上北町	4.666	2	97	3	114	102	2.654	1	6	—	272.920
七戸町	4.111	7	59	1	194	378	35.504	1	9	3	691.615
百石町	2	1	20	—	47	32	38.627	2	2	1	145.627
十和田町	1	7	17	—	171	18	15.924	6	—	—	235.924
横浜町	2	1	6	—	170	52	2.333	1	4	—	238.333
六戸町	5	6	25	1	194	41	30.566	4	13	9	328.566
天間林村	1	3	93	1	167	50	5.878	20	—	2	282.878
甲地村	1	3	26	—	179	117	4.607	—	3	1	334.607
下田村	—	11	17	—	107	26	3.218	—	6	—	170.218
六ヶ所村	1	5	22	—	233	39	13.480	4	—	—	317.480
上北郡計	25.777	55	328	6	1,700	981	192.481	45	54	16	3,403.258

候補者得票数に関する調

上北郡

全国区

市町村	91 杉山利一 (無)	92 まつざき健吉 (中)	93 木村福八郎 (社)	94 しば谷要 (社)	95 とくながまさとし (自)	96 美念ゆめろむ (無)	97 小田俊与 (諸)	98 小西英雄 (自)	99 川上為治 (自)	100 奥むめお (緑)	小計
野辺地町	7	22	29	206	86	—	5	8	14	47	424
上北町	3	—	37	199	1	1	2	4	59.926	17	257.926
七戸町	7	—	48	5	52	—	5	12	92.516	47	208.516
百石町	2	9	15	11	2	—	2	9	5.714	92	75.714
十和田町	—	2	4	1	133	—	—	9	10.500	67	220.500
横浜町	1	—	5	21	9	—	2	—	—	9	41
六戸町	2	—	10	91	102	1	9	7	22.165	54	292.165
天間林村	16	1	9	20	33	1	1	5	18.999	42	146.999
甲地村	1	1	12	89	39	—	2	2	7.393	24	177.999
下田村	1	—	15	50	8	2	—	9	—	8	87
六ヶ所村	2	—	4	2	19	1	—	9	4.500	15	50.500
上北郡計	42	29	188	575	484	6	22	50	168.453	356	1,920.453

市町村	101 小平芳平 (無)	102 あかまつつねこ (社)	103 まえだひさきち (緑)	104 つるぞのてつお (社)	105 みやこしきすけ (無)	106 やまだよし太郎 (無)	107 ひらた宇宙 (諸)	108 古賀はじめ (諸)	109 遠藤三郎 (無)	110 河野孔明 (無)	小計
野辺地町	11	16	38	173	—	1	—	8	3	—	250
上北町	1	11	99	98	—	2	—	1	1	—	153
七戸町	1	20	31	266	—	2	—	1	1	—	922
百石町	1	7	22	5	—	1	1	1	2	2	42
十和田町	—	6	4	56	1	1	—	4	1.010	—	79.010
横浜町	—	2	4	130	—	1	—	1	—	—	198
六戸町	8	25	34	18	—	—	3	9	—	1	92
天間林村	28	4	24	99	1	—	—	5	3.025	—	164.025
甲地村	2	12	5	88	2	—	—	—	1	—	110
下田村	2	2	12	14	—	—	1	4	9	—	98
六ヶ所村	2	8	65	130	—	1	—	1	17	—	224
上北郡計	56	113	338	1,017	4	9	5	29	32.035	3	1,606.035

候補者得票数に関する調

上 北 郡										全 国 区	
市 町 村	根ね もと 111 (無) 本貞 治じ	さい とう 112 (無) 藤道 厚	よこ やま 113 (無) 山菊 市いち	い とう 114 (無) 藤忠 輝	わた の 115 (無) 野庄 太郎	おき はら 116 (無) 原紀 夫を	江 さ 117 (無) 崎波 雄を	こん どう 118 (無) 藤昌 一いち	みず の 119 (無) 野鉄 雄お	か とう 120 (無) 藤大 三ぞう	小 計
野辺地町	1	—	4.268	—	2	—	—	3	1	5	16.268
上北町	2	—	2.114	—	—	—	1	—	—	2	7.114
七戸町	2	1.125	—	—	—	—	—	1	1	1	6.125
百石町	1	—	—	2	—	—	—	—	—	1	4
十和田町	—	1.089	1.090	—	1	—	1	1	—	—	5.119
横浜町	—	—	2.987	—	—	—	—	—	—	—	2.987
六戸町	1	2.571	1.129	—	—	—	1	1	—	—	6.694
天間林村	1	—	1.029	—	—	—	—	2	—	—	4.029
甲地村	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
下田村	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	3
六ヶ所村	—	—	1	—	—	—	—	—	2	1	4
上北郡計	9	4.779	12.945	2	3	—	4	8	5	11	59.724

市 町 村	なか こ 121 (諸) 子武 一いち	ふく しま 122 (無) 島勝 まさる	は ら 123 (無) 林武 一いつ	小 計	得 票 総 数 (A)	法第68条 の2第2 項の規 定按切 た (B) の 際 に 分 り 捨 り 票 数	い ず れ の 候 補 者 に も 属 し な い 票 数 (C)	有 効 投 票 数 (A) +(B) +(C) (D)	無 効 投 票 数 (E)	投 票 総 数 (D) +(E)
野辺地町	2	—	5.922	7.922	4,284.995	0.005	—	4,285	904	4,589
上北町	1	—	4.470	5.470	2,894.990	0.010	—	2,895	522	3,417
七戸町	1	1	5.449	7.449	4,148.998	0.007	—	4,149	534	4,683
百石町	—	—	—	—	2,016.996	0.004	—	2,017	166	2,183
十和田町	4	—	2.199	6.199	2,186.995	0.005	—	2,187	207	2,394
横浜町	—	—	—	—	1,992.997	0.009	—	1,993	189	2,116
六戸町	—	1	2.927	3.927	2,742.979	0.021	—	2,743	247	2,990
天間林村	—	—	2.171	2.171	4,007.998	0.007	—	4,008	558	4,566
甲地村	—	—	3	3	2,918.995	0.005	—	2,919	545	3,464
下田村	1	—	2	3	1,803	—	1	1,804	399	2,143
六ヶ所村	1	1	9.375	11.375	2,122.996	0.004	—	2,123	404	2,527
上北郡計	10	3	36.247	49.247	31,061.929	0.071	1	31,063	4,009	35,072

候補者得票数に関する調

下 北 郡

全 国 区

市町村	河野の義一 (自) 1	高野のかつ夫 (自) 2	大木の実 (無) 3	山本伊三郎 (社) 4	野田耕作 (無) 5	森田よし衛 (自) 6	加賀山崎之雄 (緑) 7	田中清一 (自) 8	花田伝 (自) 9	橋本精一 (社) 10	小計
田名部町	74.811	14	29	39.590	1	62	189	37	3	6	449.401
川内町	8	—	10	9.538	2	18	27	19.189	5	2.028	94.749
大湊町	66.760	39	22	41	2	92	279	32	28	1	542.760
大畑町	29.611	4	17	12.929	2	55	61	96.318	5	1.008	217.860
大間町	5	4	16	3.939	2	90	48	10	28	—	146.933
東通村	17	5	17	3.428	4	59	46	22	6	2	175.428
風間浦村	3	3	2	1.125	—	91	7	7	3	—	57.125
佐井村	3	1	29	3	5	9	4	10	3	—	67
脇野沢村	44	6	15	10.969	3	16	20	11.220	17	1.020	144.209
下北郡計	245.182	76	151	124.906	21	306	681	178.721	98	13.056	1,894.865

市町村	武正総一郎 (自) 11	米田まさふみ (自) 12	松本治一郎 (社) 13	野本吉吉 (自) 14	中川源一郎 (自) 15	林しお (無) 16	楠本康 (自) 17	吉田セイ (自) 18	米内一郎 (社) 19	植垣弥一 (自) 20	小計
田名部町	—	46	14	38	3	159.811	40	14	19	7	940.811
川内町	—	147	9	1	5	109.803	14	5	24	2	316.803
大湊町	4	38	15	46	15	194.937	26	18	19	16	991.937
大畑町	1	190	4	11	3	103.852	8	20	16	3	299.852
大間町	2	27	5	—	2	69.779	6	8	7	—	126.779
東通村	1	7	3	5	5	15.052	4	19	21	2	82.052
風間浦村	—	2	3	12	2	44.738	1	5	4	—	73.738
佐井村	1	52	8	2	7	70.828	5	15	17	1	178.828
脇野沢村	—	91	1	2	7	31.911	2	5	10	—	149.911
下北郡計	9	540	62	117	49	800.711	106	109	137	31	1,960.711

候補者得票数に関する調

下北郡

全国区

市町村	21 齋藤時郎 (自)	22 鮎川義介 (中)	23 佐々木庸 (社)	24 山本すき (自)	25 中尾たつよし (無)	26 溝淵春次 (無)	27 鈴木木いち蔵 (共)	28 鎌田文雄 (無)	29 豊田まさたか (緑)	30 福安堰堤 (無)	小計
田名部町	98.656	15	18	27.409	1	1	16.826	—	27	—	144.891
川内町	8	7	14	21.461	1	—	85.986	2	25	—	164.447
大湊町	13	29	27	22	5	6	66.926	2	20	—	184.926
大畑町	41.859	15	16	15.076	—	—	7.589	1	96	—	192.512
大間町	121	2	5	6.666	—	—	—	—	—	—	194.666
東通村	8	7	10	44.571	—	1	6.423	—	4	—	80.994
風間浦村	92.827	2	1	7.875	—	—	1	—	11	—	55.702
佐井村	8	9	7	7	—	—	27.489	—	9	—	55.483
脇野沢村	5	2	5	28.090	—	—	3.625	—	8	—	51.655
下北郡計	276.336	76	103	180.088	7	8	215.252	5	134	—	1,004.676

市町村	31 田淵久 (無)	32 青山正一 (自)	33 関屋ていぞう (自)	34 阿具根登 (社)	35 横山フク (自)	36 野の上元 (社)	37 山口重彦 (社)	38 青木かず男 (自)	39 岡さぶろう (社)	40 鈴木恭一 (自)	小計
田名部町	1	12	—	4	34	199	16	29	160	207.172	656.172
川内町	2	1	—	90	35.724	80	6	7	122	74.019	957.797
大湊町	—	19	2	2	108	192	5	28	229.979	199.679	707.646
大畑町	2	28	—	—	41	190	17	34	159.987	44.416	450.409
大間町	2	12	—	2	18	79	7	17	59.967	71	267.967
東通村	—	19	4	7	16	104	2	23	190.984	927.576	699.560
風間浦村	—	1	—	—	27	94	4	1	57	44	168
佐井村	—	17	—	9	16	185	2	6	48	49.516	920.516
脇野沢村	—	1	2	—	9	105	—	10	50	54.975	291.975
下北郡計	7	104	8	48	304.724	1,102	59	155	1,005.911	999.741	3,793.376

候補者得票数に関する調

下 北 郡

全 国 区

市町村	草間時光 <small>くさまときみつ</small> 41 (無)	大倉精一 <small>おおくらせいいち</small> 42 (社)	永岡光治 <small>ながおかみつじ</small> 43 (社)	井上善十郎 <small>いのうえぜんじゅうろう</small> 44 (社)	久保田勝太郎 <small>くぼたかつたろう</small> 45 (無)	清水みず <small>しみずみず</small> 46 (諸)	重政庸徳 <small>しげまさようとく</small> 47 (自)	山沢またつ <small>やまざわまたつ</small> 48 (自)	奈良しげやす <small>ならしげやす</small> 49 (無)	井上ナツエ <small>いのうえなつえ</small> 50 (無)	小計
田名部町	1	146	5	17,944	1	1	138	19	—	1,054	329,998
川内町	1	56,788	2	11,666	—	—	118	2	—	2,999	199,787
大湊町	—	926	4	15,940	1	1	18	6	—	6,059	977,999
大畑町	—	76,672	2	18,821	—	2	210	9	—	12,178	924,671
大間町	1	18	1	8,555	—	1	126	2	2	2,444	161,999
東通村	—	56	5	5,899	2	1	219	2	1	8,166	299,999
風間浦村	—	47	1	9,500	—	—	17	—	—	9,500	72
佐井村	—	19	3	1,285	2	—	52	—	7	7,714	91,999
脇野沢村	—	98,760	1	7,696	1	—	2	6	—	4,969	60,759
下北郡計	3	784,220	24	91,180	7	6	894	40	10	47,811	1,907,211

市町村	中村順造 <small>なかむらじゆんぞう</small> 51 (社)	迫千代子 <small>せきちよこ</small> 52 (無)	下村定 <small>しもむらさだむ</small> 53 (自)	天の良吉 <small>あまのりよきち</small> 54 (自)	川上嘉 <small>かわかみよし</small> 55 (社)	久保保等 <small>くぼほると</small> 56 (社)	牛田寛 <small>うしだかん</small> 57 (無)	高良とみ <small>たからとみ</small> 58 (無)	向井ながとし <small>むかいながとし</small> 59 (社)	城戸忠愛 <small>きやうちゆうあい</small> 60 (無)	小計
田名部町	26	4	49	814	19,500	115	156	11	57	62	1,907,500
川内町	22	1	5	120	—	26	92	6	29	28	269
大湊町	124	—	48	426	12,157	299	142	96	95	141	1,197,157
大畑町	58	—	9	162	6,750	12	55	19	14	109	492,750
大間町	8	—	7	90	4,571	10	269	5	16	9	418,571
東通村	18	—	15	642	2	97	49	8	28	95	894
風間浦村	5	—	4	75	1	1	67	8	10	21	192
佐井村	7	1	9	22	5	9	122	4	9	8	178
脇野沢村	5	—	5	62	1,166	12	74	2	9	12	176,166
下北郡計	273	6	139	2,413	52,144	449	966	93	195	419	5,005,144

候補者得票数に関する調

下北郡

全国区

市町村	駒沢文雄 <small>こまさわぶんお</small> 61	上林忠次 <small>かんばやしちゆうじ</small> 62	塩治竹雄 <small>えんやたけたけお</small> 63	大谷よし雄 <small>おおたによしお</small> 64	基政七 <small>もとまさしち</small> 65	河内金次郎 <small>かわちきんじろう</small> 66	須藤五郎 <small>すどうごろう</small> 67	浅沼美知雄 <small>あさぬまみちを</small> 68	梶原茂嘉 <small>かじわらもしか</small> 69	伊藤義賢 <small>いとうぎけん</small> 70	小計
田名部町	1	1	—	5	1	2	4	7	188	—	209
川内町	4	14	—	12	2	—	1	4	21	—	58
大湊町	5	18	3	19	4	3	3	9	111	1	170
大畑町	9	1	—	31	—	5	2	3	148	—	199
大間町	1	1	—	6	—	1	—	2	87	1,400	99,400
東通村	6	3	2	4	—	2	2	5	220	—	244
風間浦村	2	—	—	4	—	—	1	—	62	—	69
佐井村	2	3	—	7	—	1	3	5	129	1	151
脇野沢村	4	—	—	5	—	—	1	—	16	—	26
下北郡計	28	41	5	87	7	14	17	35	982	3,400	1,219,400

市町村	真崎勝次 <small>まさきかつたけじ</small> 71	石谷憲男 <small>いしたにのりお</small> 72	鹿島守之助 <small>かしまもりのおすけ</small> 73	吉崎千秋 <small>よしざきちあき</small> 74	石田次男 <small>いしだつぎお</small> 75	北島教真 <small>きたばたけきょうしん</small> 76	伊藤修 <small>いとうしゅう</small> 77	小川吉 <small>おがわきちきち</small> 78	豊瀬一 <small>とよせていいち</small> 79	大坪藤市 <small>おおつぼとういち</small> 80	小計
田名部町	9	493	62,235	22	15	—	2	9	1	34	641,235
川内町	—	497	23,760	8	13	11	4	6	2	11	575,760
大湊町	62	244	50,126	13	7	—	2	2	—	12	392,126
大畑町	3	250	64,961	7	8	—	1	5	—	6	344,961
大間町	4	234	19,720	5	7	—	5,600	3	—	16	294,920
東通村	12	402	21,375	7	11	—	4	4	—	31	492,375
風間浦村	—	359	7,318	2	5	3	—	—	—	2	378,318
佐井村	1	217	25,714	12	12	2	—	7	—	4	280,714
脇野沢村	—	277	44,571	—	3	—	—	2	1	10	397,571
下北郡計	91	2,973	319,780	76	81	16	18,600	32	4	126	3,737,380

候補者得票数に関する調

下北郡

全国区

市町村	後藤 俊男 (81) (社)	高瀬 庄太郎 (82) (緑)	辻 政信 (89) (無)	金野の 太三郎 (84) (無)	岡村 文四郎 (85) (自)	金丸 富夫 (86) (無)	鹿島 俊雄 (87) (自)	原島 宏治 (88) (無)	千代 葉世 (89) (社)	日下 隆 (90) (無)	小計
田名部町	—	26	48	—	979	411	152.762	—	10	9	1,029.762
川内町	1	4	26	—	41	89	90.240	9	1	1	190.240
大湊町	5	49	177	1	48	909	97.879	1	11	26	652.879
大畑町	2	9	26	—	90	52	17.098	11	11	9	215.098
大間町	9	16	14	11	2	42	9.280	9	2	2	104.280
東通村	2	2	25	—	74	196	16.625	—	8	1	264.625
風間浦村	—	4	9	—	9	97	15.681	10	9	—	147.681
佐井村	1	—	15	—	7	9	4.285	15	4	1	56.285
脇野沢村	5	2	4	—	—	51	9.428	1	9	2	71.428
下北郡計	19	100	344	12	644	1,184	287.212	44	53	39	2,726.212

市町村	杉山 利一 (91) (無)	松崎 健吉 (92) (中)	木村 福八郎 (99) (社)	柴谷 要 (94) (社)	徳永 正利 (95) (自)	美念 ゆめろむ (96) (無)	小田 俊与 (97) (諸)	小西 英雄 (98) (自)	川上 為治 (99) (自)	奥 むめお (100) (緑)	小計
田名部町	10	9	14	65	4	2	11	94	6.500	64	213.500
川内町	—	2	11	19	99	—	9	9	12	21	98
大湊町	21	9	27	221	9	—	1	16	4.842	47	949.842
大畑町	—	1	10	47	119	1	4	10	2.250	77	265.250
大間町	6	2	15	7	51	1	5	2	9.428	12	104.428
東通村	2	—	2	9	—	—	2	—	9	22	40
風間浦村	—	1	4	5	6	—	—	2	1	17	96
佐井村	6	—	7	9	12	1	2	1	—	17	49
脇野沢村	5	1	9	17	8	—	9	5	5.899	10	57.899
下北郡計	50	13	93	387	230	5	31	73	38.853	287	1,207.853

候補者得票数に関する調

下 北 郡

全 国 区

市町村	小 平 芳 平 (無)	赤 松 常 子 (社)	前 田 久 吉 (緑)	鶴 園 哲 夫 (社)	宮 越 喜 助 (無)	山 田 義 太 郎 (無)	平 田 宇 宙 (諸)	古 賀 一 はじめ (諸)	遠 藤 三 郎 (無)	河 野 孔 明 (無)	小 計
田名部町	12	11	30	203	—	1	1	4	5	1.187	268.187
川内町	11	10	10	450	—	2	—	6	2	—	491
大湊町	9	14	52	54	4	—	1	6	6.026	4.239	144.265
大畑町	7	12	98	411	—	9	1	9	2.012	1.388	478.400
大間町	2	9	12	69	1	9	—	2	2.032	1	95.032
東通村	1	9	11	197	2	—	1	5	2.015	—	168.015
風間浦村	6	4	7	62	—	—	—	2	1	—	82
佐井村	5	9	9	247	—	6	—	5	—	1	276
脇野沢村	9	1	10	92.989	—	—	—	—	1	—	107.989
下北郡計	50	73	173	725.989	7	15	4	33	21.085	8.814	2,110.888

市町村	根 木 貞 治 (無)	斉 藤 道 厚 (無)	横 山 菊 市 (無)	伊 藤 忠 輝 (無)	綿 野 庄 太 郎 (無)	沖 原 紀 夫 (無)	江 崎 波 雄 (無)	近 藤 昌 一 (無)	水 野 鉄 雄 (無)	加 藤 大 三 郎 (無)	小 計
田名部町	2	2.342	—	—	—	—	—	—	2	9	9.942
川内町	—	—	1.275	—	—	—	1	—	—	2	4.275
大湊町	9	—	—	—	1	—	3	—	2	4	19
大畑町	1	2.146	—	—	—	—	—	—	—	9	6.146
大間町	1	—	—	—	—	—	9	1	1	9	9
東通村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
風間浦村	—	1.172	—	—	—	—	—	—	1	—	2.172
佐井村	1	—	2	—	—	—	5	1	1	—	10
脇野沢村	1	—	1	—	—	—	—	—	1.011	2	5.011
下北郡計	9	5.660	4.275	—	1	—	12	2	8.011	18	59.946

候補者得票数に関する調

下北郡

全国区

市町村	なか 子(諸) 武(無) た(無) け(無) い(無) ち(無)	福(諸) 島(無) 勝(無)	林(諸) 武(無) 一(無) い(無) つ(無)	小計	得 票 総 数 (A)	法第68条 第2項の 規定による 際、捨 票数 (B)	い ず れ の 候 補 者 に も 属 し な い 票 数 (C)	有 効 投 票 数 (A) (B) (C) (D)	無 効 投 票 数 (E)	投 票 総 数 (D) (E)
田名部町	6	1	5.188	12.188	5,605.987	0.015	—	5,606	589	6,189
川内町	—	—	2.196	2.196	2,815.994	0.006	—	2,816	284	3,100
大湊町	4	1	2.069	7.069	5,124.994	0.006	—	5,125	219	5,344
大畑町	3	—	3.147	6.147	3,366.990	0.010	—	3,367	407	3,774
大間町	—	1	3.220	4.220	1,966.995	0.005	—	1,967	211	2,178
東通村	—	1	6.947	7.947	3,317.995	0.005	—	3,308	428	3,746
風間浦村	2	—	4.260	6.260	1,339.996	0.004	—	1,340	112	1,452
佐井村	1	4	3.171	8.171	1,722.996	0.004	—	1,723	115	1,838
脇野沢村	1	1	3.088	5.088	1,424.995	0.005	—	1,425	139	1,564
下北郡計	17	9	33.280	59.280	26,686.942	0.058	—	26,687	2,498	29,185

三戸郡

市町村	河(自) 野(自) 義(無) 一(無) い(無) ち(無)	高(自) 野(自) の(自) か(自) づ(自) 夫(自) お(自)	大(自) 木(自) き(自) 無(無) 実(無) の(無)	山(社) 本(社) 伊(社) 三(社) 郎(社)	野(無) の(無) 田(無) た(無) 耕(無) 作(無)	森(自) り(自) 田(自) た(自) 義(自) 衛(自) え(自)	加(緑) 賀(緑) 山(緑) 之(緑) ゆ(緑) き(緑) 雄(緑) お(緑)	田(自) た(自) 中(自) な(自) か(自) せ(自) い(自) い(自) ち(自)	花(自) は(自) な(自) 田(自) だ(自) 伝(自) で(自) ん(自)	椿(社) つ(社) ば(社) き(社) 精(社) 一(社) い(社) ち(社)	小計
三戸町	24	19	10	7	7	35	92	41	19	10	252
五戸町	114.925	11	39	91.963	8	76	112	50	11	135.784	589.072
田子町	54	1	14	3.994	4	92	93	28	7	12	188.394
名川町	12	6	12	8	4	47	153	36	10	1	289
階上村	4	14	54	1	5	27	24	19	5	4	151
福地村	2	—	3	36.315	3	17	39	12	1	6	119.315
南郷村	2	5	9	4	9	47	9	9	4	5	103
南部町	7	8	16	4.222	6	96	61	16	8	4	166.222
倉石村	9	9	7	6	1	11	3	1	1	56	98
新郷村	2	3	10	—	5	29	6	6	1	23	85
三戸郡計	230.925	64	168	101.294	52	357	532	212	61	256.784	2,035.003

候補者得票数に関する調

下北郡

全国区

市町村	なか 子(諸) 武(無) た(無) け(無) い(無) ち(無)	福(諸) 島(無) 勝(無)	林(諸) 武(無) 一(無) い(無) つ(無)	小計	得 票 総 数 (A)	法第68条 第2項の 規定による 際、捨 り票 数(B)	い ず れ の 候 補 者 に も 属 し な い 票 数(C)	有 効 投 票 数 (A) (B) (C) (D)	無 効 投 票 数 (E)	投 票 総 数 (D) (E)
田名部町	6	1	5.188	12.188	5,605.987	0.015	—	5,606	589	6,189
川内町	—	—	2.196	2.196	2,815.994	0.006	—	2,816	284	3,100
大湊町	4	1	2.069	7.069	5,124.994	0.006	—	5,125	219	5,344
大畑町	3	—	3.147	6.147	3,366.990	0.010	—	3,367	407	3,774
大間町	—	1	3.220	4.220	1,966.995	0.005	—	1,967	211	2,178
東通村	—	1	6.947	7.947	3,317.995	0.005	—	3,308	428	3,746
風間浦村	2	—	4.260	6.260	1,339.996	0.004	—	1,340	112	1,452
佐井村	1	4	3.171	8.171	1,722.996	0.004	—	1,723	115	1,838
脇野沢村	1	1	3.088	5.088	1,424.995	0.005	—	1,425	139	1,564
下北郡計	17	9	33.280	59.280	26,686.942	0.058	—	26,687	2,498	29,185

三戸郡

市町村	河(自) 野(自) 義(自) 一(自) い(自) ち(自)	高(自) 野(自) の(自) か(自) づ(自) 夫(自) お(自)	大(無) お(無) 木(無) き(無) 実(無) の(無)	山(社) 本(社) 伊(社) 三(社) 郎(社)	野(無) の(無) 田(無) た(無) の(無) 耕(無) 作(無)	森(自) も(自) り(自) 田(自) た(自) 義(自) 衛(自) え(自)	加(緑) か(緑) 賀(緑) 山(緑) 之(緑) ゆ(緑) き(緑) 雄(緑) お(緑)	田(自) た(自) 中(自) な(自) か(自) せ(自) い(自) い(自) ち(自)	花(自) は(自) な(自) 田(自) た(自) 伝(自) で(自) ん(自)	椿(社) つ(社) ば(社) き(社) 精(社) 一(社) い(社) ち(社)	小計
三戸町	24	19	10	7	7	35	92	41	19	10	252
五戸町	114.925	11	39	91.963	8	76	112	50	11	135.784	589.072
田子町	54	1	14	3.394	4	32	33	28	7	12	188.394
名川町	12	6	12	8	4	47	153	36	10	1	289
階上村	4	14	54	1	5	27	24	19	5	4	151
福地村	2	—	3	36.315	3	17	39	12	1	6	119.315
南郷村	2	5	9	4	9	47	9	9	4	5	103
南部町	7	8	16	4.222	6	36	61	16	8	4	166.222
倉石村	9	3	7	6	1	11	3	1	1	56	98
新郷村	2	3	10	—	5	29	6	6	1	23	85
三戸郡計	230.925	64	168	101.294	52	357	532	212	61	256.784	2,035.003

候補者得票数に関する調

三 戸 郡

全 国 区

市町村	11 武正 隆一郎 (自)	12 米田 正文 (自)	13 松本 治一郎 (社)	14 野本 品吉 (自)	15 中川 源一郎 (自)	16 林 塩 (無)	17 楠本 正康 (自)	18 吉田 セイ (自)	19 米内 一郎 (社)	20 植垣 弥一郎 (自)	小計
三戸町	—	99	6	30	11	126.999	40	9	74	219	602.999
五戸町	9	54	9	14	8	199.961	24	29	52	197	469.961
田子町	1	88	4	6	6	25.862	28	29	41	68	290.862
名川町	9	91	6	94	9	41	18	12	37	114	299
階上村	2	90	6	9	19	24.428	4	92	99	147	294.428
福地村	2	9	4	9	9	7	7	14	8	79	196
南郷村	2	59	2	5	4	17	2	8	9	72	829
南部町	1	26	2	25	6	197	21	8	25	47	298
倉石村	2	19	—	1	1	90	8	2	7	167	291
新郷村	—	96	7	8	1	28	9	5	9	5	96
三戸郡計	22	439	46	129	56	571.184	155	142	289	1,698	3,547.184

市町村	21 斎藤 時郎 (自)	22 鮎川 義介 (中)	23 佐々木 庸 (社)	24 山本 すぎ (自)	25 中尾 辰義 (無)	26 溝淵 春次 (無)	27 鈴木 市蔵 (共)	28 鎌田 文雄 (無)	29 豊田 雅孝 (緑)	30 福安 堰堤 (無)	小計
三戸町	95.911	25	19	49	1	—	19.800	—	94	—	171.711
五戸町	111	14	45	60.686	5	1	95.214	—	77	—	948.850
田子町	2	6	25	39.604	—	—	19.565	—	12	—	98.169
名川町	9	7	6	5	—	—	9.492	—	1	—	97.492
階上村	5	2	28	37	1	—	4.529	—	1	9	81.529
福地村	10	5	34	9.684	—	—	9	—	5	—	66.684
南郷村	4	6	9	19	—	—	1.176	1	7	—	95.176
南部町	6	9	—	14.777	—	—	7.299	—	2	—	99.010
倉石村	2	1	9	9	—	—	4	—	8	—	21
新郷村	5	1	11	9	—	—	28.608	—	10	—	64.608
三戸郡計	189.911	70	168	240.701	7	1	120.551	1	157	3	958.163

候補者得票数に関する調

三戸郡

全国区

市町村	田淵久 <small>たぶちひさし</small> 31(無)	青山正一 <small>あおやましょういち</small> 32(自)	関屋梯蔵 <small>せきやていぞう</small> 33(自)	阿具根登 <small>あくねのぼる</small> 34(社)	横山フク <small>よこやまフク</small> 35(自)	野上元 <small>のがみげん</small> 36(社)	山口重彦 <small>やまぐちしげひこ</small> 37(社)	青木かず男 <small>あおきかずお</small> 38(自)	岡三郎 <small>おかさぶろう</small> 39(社)	鈴木恭一 <small>すずききょういち</small> 40(自)	小計
三戸町	30	43	6	5	64.900	96	56	42	119.952	55.200	518.052
五戸町	2	—	—	1	75.915	196	19	30	196	109.785	569.700
田子町	7	2	2	—	60.967	22	4	14	81	64.434	257.401
名川町	3	2	1	—	61	14	24	30	105.981	194.567	435.548
階上村	1	153	1	1	47	50	6	22	76.986	90.476	448.462
福地村	—	8	—	1	23	10	36	15	117	95	305
南郷村	—	4	—	—	19	45	21	11	66	58.824	224.824
南部町	47	3	1	—	36.914	37	8	20	71	54.766	278.680
倉石村	—	1	—	—	5	20	38	4	34	23	125
新郷村	—	—	6	—	23	18	13	3	48	18.391	129.391
三戸郡計	90	216	17	8	416.696	448	225	191	915.919	764.443	3,292.058

市町村	草間時光 <small>くさまときみつ</small> 41(無)	大倉精一 <small>おおくらせいいち</small> 42(社)	永岡光治 <small>ながおかみつじ</small> 43(社)	井上善十郎 <small>いのうえぜんじゅうろう</small> 44(社)	久保田かつ太郎 <small>くぼたかつたろう</small> 45(無)	清水みずお <small>しみずみずお</small> 46(諸)	重政庸徳 <small>しげまさようとく</small> 47(自)	山沢またつ <small>やまざわまたつ</small> 48(自)	奈良繁保 <small>ならしげやす</small> 49(無)	井上チツエ <small>いのうえチツエ</small> 50(無)	小計
三戸町	3	52	—	26.530	—	5	165	9	2	25.469	287.999
五戸町	—	37.215	4	23.783	3	1	54	11	—	16.216	150.214
田子町	3	30	1	12.570	—	5	36	2	1	3.428	93.998
名川町	—	16	3	7.700	1	1	19	8	—	3.300	59
階上村	1	3	4	10.153	2	5	27	9	1	22.845	84.998
福地村	—	35	1	—	1	2	38	1	—	7	85
南郷村	1	1	—	2	2	2	56	1	—	2	67
南部町	—	45	—	2.800	—	2	10	1	1	4.200	66
倉石村	—	4	—	1	—	—	27	—	—	2	34
新郷村	—	4	—	3.600	—	2	9	—	—	2.400	21
三戸郡計	8	227.215	13	90.136	9	25	441	42	5	88.858	949.209

候補者得票数に関する調

三戸郡

全国区

市町村	中村順造 <small>なかむらじゅんぞう</small> 51(社)	迫千代子 <small>さきちよこ</small> 52(無)	下村定 <small>しもむらさだむね</small> 53(自)	天の良吉 <small>あまのりよきち</small> 54(自)	川上嘉 <small>かわかみよし</small> 55(社)	久保保等 <small>くほほるとし</small> 56(社)	牛田寛 <small>うしだひろし</small> 57(無)	高良とみ <small>たからとみ</small> 58(無)	向井長年 <small>むかいながとし</small> 59(社)	城戸忠愛 <small>きやうちゆうあい</small> 60(無)	小計
三戸町	71	2	22	61	3,992	100	392	19	50	2	722,932
五戸町	272	2	22	177	2,900	10	171	31	38	15	740,900
田子町	40	4	14	—	7	6	382	6	19	4	482
名川町	29	—	8	56	—	11	221	14	30	—	969
階上村	31	2	16	62	9	11	223	8	9	—	965
福地村	19	1	27	34	10,400	7	85	9	22	5	219,400
南郷村	17	—	4	31	1	4	219	1	32	1	910
南部町	31	1	10	17	1	15	221	13	9	9	915
倉石村	10	—	1	9	—	10	42	10	23	—	99
新郷村	12	1	6	—	6,666	1	34	12	49	—	121,666
三戸郡計	532	13	130	441	34,698	175	1,990	123	275	30	3,743,698

市町村	駒沢文雄 <small>こまさわぶんお</small> 61(無)	上林忠次 <small>かんばやしちゆうじ</small> 62(自)	塩治竹雄 <small>えんぢたけお</small> 63(社)	大谷よし雄 <small>おおたによしお</small> 64(自)	基政七 <small>もとまさしち</small> 65(社)	河内金次郎 <small>かわちきんじろう</small> 66(無)	須藤五郎 <small>すどうごろう</small> 67(共)	浅沼美知雄 <small>あさぬまみちを</small> 68(諸)	梶原茂嘉 <small>かじわらもしげ</small> 69(自)	伊藤義賢 <small>いとうぎけん</small> 70(諸)	小計
三戸町	1	922	1	6	—	—	4	12	222	—	568
五戸町	9	105	2	24	8	1	6	2	290	1,999	442,999
田子町	1	158	—	14	1	1	2	—	81	2	260
名川町	2	44	—	9	2	—	9	2	40	—	96
階上村	—	177	—	10	34	—	—	1	47	5,999	274,999
福地村	1	54	1	5	—	1	1	9	54	—	120
南郷村	1	599	—	2	1	1	2	4	49	—	599
南部町	9	—	—	7	9	—	1	4	121	—	199
倉石村	—	84	—	12	—	—	1	—	12	1	110
新郷村	1	104	—	8	—	1	4	1	25	—	144
三戸郡計	13	1,581	4	91	49	5	24	29	941	9,666	2,746,666

候補者得票数に関する調

三 戸 郡

全 国 区

市町村	真崎勝次 <small>まざきかつ 71</small> (自)	石谷憲男 <small>いしたにのり 72</small> (自)	鹿嶋守之助 <small>かしまもり のすけ 73</small> (自)	吉崎千秋 <small>よしざき ちあき 74</small> (無)	石田次男 <small>いしだつぎ 75</small> (無)	北島教真 <small>きたはたけきょうしん 76</small> (自)	伊藤修 <small>いとうしゅう 77</small> (無)	小川吉 <small>おがわきち 78</small> (中)	豊瀬禎一 <small>とよせていいち 79</small> (社)	大坪藤市 <small>おおつぼとういち 80</small> (自)	小計
三戸町	2	534	267.910	79	98	4	12.250	9	—	13	952.560
五戸町	12	262	989.857	289	7	9	2.666	8	2	58	1,093.523
田子町	5	472	191.490	53	19	—	2	8	1	83	834.490
名川町	1	251	286.416	14	5	—	—	—	—	16	573.416
階上村	2	109	57.545	12	4	1	—	5	—	9	199.545
福地村	—	90	15	9	6	9	—	4	—	26	93
南郷村	—	217	40.850	7	12	1	4	9	—	2	286.850
南部町	—	157	54.977	21	3	2	—	4	1	28	270.977
倉石村	1	18	24.586	47	2	1	—	1	—	45	139.586
新郷村	1	158	18	15	5	—	2	1	—	95	295
三戸郡計	24	2,208	345.371	546	101	15	22.916	37	4	375	4,678.287

市町村	後藤俊男 <small>ごとうしん 81</small> (社)	高瀬庄太郎 <small>たか せそうたろう 82</small> (緑)	辻まさのぶ <small>つじ 83</small> (無)	金野大三郎 <small>かね のたさぶろう 84</small> (無)	岡村文四郎 <small>おかむらふんしろう 85</small> (自)	金丸富夫 <small>かなまる とみ 86</small> (無)	鹿嶋俊雄 <small>かしまとし 87</small> (自)	原島宏治 <small>はらしまこうじ 88</small> (無)	千代世 <small>ちよよせ 89</small> (社)	日下隆 <small>ひげ たかし 90</small> (無)	小計
三戸町	4.019	93	67	—	46	107	323.675	5	12	—	597.688
五戸町	9	40	60	9	545	92	95.142	9	11	—	738.142
田子町	5	6	49	—	69	29	74.568	19	5	2	252.568
名川町	2	4	30	—	89	48	66.583	2	2	—	243.583
階上村	—	7	22	1	192	14	3.452	6	9	1	249.452
福地村	1.166	—	12	1	43	28	5.899	9	2	—	101.999
南郷村	2	7	16	—	27	15	2.150	1	2	2	74.150
南部町	—	22	30	2	96	124	181.622	4	2	2	403.622
倉石村	—	1	17	—	272	2	6.419	4	2	—	304.419
新郷村	2	2	7	—	1,059	1	5	1	2	—	1,073
三戸郡計	19.179	122	310	7	2,372	400	704.438	54	43	7	4,038.617

候補者得票数に関する調

三戸郡

全国区

市町村	杉山利一 ⁹¹ (無)	松崎健吉 ⁹² (中)	木村 喜八郎 ⁹³ (社)	柴谷 要 ⁹⁴ (社)	徳永 正利 ⁹⁵ (自)	美念 ゆめろむ ⁹⁶ (無)	小田 俊与 ⁹⁷ (諸)	小西 英雄 ⁹⁸ (自)	川上 為治 ⁹⁹ (自)	奥 むめお ¹⁰⁰ (緑)	小計
三戸町	2	24	18	63	84	2	1	4	1.666	62	261.666
五戸町	1	7	14	49	12	2	2	4	20.700	179	290.700
田子町	6	—	8	2	71	—	3	3	—	84	177
名川町	4	15	13	64	3	—	—	4	6	27	136
階上村	3	—	5	30	48	1	6	1	3	13	110
福地村	—	1	6	18	—	—	2	6	2.600	39	74.600
南郷村	2	—	4	2	—	—	1	—	5	5	19
南部町	1	3	5	36	29	—	1	4	1	39	119
倉石村	3	—	2	4	1	1	—	—	2	12	25
新郷村	—	—	2	1	6	—	1	6	1.332	11	28.332
三戸郡計	22	50	77	269	254	6	17	32	43.298	471	1,241.298

市町村	小平 芳平 ¹⁰¹ (無)	赤松 常子 ¹⁰² (社)	前田 久吉 ¹⁰³ (緑)	鶴園 哲夫 ¹⁰⁴ (社)	宮越 喜助 ¹⁰⁵ (無)	山田 義太郎 ¹⁰⁶ (無)	平田 宇南 ¹⁰⁷ (諸)	古賀 一 ¹⁰⁸ (諸)	遠藤 三郎 ¹⁰⁹ (無)	河野 孔明 ¹¹⁰ (無)	小計
三戸町	9	25	39	28	—	3	—	4	6.048	—	114.048
五戸町	12	8	201	25	4	1	2	2	3	1.074	259.074
田子町	2	10	85	56	—	1	—	—	3	1	158
名川町	4	7	38	58	—	6	—	2	1.019	—	116.019
階上村	2	6	11	8	—	5	1	—	1.012	—	34.012
福地村	1	5	13	12	—	4	3	3	—	—	41
南郷村	8	4	9	16	1	2	—	2	3	—	45
南部町	—	6	9	8	—	—	—	2	1	—	26
倉石村	5	5	38	4	1	—	—	3	—	—	56
新郷村	2	8	6	8	—	1	—	—	—	—	25
三戸郡計	45	84	449	223	6	23	6	18	18.079	2.074	874.153

候補者得票数に関する調

三戸郡

全国区

市町村	根ねもと 本貞治 111 (無)	斉藤道厚 112 (無)	横山菊市 113 (無)	伊藤忠輝 114 (無)	綿野庄太郎 115 (無)	沖原紀夫 116 (無)	江崎波雄 117 (無)	近藤昌一 118 (無)	水野鉄雄 119 (無)	加藤大三 120 (無)	小計
三戸町	—	1,088	1,100	8,750	—	—	—	—	—	1	11,938
五戸町	4	—	1,084	—	2	—	2	6	—	1	16,084
田子町	1	2	2,032	—	—	—	2	2	3	3	15,032
名川町	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	4
階上村	1	—	—	2,666	—	—	6	1	1	4	15,666
福地村	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	3
南郷村	4	—	—	—	1	—	—	—	—	2	7
南部町	1	1	1,085	—	—	—	—	1	—	3	7,085
倉石村	—	—	—	—	6	—	1	1	—	—	8
新郷村	2	—	—	—	—	—	1	—	—	3	6
三戸郡計	14	4,088	5,301	11,416	9	—	12	11	5	22	93,805

市町村	仲子武一 121 (諸)	福島勝 122 (無)	林武一 123 (無)	小計	得票総数 (A)	法第68条の2第2項の規定による分り票数 (B)	いづれの候補者にも属しない票数 (C)	有効投票数 (A)+(B)+(C) (D)	無効投票数 (E)	投票総数 (D)+(E)
三戸町	—	—	1,066	1,066	5,061,993	0.007	—	5,062	495	5,497
五戸町	—	1	1,038	2,038	5,643,991	0.009	—	5,644	617	6,261
田子町	1	4	4,137	9,137	3,116,991	0.009	—	3,117	301	3,418
名川町	—	—	2	2	2,659,998	0.002	1	2,661	449	3,110
階上村	—	—	2,571	2,571	2,310,990	0.010	—	2,311	231	2,542
福地村	—	—	—	—	1,364,998	0.002	—	1,365	135	1,500
南郷村	—	2	1	3	2,597	—	—	2,597	395	2,932
南部町	—	—	3	3	2,124,996	0.004	—	2,125	238	2,363
倉石村	—	—	1	1	1,251,999	0.001	—	1,252	123	1,375
新郷村	1	—	—	1	2,089,997	0.003	—	2,090	278	2,368
三戸郡計	2	7	15,812	24,812	28,222,953	0.047	1	28,224	3,142	31,366

二 附 錄 二

參議院地方選出議員選舉公報.....	2
參議院全國選出議員選舉公報.....	6

昭和34年 参議院地方選出

青森県選挙



参議院緑風会公認
青森地方区候補者

佐藤 尚武

私は録風会所属の佐藤尚武でありまして、この度の参議院選挙に當り、青森地方区より三度目の立候補をいたしましたのであります。去る昭和二十二年の第一回参議院選挙、並びに同二十八年度の第三回選挙に於きましても、私は常に青森地方区から立候補したのであります。幸にも県民諸君の絶大なる御支援を得まして、二度とも最高点を以て當選するを得、県民諸君に対し心からなる感謝の意を表するものであります。この度敢えて老軀に鞭打つて、三度候補に立つたことに付、些かその理由を御説明申上げ、有権者諸君の御理解と御支援を得度いと考ふる次第であります。

現在日本を繞る四囲の情勢は真に危険な状態に日本を迫込んでいますのであつて、一步事を誤れば、わが日本は取返しの付かない羽目に落される危険性を孕んでいるとしか考えられません。実におわが国は米ソ対立の谷間に在つて、その外交政策の根本を百八十度転回させるか否かの瀬戸際に立たされているのであります。

終戦以來わが国は、国防上にも経済上にも、米國と密接な提携を確保することを以て、国家再建の基調として来たものであり、国の根本政策としては当然、そうあつて然るべきであり、また終戦後十四年を経た今日、結果から見ても、日本の進むべき方向が誤りでなかつたことを実証していると思ひます。しかし昨日迄敵対國として戦つた米國と日本が斯く迄密接な提携を成し遂げたといふことは、寧ろ異例であり、そこには多くの困難が横たわつていたのは当然であります。殊に米國側には終戦直後日本に対し、陋國たる悪感や不信の念が國民の間に、漲つていたのは無理からぬことであります。それ等の障壁を乗り越え、遂に、一九五一年のサンフランシスコ平和条約に迄漕ぎ付けたのは最近病気の故を以て、引退を余儀なくされた、ダレス國務長官の絶大なる努力に依るところ大なるものがあつたといわねばなりません。米國がかくの如く敏意を捨てて卒先日本と連合國間の関係を調停し、ソ連の反対があつたにも拘わらず、遂に日本との平和条約締結を實現したのであつて、これは日本の平和的發展が結局、東亜の平和維持、民生向上に寄与する所以であることを洞察したからに外なりません。そしてこのやうな米國の考え方は期せずして、戦後の日本の祈願し、且つ企画するところと合致したが故に、ここに日米提携の實が上がり、平和条約も出来、その上に兩國間に安保条約を結んで、日本の武

裝解除の空白を補い、米國の力を借りて日本の安全を保障することになり。このやうな怪徑を辿つて發展して来た日米關係は素より、わが外交政策の基調であり、今後とも永く持続されねばなりません。即ちわが日本はこの外交の根本方針を堅持しつづつ、國際連合に加盟し、國連の平和機構の中で、多数の自由國家群と提携協力して、世界平和の維持に力むべきであり、これがまた現に終戦以來日本の體面、取つて来た不変の態度であり、過去十二年間、不肖私の参議院議員としての活動中、常に堅持し、且つ支持して来た根本觀念も、ここにあつたのであります。

素よりソ連中共は日本のこの根本方針に対し、真向から反対し日米安保条約の廢棄、米駐留軍の撤退、日本の中立、中共の承認と平和条約の締結を以て日本に臨み、徹底的に日米兩國を離間し、日本を共產圏内に引きずり込もうとしております。日本の中立化は結局、日本を自由國家群から切り離し、米國の支持を失わしめて日本を孤立無援に陥れようとするものであり、こうなつては、もともと自衛力の薄弱な日本であつて見れば、ソ連中共の重任には到底耐え兼ね、彼等の薬籠中のものとなる以外に立つ瀬がなくなるでございませう。中立という言葉は甘いようであるが、その裏面、恐るべき國際陰謀が秘められて

いることを知るのであります。中立は日本の赤化を意味するものである以上、われわれ日本人は敢然これに対し、警戒を加えねばならないのは当然であります。然るに国内にはソ連中共の主張に同調する向きが多々あるのを遺憾とし、また日本共產黨がソ連中共の同調者であることは疑むに足りませんが、社会黨の態度としても近來益々、兩國の主張支持に傾く傾向を示して来たことは顯著な事実であり、殊に去る三月十七日社会黨の中共訪問使節団が北京で發表した日中共同声明に至つては、確然その容共排米態度を表明したものと受取る外なく、正さに日本の根本方針を百八十度転回せしめんとするものであり、私は到底これを根本方針を受す得ないやう努力することは、真に國を愛する國民と共に、私の専念すべき義務であると信じます。

6月2日執行 議員選挙公報 管理委員会



参議院議員青森県地方区
自由民主党公認候補者

森 田 重 次 郎

略歴、明治四十四年より大正十四年まで教員並びに校長として県内各地に奉職大正十五年弁護士開業今日に至る。その間代議士当選三回文部参与官歴任。現自由民主党政務局支部連合会副会長、自由民主党组织委員、六八才私は今回の参議院議員選挙に当り次の通り公約致します

一、漁業対策。西海岸、上磯地方、下北沿岸、陸奥海岸等の漁民諸君のくらしは容易でないものがあり、これを是正するために魚介類の増殖、監護防止、漁獲法の改良、漁業協同組合の育成、資金貸出の簡易化、国有土地の開拓、遠洋漁業の奨励、漁港、船たまり場、避難港の充実、冷凍施設への助成等々を速かに実現したい。

二、農業対策。本県農民諸君の生活向上。次、三男の将来。等を慮り次の施策を実現したい。(イ)高原地帯特に北部上北。岩木・八甲田山ろく。国有地内の開墾適地の開拓。機械化。酪農化。てん菜栽培。製糖工場創設。農地改良。(ロ)津軽平野灌排事業の早期実現。目屋浅瀬石川ダムの建設。小川原湖、十三湖の干拓。(ハ)りんごについては生産方法の合理化。市価調節の機関整備。販売のP・R強化。(ニ)農協の役割を再確認し組織を強化、能率化する。(ホ)農地被買取者に対する対策樹立。(ヘ)農業高校の教育を農村の実状に適合させ労働を重視し近代科学をマスターする真の農業人を養成し特に一学級の共同生活を通して農協組合員として生活化の訓練を重視する。

三、中小企業対策。日本の中小企業者諸君がわが国の産業発展に大きな役割を果したことは、すべての人のみるところであります。わが県の諸君の立場は中々容易ではありません。金融手続の簡易化、業者の共同組織化、工場誘致等の措置を実現したい。

四、その他の地方問題として。(イ)青森市。鉄道管理局設置。(ロ)下北運河開き調査の開始。(ハ)小川原湖の開き。避難港の施設。(ニ)青森。八戸両港の設備充実。(ホ)津軽環状線、下北鉄道、南部縦貫鉄道の開通。(ヘ)国県道の舗装整備。(ト)森林特にな材開発のための林道、地下資源の開発。

五、社会福祉対策。三六年四月から老人。障害。母子など国民年金を開始する。三五年度末には国民医療皆保険を実施する。退職公務員諸君の福祉施設の充実。養老年金の増額。貨幣価値の変化に應ずる恩給の調整。

六、教育対策。(イ)教育者の待遇改善。教育第一主義の提唱。(ロ)科学教育の徹底と育英制度の充実。職業教育の強化。(ハ)腐朽校舎の改装とすし詰学級の撤廃。(ニ)真の民主主義に徹する教育行政。特に日教組と文部行政の調整。

七、行政機構。水産庁を水産省に昇格させ水産立国の政策を樹て、水産大学水産高校の教育によつて近代科学技術の修練。

八、日本再建の基本問題。(イ)先づわれわれはソ連、アメリカを中心とする国際間の対立をやわらげ世界戦争を絶対に防止する。(ロ)外交問題としては旧来の儀礼的外交から経済外交に転換する。(ハ)人口比で資源が乏しいわが国が現在の国際競争に勝つためには、科学的技術を身につけて産業の合理化をはかり優良品の生産力を増やし輸出を盛んならしめ、これによつて産業を興し完全雇傭の実をあげる。

(ニ)政治形式を異にしているが、これにこだわることなくソ連、中共との貿易を開拓する。(ホ)三十七年度までに毎年の経済成長率平均六・五%。年間輸出五十億ドル。雇傭増加五百万人。国民生活の四割向上を最低の目標とする。

九、労働問題。(イ)私は労働組合を社会調整の方策として尊重する。スチライキも亦必ずしもこれを否定しない。しかしそれにはわが国の国際的地位世界的景気の動向等々を総合的に観察し万全を得ない場合においてのみ行使すべきであると信ずる。従つてスチライキを専業とする所謂スケジュール斗争には反対する。(ロ)日本民族に恵まれているのは労働である。人の多過ぎることを心配する必要はない。働く道はいくらでもある。すべての人に働く場所をあたえることが本当の政治であると思う。それには教育の科学化、技術化、近代産業への適応化、並びにそれを活用する企業を盛んにする。特に公共企業の拡充をはかる。

一〇、結語。私は県南の農村に生れ幼にして教師を志し青森市に学びました。十八才にして『生』の意義如何という問題に逢ひ哲学、倫理、宗教、文学等の研究に精進を傾けたいけれども結局この問題は容易に解けません。年二二才にして教壇に立ち五年後には更に校長として遇せられたいけれども、これ亦徒らに疑問と悩みをを増すのみです。然るに齡三十三才の間に天啓があり『生』の意義は初めから生る方向を明かにすることが出来た。そしてその実現の一方途として弁護士となりついで昭和十二年代議士に當選して爾来二年迄と更に昭和廿七年と當選したのであります。しかしその後の私は決つた道程は必ずしも平坦ではありません。そこで比度来し方を省み将来を慮つた上、後進の為道を聞く意味に於て参議院の地方区に立候補したのであります。どうか私の所志と不遇に御同情を垂れられも一度皆様の公僕たるの地位を御与え下さる様お願申上げます。

昭和34年 参議院地方選出

青森県選挙



日本社会党公認
参議院候補者(地方区)

盛田三喜雄

私 策

一、平和と独立達成のために。
世界の新しい状況に際して外交政策の確立が必要であります。戦争はもはや不可能であり、話合外交の時代に入りました。岸内閣はこれに逆行して、中国、ソ連を敵視し、一方的な日米軍同盟の強化に専念して、日中国交回復の心構えさえありません。どのような軍事同盟にも加入しないで、体制の異なる国とも共存をはかる積極的な中立政策こそが、原水爆時代において日本の生きるたゞ一つの道であります。私は安保条約の改定阻止、日中国交回復、非核武装地帯設定を強く主張します。

二、金権政治を一掃し民主政治を確立すること。
岸内閣のやり方は一貫して権力と金力の政治であります。わが党は金権政治は必ず汚職を生むと警告し、金のかゝらない公営選挙の拡大を提案してきましたが、自民党はこれに耳をかせません。こんどの地方選挙も金の力で勝負がきめられました。これは全く民主主義議会政治の危機であります。弱いものだけは直ぐ裁かれています。権力のあるものに対しては岸首相の關係している賄賂汚職容疑のように一切取り上げられません。その反面、安保条約改定など、憲法と民主主義の原則を踏みにじるようなことだけ行われて居ります。私は金権政治の一掃と民主政治の確立を強く主張するものであります。

三、積極的な農漁村振興政策確立のために。
今年の国の予算で農林関係の支出は、昭和二十八年に比較してその半分以下になつており、反面、再軍備の経費は二倍にふくれております。またアメリカの余剰農産物の受け入れは毎年一千八百億円におよび、米に換算して二十万石分の小麦が輸入されております。これが我が国の農産物価格を圧迫しております。我が国にはまだ五百万町歩の開拓できる面積があるから、開墾、干拓、土地改良、或はダム建設などを積極的に実施すれば、食料の国内自給も出来るし、それによつて食料輸入の外貨が節約されるだけでなく、農村の失業問題、三男問題も解決されます。農業経営上最も重要なものは価格問題であります。米に対しては二重価格制をとり、生産に要した経費と一般労働者並みの賃銀が、政府の買入れ価格の中に織りこまれるようにし、消費者価格は上げないこと。その他の農産物については支持価格制をとり採算

を割ることのないようにすること。これによつて農家経営の安定をはかる。これは我が党の根本政策であります。自民党の政策である米の統制解除には反対しなければなりません。農林予算を大巾に増すこと、外国農産物の輸入は必要の最少限度におさえ、一日も早く食料の自給を達成することは先決問題であります。それと並行して、農業の機械化と近代化を促進することであり、その役割は農業協同組合によつて達成されるものでありますから、我が党は画期的に農協組織の拡大強化をはかります。

四、勤労大衆の生活向上と社会保障のために。
郵便貯金や厚生年金の三千億円を、農家と中、小企業の経営向上、近代化のために長期低利融資すること。ジェット機再軍備を中止し、六百亿円に上る大資本家の租税減免措置を廃止してこれを農漁村の健康保険適用と、国民年金実施に使うこと。業者の決めるニセの最賃制でなく、全国一律男女満十八才月八千円の最低賃銀制の確立。これらは巨額の選挙資金を財界から求めている自民党には絶対に出来ません。勤労大衆の社会党の外にできないものであることを強く訴えるものであります。私は以上の政策実現のため全力をつくします。強力な御支援を心からお願ひ致します。

明治四十一年十月黒石市に生る。五十才
本籍地 上北郡七戸町
現住所 青森市浪打四九四
昭和三年県立弘前中学校卒業
昭和十年県立青森師範学校専攻科卒業
上北郡七戸中学校教諭 大浦中・小学校長、青森市浦町小学校教諭を歴任
昭和二十六年県教組執行委員長
昭和三十年五月オーストリア国ウインに開催の国際自由労連世界大会に日本代表として出席、ヨーロッパ諸国の教育事情を視察。
現在 青森県教育厚生会理事長
日本社会党青森県連平和活動特別委員長
原水爆禁止青森県協議会事務局長。

6月2日執行 議員選挙公報

管理委員会



日本共産党公認

なかむら かつみ
中村勝巳 (三十四才)

(一) 自民党、緑風会のたくらみ

こんどの参議院選挙では緑風会の佐藤候補が中立偽装の正体を現しアメリカ一辺倒の安保条約を讚美し中ソ敵視を公言している。まさに自民党の手下になり下つたのである。かれら自民党、緑風会は津輕塗りを全滅させ、北洋漁業に仕事を求める労働者やリンゴや海産物生産業者が要求する中ソとの国交正常化に反対するのはなぜだろうか。もともとかれらは、日本の財閥や軍閥の戦争政策に屈服して外務大臣やソ同盟大使の名を辱かしたニセ平和主義者だから今再びヒットラーや東条の流儀をまね、共産主義の侵略を宣伝し恐怖をよおし立て、日米安全保障条約を改定してしまおうと急いでいるからだ。日米安保条約は日本民族の恥であり亡国の道である。それはこの条約にもとづいてとりあげた三沢上海といわれる祖国の中の異国三沢米軍基地の米兵による殺人、強盗、暴行や農漁民に対する被害の現状をみれば明かである。極東に於ける国際平和と安全の維持に寄与すると称し、朝鮮戦争や金門島事件では日本を第一線基地にしたことを日本人は忘れていない。

そこで自民党と緑風会は、独立、平和を要求する国民感情を利用して、アメリカに日本を防衛する義務を負わせることで独立国の面目は立つと宣伝している。これは大変なごまかしだ。「西太平洋の平和と安全を維持」するために自衛隊は朝鮮や台湾海峡に出動し、急速に軍備をふやし核武装さえする義務を負うことになる。

安保条約改定に伴う軍事費の増大は汚職の巢である。防衛費のムダ使い、一千数百億円のグラマン機購入汚職、この外インドネシアに賠償するといつて木下商店との古船買入の汚職、この謝礼で岸首相は海に三億円で別荘を作り、こんどの参議院選挙では公認料一人五百万円といわれる。これが自民党、緑風会が安保条約改定を急ぐ本音である。

(二) 社共統一の力

県民のみならず、自民党、緑風会の道は東条と同じ反共軍事同盟の道であり、戦争の道である。国民にとっては地獄の道である。なぜなら米軍の前線基地日本は、この大陸間弾道弾時代に一朝ことあるとき、ボタン一つおせば三十分の間に全滅するからである。東京地方裁判所が安全保障条約は戦争しないという日本国憲法の違反だと判決したのはこのためである。それのみではない、一千五百億円をかけてミサイ

ル時代になんの役にもたないグラマン機三百台も買ひこむ金があつたなら、どれ程国民は助かることであろうか。しかしかれらは昔同様青森県には安い食糧で安い労働者と安い兵隊を作つて大資本家とアメリカの役に立てている。

日本共産党は、自民党緑風会という大資本家や官僚政党的戦争と失業と貧乏政策に反対し、日本国憲法をあくまで守つて、いずれの国とも軍事同盟を結ばず、いずれの国の軍隊の駐留をも許さず、いずれの国とも仲よくし貿易をさかんにする以外に日本の生きる道はないと信ずる。

こんどの選挙では革新勢力は団結して、自民党緑風会を粉砕しなければならぬ。勤労反対斗争と警職法反対斗争で人民の団結の力が、いかに強大なものであるかを証明された。しかし社会党はこの選挙でも社共統一に反対している。これはアメリカと自民党の喜ぶところであるが、国民にとっては最大の不幸である。社会党の右派が強いからであるが、やがて労働者階級と共産党が強くなることによつて必ず統一される時がくるであろう。私はその先頭にたちたい。

青森県民の皆さん。自民党や緑風会と真に対決する日本共産党の私に、独立と平和と中立の一票を、また全国区にはわが党の中央委員である労働部長である鈴木市蔵氏に心からお願ひします。その一票一票こそがやがては岸内閣を倒す愛国の大きな力になることを信じています

- 経歴
- 一、新城村の貧農に生まれ高等小学校卒業後直ちに国鉄機関区技工として働き、二十二年同技工会長、分会技工班長として労働運動に参加。
 - 一、同年職場復興斗争の中心となり「中村技工事件」で要求の大半を貫徹したが当局の弾圧(業務妨害罪)を受け、二十五年青森自由労組を結成、全日自労に加盟し分會書記長として活動。三十二年全日自労青森県支部を結成、県委員長、中央委員となる。更に青森県労、市労連に加盟、執行委員、青森市原水爆禁止の会常任委員、日ソ協会支部理事として現在に至る。
 - 一、昭和二十一年日本共産党に入党以来、青森地区、県委員、三十四年青森地区副委員長となり、一貫して労働運動の先頭に立つて奮闘してきた。

昭和34年6月2日執行

参議院全国選出議員

選挙公報

青森県選挙管理委員会

自由民主党公認 候補者
全国区参議院議員 鈴木恭一 六十

私は立候補して、何をしようとするのか。

一、国民生活をもつと豊かに温かなものにした。

戦後十余年ひとりに比べれば、私たちの生活はずいぶん明るくなりました。しかし、まだ十分とはいえません。政治が温かなものでなくては国民の生活も温かにはなりません。その温かみのある政治の一つとして、私は社会保障に力を入れると共に、税金をもつと安くするようにつとめたいと思います。ことに、身体一つを大切なお金で働いている人たち、わずかな資本で店を張つて商いをしている人たちの税金が、年毎に安くなるように国会で働らきましょう。

一、テレビ、ラジオ、電気洗濯機、電気冷蔵庫と、電気用品万端の時代です。しかし電話だけがまだ十分に普及していません。この電話を「一戸に一台づつ」というのが、私の永い間の夢です。通信は国の力の本です。私は、郵便や電報もぜひ早くしたいと思つていますが、とくに電話の普及によつて、商売や家庭の能率が上り、国民生活はますます豊かになるでしょう。私は、それが「政治」だと思つていきます。

(経歴) 川崎市に生れ、

東大法学部卒、逓信省に入り逓信次官、

電気通信次官を歴任。参議院議員、

現在、財団法人通信文化振興会理事長、

財団法人日本無線通信協会会長、株式会社

社深夜放送社長

自由民主党公認 候補者
全国区参議院議員 石谷憲男 五十一才

(略歴) 明治四十一年鳥取県に生れ、昭和六年東

京大学農学部を卒業、農林省山林局に入り、経済安定本部林産課長を経て林野庁業務部長となり、昭和三十年林野庁長官に進み三十三年六月退官した。

(政治への信条) 長年に及ぶ林野行政の体験によつて得た政治への知識と経験とを活用し、自分の信条とする。

一、国土の保全・緑化により国土の保全をはかり、森林資源を増やしていろいろな産業に多くの原料を供給する。

一、政治の浄化・正義による政治を推進し、国民多数の生活向上と経済発展をはかる。

一、生活の刷新・清潔簡素な新生活により、平和な人間の条件をつくる。

この三つによつて、国民が納得し、賛成する真の民主政治を打ち立てることに努力の中心を置く決心であります。

(政治への態度) 強く、正しく、清く、明るく、の四つを身につけ、国民の忠実な公僕として役立ちたいと念願しております。

国民の中にはその日の生活に追われて、政治に関心を持ちながらもこれに関与できない人々が多いと思ひます。

殊に山間僻地に働き叫んでもその意志が通らず、訴えてもその要望が届かぬという人々の真の味方となり、政治の代行者となつて住みよい、暮しよい環境をつくるために躍進せんとする石谷憲男に絶対の御支持を御願ひ致します。

全国区 無所属
参議院議員候補者 エ サ キ波雄 五七

私の略歴

早稲田大学政治経済科卒業

浅草寺貫主大僧正 故大森真応師につき天台密教の

伝法を受け天台大阿じや梨位を授けらる

昭和十四年から二十一年まで 中華民国に在住 東

亜仏教連盟日本代表团 常任理事

現在 応途観音 建立委員会 応途観音教団開宗準

備会主席代表

私の公約

観音さまの こゝろを心として

平和な世界顕現と あたゝかい血の通つた 政治を

金のかゝらない キレイな 選挙で けがれた政界

の浄化を

私の念願

無垢清浄の光ありて 慧日諸のやみを破し

能く災ひの風火を伏して 普く明かに世間を照す

合筆

全国区 議員候補者 大木 実 三十二
全国青年の真の代表

実行力のある青年 大木 実

私が数多い候補者中の最年少者として決然名乗りを挙げました理由と日常抱いて居ります抱負を卒直に申し述べたいと思ひます

私欲と汚職暴力を伴う腐り切つた政界の現状を正視するに忍びず且、亦老朽なる人材のみに支配される政界の旧弊なる慣習を一新し、若き澁濁たる力を国政に注ぎ、真の若々しい日本の姿を実現させ度く奮然と立候補した次第であります

幸にして皆様の御支援を得て当選しました晩には次に記します

私の意志を断々呼として必ず政治の上に命をかけても実現致す覚悟であります

1. 汚職暴力の絶対排除と清純潔白なる民主政治の確立

2. 日本人としての誇りと祖国再建の為に日の丸の旗じるしのもと完全な独立を樹立し他国の干渉絶対

3. 農漁村の声をよく聞き、経営の近代化に力を注ぐに反対

4. 教育施設の充実と不法にも韓国が抑留する漁船員の即時釈放

5. 大衆の為の勤労所得税と興行入場税の大巾なる軽減

当選の上は大木の議席は皆様の議席として亦忠実な代弁者として明るい国政の運営に努力致す覚悟であります。清きあなたの一票を

若き三十二才の大木実

貴い貴方の一票が大きく笑る

日本社会党公認 候補者 野の 上 元 四十四
全国区参議院議員

1 私の抱負

十年前、私は家族とともに、満洲から裸一貫で歸つてきました。この時ほど私は、人間の肉体の破壊だけでなく、尊かるべき精神をも不具に陥れる、戦争の罪悪について思いしらされたことはありません。しかもその犠牲の殆んどすべてが、労働者や農民におしかぶされたものであつたこともつぶさにみてきました。

その時以来、私はなんとしてでも平和を守らねばならないと、自分の心に強くい聞かせました。そして今の世の中では、平和を守る最も大きな特が労働組合であることを知り、その中に飛びこんで今までやつてきました。

だが自民党は、自衛隊の増強、安保条約の改悪、核兵器の持ちこみ等、一路戦争街道をまっしぐらに突き進んでいます。いまこそ國民は総力を挙げてこれを阻止しなければなりません。そのため私は、労働者や、農民のかたがたのすいせんをうけて立候補を決意しました。絶大な御支援と御協力をお願いします。

2 私の主張

一、戦争に反対し、人類の平和を守る

一、働く者の生活安定と労働基本権を守る

一、軍事費の削減と社会保障制度の強化

3 私の経歴
奉天中、大連通信講習所卒、満洲各地郵便局に勤務し、内地引揚げ後、千葉郵便局勤務
全通信労組中央執行委員長(三期)現在に至る
国際郵便・電信・電話労組執行委員として渡欧(三回)

全国区自民党公認

楠本正康 五十六

少くとも参議院においては、社会党も国民政党史として現実的な考え方に立ち、自民党も進歩的な考え方に立つて、この二大政党が極めて接近した立場のもとに相対立して、互いに専門的な視野から論議が尽くされなければならぬものと考えます。私はこうした参議院のあり方を実現するため努力する所存です

政策としては、差し当り次のような問題の解決に努力致します。

一、国の財政計画を根本的に再検討し、地方団体に弾力性のある十分な財源を与えることによつて地方自治の振興と地方民の福祉の増進を図ること。

二、中小企業、なかんずく環境衛生関係の営業について料金、販売価格等の適正化を図り、雇用条件を改善し、その近代化と営業の安定を期すること。

三、上下水道の整備、蚊とハエのいない生活の確立、煤煙等公害の防止、清掃の徹底等を図つて明朗快適な生活環境を実現すること。

四、試験研究成績の相互連絡、医師、技術者等の待遇の改善、工業所有権の保護等を図つて科学技術の振興を期すること。

五、酌率的な社会の実現と社会政策の観点から、民間事業の育成を図ること。

六、明るい社会を実現するため、精薄児の保護について、技術的研究の促進と、施設の整備を図ること。

(経歴) 新潟医科大学卒業 医学博士

厚生省環境衛生部長

日本社会党公認

米内一郎 (五十四)

(私の決意と抱負)

一、社会主義者として三十五年。私は、今後も生涯その信条を守りぬきます。

二、敗戦の犠牲を最も強くうけた中小零細企業のために、戦後十年 中小企業組合運動に身をささげました。苦しい運動の中から取りあげたのは、労働基準法による「技能養成」運動であり、その成果の一つとして「職業訓練法」が実現しました。今後とも、指定された百二十余の職種の業者とともに、めぐまれない百万のそれら従業員の人権と生活の確立に努力します。

三、全国板金業者は私の兄弟であり、政治活動のよりどころで私は生涯、その人びとと苦難をともにする覚悟です。

四、零細企業は、農民、漁民、労働者とともに、資本主義の共通の被害者であります。私の零細企業向上運動は、農漁民運動、労働運動に通じます。勤労大衆の連帯意識にささえられて、その先頭に立つて進みます。

五、日本社会党の政策は私の政策でもあります。労働基本権の確立、最低賃金法、国民年金制の確立、中小企業の安定、民主教育の確立のために、独自資本に率仕する金権政治、汚職政治と対決いたします。

(経歴) 岩手に生れ、詩人啄木の詩情にはぐくまる。社会党県連会長。全国板金工業会長。全国共同職業訓練協議会長。

無所属 候補者 かなまるとみお 金丸富夫

抱負 私は、今日まで官界並びに通運業界において五十年間交通運輸関係の業務に従事し、わが国産業の発展に微力を捧げて参りました。わが国の交通運輸部門は、生産部門の進歩発展に比し、著しく立遅れており、日本経済の発展を阻害する一つのあい路とさえいわれている現状であり、交通運輸に関する強力な政策が最も肝要であると思ひます。

主張 私は幾多の経験を生かし、時代の進展に適應した交通運輸政策を推進するため

- (1) 鉄道の設備並びに運用の拡充強化
- (2) 道路の整備
- (3) 通運並びに自動車輸送の改善
- (4) 倉庫港湾施設の改良
- (5) 観光事業の発展

等に重点をおいて努力します。また、私は国民の一人一人が健康にして文化的な明るい生活を営むことができる社会、いわゆる福祉国家の建設という理念のもとに

- (1) 社会保障制度の確立 (2) 児童福祉施設の充実
- (3) 住宅政策の促進 (4) 環境衛生の改善

等の福祉政策を強力に推進します。なにとぞ金丸富夫の意のある処をおくみとり下され、清く明るく正しい政治の実現のため絶大なるご支援ご協力をお願い致します。

経歴

大分県出身、京大卒、鉄道省を経て現在日本通運社長、全国通運協会会長、全日本産業安全連合会会長、日経連常任理事外、関係諸団体役員兼務

日本消防協会理事長自民党 齋藤 時郎 四十六才

立候補の御挨拶

苦節十年と申しますが、まだ三十才を越えたばかりの頃、自由党公認で千葉県から衆議院議員選挙に出馬して敗れ、それから十数年、此の度立候補することの出来ましたのは、私がいま職を奉じている全国消防関係者の温い友情と多数先輩友人の御懇情によるものでありまして、衷心から感謝致します。

限られた紙面で私の特に主張致したいことを申し上げます。我が党の政策や、公約のうち、1、青年に希望を婦人に温い政治を、従つて育英制度の拡充、就職の拡大機会均等、生活改善や働く婦人の地位向上に努める。2、日米協力、アジア善隣外交を基調とする国連中心の集団安全保障体制の持続。3、農家の経済を安定させるための諸政策。4、低利金融による中小工業の振興。5、教育刷新の断行。6、身体障害者等の福祉厚生。7、道路の整備等であります。特に念願とすることは防災国策の樹立推進、即ち水害や火災による損害を少なくするための政策であります。我が国では火災による直接の損害だけでも年々四百億円、間接的な損害を加えると一千億円の巨額に達し死者数一万人前後に及ぶ実状であります。当面する消防力の強化促進、総合的防災施策の急務なることを痛感しこれを重要国策とせられるよう強調し、且つ任侠犠牲の精神を実践し、日夜黙々と防災の第一線に挺身する消防人の処遇改善等について大いに努力する覚悟であります。

何卒御支援を懇願申し上げます。

参議院全国区議員候補者 草間 時光 (七一)

政見

私は常に憲法に保障された生活が一日も早く実現する事を願つて来た。国会は、二大政党対立の場であり、行政は官僚の独断にながれ、政治の前途に悲観するものである。選挙のある度に、今度こそはと大きな期待をかけて来たが、金権政治、暴力議会、公務員の汚職等、果しなき状態で繰返され、然もこれらが参議院に於てまでみられるという事は遺憾の極みである。私はこの現状を捨て置く事が出来ません。参議院だけでも中道政治の本源にかえし、真に国民の各層を代弁して、幸福な楽しい国民生活の実現を真剣に考える政治がしたいのであります。又巷に見聞される犯罪の多くが基因している売春禁止法をやめて、生活安定を計り犯罪を少くすると共に、売春は道徳で護れる政治をして女性の尊厳を法律でしぼる事はしない。大体法律及び役人が多過ぎる。私はもつと道義的な住みよい社会を実現したいのであります。

主張

- 一、政党、官僚の綱紀粛正。
- 一、小企業者、低賃金労働者、小農の生活安定。
- 一、大企業のストに因つて生じた第三者の損害を補償する制度の立法化。
- 一、官吏の行政管轄産業の転出禁止法の制定。
- 一、売春禁止法の廃止。(生活を安定し売春は道徳で護れ。)

全国区 候補者 石田 次男 94

(私の経歴)

大正十四年秋田県に生れ、県立大館中学校、芝浦工業専門学校電気学科卒業、現在新聞社主幹、編集長を兼務、今伺明るい国政による明るい生活実現を決意立候補致しました。

(私の努力目標)

- 1. 技術移民の促進
人口過剰が日本の根本問題です。だが自分の国の都合だけの労働移民では不都合です。技術移民で相手国を利益し、親善と外貨獲得と人口問題を合せて解決すべきです。
- 2. 水産問題の解決
水産は重要産業です。李ラインなどは早く解決しなければなりません。国連の問題として世界的視野で解決すべきです。
- 3. 参議院を本来の姿である良識の府に戻したい
今は二大政党の時代ですが、二院制度がある間は参議院は政党対立の場ではないと信じます。あく迄も良識の府とすべく先輩の方々、同輩の方々と共々この点頭張る決意です。

『個人の幸福と社会の繁栄を一致させる政治』を念願して勉強を続け国民の幸福の為と参ります。

社会党公認
全国区

まつもとじいちろう
松本治一郎 (七十一才)

私の生涯は民族の解放と独立、不合理な部落差別を撤廃する運動の先頭に立つてきました。

戦前は衆議院議員に三回連続当選、戦後は日本社会党の結成と日本農民組合の再建にあたり、第一回参議院選挙に当選して初代参議院副議長となりました。このとき、世間で「カニの横ばい」といわれていた天皇拜謁についての民主主義的あり方を示しました。その後、不当な政治的追放の弾圧をうけたが昭和二十八年参議院選挙に再び当選しました。

アジア・アフリカの平和連帯と解放に相互不可侵、互恵平等、内政不干涉と團結を唱え、中華人民共和国の建国と時を同じくして日中友好協会を創立し、以後引きつづいて会長となり、国民外交をすすめてきました。今日まで六回にわたつて新中国を訪問し善隣友好と貿易促進の実をあげ、そのほか東南ア・中近東、全ヨーロッパ・ソ連・朝鮮に前後七回の平和行脚を行い、多くの民主的国際会議に日本代表団長をつとめました。

世界の平和とアジアの友好、日本の安全と独立のために日中の国交回復と貿易打開を行い、核武装に反対し、軍事基地をなくし、日米安全保障条約をやめさせる。平和憲法を守り、基本的人権の確立をはじめ真の民主主義をうちたてたい。いまなお民主主義以前の封建的ないわれのない圧迫に苦しむ六千部落三百万人の差別と貧乏をなくするために、最後の血の一滴まで捧げつくしてたたかいます。

自由民主党公認 重政庸徳 六十四

立候補の御挨拶

私は六年前皆様方の御支援に依り参議院議員に当選して以来、革新的保守を私の政治信念としております。

私の今後の政治活動は次の御公約のもとに、皆様の御期待に添うべく最大の努力をする事を御誓い致します。

私の主張

- 一、土地改良、干拓開墾の拡大と生産基盤の整備。
- 一、農業改良普及制度の拡充と農業の近代化。
- 一、農業災害補償制度の改善と農業経営の安定。
- 一、農産物価格の支持と農家経済の振興。
- 一、農業金融の改善と金利の低下。

私の略歴

五高・東大卒業 農林省岡山農地事務局長
参議院議員に全国区より当選。自民党政調会農林部長、参議院農林水産委員長。

現在 自民党政調会副会長、全国土地改良事業団体連合会副会長、全国開墾建設促進同盟会会長。

無所属
全国区参議院議員候補者 奈良繁保 五十二才

主張 一、政界の浄化と刷新
一、参議院の正規運営

以上三項目を主眼として立候補致しましたが、政治家諸公の常套語である「公約」と云う事は私の辞書から抹消してありますから、以上は公約ではなく、私の理想であり、課題であり、又使命であると自負する者で御座います。

議会政治の精髓は真の公論を決することにあると信じます。この公論とは普通に云う与論ではありません。神々が集われて私心を去り国家の為に諮られて出来たものが真の公論であります様に、私心をさしはさみ私慾に執られては何百万人集ろうとも、其処には絶体に公論は出て参りません。即ち公論とは多数決ばかりでは必ずしも真の公論と云えないこと多々ありまして。例え少数でも正しいものであれば真の公論と信じます。

私奈良繁保はこの尊重す可き公論の為には、「百万人と雖も我行かむ」との心構ではおりますが、之は云うに易く行うにかたき難事御座いますので、唯々正法の導きと、時々皆様方より「活」を入れて頂き、選挙の当落などは又問う処では御座いませぬ。参議院を政党化して、衆院国会の延長と致します事は国民の意志から遊離した権力の濫用といえませう。私は前掲の理想、課題、使命のために常任座席の精進を志して居る次第で御座います。

全国区参議院議員候補者 野田耕作 五十六歳

働く農民の代表

自民党は大資本家の資金、パツクと根強い官僚の伝統を持ち、社会党には罷業権と云う武器をもつ労働団体の強い組織力があります。資本力、罷業権のない農民や中小工業者は協力して政治的に結束する事が肝要と思ひます。

四千万の農民から数十名の国会議員を出し農林大臣も耕作農民から出す位政治的に向上する。これは夢でしょうか

その時こそ私達の生活は豊になり、乱闘も汚職もない明朗議會の開かれる時です。働く農民から一人の議員も出さないで農村の振興を希うのは無理です。人工衛星の飛ぶ現代に封建的な考へを捨て人に頼らず自分等の代表を出してこそ楽土が生まれましょう。

政 策

- 一、農林漁村振興の積極的国策を立てる
- 一、農林土木、土地改良の強力実施
- 一、農林、中小企業に対する金融対策
- 一、専売事業の民主的経営
- 一、教育の振興

略 歴

高小卒、農耕に従事すること四十二年、稲、煙草、果樹、山林経営、その間農地委員、村会議員、教育委員、農協役員、農民組合委員等、現 松江地方草耕作組合代議員
二百五十の議席の内へ農民代表の一人を。

(全国区) 日本社会党 しばや かねめ 柴谷要 四九

私は皆さんの御支援を得て三年間、国会で誠心誠意、皆勤し、主として運輸交通関係を担当、頑張つて参りました。今日迄の各位の御厚情に心から御礼申し上げます。

(一) 参議院の良識と権威の為に

国政審議の慎重を期し、二院制の下に良識を期待された参議院ですが、自民党は元より緑風会に至るまで、結局は岸内閣に追随する政府与党として院の大勢を占め、国民の期待には答えられませんでした。現在も、国鉄志免炭鉱下げ問題、南ベトナム賠償交渉等、少からぬ疑惑をまねいて居ります。参議院が保守党に制せられ、岸政権に盲従して善良な国民の疑念を解明することすら出来なくなつたのでは、その存在の価値がなくなり参議院の良識と権威を守る為に、社会党により一層の御支持を仰ぎたいと存じます。

(二) 平和と民生安定の為に

憲法改正と安全保障条約改訂の狙いが、軍備を強化し、核武装への危険な道に通ずる事はあきらかであります。私は保守党の反動政策を追及するとともに、日本の平和と独立を確保したいと思ひます。産業経済の自立と貿易の振興、豊漁業、中小企業の発展など勤労者階級全体の生活の安定向上のため、社会保障制度を確立し、住宅問題の解決、教育費の父兄負担の軽減等を期し、国民大衆の為の、輸送力増強をはかることに努力致します。再び柴谷要を国会に御送り下さるよう御願ひ致します。

無 所 属 かねの たさぶろう 金野太三郎 六十五

(政 策)

- 一、家賃千円以下の国営住宅を早急に実現する。
- 一、中小企業に対し、徹底した救済策を施す。
- 一、農山漁村の過剰家族に対する国策の樹立。
- 一、政治を刷新し、綱紀を肅正する。
- 一、社会保障制度の全面的拡充を図る。
- 一、低額所得者と、中小企業者に、大幅減税を断行する。
- 一、義務教育費の完全国家負担併に小、中学校の増設と設備の完備を促進す。
- 一、総合対策に依り貿易の振興を図る。

以上の政策を実現する為、渾身の努力を払います。特に国営による低額家賃の住宅と、中小企業には思い切つた施策が必要であり、身命をなげうつて之が実現に邁進致します。

(主 張)

政党的拘束をうける参議院は政治の偏頗を許し、国民全体の意志を無視する結果を招来する。参議院の政党化を排除し、その自主性を確立する。そこで私は、敢えて厳正中立を標榜して立候補致しました。

「斗争のない、融和と愛情の政治」私のモットーであります。

(経 歴)

- 大阪府会議員当選 五期 大阪府会議員当選 三期
- 大阪府会副議長就任
- 大阪府会参事会員就任 参回 海外政治 経済視察式回
- 大阪府政功勞者として受彰、自治功勞者として受彰、大阪市政功勞者として受彰

全国区参議院議員候補者 加賀山之雄 緑風会

私は、参議院議員として過去六年間、わが国教育制度の刷新、国土総合開発の推進、運輸、観光政策の確立ならびに国会運営の正常化のために努力してまいりましたが、議員活動の実績はまだ意に満たず心残りに堪えませんが、あえて再び立候補を志意いたしました次第でございます。

(経歴)

- 一、福井県大野市出身、大野中学、一高東大法卒。
- 一、昭和二十年広島鉄道局長のち職員局長、業務局長、総務長官、国鉄副総裁を歴任、二十四年国鉄総裁に就任。
- 一、昭和二十六年日本代表として万国鉄道会議に出席のため渡欧、欧州各国の鉄道事情を視察
- 一、昭和二十八年全国区より参議院議員に当選、文教委員長、予算委員、緑風会国会対策委員長兼情報宣伝部長として活躍
- 一、昭和三十一年英国両院議長の招きをうけ渡英、帰路欧州各国を視察。

- 一、現在、中央青少年問題協議会委員、日本リクリエーション協会会長、交通道徳協会副会長、全通運株式会社社長、日本交通公社評議員、鉄道弘済会顧問、国鉄スワローズ顧問。

(主張)

- 一、政治に倫理と公明を
- 一、国民生活に安定と明朗を
- 一、青少年に希望と健康を
- 一、外交政策に統一と信義を
- 一、文教政策に理想と秩序を
- 一、国土開発に施策と徹底を

無所属 全国区参議院議員候補者 杉山利一 五十五

(政治信条)
新日本の建設が着々と進み国際社会に堂々と歩を進めつつあるこの重大時期に當つて我国会の様相は洵に寒心に耐えられません。政党の身勝手な泥試合に続く醜態にはもう飽きました。参議院も亦政党化の行過ぎの結果からその独自性が失はれ存在と組織の点にも厳しい批判が加はり今や参議院制度の再検討論が擡頭して居りますのが現状であります。

杉山利一は意を決し、「無所属」として飽迄皆様より信頼される明朗な権威ある国会の参議院議員となるべく立候補しました。

私は日本の輝かしい前途は、健全な福祉国家の確立にありと主張し、その政策を実行する決意を有する者であります。

(抱負)

杉山利一は実現困難な抱負も政策も羅列は致しません。

- 一、民生安定には身を以て実践致します
- 一、戦争犠牲者(戦没英霊の御遺族、未亡人、傷痍軍人、引揚者、未帰還者留守家族)の援護行政の解決。
- 一、引揚者の在外資産の補償問題の解決。
- 一、青少年育成と道徳教育問題の解決。
- 一、身体障害者等の保護育成。
- 一、農漁村の経営合理化の促進。
- 一、海城並に航空事業の発展。

特に日本再建の基礎問題として、戦争犠牲者の援護事業に重点を置き、参議院議員として皆様の代弁者となりその職責を完うする覚悟で御座います

(経歴)

- 海軍大学卒業、第六〇一海軍航空隊司令官、海軍大佐にて終戦静岡地方海軍人事部長、静岡地方復興員人事部長、静岡県戦争犠牲者対策協議会事務局、県民政部等に於て援護行政に十四年間従事、各種団体役員

全国区参議院議員候補者 吉崎千秋 (五十二)

推薦団体、緑風会、日本農林漁業政治連盟、其の他、重なる推薦者、参議院議員 石黒忠篤

元参議院議員 天理教中央東大教会長 柏木庫治

元参議院議員 高橋道男

前参議院議員 岸 良一

一、生産農家に経営の安定を

農家の経営が安定すれば農業は栄え社会生活が豊かになる其のためには農業の拡大再生産を可能にするよう農政の主軸を転換することが必要である。農家の経営の安定を図るためには畜産の振興が急務である。農業の拡大再生産を可能にするためには農畜産物の価額を安定させ農業共済制度を改善強化することが必要である。

一、畜産振興で国民体位の向上を

畜産が盛んになり安価かつ多量の肉及び牛乳を供給することが出来るようになれば子供の健康を増進し国民体位の向上を図ることが出来る。

一、国民に明るい希望を与えて陽気ぐらしの実現を

国民の総てに世界一れつ兄弟であることを自覚させ広く内外に楽しい働き場所を与え特に若人に明るい希望と生き甲斐を持たせるような政治を行うことが陽気ぐらしの社会を実現する根本であることを確信し、国民道義の立場、適正な雇傭政策の確立及び海外移民の推進を身を以つて実現する。

自由民主党公認 小西英雄 四十七
全国区参議院議員候補

正しい政治は国民すべてを対象としたものでなくてはならない、国民生活安定のためには次の諸施策が必要である、即ちわが国人口問題の解決であります。

現在国民生活不安定の原因が過剰人口にあることは否めない事実であるが従来これに対する真剣なる措置がとられてない、

次に敗戦によつて害われた秩序の回復と犠牲に対する補償が必要であり、更に全国民に対する公平なる福祉の増進と形式的諸制度を実質的なものに改めなくてはならない、

以上の理念に基づき特に左の諸政策を強力に遂行したい決意に燃え再び立候補いたしました次第であります

一、在外私有財産の返還問題の解決

二、開放農地問題の解決

三、海外移住による国内人口問題の解決

四、生きた社会保障制度の確立

五、教育行政の秩序確立

略歴

愛媛県生れ、昭和二十四年衆議院議員当選、昭和三十一年参議院議員当選、在外財産問題審議会委員、引揚者在外財産問題解決に挺身し五百億円の引揚者給付金等支給法を成立せしめた。

自由民主党副幹事長、参議院決算常任委員長。

現在、自由民主党広報副委員長、引揚者団体全国連合会顧問、東京都引揚者団体連合会理事長、農地解放者同盟常任顧問、日本奉仕会顧問。

無所属 宮腰喜助 五十三
全国区参議院議員候補者

「私の決意」 私は数次にわたりソ連、中国、「私の決意」 朝鮮更に印度、エジプトを歴訪、これらの国の国民生活の著しい向上を視察し、今後の日本の歩む道はこれらの国々と手を組み貿易を益々伸長して日本経済の安定を計り世界の平和に寄与しなければならぬと感じております。

戦後わが国の復興は工業の発展と共に世界の驚異となつております。しかし、わが国の現状は政治の貧困と経済の自立安定を欠くため、そのシロよせは国民大衆の生活に現れ街に失業者が溢れ、生活保護世帯は年々増加しております。私はわが国民のもつ偉大な力を正しく国民大衆の生活と幸福のために活用する政治を行わねば必ずや戦前の如き暗い日本に戻ることを恐れております。

従来保守系であつた私は、この信念を貫くため今回無所属で立候補しました。皆様方のご支援をお願いする次第であります。

「私の公約」 一 権力政治の排除、衣食住生活の安定

定充実

「私の公約」 二 日中、日朝国交回復貿易の円滑化

三 農漁民勤労所得者中小企業に対する長期低利融資と税金の軽減

四 国民文化の向上と青年、婦人に職場の開放

五 戦争遺家族子弟の教育費全額国庫補助

六 社会保償制度の確立

「私の経歴」 秋田県出身 東京都在住 日本大学卒業 税理士計理士 元代議士大蔵常任委員 国際経済、世界農業、日本赤十字国際会議代表等出席 第一次日中貿易調印

全国区参議院議員候補者 伊藤義賢 (七四)
仏教民和党総裁

経歴 文学博士 西本願寺勸学 元西本願寺監正局長 法制部長 女專講師 仏教大学卒業

(政見) 国家も国民も安定を得ないのは二大政党が反対意見で争うためです。自民党は財閥のヒモ付でアメリカの出店といわれ火なぶりの仲間、持つた者ための政党だといわれているので不平等と不安がたえない。社会党は総評のヒモ付で中ソの出店といわれ持たない者のための政党で独裁政治を行おうとしているから社会に斗争がたえない。ここに又中小企業家などが一団となつて自己の職域を守るから個人主義のバツコとなりましよう。一国の政治は傾けてはいけません。このことを知らないから金力や私情で動かされて投票する人が多いので恰も一つの船に違つたカジをいくつもつけるよう安定するわけはありません。仏教徒の私はこの国難を傍観しえないで立上りました。仏陀は「一部を救うは道に非ず晋く天下を救うて害なきを道となす。」と申されましたこの大精神で結成したのが我が仏教民和党です。持つた者も持たない者も泣く者のいないように平和と幸福をめざすべきです。又外交も戦争に巻き込まれるのをさけるために国連も脱退し(国際情勢では武力干渉もするという憲章をもつからです)スイスのように永世中立となつて各国と友好親善の関係を進めたいのが我党です。この政治を育成するために尊き一票をぜひ私に懇願いたします。

合掌。

自民党公認 大谷よし雄 五十八

皆さまのご援助とご鞭撻により私は国政に微力を捧げ得ましたことを厚くお礼申し上げます。私の最近の努力の一端を申しのべ今後の信条を申し上げます。

戦争犠牲者の援護 遺家族、戦傷者に対する恩給扶助料増額に徹底的な努力をし、昨春三百億円を獲得、増額が実施されました。

中小企業者のために 中小企業団体法の通過に尽力し、その助成に努めた。今後も全力を尽す覚悟です。

農村振興のために 農林予算増額のために昨年の大晦日ギリギリまで東京に踏み止まつて働いた。今後とも農家経済の安定に尽力し、農地問題などに努力します。

産業貿易の振興 健全なる労働組合の育成と、生産性向上に努め、産業の振興を図り特に東南アとの貿易を促進します。

文教の確立 師道の確立を図り、育英資金の拡充、青少年の海外派遣、私学の振興など一層努力をします。

私は金こそなければ、よき友、よき妻、よき子に恵まれ何ら後顧の憂をもちません。従つて身を捧げて国家の繁栄と国民生活の安定に尽す覚悟です。何卒大谷よし雄をあなたの身代りとして再び国会にお送り下さい。

前参議院議員、東本願寺顧問大谷学園理事長

自由民主党公認 全国区 横山フク 五二才

(私の主張)

都市と 農山漁村を問わず

より多くの人が、しあわせになるよう自由主義にもとづいた 進歩的な政策を。

より多くの人が、不安のない日々を送れるよう社会保障の確立を。

より多くの人が、健康な生活を楽しむことができるように、正しい家族計画の普及を。

そしてより多くの人の望みである 清潔な政治を実現しより多くの母親たち 妻たち 娘たちの願いを強く国政に反映させたい。

よりよい明日を作るために。

(私の経歴)

東京府立第一高女卒。日大法学部卒。日本助産婦人会長。

東京都国民健康保険組合連合会副理事長。

中央青少年問題協議会委員。

自由民主党東京都支部連合会婦人部長。

前参議院議員。

参議院全国区候補者 自由民主党公認 徳永正利 四五才

わたくしの主張

わたくしは、このあいだの大戦で、戦死した人びとの霊を慰めその遺された家族の処遇をたかめるとともに、全国で百万人をこえるこれらの戦没者の子弟の教育、就職などの条件をよくするために、力

いづばい働きます。そのことが新しい日本をつくるための、一つの大きな土台である、と固く信じております。

わたくしの経歴 昭和三年海軍入籍・第二次大戦中・南太平洋海域の戦斗に参加・昭和二十一年、神奈川県において兵器処理に従事・同二十二年日本遺族厚生連盟の設立と共に同連盟事務局長・同二十八年日本遺族会設立に当り、引続き同会事務局長・同三十二年九段会館の発足と共に同館事務長をも兼ね、現在にいたる。

政見放送・NHK第一・昭和三十四年六月一日午後十二時三十分より

自 民 党 公 認
全 国 区 上 林 忠 次 五十二才

政 見

一、農家に生れ、農村に育ち、たばこ耕作等を介して農業政策にこれ迄の生涯を捧げてきた私は、農家の生活水準向上と農村経済の発展をはかることにより、国富の増強に役立ちたい。

一、この目的を達成するため、国際的商品である葉たばこの輸出増進に努力し貿易立国の一助とし、ひいては国内における反別の維持拡張、価格の安定、助成金の増額などを推進する。

一、このほか過去六年間の政治的経験を活用し、たばこ小売人の利率引上げ、国内塩業や、しよう脳事業の健全な育成をはかることにより、総合的な中小企業振興対策の強力な一環とさせたい。

一、以上のように、私の専門である職能を土台として、国政の重要課題である農村、中小企業対策に寄与することをもつて政治的使命とする決心であり、一層、愛情のこもつた政治を推進したい。

略 歴

九州大学農学部卒、元日本専売公社理事、生産部長、元参議院建設委員長、たばこ事業を中心に農業施策の研究のため欧米視察二回、中国、比島に出張。

無 所 属 候補者 井 上 ナツエ 六〇
全 国 区 参 議 院 議 員

私は皆さんが明るい、楽しい生活ができますように、現在の社会保障制度を改善してゆくことに努力します。

一、国民年金について。
国民年金の支給額は、少額のもので、生活の保障というには余りにもかけはなれたものです。国民の最低生活を維持することができるよう内容にしたいと思ひます。

一、国民皆保険について。
家族が医療費の半額を支払うような制度では、国民皆保険とはいえないと思ひます。国民の全部が、病氣にかかつても経済的になんの不安もなく療養できる生活を実現したいと思ひます。

一、母子家庭について。
母子家庭のためにもうけられている現在の制度は不十分なもので、その福祉の増進を図るには、これらの制度を一本化し、一層経済的援助をしてゆかなければならないと思ひます。

一、働く人の生活について
働く人のために減税や給与の改善をしなければなりません。特に働く婦人の産前産後休暇を完全にとるような措置をすることに努力します。

東洋大学法学部卒。ロンドン大学卒。国際会議出席 三回。参議院議員当選一回。現在、医療婦人友会の会長。日本看護協会看護婦会会長。中政連総務

全 国 区 自 民 党 公 認 武 正 総 一 郎 四十七

(私の抱負)

日本には四三〇〇万人の働く人達がいますが、その六割を占める二四〇〇万人の人達は、農業(一五〇〇万人)や商工業(九〇〇万人)で働く家族従事者である。この人達は、大企業の組織労働者(三〇〇万人)に比し、常に陽のあたらない労働者であり経営者である。私はこの人達の労働条件と生活の向上を図り日本の農業と中小企業の振興の基盤を確立したい。

(私の主張)

農家安定のための農業基本法の制定、中小企業の協同化による近代化と体質改善対策、東南アジア諸国との技術と経済の交流、貿易促進、婦人と青年の労働福祉施策の推進、働く能力と意欲のある者は誰でも適切な職場が与えられるような職業指導施策の整備。

(私の経歴の概要)

東京農大卒業、母校で教鞭をとる、産組理事、村長、各種協同組合長、埼玉農協中央会、共済農協連、関東甲信地区農協中央会連協会長などの各会長、家の光協合理事、其他全国各団体役員及び政府各審議会委員、尚昨年東南アジア国際会議出席後諸国を歴訪し技術と経済の交流を図る。(著書)内地米と外地米の研究、協同組合論、農業近代化の構想、胎動する東南アジアなど。

全国区参議院議員 候補者 城戸忠愛 五十五

引揚者の皆さん

一、引揚者給付金をまだ請求していない人は明年五月二十一日までに必ず受取るよう手続きして下さい。

二、国債の現金化は今年度分は二十一億円ですが、これでは足りないので全部が速かに現金化できるように努力します。

三、永い間の懸案である在外財産問題の根本的解決と、給付金の増額を図ります。

四、未婚者問題や、引揚者住宅を始め引揚関係の問題は何んでも左記に申出下さい。

東京都中央区八重洲六ノ七
社団法人引揚者団体全国連合会

副理事長 城戸忠愛

世の中から陽の当たらない場所を無くしたいのが城戸の念願です。

自由民主党公認 候補者 吉田セイ 四十九
全国区参議院議員

私の抱負

婦人が選挙権を得たのは日本を民主化するためであり、婦人が直接国政に参画してこそその目的が達せられると思います。私は声なき民の声をきいて乏しきを憂えず等しからざるを憂うる心で常に弱者の味方となつて温い愛情を注ぎきれいな正しい政治を行いたいと思います。

私の主張

一、社会保障制度の確立時に母子福祉の増進
二、教育の振興特に科学教育振興、道徳教育の昂揚
三、中小企業の育成のため長期の低利政府資金の貸付
四、婦人の地位の向上、青少年に希望を老人に安心を私の経歴

一、出生地、山口県山陽町(旧姓 林)

一、大正十五年山口県立厚狭高女卒

一、昭和六年広島女子歯科医学校首席卒

一、昭和二十一年衆議院議員当選

一、昭和二十三年神奈川県教育委員当選

一、昭和二十五年より六年にかけジュネーブにおける世界連邦会議に日本代表として出席、欧米各国の社会保障制度を視察

一、昭和三十一年全国区参議院に立候補二十万で惜敗
一、現在横浜歯科院長、横浜家庭裁判所調停委員、全国高校PTA協議会副会長、自由民主党婦人局副部長、日本歯科大校友

選挙事務局長 代議士 中村梅吉

日本社会党公認 候補者 中村順造 四八才
全国区参議院議員

私の抱負

今回の参議院選挙は総選挙以来の岸政策を支持するか否かの国民の審判を意味する重大な意義を持つています。国会における自民党の多数暴力は民主主義を踏みにしり、国民大衆の生活向上と労働者の権利を守る政策を無視し、剩る平和憲法を破壊する危機を招いています。加えて今日迄の政府は対米政策をいよいよ強化し、日本の平和を危うくする日米安保条約改定交渉を推進しているが、これを許すならば戦争の危機は早まり、軍需資本家の私腹を肥やす以外の何物もありません。

国民大衆の求める政治に逆行し、汚職を積み重ねる岸内閣の再軍備政策に対し、働く国民大衆の反対の声は益々たかまりつつあります。不肖中村順造はその先頭に立ち、岸内閣打倒の悲願を果す決意であります。正しく明るい政治の確立こそは、働く者の手により実現しなくてはなりません。

私の主張

年収五十万円以下の勤労所得税の免税と運賃、電気、ガス料金の値上げ反対。 社会保障制度の確立。 労働者の自由と権利を守る国際条約(ILO)の批准。 米価の安定と中小企業擁護施策の推進。 日中貿易再開と平和憲法の擁護。

自由民主党公認議員候補者 **野本品吉** のもとしなきち 六十六
全国区参議院議員候補者 **野本品吉** 六十六

野本品吉は 清潔な政治を要求する。政党及び政治家の生活が、公私共に公明且つ清潔であることは議會政治を守り育てる道である。教育の政治的中立性確保を主張する。教育は政策以前の根本問題で、不偏中正、不当な支配に屈してはならない。偏向した思想をもつ組合による支配の如き断じて許さるべきでない。

野本品吉は

文教政策の推進に努力する。わが国現在の教育には、制度にも内容にも幾多改善を要する点がある。学制、教育内容、教員免許、教科書の発行、販売制度等々。

野本品吉は

国民年金制度の補整に努力する。公的年金制度との通算、制限条件の撤廃、金額の漸増等。

野本品吉は

老人福祉対策を獨立推進する。老人の生きる権利が尊重され、明るく温い生活環境が与えられなければならない。老人ホームの整備、汽車、電車の座席指定等。恩給、年金の合理的調整をはかる。内容分析の足りない亡国論には賛成出来ない公平の原則が貫かれるよう調整さるべきである。

野本品吉は

野本品吉は

社会党公認 全国区候補 **つるぞの哲夫** 四十四

私の抱負

第一に平和な日本をつくるために、砲弾や兵器をつつたり、核兵器をもちこもうとしている岸内閣の政策をやめさせ、すべての国々と友好関係をつくりあげ、一、三〇〇億もの膨大な防衛庁費を、文化施設や養老年金、保育所などをつくるためにつかい、明るい郷土をつくりたいと思います。

第二に農林行政を働く農民のものにするために、十九年間の私の農政活動を土台にして、農産物の支持価格制度で農民にも労働者と同じ労賃を保障し、肥料、農薬の価格を安くし、国有林の解放、農業サービス・センターの設置で農業を近代化し、豊かな農村をつくりたい。

第三に働くものが一つに手をくんで、よりよい政治をつくりあげようとして、労働者、農漁民の提携のために努力したい。人口の大部分をしめる労働者と農漁民が、経済的にも政治的にも助け合い、提携して新しい社会をつくるのが私の念願です。

私の経歴

東京大学農学部を卒業、農林省に十九年勤務して農地改革等に参画、現在全農林労組委員長、国家公務員組合共斗会議長として、とくに全国的な労農提携活動に努力し、社会党政策審議会参与として、農林漁業政策立案に参加している。

全国区人権擁護連盟委員長 **古賀** 一 六十四
全国区同連盟公認候補者 **古賀** 一 六十四

(私の抱負)

国民の自由と権利に関しては憲法第十一条の規定により、基本的人権は何人もこれを侵すことを許さず、永久の権利として、現在及将来に於てこれが保護を受けることになつていながらも拘らず往々にして、自由はじゆうりんされ、権利は踏みにじられる場合が多いのは遺憾の至りである。

不肖古賀一は人権擁護連盟の委員長として、全国市町村に配置されている人権擁護委員の方々と緊密な連絡を取り、協力又は補佐役となつて、憲法保護規定を完全に護つて行く決心であります。

立候補 全国区参議院三回 衆議院二回

(私の主張)

第一、国際政局に重点を置いて日本の工業加工品の輸出貿易市場を開拓による外貨獲得に努力する。

第二、社会、家庭、学校三位一体となつて、不良教員は速かに之を淘汰し、善良な教員を招聘して子弟教育に重点を置き度い。

第三、農産物の価格支持及酪農事業牛乳及果物類加工製品の増産振興を奨励して、農家の苦勞に対する報酬を確保したい。

(私の経歴)

大正七年京城専修学校(法学)卒業警部拜命、翌年司法官高等試験に合格四十年間裁判官又は弁護士として献身努力を続けて来た。昭和卅三年八月三日東京・第一第二、三弁護士会員有志によつて結成された、人権擁護連盟委員長に選任され、国民の人権擁護の爲め闘つてゐる。本部は東京都大田区大森に支部は各地にある

自由民主党公認 候補者 河野義一

参議院議員全国区候補者 岡三郎

全国区 元国務大臣 法学博士 鹿島守之助

私の信条 政治は、つねに国民の「生活」と共に歩むべきもの、政治が「生活」と遊離して、政治を預るもの

の私物と化することを、極力戒めなければならぬ。立候補の理由 私は、元米、産業者であつて、いわゆる政治家ではなかつた。その私が、自由民主党公認のもとに、敢て立候補した理由は、今日の国政が、事業界の経験者を直接参加せしめて、専門的な問題の解決に当らしめる必要を感じているのに応えるためである。

代表し得る事業 私は、映画・演劇・旅館・クリーニング・美容・理容・浴場・各種飲食業など、環境衛生関係の諸事業を初め、広く中小企業を代表することができ

る。従つて、之等の事業界は、挙げて私を支持して下さい。従つて、農林漁業界にも多数の方々の御支持を賜つてゐる。

私の公約 自由民主党員として、党の政策の実行に協力することは勿論であるが、入場税・物品税の撤廃、環境衛生法・風俗営業法の適正化、その他中小企業関係の諸立法に、特に力を注ぐことを公約する。

私の経歴 山梨県中巨摩郡豊村に生る。六十二才。中央大学法学部卒業。武蔵野映画劇場株式会社取締役社長。全国興行環境衛生同業組合連合会会長。内閣映画審議会委員。中央環境衛生適正化審議会委員。

一 平和憲法擁護と自主外交の推進

主権者たる国民の幸福と民主政治の実現を期するためには平和憲法を守り抜くことだと信じます。自民党政府は、日米安保改悪(相互軍事同盟強化)警職法、防謀法の提出、日中関係の中絶、金権汚職と警察政治を強めてきています。このような憲法無視の政治をどうしても阻止しなければならぬと思います。又向米一辺倒の従属外交をあらため、いづれの国とも仲良くする自主独立、積極中立外交を推進しアジア太平洋に原水爆禁止地帯を設定するとともに、日中の国交回復をはかりたいと思

二 働く労農漁民の生活安定

金持本位の税制を改革し低額所得者中心に免税を行い大資本本位の財政投融資を中小企業勤労大衆の生活に廻し、全国一律最低賃金制の確立、国民年金、生活保護法、母子対策、健康保険の拡大等社会保障制度の確立に全力を注ぎたいと思

三 教育優先の政治

めぐまれない児童生徒特に肢体不自由児、精神薄弱児、盲聾児等の特殊教育、勤労青少年の教育、僻地教育等教育の拡充をはかり教育優先の政治を行い、子供の幸福と成長のため、国民全体が、教育行政に発言出来るよう教育委員を公選制にし、教育の権力支配から教育を国民の手にとりもどすためたかいたかと思

(略歴)

東大卒、前参議院議員、元国務大臣、北海道開発庁長官厚生大臣臨時代理、自民党相談役、同外交調査会副会長鹿島建設会長、国土総合開発審議会委員、拓大教授、経団連理事、全国社会保険協会連合会会長、藍綬褒章、本年度学士院賞受賞。

(著書) 世界大戦原因の研究、日本外交政策の史的考察 日英外交史、日米外交史、私の事業と信条、現代の建設、其他多数 (私の政策)

一、集団暴力に対し、民主政治を擁護する。

二、安保条約と行政協定を自主性あるものに改定し、経済協力条項を追加し、わが国の政治的経済的安全を強化する。

三、大國間の軍備縮小と核兵器の禁止を提唱する。

四、国民医療皆保険、老令、傷害、母子等のきよ出制国民年金を速かに開始し、住宅政策の推進と環境衛生の整備をはかる。

五、道路、交通、治山、治水、電源開発等国土の総合開発に邁進し、もつていわゆる二十世紀の奇蹟を実現する。

六、婦人の地位の向上と温い生活を保障し、育英制度の拡充等により青少年に希望をあたえる。

七、その他、科学技術の振興、経済の発展と輸出の増大 農林漁業の振興、中小企業に対する資金増加と金利低下、農地被買収者の救済、小中学校の完全整備と教育行政の秩序確立、労使協力による産業平和と生産性の向上、税制改革と大幅減税。

自由民主党公認候補者 花田 伝 六三才
全国区参議院議員候補者

花田は次の諸問題の解決に全力を挙げて努力いたします

一、社会保障制度の拡充

国民の福祉保障には一人の取りこぼしがあつてもいけません。社会保障制度の拡充は、もう議論ではなく、いかに早く実行するかの段階であります。花田は按摩、マツサージ、療術、針灸、柔道整復師の立場から、また多数の身体障害者の立場から社会保障制度の拡充実施に努力いたします。

二、医療制度の整備

按摩、針灸、その他の療術は千数百年の昔から今日迄連綿として続いてきた民族医療ではあります。制度の上では未だに医療の圏外におかれ保険で治療が受けられないあります。

これを手軽に保険で治療ができるように、是非共制度化する事に花田は真剣に努力いたします。

三、身体障害者の福祉増進

身体障害者の福祉は最も優先であらねばなりません。中でも視力障害者には古来、按摩、針灸が適職とされており、職制雇用方法等によつて身体障害者の福祉増進を計り、また身体の不自由な子供に対しても手近かな職業教育を施して一人の失業者無きよう努力いたします。

四、東洋医学の国立研究所設立

針灸、按摩、湯茶等、数千年来の東洋医学を理論的、科学的に究明し体系づけ西洋の長をとり国民保健に一大寄与するために国立東洋医学研究所の設立を期するものであります。

人道主義政治連盟会長 小田 俊与 五十二

(今度こそ小田を)

十年来私は、世界戦争の防止、原水爆の禁止、死の灰の対策をつよく叫びつづけてきました。そのため選挙魔の灰教などときまざままに嘲笑を浴びてきました。ところが最近では新聞報道の通り、死の灰の害は、もう一日もゆるがせにできない恐ろしい段階に突入してしまいました。いまこそ対策を急がねば国民死滅という大変なことになる。

国民が死滅して何が残りましょう。有権者のみなさん。こんどこそ小田を当選させて下さい。

五〇五日立候補のこの信念と情熱の小田を当選させて下さい。

私にかつて投票された方は三十万を超えていますからいま一息です。一人五票、十票の御後援で九千万の生命と生活を守る議員を出して下さい。

本連盟では地方区で東京(小田つる子)静岡(山田周平)三重(植本武夫)鳥取(小田スエ)愛媛(飯塚孫士)の五候補が奮戦中です。

(政 策) 世界連邦の促進、原水爆禁止、死の灰の対策

汚職暴力スト政治の排除、国道の舗装、鉄道の整備改善、河川災害の防止、離島航路の改善、交通不安の解消、住宅の建設、庶民金利の引下、運転手、大工、左官、人夫などの賃金値上と年金制。母子家庭の援護、小中学生の完全給食P.T.A会費の国家負担。東北 北海道の一兆円開発、青函 四国海底トンネル着工。

濃毛の輸入制限、輸出兎毛アンゴラ価格の安定、乳価の安定。

(経 歴) 元総理大臣秘書、現世界タイムス社長、政治大学校参与、東北、北海道開発期成会長、伊豆災害復興対策協議会理事。

住所 東京都港区麻布笈町一八〇(政見放送NHK五月二十九日〇時五十分)

日本社会党公認参議院議員全国区候補 塩 治 竹 雄 四八才

私立早稲田中学校中退 日本電気株式会社社員

全日本電機機器労働組合中央執行委員長 東京都地方労働委員会委員 中央労働委員会委員を歴任

日本社会党政策審議会参与

有権者の皆さん、正しい政治のもとに、明るい社会をつくり、国民生活の安定をきめる重大な参議院議員選挙が行われることになりました。自民党は、全国民の平和への願いをふみにじり戦争を誘発する、核武装と海外派兵につながらる安保条約の改定を推進しようとしています。

私たちは平和憲法を守り、再軍備強化政策を阻止するために革新陣営が三分の一以上の議席を獲得しなければならぬ選挙でもあります。私は、こうした重大な時に、平和を求める有権者の皆さんの限らない御支援によって立候補いたしました。

私の主張

一、平和憲法を守り、岸内閣を打倒して社会党政権の樹立

一、軍事費を削減して、総合的社会保障制度の早急な確立

一、中小企業の協同化を促進し、金融の円滑化と税負担の軽減

一、教育行政の民主化を図り、働くものにも受けられる教育制度の確立

一、貿易の拡大、産業の育成、国土の開発等により、雇用の拡大を図り、最低賃金制の確立

一、住宅難を解消して、明るいみんなの社会をつくるため、公営住宅の大量建設と低廉な分譲住宅の建設

自由民主党公認候補者
全国区参議院議員

よねだ まさふみ
米田正文 五四才

(私の抱負)

政治は近代化するにつれて専門的な知識を要求するようになりました。私は、建設次官退官まで三十年間国土建設の技術、行政両面に渡って専念して参りましたが、特に、治山、治水、道路の整備、都市計画、住宅建設等の一連の国土開発事業を科学的に進めることが、我が国の国土を豊かにするための最大の要件であると考えます産業、経済の発展、文化の向上の基盤も此の点にあつて、莫大な予算を投入して、事業促進に力を入れていことは周知のことでありましたが私は今までの研究と経験を生かし、その上政治的な立場に立つて国土建設事業完成に、生涯を捧げる決心でございます。

(私の公約)

一、水害を根絶し、河川を科学的に利用する総合開発の促進。

一、輸送力を増大するための道路整備の早期完成。

一、住よい環境の住宅建設。

(私の略歴)

一、建設省河川局長、建設技監、建設次官。

一、パリーでの国際河川会議、パンコックでの国連エカツフェ内陸運輸委員会の首席代表。

一、現在、日本学術会議議員、土木学会会長。

社会党公認候補者 基(もと)いし 政七五十六才
(全国区)参議院議員

世界の恒久平和と福祉国家建設

わが国をめぐる諸情勢は東西両陣営の冷い対立の中に新しい転換期に直面しており、この重要段階を乗り切るためには強い政治力による自主独立外交を堅持し、米国一辺倒の外交政策を是正し、日ソ漁業制限の撤廃と漁業権の確立、李ラインの撤廃、東南アジア諸国との貿易を促進しアジア、アラブ諸国との緊密な協力により国際緊張の緩和をはかり世界の恒久平和と日本の建設を期すと共に産業の振興と中小企業の育成、農山漁業の興隆にとも勤労大衆の生活の向上と福祉国家の実現に全力を集中する覚悟であります。

是非実現したい政策

平和憲法の擁護、安全保障条約の改悪阻止、労働諸法規改悪阻止、ILO条約の批准促進、減税による生活の安定、最低賃金法の改善、賃金優先支払法の制定、退職金課税の軽減、国民年金制度の改善と老後保障の確立、結核対策の改善、生活困窮者身体障害者の救済、戦争犠牲者遺族の救済対策。

経歴

学歴 兵庫県立工業学校理科卒業
経歴 兵庫県立工業学校副校長、造船総連合中央執行委員長、新三菱重工労働組合中央執行委員長、全労兵庫地方会
議長、中央労働委員会委員(三期)
海外視察

昭和卅年 英国及び欧州の労働事情を視察
昭和卅二年 米労働事情を視察

無所属 福安堰堤

日本の政治を全国の皆様の希望に満ちた政治が行はれるように参議院の議会が運営されるように、政党色のない、明朗にして、純然たる清潔な政治に改めたい。

対外的には、世界和平の実現を人類共通の理念たる人間の友愛の情を世界二十八億万人(約)に及ぼす深淵な福音を齎らす外交政策に立却し、自由諸国との協力、国連中心に、特にアジア各国と善隣友好は勿論世界恒久平和実現により、わが国の国際的地位の向上をはかる議会政治の発達を堅持し、反民主主義の活動を排除したい。

国内的には、企業の自由化、電力設備の拡充を期し得る電源開発の促進、之に伴ふ低金利対策、生産向上運動の徹底、品質向上、生品のコストコントロールによる世界市場合理的確保、国際的信望をわが国一身に集める外交政策、治山治水対策として「河川総合開発企画庁」の設置、特に長期堅実な水力による電源の開発に重点、農山漁業の経済安定、中小企業の本質的改善、各種社会保障制度の整備による福祉国家の建設、新憲法の改正安保条約の改正は、現下国際情勢の変動と自衛力の合理的増強を考案し、自主性あるものに改定し不備を除き、日中関係は異なる国情を理解し慎重に国連加盟国と協調の上で調整する、労資協調の実態を把握せる相互の理解保持、双方の合理的利点が保護される公益労使の三者構成の労働問題懇談会の答申之趣旨を尊重する
「人の世に、人と生れし人ならば、人の心ろの深さこそしれ」

自由民主党公認 全国区 真崎勝次

元海軍少将。約十年間ソ連駐在武官としてソ連を踏査研究。衆議院議員当選二回

略歴

一 参議院がその本来の使命を逸脱し、衆議院と同じように党利党略と政権争奪に没頭している現状を打破し、参議院本来の姿に帰らせ、党利党略を離れ、国家の安全と全国民の利益の上に立つて動くように努力したいと思ひます。

二 私自身としては衆議院議員の多年の経験と、ロシア革命後の共産党政治を身を以て実見した知識を生かし、衆議院のようにたえず解散に脅かされたり党争の渦に巻込まれたりせず、参議院の落ち着いた立場で、危機にある現在の日本を救い、混沌たる状況に正しい方向を与うるために一身を抛つて国策の遂行に邁進したいと思ひます。

三 私は政治の目的は社会の安寧と九千万国民の生活を均しく安全にすることだと思ひます。そのため今日生活の不安に曝されている農民と中小企業者の生活向上には特に意を用い、政策としては直ちに大規模な全国土の総合開発計画を立て、農家の二、三男問題を解決し、これにより都市では同業者の増加を喰ひ止め、一方購買力を倍加し、中小企業問題を根本から解決したいと思ひます。

全国区参議院議員 日本医師連盟推薦 井上善十郎

いのうえぜんじゅうろう (65)

一、略歴。本籍埼玉県、一高、東大卒、北大教授(医学博士)、現在北大名誉教授

北海道医師会長、日本学術会議会員、社会保障道民会議会長、北海道労働科学研究所々長歴任。

二、立候補の理由。私は三十有余年に亘り公衆衛生の理論と技術にとり組み、大衆の健康と福祉のために努力して参りました。国内では会社、工場等に衛生管理室を設け、またアフター・ケア、労災病院等の設立、運営、農村、漁村の衛生の改善に奔走し、国外

に対しては、パリイでの第二回公衆衛生教育国際会議に日本代表として出席し、ローマでの万国産業医学会では理事に推薦され、会議、学会を通じて国際親善に貢献して参りました。この貴重な体験を国政に導入するため、日本学術会議に二回立候補し当選しました。然し、学者の意見を政治に反映させることは極めて困難なことを痛感致しました。更に医学の面を通じて大衆の健康と福祉の増進のため、私の念願としていた問題の多くが政治的解決にまたねばならぬことを切実に感じ、この解決のためには国会の発言の場に立つて努力する以外に途なしと考へ、この度立候補致しました。

三、政見。文化国家の建設。生活環境の清浄美化。社会保障制度の拡充強化。無医村地区の解消。精神病、精神薄弱児等の国家による保護。学校健康保険法の強化。学校給食制度の普及改善。婦人の職場を守り、婦人の地位の向上を計る。

大日本愛国党公認 全国区参議院議員候補者 浅沼美知雄

あさぬまみちを

ソ連、中共の紐つき赤旗社会党、売国共産党を撲滅し、腐敗汚職の自民党、財閥特権階級を粛正して、民族の魂に深く根を「おろし」た愛国革新を断行することこそ、日本を救う唯一の路線であると確信し、私はその「つゆはらい」の役を果したいと念願するものであります。

一、私の考え
平和の破壊者、民族の敵は、赤色国際ギャングの手先たる共産党、社会党、総評くれん隊であり、全学連のチンピラ共であります。これ等赤色非日勢力を粉砕一掃することこそ、平和を守り、経済を豊かにし、民族の「しあわせ」を築く、基本的条件であると固く信じてうたがわなぬものであります。

一、私の主張
屈辱亡国憲法の改正、独立自衛の再軍備、売国共産党の非合法化、容共社会党撲滅、国賊総評打倒、腐敗保守党肅正
赤色非日勢力粉砕、愛国維新政権樹立。

一、私の経歴
東京都八丈島八丈町出身、日大中退、元読売新聞記者、衆議院議員立候補一回、現、防共新聞主幹、愛国党参与。

事務所 東京都世田谷区北沢五ノ六九九 電(三三二)五九七三番

自由民主党公認
参議院議員 候補者
高野 一夫 (五九)

人の生きるためには二つの道がある。その一は心安らかに生きることであり、その二は健康で働き、豊かな生活を送りながらお互の一生を終ることである。第一の道は宗教、信仰によつて得られるが、第二の道を解決することこそ政治の要諦であると考える。

そのためには、働けない人々に色々の形の生活保障を与えると同時に、年々激増する「働ける年齢層の人口」を如何にして就業せしめるかを忘れてはならない。そして農林水産、工鉱業、商業、サービス業などの各種産業を関連的に結びつけて、それらの発展策を総合的計画をもつて進めなければならぬ。私は今後も引続きこの考え方で予算と各種の政策を立て、ゆきたい。そうして安定した社会の基盤を作つて、その上にこそ福祉国家の建設を進めなければならないと思う。

(経歴) 明治三十年鹿兒島県生れ。東京府立一中。一高東大薬学部卒。なお東大政治学科に学ぶ。製薬会社経営。九大及び徳島大講師。社会保障制度審議会その他の委員。二八年参議院議員(全国区)に当選。自民党副幹事長。全国会对策副委員長。全政務調査会審議委員。参議院決算委員長、現在総務として党の最高議決機関に列す。また現在日本薬剤師協会会長、その他の各種団体顧問。一昨年議員団長として東南アジア歴訪、単独でヨーロッパ各国視察。

無所属
全国区 候補者
牛田 寛 (44)

(私の主張)

1、参議院の自主性確立
参議院が第二院としての使命を果す為には、現状のような二大政党の、かけひきの舞台であつてはならない。衆議院が数の政治であつても、参議院は、道理に基く良識の立法府であるべきです。

2、教育制度の刷新
高等学校の卒業生が大学を出なくても、一人前の社会人として立てるようにする為、地域的特色を活かして、普通高校よりも、商業、工業、農業等の実業高校を増設して、技術を体得させたいと思います。

3、海外移民の促進
今年度の予算を見ても、移住予算の国家予算に対する比率は、戦前の十分の一に過ぎない、私はもつと予算を増額して高校卒業以上の青年による技術移民を推進いたします。

4、税制の合理化
ゴルフ用具等のぜいたく品に、課税もしないで、日常必需品に課税する税制の不合理を是正いたします。

(私の経歴)

横浜高等工業学校機械工学科卒業、東京計器製作所技手、東京芝浦電気株式会社嘱託、都立機械工業専門学校教授、東京都立大学工学部講師、

社会党公認
全国区候補者
赤松 常子 (六十一)

私の略歴 私は明治三十年山口県に生れました。

大正十一年、京都女子大を中退、社会運動に参加、戦後は日本社会党の創立に加わり、昭和二十二年から参議院全国区に連続当選。この間、特に働く婦人の地位向上と、社会保障制度の確立をはじめ労働、文教、住宅等の政策にとりくんできました。

片山内閣時代に厚生政務次官をつとめ、労働運動では全織同盟副会長、婦人部長をへて現在、政治顧問。また全日本仏教婦人連盟、婦人問題研究会、世界連邦建設同盟、日本労働者教育協会等の役員もつとめております。

私の願い 政治の使命は、すべての人々が、健康で文化的な生活が、保障できる世の中をつくることにあると信じます。岸政府のような、血税を汚職で浪費したり、国民生活より再軍備促進に熱を入れる政治には、真の平和も生活の安定も望みません。これを阻止するには、どうしても社会党の議席を増やしていただかなければなりません。

私は今日まで、ひたすら働く者の幸せを求め、皆さまと悩みをともにし四十年を一筋にたたくてまいりました。

今後、誠心誠意、働き続けることをお誓い致します。

私の主張

社会保障の拡充で、貧しい人や、母子家庭に手厚い援護。

汚職の掃、みんなに住宅、税金は金持から。

自主外交の推進で、不平等条約をやめ、平和と完全独立。

参議院(全国区、無所属) 辻 政 信 五十六才

経 歴

(一) 陸大卒業、大本營、各軍参謀を歴任、中国ノモンハン、シンガポール、ガダルカナル、ビルマ等の各作戦に参加、終戦後潜行三千里。

(二) 石川県より連続四回衆議院議員に当選、自由民主党内で岸総裁の金権政治に強く反対して除名、同時に衆議院議員を辞任。

(三) この間ソ連、中共、東南アジア、中近東十数ヶ国を歴訪し、ナセル、チトー、フルシチョフ、ネール、スカルノ、周恩来氏等と会談し、アジア外交を側面的に推進し、また李ラインの状況を視察す。

政 見

戦場勤務九年間に七回受傷し、戦後、潜行三千里の苦難で幾度か死線を越えて得た信念は、戦争を防止し、最悪の場合にも日本を米ソ戦争の渦中に入れないことであり、それを政治外交の根本方針として保守革新の共通の広場とし、

(一) 過去の体験を活かして中共問題を自主的に解決す。
(二) 安保条約は、世界の外交と軍事情勢の変化を見定めるまでは、その改定を留保し、数年後一挙に沖繩、小笠原の主権を回復す。

(三) 国民教育を刷新し、青少年に祖国愛と、報恩感謝の念と、勤労独立の精神を養成させ、また学資なき秀才は国費で教育す。

(四) 自衛隊の内容を改めて、侵さず、侵されない体制を整へ、アメリカ軍の完全撤退を促進す。

(五) 政界浄化のため、政治と利権の結託を防ぎ、政治家の勤務評定を全国的に展開し、国民の監視を背景として汚職を根絶す。

私の生命は「生かされた生命」であり、余生をこの公約に捧げる。

緑風会公認候補者 まえだ ひさきち 66歳
全国区参議院議員 前田 久 吉

(経 歴)

大阪生れ、新聞経営四十年、現在、産経新聞社長、大阪新聞社長、関西テレビ放送会長、大阪放送社長、東京タワー社長

参議院議員、同大蔵委員長、緑風会議員総会副議長

(私の主張)

わが政界の分裂抗争は二大政党制の確立以後一層深刻なものとなりました。二院制度の目的は衆議院の行き過ぎを参議院が中正の立場から是正する点にあるのですが、最近はこの参議院まで政党化して国会政治は調整の安全弁を失い、この勢でゆけば前途はそろそろ怖いものがあります。私は多年、新聞界に育ち、穏健中正な大多数国民の意を体して働いてきましたが、さらに参議院議員として過去六年、この立場を貫くために努力いたしました。国会政治の当面の危機を打開するには参議院を第二院本来の姿にかえすことが最大の急務であり、最もよくその役割を果し得るものは何よりもまず緑風会であると信じます。

(私の公約)

- 一、二院制度の正常化
- 二、減税と国民生活の安定
- 三、社会保障制度の推進整備
- 四、中小企業の育成振興と体質改善
- 五、農漁村経済の向上

中政連公認候補者 おがわ いちち 三十七
全国区参議院議員 小川 市 吉

わが国の自転車産業が急速に進展をみせたのは、戦後十年來のことである。だが自転車産業に従事する中小企業者は戦前の、のんびりした気風を漸く抜け出したのも束の間、大手大企業の飽くなき利潤追求の圧迫のもとに毎日の生活にあえいでいるのが現状である。戦後、敗戦の痛手にもめげず立ち上った全国数千万中小企業者の善良な国民生活は、萌芽をみた若草の如く希望と夢にふくらんでいたのが、現実にはその新芽が踏みとられんとしている。自転車は中小企業者の足であり商いに、主婦の買物に、市街農村の通勤通学に、日本再建を担つて大きな役割を果している。しかし今日の貧困な政治をもつてすれば、早晩自転車業界の中小企業者は死滅せざるを得ないのが現実の姿である。自転車業界のこれらの実情が日本の中小企業の一縮図に他ならない。

私はまず中小企業者が一致団結して窮地を切りひらくことが出来るよう中小企業振興の金融機関を利用者に容易ならしめる抜本的な金融政策をとりたい。次に二大政党による対立偏向斗争は次代をになう青年の生活、思想に顕著な悪影響をもたらしている。私は断固として腐敗墮落した政界を浄化し、わが国のバツクボーン一千万青年の正義感を国会政治に反映して明るく正しい日本の再建に粉骨砕身の努力を傾注するものである。

(経歴) 仙鉄教習所卒、中政連総務、日本自転車産業協議会参与、日本自転車商協同組合連合会参与、社団法人日本競輪選手会常任理事

日本社会党公認 豊瀬 禎一 四十二才
全 国 区 候 補

日本民主教育政治連盟(日政連)推せん
日本労働組合総評議会(総評)推せん

わたしの略歴

本 籍 福岡県福岡市月隈

現 住 所 福岡市梅光園五四四の二〇

昭和十年 福岡県福岡中学校(現福岡高校)卒業

昭和十二年 福岡県福岡師範学校卒業

終戦後いちばやく教職員組合の結成につとめ、

昭和二十一年福岡県教職員組合初代委員長とな

り、七期にわたつて重任、現在、福岡総評副議

長

わたしの意見

子どもは、大人が知らない、新しい時代の主人です。

教育はその新しい人間をつくりなしていく芸術です。そ

のため、教師の人間性が最大限に發揮されねばなりません。

今や、政治は、教師から人間性を奪い、子どもの親に

低賃金と失業による貧困をおしつけ、全人類を亡ぼす原

水爆戦争の危険を招き、教育は極めて困難な事態におち

いつています。

教師、すべての働く人々は団結して、人間性を否定す

る今の政治と対決せねばなりません。わたしはその一人

として、政治に人間性をふきこみ、明るい教育を打立て

るために働きたいのです。

全 国 区 参議院議員候補者 青山正一 五十四
自 民 党 公 認

(略 歴)

石川県出身、全国区当選二回、北海道開発政務次官、

法務委員長、農林水産常任委員十二年、東南アジア、

中国、ソ連邦、北鮮等視察。

(現 在)

党水産部長、参議院自民党副幹事長、農林漁業基本

政策調査会副会長、大日本水産会理事、日本旋網漁業

協会会長、全国内水面漁業連合会常任顧問、全国魚卸

売市場連合会名誉会長、全日本青果卸売市場連合会顧

問。

(主 張)

一、沿岸漁業、内水面漁業は生活の為の漁業であるから

社会政策を十分に加味した強力な保護政策の確立を期

す。

一、遠洋、国際漁業については外務当局と協力して水産

外交を實行し、公海に於ける漁業活動について関係諸

国との調整に努力する。

一、農水産の生鮮食料品が産地現場より卸売、仲買、小

売の手を経て国民の台所へ通じる所謂流通機構の強化

充実をはかること。

一、国民の健全な娯楽として、釣りは最適なものと信じ

ておるので、釣りの普及奨励を考へたい。ダム地帯に

国費に依る稚魚の放流を行つて新しい釣り魚場を創

設すると共に従来の釣り魚場の保全、維持につとめ

る。汚水対策の強化は此の面に於ても大いに必要であ

る。

日本中小企業政治連盟 総裁 あいかわよしすけ
日本農林漁業政治連盟 鮎川義介

一、私の信念

政界の浄化は、国民の望んでやまないところであり、三

悪追放は岸政權の一枚看板です。しかし今のような政党

にそれを注文するのは木によつて魚を求めにひとしい

でしょう。

国民の大多数を占めている中小企業層と農漁民層が大団

団結し、その政治力に物をいわせて、まずそこに果食つ

ている貧乏神を退治してからでないといこの問題には手の

つけようがないと考えます。

もともと「民主主義日本の繁栄と安定は、中小企業と農

漁民層を一体とし健全なバックボーンに育てあげること

によつてのみ期待される」というのが、日本の政治に対

する私の一貫した信念です。中政連と農政連が手をつな

いで運動しているのもこのためであります。

二、私の主張

1 中小企業団体の強化と簡素化

(中小企業の基本法を更に充実させる)

2 中小企業の事業税即時撤廃

(今年百億減税させたが一挙に免税させる)

3 零細企業への社会保障の拡充

(零細企業に重点をおく社会保障制度の実現)

4 郵貯、簡保から毎年一十億を中小企業へ

(長期低利融資は政府の財政資金で)

5 普通銀行貸出しの半分は中小企業へ

(流動資金は市中銀行に融資を義務づける)

6 中小企業への新規課税はご免

(事業税も撤廃せずに新増増税は真ッ平)

7 中小企業の体質改善根本策(私立大学に理工学部を

新増設して中小企業に人材を)

8 農村漁村の二三男対策

(農村に小型輸出入工業を取入れて余剰労力を吸収)

全国区(無所属) 参議院議員候補者

はやし 林

しお 塩 五十四

私は三十余年、一人の看護婦として病人や傷者に奉仕して参りまして、つくづく日本は本當の意味の福祉国家ではないという感を深くいたしました。

病人、妊産婦、肢体不自由者、精神薄弱者、生活困難者、母子のような、誰よりも先に守らなければならない人びとの保護はおそろしく薄弱です。

この人たちに奉仕することを天職としております保健婦、助産婦、看護婦たちの信条と相去ること万里の悲しい似而非文明国でございます。彼女らの苦心や努力が正當に評価されず、彼女らがその労苦に値する感謝と尊敬を受けていないのも当然であると存じます。

私は日本看護婦協会の会長として六万会員の推薦によつて立候補したのでございますから、彼女たちに働き甲斐のある生活と環境をつくり上げることが、第一義的な使命と存じておりますが、そのためには国民皆保険の促進、公衆衛生事業の拡充、家族計画運動の充実、身心の欠格者の保護、その他弱い人びとの福祉など、いわゆる広い社会保障の発展に努力することがナースの悲願の達成に最も大切なことであると確信しております。

いわば保健婦、助産婦、看護婦の祈りと望みを日本の政治に反映させることが私の使命でございます。皆さまの御後援を切にお願い申し上げます。

(私の略歴) 日赤看護婦学校卒、津田英学塾卒、前日赤看護課長、現日本看護協会展長、国際看護協会展理事、肢体不自由児協会評議員、厚生省結核予防審議会委員、国際会議出席並に外遊回数

全国区参議院議員候補者 自由民主党公認

か 鹿

しま 島

とし 俊

お 雄

五十二

(通称 齒のカシマ)

(推せん)

日本歯科医師政治連盟 日本医師連盟

日本中小企業政治連盟

(経歴)

東京中学、東京歯科医専卒業、歯科医師、医学博士 日本歯科医師会専務理事、社会保障制度審議会委員 東京歯科大学講師、鹿島社会保障研究会々長

(私の抱負)

民主主義政治の基本理念は、国民のための政治、即ち国民の生活安定を基本とすべきものである。この安定を策するものは、実に社会保障制度の確立である。即ち生活の保障(国民の老後の生活保障、母子家庭、身体障害者、廢疾者の生活保障、住宅の保障)職業の保障、医療の保障(生命尊重を本義とする適正医療を国民が皆受けられる)等の一連の社会保障制度の確立を私の専門の立場で強く推進したい。尚其の他私の掲げる主張の貫徹を期すると共に参議院制度の真髓を發揮し、明るく正しいガラス張りの政治の実現を期し度い。

(私の主張)

一、民主主義の擁護

一、社会保障制度の確立

特に医療保障制度並びに国民年金制度の充実強化

推進

一、産業並びに科学の振興

特に農林、漁業、中小企業の振興及び科学技術教育の充実

一、税制の合理的改革

自由民主党公認 参議院議員 候補者

た なか

せい いち

中 清

一 六十六

総合国土開発計画、田中プランの実現

日本の国土は、八割が山岳高原地で、平地は、僅か二割である。然るに、狭い平地に、人口の八割がひしめき合つて住み、なお、毎年、農耕地が潰され「人口と食糧」の均衡が破れ、国民の食生活が益々不安となる。

私は、終戦直後、国土の立体的使用に着目し、全国各地を突踏調査して、国土の中央を縦貫する「高速自動車道」を建設し、山岳高原地を総合開発する「総合国土計画」を創案し、政府に献策した。

それは、奥地に眠れる各種の資源を開発し、自動車道の沿線に、新都市、新農村、工場地帯を造成し、諸産業を誘発して失業者を吸収し、わが国の産業経済を飛躍的に発展せしめんとするものである。

中央道の早期完成

田中プランは、昭和三二年「国土開発縦貫自動車道建設法」となり、既に名古屋と神戸間は着工された。全国高速自動車道網の第一期工事である東京と神戸間を五カ年以内に完成させるため、企画者である私が議席を得て積極的な活動を展開せんとするのである。

機械工業の振興

原子力時代に対応して、わが国の機械工業を飛躍的に進展せしめるため「機械振興事業法」を改善し、新技術を探り入れて企業の躍進を図る。

私の経歴 (株)富士製作所社長、沼津商工会議所会頭、国土建設推進連盟会長、国土開発縦貫自動車道建設審議会委員、国土建設一円会々長。

自由民主党公認
しもむら 下村 定
さだむ

現在の内外情勢に対しては、清新な保守系政権をもち立て、強く正しい政治を行わせることが急務であります。特に私が実現を期するのは次の四つであります。

- 一、自主外交の確立
- 二、反共策の強化と道義の高揚
- 三、国情に適した防衛力の整備
- 四、福祉国家の建設と戦争犠牲者の待遇改善

右は私の旧日本軍に対する反省と、戦後における研究に基き、かつ私の経歴にともなう責任感から、ぜひ、実現したい念願であります。

無所属
全国区参議院議員候補者
かまだふみを
鎌田文雄
埼玉県出身

私の公約は

第一に、憲法を改正して実力ある自衛軍備を確立せよと主張する。之は戦争を好むのではない。自衛力なきところ正義を貫くことが出来ない。近年の日本の軟弱外交媚態外交がそれを遺憾なく証明している。通商も漁業も自衛力なくして発展出来ないことは今や周知の事実である。

第二には、赤色日教組の魔手から教育を奪還せよと叫ぶ。まじめな先生方の正しき組合を父母も国家も援護すべきである。同時に教育を政争の渦中に置くことは最もよろしくない。昔の宮内省のように文部省を内閣交替の外におくことを考えたい。

第三には、密入国の無籍半島人六十万を即時送還せよと要求する。失業、防犯、民生保護などが彼等のために如何に攪乱されているかを思えば、当然のことを当然に処置することに政府も世論もつと勇氣を出すべきである。

第四に、樺太、千島、台湾の回復を絶対貫徹せよと絶叫する。之等の地域は日本人の血と汗により開拓された民族の生命線である。我々の時代に之を取戻さなければ祖先と子孫とに合せる顔がないと私は考える。

最後に私は参議院の露骨な政党化を憂慮する。無所属の新人はその意味に於て識者の注目に値する存在たることを確信致します。

日本社会党公認
全国区参議院議員候補者
かわかみ よしむ
川上 嘉

戦後十四年もすぎたというのに、原爆被害者は、今日もまた、その命を奪われていきます。全国民の平和への願いもかえりみられず、岸内閣は核武装と海外派兵につながる安保条約の改定を推進しようとしているのです。

そして、社会党が提案した核非武装化に反対するばかりか、オネストジョンに核弾頭をつける時まで公言してきました。地球の兄弟星人工衛星までつくられるようになったのに、ボタン一つでどこでも破壊できるといふ世の中になつたのに、国の予算の一割も軍備につかい、戦争の危機を深める核武装をすることほど、おろかなことはないでしょう。

私は、安保条約の改悪を阻止し、中立友好の外交政策を進め、すべての国々と友好親善関係をつくりあげ、沖縄、小笠原をとりかえし、戦後満八年間も日本々々から分離されていた、奄美大島を復興し、わが国の真の平和アジアの平和を守るためにその先頭にたつてまいります。

私の主張

- 1 減税 働くもの労働者、農民、漁民、中小工業者に減税を（税に関する私の経歴）。税務署在職十ヶ年余、金財労組中央執行委員長、参議院議員、大蔵常任委員、予算常任委員、現在税理士
- 2 平和憲法を守る 原水爆許すな守れ人類安保条約改悪絶対反対
- 3 日中国交、アジアの平和
- 4 ILO条約の批准、労働基本権を守ろう
- 5 婦人と子供、老人と病人を守る年金を
- 6 青年に職と希望を
- 7 沖繩、小笠原の即時返還
- 8 奄美大島の完全復興、全国の離島振興
- 9

日本社会党 久保 等 四十二

(私の抱負)

民主政治とは国民のための国民の政治でなければならぬと思います。ところが最近の政治は国民の大部分をしめる勤労者や中小企業者の生活がますます苦しくなり、ほんのわずかしかない大金持がますます榮えて行く政治がおこなわれています。たとえば、最近のガス料金、私鉄運賃、電気料金などの値上げがそのよい例でしょう。このような政治は根本から変えなければならぬと思います。

平和を守り、国民の生活と権利を守るため、核武装と海外派兵につながる安保条約の改定には絶対反対し、中立外交の外交を進めたいと思います。

私は過去六年間、勤労大衆の立場にたつて国民生活の安定のため、国民年金法、国民健康保険法、中小企業退職金共済法などの制定に努力してきました。

今後、私は政治生命をかけて勤労大衆のため更に一段の努力をしたいと思ひます

(スローガン)

平和憲法を守つて、明るい日本。

青年に職と希望をあたえ。

安保条約を破棄して、自主中立。

老人に年金と憩いを。

働くものに八千円の最低賃金法。

働くもの、商人に減税を。

(経歴)

香川県出身、高松中学卒、中央大学法学部卒、日本社会党統制委員、前参議院社会労働委員長、全電通、全通、国際電々、日放労、各労働組合顧問

緑風会公認

たかせ そうたろう
高瀬 荘太郎

今日の政治界を毒している大きな原因は、党利党略に囚われた政党内の激しい争いと、情実政治の弊害であります。党利党略と情実政治で乱れている日本の政治を正し、公正、明朗な民主政治の確立を念願としています。

次に私が最も憂慮することの一つは、集団暴力の横行によつて社会の秩序が乱れ、国法が無視されている險悪な世相のことであります。暴力を肯定し、法律を無視するような戦後の風潮は、社会不安を増大し、暴力革命の突破口となる危険も決して少くありません。独立国家の国民にふさわしい健全な国家精神と、民主国民らしい道法精神の高揚に一層の努力を傾ける覚悟であります。

無所属 候補者 原島 広治 49

私が立候補したのは参議院の構成並びに機能を本来の姿に戻したいのが最大の理由であります。

もともと参議院の性格は衆議院の欠陥を補い、行き過ぎを更正して審議の完璧を期することにあります。

殊に現在の如く二大政党の対立が激化している時にはとかく偏向やゆがみが生じやすい。こんな時には益々参議院の働きが重要になつて参ります。ところが今の政界では参議院は衆議院の延長であり、国会乱斗をも引起すような政党対立の舞台と化しつつあるのは誠に残念であります。

もし参議院も二大政党の対立の場であり、与党が参議院で多数を占めればたゞ衆議院でやつたことをくり返すに過ぎないし、又逆に野党が多数を占めれば衆議院で通過したものはことごとく参議院で否決されて大混乱を生ずるような恐れがあります。こんなことで政治がうまく行く訳はない。故に参議院は衆議院とは別の組立でなければ無意味なのであります。

私は参議院をこうした本質の姿に戻し本来の使命を達成すべく立候補したのであります。

(私の主張)

- 一、政界の明朗化
- 一、税制の合理化
- 一、海外移民の促進
- 一、教育制度の刷新

全国区参議院議員候補者
中政連政策局長
農政連総務
まつとぎけんきち
松崎健吉 五十四

(私の経歴)

出身地 埼玉県熊谷市

現住所 東京都新宿区西大久保二の二七五

学歴 旧制熊谷中学卒、旧制浦和高校を経て昭和四年
東大法学部卒

職歴 大蔵省に入り、熊本税務署長、一時満洲国に出
向、大蔵省各課長、名古屋財務局長、造幣庁長
官を歴任す

現在 日本中小企業政治連盟常任総務、政策局長
日本農林漁業政治連盟総務

諸会社役員

(私の主張)

わが国の真の繁栄は、中小企業層と農漁民層の安定なく
しては期待出来ないと確信し、次の諸政策の実現を図り
たい

一、中小企業の事業税の早期撤廃その他税負担の軽減
二、財政資金および銀行資金の徹底的還元融資による中
小企業金融の確保

三、零細企業への社会保障の拡充

四、中小企業の体質改善のための補助金その他の予算の
増大

五、中小企業団体法および小売商業調整特別措置法の強
化

六、農漁村への小型工業導入による二、三男対策と農漁
村所得の増大

日本社会党公認候補者
全国区参議院議員
むかいながとし
向井長年 四十八

今回の参議院議員選挙は日本が安全保障条約を改悪し
てアメリカの軍事政策に巻きこまれじめな道をたどる
か、あるいは中国をはじめとするアジア諸国と手をた
ずさえて完全な独立への道を歩むかの重大な岐路に立つ
た選挙であります。今日までの岸内閣の政治は、巷に失
業者を氾濫させ、中小企業を行詰らせ、農漁村の人たち
から働く喜びを奪い去つてしまいました。更に昨年の警
職法改悪や、今回の地方選挙における動きを眺めますと
き、日本の民主主義は脅かされゆすぶられ、代つて露骨
な金力と権力の政治が抬頭して来たことを痛感せざるを
えません。

向井長年は今こそ平和と民主主義の基調である憲法を
守り、日中国交回復を実現し、日米中ソをふくむ集団安
全保障体制の確立をはかると共に、

後を

一、婦人には明るい文化的な家庭を

一、子供達には正しい豊かな教育を

一、中小企業には融資と減税を

一、農漁村には採算のとれる近代経営を

一、労働者には働き甲斐のある賃金を

約束し、新しい幸福と希望にみちた政治の実現を図り
参議院の中に逞しい平和の砦を確立したいと念願しここ
に立候補いたしましたのであります。何卒、向井長年にあふ
る友情と絶大な御支援を賜りますようお願い願ひ
申し上げます。

(経歴)

日本大学法科卒 社会党奈良県連顧問
現電労連会長

自由民主党公認
もりたよしえ
森田義工 (55)

(私の政治理念) (一)最大多数の最大幸福こそ凡ゆる努力
を払つて追求されねばならない。(二)個人の尊厳と自由と
を基調とする民主政治は飽くまでも擁護されるべきである
向良識の府としての参議院の特性は發揮されねばならな
い。

(政策) 一、国民年金制の拡大、国民健康皆保険制の急速
実施、政府負担増額による医療保障の確立等社会保
障の完全な実施並に庶民住宅大量建設等により福祉
国家の実現を期する。

2. 科学技術の振興と国土開発造成保全を行ない綜合経
済計画の下、中小企業を含む産業を伸長発展せしめ
雇傭の増大、国民生活の向上を図る。

3. 鉄道新線の建設を促進し且つ鉄道輸送力を増強して
通勤輸送の緩和、産業基盤としての貨物輸送力の増
強、産業の発展、資源の徹底的開発を図る。

4. 運送秩序を確立し自動車運送事業の安定と発展とを
図る。

5. 道路整備財源として業者負担のガソリン税に偏重せ
ず、政府支出を増額して道路の急速整備を図り、産
業と観光事業の振興に資し、外貨獲得の増大に寄与
せしめる。

(お願ひ) 私は良き参議院を構成する良き議員であり
度い、そして政策実現のため全力を尽します。何卒皆様
の御支援を心から御願ひ致します。(放送は六月一日夜
九時卅五分からNHKで)

推薦団体 日本乗合自動車協会、日本トラック協会、日
本医師連盟

略歴 京大卒 国鉄局長 同理事 参議院議員 鉄
道建設審議会委員 建設常任委員長

自由民主党公認 候補者 岡村文四郎 六十八
全国区参議院議員 候補者 おかむらぶんしろう

(私の経歴)

高知県の農家に生れ、大正元年に渡道し原始林を開拓して今日に及ぶ。昭和十年北連専務理事、廿一年道農会長、廿三年道信連会長、全国組合金融協会会長となる。廿二年より六年間参議院議員として国政に参与。現在全国共済農協連会長。

(私の信念)

農林漁業は、国民生活の基礎的産業であり中小商工業に深くつながっております。従つて農林漁業の盛衰は、直ちに中小商工業の浮沈に重大な影響をおよぼすものであります。この意味において農林漁業に対しては、これが重要振興対策を強力に推進し、一方苦境に悩む中小商工業に対しては、急速に大幅の金融措置と不況対策を徹底的に実施して、両者の経営の安定確保をはかり、もつて社会保障制度の拡充と相俟つて国民生活の安定に寄与しようとするものであります。

(私のスローガン)

- 一、社会保障制度の完全実施の促進をはかる。
- 一、農協運動の強化をはかる。
- 一、中小商工業に対する大幅な金融措置と不況対策の強化徹底を期する。
- 一、農漁民負債整理の促進と農林畜水産業の振興対策を強力に推進する。
- 一、凶作凶漁の根本対策を確立する。
- 一、酪農振興政策を強化し、国民食生活の改善を期する。

阿具根 登 47才
あぐね のぼる

このさわやかな緑の日本に、なにか目には見えない重苦しいものが降りこめてくるようです。それはわたしたちの強い反対をおしきつて、今日もそつとやられていく水爆実験の「死の灰」でしょうか、それもたしかに大きな原因です、しかし、わたくしたちの生活を、ここまで希望のないものにしたのは、いままでの日本の政治なのです。

三十年このかた、九州の炭鉱で働らいてきたわたくしは、六年前、このひどい政治をたちきるため、労働者とその家族の手で選ばれた代表として、参議院に議席を得ました。そこでまず、鉱山で「よろけ」といわれる「けい肺」病に、一生を台なしにされている労働者保護の法律を、こしらえる仕事にとりかかりました。「これはかなりの成果をおさめ、仕事はつぎつぎと広がっていきました。「眼の銀行」の法律もやつとでき上り、わたくしの眼も、登録第一号として届けてあります。

このほかおびただしい数にのぼる駐留軍基地の失業労働者をはじめ、指圧、マツサージを業とする人びと、旅館の従業員のみなさんも、その共通の苦しみをわたくしのところへ訴えて下さるようになってきました。

みなさん、わたくしは、日本からみにくい政治を一日も早く追い出し、職場で、田畑で、海上で、ひたひたに汗して働らく人びと、家事に育児にいそがしい主婦、学業に明けぬ児童、学生にとつて幸福な国をきずくために、働らく者の高いほこりをもつてみなさんの声を国会で主張し続けます。それこそわたくしの義務だと信じています。

自由民主党公認 候補者 関屋悌蔵 六十三
全国区参議院議員 候補者 せきや

一、今日健全なる中堅国民層に対する社会党の獲得攻勢は、極めて露骨になつて来て居ます。社会党が容共極左派的世界観を有する限り、その防衛について自民党の責任は重大であります。これに対しての重要な対策は、社会政策面の拡充であります。この意味に於て、私は左記の問題の解決に、充分なる責任を分担致したいと思います。

- イ、戦争犠牲者、特に海外引揚者に関する問題
- ロ、中小企業者、特に小売業者に関する問題
- ハ、未亡人、特にその母子福祉に関する問題
- ニ、都市生活の厚生面、特に住宅並びに公園緑地の問題
- ホ、理学療法との興隆と社会保険制度確立の問題

二、国家再建の基礎は国民の「心」に在ります。故に正しい宗教の振興に努力致したいと思います。

三、日本が東面の安定勢力として、世界平和に貢献すべき責任と義務は、その地理的条件と、国民の質と量から帰結せらるる当然の世界的使命であり、又茲に日本の存在理由と価値の在ることは、戦争前と後とに於て、毫末も渝る処なしと確信するものであります。

- イ、中国を中心とする外交問題の調整
- ロ、国民の自衛意識と国家の自衛政策的確化
- ハ、国民特に青年層の国際観、殊に世界的使命徳の喚起

(経歴) 東大独法卒、満鉄、満洲国政府の要職を歴任、現首都圏整備審議委員、新明和興業、全日商連顧問

参議院議員全国区候補者 無
所 属 溝淵春次 (五五)

公約

- 一、嘘の無い選挙と政治
- 一、米穀管理法の即時撤廃は消費者生産者ともに利益になります。
- 一、婦人の声を国政に

子を持つ母親の立場を守り婦人の真の叫びを国会に反映。

一青少年に希望を
経歴

香川県に生れる 参議院電通常任委員長
 最年少で弁護士合格 自由党大阪府連幹事長
 最年少で大阪府議選出 自由党大阪府連会長
 政友会大阪支部長 自民党大阪選対委員長
 参議院議員当選 同右 顧問等歴任

最も私がやりたい仕事
 婦人に対する国家保障制度の実施。
 男性に比較して不遇な立場の女性、特に母親や妻が頼りにする子供や夫に別れた時にその女性の尽した功績に対して国家が生活の保証又は特別な方法による政策の実施であります

私の政治信念 私には香川県の寒村に生れ、幼くして父母に死別れ、文字通り苦難の道、茨の道を通り越えて全国最年少で弁護士となり、人権擁護と民生安定に微力を尽して参りましたが、本門仏立宗入信三二年の信者と致しまして、信仰による御奉公を以て、民生安定と国家の繁栄に全力を尽す覚悟であります。野に育つみぞぶちに絶大な御支援の程を。

自由民主党公認候補者 植垣弥一郎 (七十四)
全国区参議院議員候補者

(私の主張)

- 一、日本産業の安定的拡大発展
- 一、酪農安定対策の確立
- 一、食生活改善と一億総健康
- 一、道路整備と治山治水対策の促進
- 一、公明な国会運営と明るい政治

(私の抱負)

私は、産業人として五十年にわたつて、我が日本の乳業をはじめ製糖、製菓、食品業界の為に一身を捧げ、その発展の為に、国民生活の向上の為に、奮闘努力して参りました。幸にして業界は、年々躍進して、国民生活も向上しつゝありますことは、心からの喜びとするものがあります。更に一層産業界の発展と国家の繁栄、国民の幸福を強く念願して産業人としての経験を生かして、これを政治に反映すべく、参議院議員として立候補を決意したのであります。

特に乳業を中心として食生活改善を普及し「一億総健康」をモットーとして、国民の総べてが、幸福の源である健康を保つことに積極的な政策を推進するよう政府に働きかけたいと強く希望しております。

(私の経歴)

明治製糖 明治製菓・明治商事各重役、藍授褒章受章
 現日本乳製品協会会長、全国飲用牛乳協会会長、酪農審議会委員、酪農振興基金理事、食生活改善普及会副会長
 明治乳業会長。

自由民主党公認 山本すぎ 五十六
日本医師連盟推薦

前回の選挙では二十二万票という御支持をいただきながら、わずか一万票あまり足りなくて、せつかくの皆様の御支持を無にしなければなりません。あれから満三年、今度こそは何が何でも当選させていただいて、みな様の御恩に報いたいと身を粉にして務めて参りました。そしていま最後の段階に入つたところでございます。どうぞ今度こそは皆様の御支援で私を当選させて下さいませ

(1) 明るい、清い、実行力のある政治の実現、(2) 病める人達に温かい手をのべられる政治の実現、(3) 婦人に親切な政治の実現、これが私の三つの願いです。医師の職域代表として、国民皆保険制度の実現に努力するとともに、そのあとの医師の身分保障の問題を考えてゆきたいと思

います。
 また母子保護施策の徹底、学校衛生担当者の身分保障の問題、農地被買収者問題の解決にも努力いたします。

医学博士、中央教育審議会委員、全日本母性連盟会長
 全日本仏教婦人連盟理事長、宝仙短大副学長、読売新聞人生案内など身の上相談担当、新潟県出身

大日本独立青年党総裁 全国区清水 亘 四十九
国民教育研究所々長

(私の抱負)

現在の参議院は乱闘、院国会、等全く政党化してつた。参議院が是々非々主義で、深く突込んだ政治を行い、良識の府として多数の横暴や権力の乱用を是正する使命を果すためには、党派色のない人がたくさん出て、二大政党の悪政をチエクアップすることが、一番必要である。故に金力、権力、労組、宗教団体等の組織力を背景としない学識経験者文化人が選ばれるべきである。それには現在の参議院の状態を正常化させなければならぬ。先ず第一に労組組織の代表者としての良識はおろか一般常識をもたない空虚な頭脳の議員が彼等のお手ものもの職場闘争、階級闘争の拠点として、参議院を革命闘争の場とせんとする野望を断乎粉碎しなければならぬ。

(私の政見)

- 一、衆参両院密接なる協力により壱千億弗の外債発行による原水爆戦になつても安心して住める防衛文化国家の建設
- 二、議会政治を擁護し反民主主義的活動を排除す
- 三、安全保障と日米安保条約を改定し国家の安全を期す
- 四、教育の政治的中立の確保と科学技術、産業教育の徹底を図る
- 五、社会保障制度の整備拡充
- 六、雇用の増大と労使関係の正常化
- 七、農林漁業基本政策の樹立

(私の経歴)

東洋英語会話学校長、上海工部局秘書官、上海交響楽団理事、自然学界顧問、日本製鉄顧問、能野物産社長、国民教育研究所々長

全国区参議員候補 無所属 河内金次郎 五十才

かわちきんじろう

住所 大阪市浪速区大国町三丁目三十一大阪市在住四十年

生地 横滨市 本籍 尼ヶ崎市 公約 当選後自民党に入党

学歴 通信独学 文官講義録 実業講習録 職業 皮革

卸小売商

経歴 前参議員候補、元陸軍軍曹、元大阪市立青年学校

奉職十年、軍隊生活六年、其間昭四四年、終戦を

マニラで迎え後レンパン島に渡り祖国再建の戦士

として死の洗礼を受く。

政治理念 一、国の元首は天皇陛下、国政は国民の手で

即ち日本独自の平和民主国家体制の確立。一、衣食住の不安なき社会改造は河内の生命です。一、

戦後失つた国民的理性回復を以て民族団結の復興をはかる。

政見 一、新憲法第一章天皇の条項(第一条より第八条)

を政治家教育者学者は百回、一般国民は十回以上を判読する国民運動を展開す。一、完全自由経済体制確立、税金の重圧解放、自己資本の蓄積、酒

煙草の税金を大巾に引下げ家計負担の軽減と物価の適正化を図る。一、義務教育は国に天皇、家庭

に父母、長上に礼を尽す人間を完成す。高学年男女共学の廃止。一、海外移住外交重点、孤立外交

は不利である。一、警察力の充実を図り治外法権的存在を打破して社会組織の健全化をはかる。

一、地域別青年小年団結成、資金の適正化を強力推進。

余国の河内と同じ立場の有権者の皆様一人々々のお力を以て河内を当選させて下さい。

参議院全国区候補者 日本社会党公認

(私の抱負)

農民・勤労者 中小企業者の暮しから貧困を開放し勤勞大衆が明るく豊かな生活ができる社会を実現したいというのが、貧農の三男に生れ生活の苦しみをいやというほど知らされた私の生涯の念願であります。有畜農業による農業経営、大規模な国土開発・社会保障の充実こそ国民の生きる途であると確信します。このために他人には負けない情熱と体力で生涯を貫く決意です。

棒つばき 精 一 四十五

(私の主張)

1 大規模な国土開発を行つて産業を振興し、職場と土地を与える。

2 働く人々中心の減税・社会保障の大巾充実・無料で病気の治療。

3 有畜農業を重点的に取上げ山林・原野・雑種地の高度利用をはかる。

4 糞・牛乳・肉・卵などの畜産物に価格支持制度を確立し安心して生産をふやし、食生活と栄養改善のため消費者には安く供給する。

5 肥料・飼料・農機具・農薬など大巾に値下げする。

(私の経歴)

大正二年新潟県の農家の三男に生れ、独学で専検合格。麻布獣医卒業、牛の流行性感冒ワクチンなど発明。酪農業に取組み生涯の志を果すため実践運動にとびこみ全国各地で指導研究にあたる。

獣医師・医学博士。北里研究所獣疫部長。麻布獣医大教授、全日農顧問。

(推薦)全日農。全農連。農業共済。酪農畜産団体。日高教。獣医師会。

無所属全国区 候補者 遠藤 三郎 六十六

一、急に立候補した理由。「戦争をしない日本、戦争のない世界を」これは永い軍人生活の反省による、私の悲願であります。又生き残りの軍人としての戦歿の英霊に対する香華でもあり、青年に対する餞けでもあります。この悲願達成のため、(1)憲法に従い先づ自衛隊を警察予備隊と建設隊に改め、日米安保条約をなるべく早く解消して軍事基地を解放する。(2)日中の国交回復を初めとしてこの国とも仲よくし、世界連邦の建設に努める。これは永い軍人生活の体験と学習並びに戦後三回、新中国視察による、私の固い信念であります。所が今の政治は其の逆を行つて居りますから改めねばなりません。護憲の同志有田八郎氏も、日中友好の友小畑忠良氏も、共に敗れ、私の運動も、百姓仕事の片手間では大の遠吠えに等しく、其の限界を感じたからです。

二、無所属の理由 政治が悲願の方に向つたならば再び田園に帰りたい、又参議院の本質上、一党にかたよらぬためです。

三、選挙運動の方法 金をつかう選挙は政治の腐敗に通じますから金をつかわぬ選挙をやります。

四、私の略歴 山形県出身、戦後埼玉県に居住、十四才で幼年学校に入つてから終戦迄、約四十年、軍服を着け中將に昇進、其の間、日本及びフランスの陸軍大学にも学び、陸、海、空、各種の職に就きましたが最後は航空兵器総局長官でした、目下開拓農民として営農のかたわら、護憲連合、世界連邦建設同盟、日中国交回復国民会議等に加はつて居ります。

自 民 党 大坪 藤 市 五十

(私の抱負) 農家に生れ、農村に育ち、農林省に職を奉じて二十五年、ひたすら農業のために生きてきました私は、このことをほこりとし、これからも、今までに学び得た知識と経験を生かして、農業の振興発展のために一生を捧げたいと念願しております 最近農業が国民経済の重荷であるかのようにとなえる者がありますが、私はもとも、農業の発展は、農家個々のしあわせにあるばかりでなく、国民全体の暮らしをゆたかにするために、ぜひたい必要であるとの信念をもっております。

私が昨年、農民の利益を代表する全国農業会議所の事務局長として、いろいろの農業問題と取組み、とくに農業基本法制定への口火を切つたのも、そのようなあやまつた考え方を正し、日本農業発展の方向を示したいためでありました。

幸い、皆様のご支援により、当選の上は一身をなげうつて、六百万農家のため全力をつくす覚悟であります。

(私の主張) 農林漁業基本法の制定。農林漁業振興十ヶ年二兆円計画の樹立。農業法人制度の確立。試験研究の充実。農業改良普及制度の拡充強化。農業災害対策の根本的確立。新農村建設計画の完全実施。養蚕経営の安定。酪農果樹の計画的振興。食糧管理制度の維持改善。農村婦人の地位向上次三男対策確立。

(私の経歴) 京大卒。農林省畜産、農林経済、農業改良、農業振興、技術会議の各局長、農林次官代理を歴任現在、全国農業会議所役員、全国農山漁村振興協議会事務局長、肥料審議会委員、新農山漁村中央審議会委員、中小企業安定審議会委員等。

自由民主党公認 候補者 山沢 またつ 五〇
全国区参議院議員

歴史が示す敗戦国必然の結果としてわが国の道徳は極度に低下し社会状況は洵に憂べきものがあります

私 は 故法学博士広池九郎先生創設による道徳科学の一研究者として国家伝統報恩の至誠をもつて道義の昂揚と秩序の確立に全力を傾注いたします

老人の生活は安定に婦人の地位は向上し青年は希望に燃え子供は快活に育つ文化的、健康的な国の創造が私の念願であるが故に国民全体が助けあつて暮らしてける保険制度と気の毒な人や老後の面倒をみるような保障制度をつくりたい所存です

衣食住は人間生活の基本であります、幸い歴代内閣の施策により衣と食は一応安定いたしましたが一戸一住宅難は依然として解消されません、私は一族に一戸のローガンのもとに低額住宅の早期大量建設に努力いたします

わが国人口の三割の人々が中小企業により生活して居ります、私は中小企業に対し事業税の撤廃、金融の円滑化設備の改善、技術の向上に対し助成振興策を強力に促進いたします

早急に根本的な治水策を樹立し国民の生命財産を台風による水害より守ることに努力いたします

私の 経歴 建設大臣秘書官、国務大臣副総理秘書官、益谷衆議院議長秘書

推せんのか 山沢君は私の大臣、衆議院議長を通じ十年間秘書を勤めて呉れました清潔で正しく責任感の強い立派な人物です是非当選させて下さい 益谷秀次

自由民主党公認

北きた島ばたけ教きょう真ま 五十四

全国区 無所属

中尾なかお辰たつ義よし 43

全国区 自由民主党公認
工学博士、技術士 天あまの良りょう吉きち 五四才

政治理念

広く国際的な視野に立つて
仏教的信念を政治経済文化
教育等の社会生活万般の上
に生かし、国民大衆が物心
両面にわたつて豊かな人生
を営むことのできる福祉国
家の建設。

対内政策

- 一、社会保障の完全実施
- 一、福祉施設の拡充
- 一、農山漁村生活の向上
- 一、中小企業の発展育成
- 一、戦争犠牲者及家族の援護

略歴

- 一、福岡県立嘉穂中学校卒業
- 一、龍谷大学文学部卒業
- 一、歐洲留学四年間
- 一、大阪津村別院輪番
- 一、築地本願寺輪番
- 一、全日本仏教会事務総長
- 一、西本願寺総務
- 一、東南亜仏教諸国訪問二回
- 一、現西本願寺宗会議長

対外政策

- 一、社会教育の向上
- 一、文教政策と私学の振興
- 一、同和問題の解決
- 一、労資協調の促進
- 一、宗教関係法の改善
- 一、自主平和外交の確立
- 一、国連中心の外交推進
- 一、東南アジア仏教諸国との文化経済教育の交流

(私の所信)

一、今日参議院における二大政党の対立は衆議院以上であり、本来の使命を失つている状態であります。このまゝでは国政の方針を誤る事を憂い、本来の姿に戻すべく厳正中立の立場から努力したい。

一、海外移民については現在の中南米のみに限らず、優秀な技術を身につけた人材を送り相互の文化発展と日本民族の信頼を高め青年層に大きな希望を与えたい。

一、世界の文化国家は社会保障化されています。日本は一例を見ても、保険では高級医薬は使えない有様で国民年金、老人年金等も福祉増進に役立っておりません。これを充実確立して国民生活の向上をはかりたい。

(私の経歴)

大正五年鹿兒島県出身、大阪歯科医学専門学校卒業、現在歯科医院を経営、今回個人の幸福と社会の繁栄を一致させる政治実現を願つて立候補致しました。

〔略歴〕愛知県生れ、東大卒、内務技師、運輸本省局長。

なぜ、天の良吉は立候補したか。

皆さん、日本人一人当りの国民所得は、アメリカ人の場合の実に十分の一に過ぎません。狭い、資源に乏しい島国に、わが愛する同胞九千万がひしめき合っているのが現状です。この「持たざる国」を平和のうちに「持てる国」にするための解決策として、私は今日まで長年の間、国の行政にたずさわつて来た経験と研究から、固い信念を持つに至つたのであります。

すなわち

- 一、国土の開拓と公共福祉の増進。(港湾、漁港、道路、河川、都市、住宅、農地等の拡充整備)
- 二、貿易と運輸事業の発展推進。(海運、陸運、航空、樹光等の諸事業の振興)
- 三、工業の振興とそれによる農漁村二三男対策樹立。
- 四、金利の引下げと税制改革による国民負担の均衡、合理化。
- 五、科学技術の振興。

以上の政策を先ず速やかに実行してこそ、はじめて国民のすべてが、平和で豊かな生活を楽しめる途が開かれるのだ、ということを私は確信するものであります。国民の皆さんから御支持を得た際には、天の良吉、余力を挙げてお役に立ちたいと存じております。

自民党公認
全国候補
中川源一郎

日本遺族会の公認、全国高等学校定時制教育通信教育振興会の推薦を受けまして、全国区から立候補いたしました。謹んで御支援をお願い致します。

一、私の公約

公約の実現を議員の生命と心得、全力をつくし御期待にそう覚悟です。

第一に、党内派閥を解消し、政界から汚職を追放して

清潔政治を確立したい。

第二に、我が国教育の行過ぎを是正し教育の中立をまも

りたい。

第三に、働きながら学ぶ学生を育成したい。

第四に、戦争の犠牲者遺族の諸問題を速かに解決したい。

最後に、宗教の自由を尊重し、産業技術を振興させ、中小企業の発展を期し、農村文化の向上をはかりたい。

二、私の主張

1. 清潔政治の確立
1. 京都市会議員当選十回

2. 教育の中立性確立
延在職四十年

3. 働学一致対策の確立
2. 府会議長就任

4. 遺族諸問題の解決
3. 代議士当選

5. 産業技術の振興
4. 自由党府連幹事長

6. 宗教の自由尊重
5. 京都府遺族会長十三年

7. 中小企業の発展
6. 日本遺族会副会長六年

8. 農村文化の向上
7. 全国高等学校定時制教育

通信教育振興会長九年

推薦者 内閣総理大臣自民党総裁 岸 信 介
責任者 元国務大臣自治庁長官 田中伊三次

全国区候補者
無所属候補者
小平芳平 97

大正十年長野県に生れ、中央大学法学部卒業後、中央労働委員会に勤務し健全なる労使関係の確立に努めてきましたが、公明選挙による明朗な民主主義の確立をめざして再び全国区から立候補致しました。

(献身する理想)

一、税制の合理化

勤労者や中小企業者の負担をへらし、負担力に応ずる平等な税制を確立する為に努力致します。

一、海外移民の促進

人口過剰は日本の根本問題ですが、只自国の都合だけの労働移民は不都合です。専門教育を受けた人材を送つて相手国を利益し、親善と人口緩和と外貨獲得を合せて解決する為に専念致します。

一、社会保障制度の確立

民主政治の本旨は全民衆の安心した生活の確立にあります。「家庭の暮しを良くし社会の幸福と個人の幸福を一致させて、一人一人が一生安心して暮らせる様」私は社会保障制度を強力に推し進めてまいります。

一、政界の明朗化

参議院を政争の場にする事なく、あく迄本来の是々非々の姿に戻す為良識ある先輩議員や同僚の方々と共に頑張つて参ります。

日本社会党公認(農業)
全日農、開拓連
佐々木よう(六四)

殺し合いのなかま入りをしないう平和な中立外交をくらしを高める平和な政治と経済の推進

このためには、とくに農業と農民の地位が低いので農産物の価格を公正に保持し、農民の売るものは安く買うものは高いという流通機構に合理的改革を加える必要がある。

一、軍事費を削つて農業へ

わが国の農業予算は軍事費がはじめて頭を出した朝鮮戦争後の昭和二十九年からどんどん削られて、今はその時の半分の額になりました。農業予算をふやして農業の基盤をととのえる。

一、農産物の価格を支持して農民所得を高める

農業につき込む自家労働の代価を給料とりなみにふんで農産物の値を決める方式を法制化する。

一、農民の団結を認めた農民組合法の制定

現に労働基準法は労働組合法による団結でさええられていないように、農民保護法や価格支持法をつくつても農民の団結と力がなかつた法がみせかけのカラ証文になつてしまふ。

一、百姓にも役人なみ給料とりなみの年金恩給を

わたしは現に農業をしながら農民運動をやり、平和憲法擁護で永く闘つてまいりました。さらに議席を与えてこの運動をやらせて下さるなら幸に存じます。

参議院議員全国区候補者 久保田勝太郎 六十四歳
無所属

無所属 日下 隆 五十六

日本共産党 鈴木市蔵 四九

私の信念

参議院の本来の姿は衆議院に於ける行過ぎを是正し飽迄も中正の立場で議事の運営に当る事だと思ひます。

然るに現在の参議院に於ては衆議院の延長の感多くなりそこでこれではいけない参議院の面目を保つ為には議院の形態を違つた形にせねばならない。多数の人が二大政党に所属しているのでは厭でも対立の渦に巻込まれる。こう考えて私は無所属で立候補した次第であります。

私の主張

- 一 国民生活の安定
- 一 失業対策の充実
- 一 司法制度の改善
- 一 中小企業勤労者税軽減
- 一 社会福祉制度改善増進

私は過去二十八年間の弁護士生活及幾多の経験を充分に發揮し国民生活の安定を目標に真に国民の代表となるべく生命を賭する念願であります。

有権者の皆さんどうか此の私の考えに御賛同頂き来る六月二日の参議院選挙には全国区より立候補致しました久保田勝太郎に皆様の御支援と清き一票を御投票下さる様お願い致します。

全国区参議院議員候補久保田勝太郎の挨拶で御座います。

私は公僕精神に徹して、汚職や利権のない正しい政治をやり抜き、国民のみなさんに身近かなサービス行政に力をつくし、この日本を戦後という状態からいち早く切り抜けさせるようつとめることが、私の基本的な信念であります。

一、たばこの民営移管は絶対に反対する。ヘタな利権のタネになるだけである。「安くてうまいたばこ」は、専売公社の自主性を高めて政府の干渉を排し、その企業努力を認めるしくみにし、経営を合理化して、たばこの原価を切り下げることによつて実現できる。一面こうして国の財源確保に寄与する専売事業を担う人々の福利増進をはからねばならない。このため、葉たばこ耕作の民主化を促進させ「後退する農政」から零細な耕作農家をまもる。また、たばこ小売の歩率を引き上げ、同時に全国的な金融機関を設立する。

二、現下労使間の斗争が、本来の経済の領域を越えて、国会斗争、政治斗争の段階を経なければ解決に至らない現状に対し、経済と政治を分離し、紛争の理想的平和的処理手続として、私は労働裁判所の創設を提唱したい。労使の紛争に費す精力は、これを国の生産力増進に向けなければならない。

三、在外資産の補償を確得して、引揚者及び軍人遺家族の福祉の向上につとめたい。

(私の経歴) 大分県湯布院湯平温泉に生る、金池小、大分商卒、上海海軍日下機関長、遠東酒精廠長、横浜国大附属小学元PTA会長、現在、公共企業(専売・国鉄・電々)調査会長、秀邦オフセット印刷取締役、日本たばこ耕作者を守る会顧問、

私の政見

- 一、日米安保条約の改定阻止と破壊。
- 二、日中国交の即時回復。
- 三、日本核武装の陰謀打破、極東太平洋に核武装禁止地帯の設置。
- 四、憲法改悪反対、憲法の平和的民主的条項の完全実施。
- 五、全国一律の真の最低賃金制、国家と資本家負担で生活できる社会保障の確立。

岸内閣は日本をアメリカの属国のような状態にし、アジア侵略の足場にしていきます。このアメリカの手先岸内閣をやめさせましょう。戦後十三年間、売国と反動の政治をつづけてきた自民党に政治をまかせせることはできません。平和と独立と民主主義と生活向上のために、すべての愛国民主勢力が団結し、そのうえに立つ政府をつくる必要があります。そのために、自民党と真に対決する日本共産党への御支持を心から訴えます。

私の信条
貧乏こそ最大の社会悪である。この貧乏を退治することを一生の仕事にしよう。これが私の信条です。

私は、今日まで労働運動に身を投じ、戦後は国鉄労組の副委員長、世界労連評議員として労働者階級解放のためたたくてきました。

共産主義はこの信条をつらぬく唯一の正しい道であると信じ、日本共産党に入りました。現在、党中央委員、幹部会員、労働組合部長として働いています。私は生涯をかけてこの信条を貫く決意です。

自由民主党公認

梶原茂嘉 五十九

私の抱負

民主政治をもつと健全なものにして行きたい。その為には民主主義の成長を促すと共に、今日の政治にもつと社会正義の感覚と、行き届いた愛情をいれなければならぬと思う。政治の目標は全国民の物心両面の福祉の増進にあると考える。社会、経済の各方面に調和が失われ、矛盾や断層が見出される。調和と均衡が保たれつつ全体の福祉の水準が向上しなければならぬ。その為には今日の政治にもつと計画性と総合性を与えることを必要と考える。

民主政治は議会政治であり、議会政治は政党政治である。二大政党対立の現状は両者その性格の相違甚しく議会政治の将来に不安の念を生じている。特に外交面でその感が深い。日本は一つだ。両者共通の広場をつくる努力が大切と考える。国際上我国が自由諸国の一員である立場にゆるぎがあつてはならない。同時に我国の立場として中国との国交調整は肝要事である。この為中国の国連加盟の実現を推進することを必要と信ずる。これは我国が世界平和に寄与し得る途である。国土総合開発、生産性向上、農業基本政策の確立、食糧管理制度の改革、中小企業の振興、海外経済協力と移民政策の拡充、社会保障制度の整備充実等は特に努力を注ぎたい。

私の経歴

兵庫県淡路出身、大阪北野中学、一高、東大法科卒、農政、馬政、織維各局長、農地開墾営団理事長、食糧配給公団総裁、参議院外務委員長、憲法調査会、社会保障制度調査会、米価審議会各委員、現在全国食糧事業協同組合連合会会長

日本社会党公認 全国区 参議院議員候補者

山口重彦 六十四才

私の主張

近代国家の建設
近代国家とは高層建築がたち並ぶ事ではありません。コポコのない社会で文明が一部のものでなくあらゆる階級に均霑して給ての人に幸せと繁栄をもたらす事でありませぬ。

- 一、国民経済の向上と生活の近代化
- 一、中小企業の組織化と近代化
- 一、企業の民主化と近代化

経歴

- 一、大正二年 東京府立工芸学校卒業
- 一、大正二年 ダット自動車工場技師
- 一、大正三年 山口自転車工場創設
- 一、昭和二年 米英仏独ソ等十ヶ国視察
- 一、昭和二年 協同会中小企業講座講師
- 一、昭和十三年 厚生省労務管理調査委員
- 一、昭和二十六年 渡米、米大陸横断視察
- 一、昭和二十八年 日本社会党入党
- 一、昭和二十八年 参議院議員に当選

日本自転車工業会顧問
株式会社山口自転車工場取締役社長

国会委員

通商産業・文部・外務・運輸・懲罰・農林水産・文教
地方行政・商工・通信・内閣・大蔵・建設各委員

東京事務所 電話(89)三三二〇
(本部) 〇八二五

東京都台東区竹町一三五
株式会社
山口自転車工場本社
その他全国十四ヶ所に開設

山口重彦

御挨拶

御健やかでお慶び申し上げます。この度、私の父親が重ねて立候補致しました。当選は五十万票と云われておりますので是非貴方陳の御協力をお願いする次第です。お知り合ひの方々にお伝え願えますれば幸いと存じます。

衆議院議員 山口シヅエ

日本社会党公認 全国区 参議院議員候補者

大倉精 一五十三歳

(私の経歴)

明治三十八年、三重県桑名に生る。愛知県立明倫中学を経て、早稲田大学商学部を卒業。昭和十六年、日通名古屋支社勤務。戦後、組合運動に専念、全日通労働組合中央執行委員長となる。

昭和二十八年、全国区参議院議員に当選。昭和三十三年、参議院運輸常任委員長に就任。(私の主張)

私は、左官屋の長男に生まれ、子供のころの貧乏の苦しさを思う時、常にお金の尊さを身にしみて知っておりましたので、国民の尊い税金のむだ使いだけは絶対許さるべきであると思っております。過去六年間、私は、決算委員として、常に綱紀を粛正し、予算の行方について十分に監督し、潔べきすぎるといわれるほど正義感を燃やして、議員生活をすごしてまいりました。

現在、上に厚く、下に薄い国政がおこなわれていると思います。私は、だれでもが豊かな生活ができる世の中になることをねがっております。また、あの悲惨な戦争の犠牲を再び日本国民に負わせてはなりません。このためには、平和憲法を守り、日米安全保障条約を破壊して平和外交を推進し、真に日本の平和と独立をはかり、金権政治と汚職政治をなくし、社会保障制度の完全実施のため、全精力をつくしたいと考えます。

社会党 千代世 (五十二)

全国区参議院議員候補者 高良とみ (六十二)

全国区 緑風会 豊田雅孝 (六十)

出身地 千葉県 本籍地 教育の国家統制反対義務教育費の完全無償、盲ろう、精薄

私の主張 一、正直潔白な人物が政治の信用を増す。日本の不幸は政治に信用がないことです。利益と階級代表がふえて

愛媛県出身、三高を経て東大法科を卒、商工中金理事長、全国中小企業協組中央会長、参議院大蔵委員長、日中貿易促進議員連盟代表常任理事等を歴任

東京大妻学院出身 東京文化女学校専門部卒 日本教職員組合婦人部長 総評婦人協議会長

二、平和憲法を護り、世界から尊敬される日本人となしヒモッキでない超党派の内政と外交をすゝめるのは参議院の任務であり、それは無所属が本命である。

2 私は中小産階級擁護のため、政府資金の導入、金利の引下、低額所得法人に対する特別軽減率の創設、事業税、物品税等の引下、百貨店法、支払遅延防止法、小売商業調整特別措置法等の制定に努力してきたが、日本の政治経済安定の鍵は中小産階級の擁護にありとする基本理念のもとに、更に次の項目実現のため全身全霊を投じてゆきたい。

国民のはらった税金が国民のしあわせとなつてかえるようにすることが政治です 年とつて生活に困る人、病気で医療者さんにはらうお金のない人、家族をかゝえ職のない人など苦しんでいる人がたくさんいます

四、日中日印日ソ日豪貿易と「技術者輸出」により完全雇用へ経済体質を改め、広地域の建設使命へ躍進する。

(一) 中小産階級の生命線擁護のため産業界の交通整理的法制の確立 (二) 中小企業金融の打開特に零細企業に対する無担保金融の確立と金利及び信用保証料、保険料の引下

またおうちがまずしいために勉強することができない子どもたち、戦争のぎせいとなつて今尚その日の生活に悩む母子家庭などの問題を政治の中で解決しなければなりません

五、農山漁村と小企業は、児童や弱い者と同じく都会の物質化に圧倒される。精神科学と母の愛情で健全な明日の母と子を守りぬく。

(三) 事業税、物品税、ガソリン税、木材引取税に関する税制改革と租税特別措置法の廃止 (四) 労働基準法の実情即応化と最低賃金制に伴う中小企業経営者に対する援護 (五) 支払遅延の矯正と不渡手形保険制度の創設 (六) 中小貿易商社の擁護と中共貿易の打開 (七) 農村工業の振興と次

主な推薦者 (順不同) 鈴木茂三郎 田中寿美子 藤原道子 望月優子 浅沼稻次郎 平林たい子 神近市子 清水幾太郎 河崎なつ 石川達三 渡辺道子 千田貞也 丸岡秀子 中島健蔵 海田ふき 帯刀貞代 羽仁説子 深尾須磨子 榎野晋吉 高桑純夫 賀川豊彦 松岡洋子 片山哲 荒木正三郎 大内兵衛 安井郁 田畑忍 高田なほ子

私 の 略 歴 一、日本女子大英文科卒、成瀬精神とタゴール、ガンジー主義のクリスト教徒、米国コロンビア大学哲学博士 婦人平和大会代表、帰朝後九州大医学部勤務、日本女子大学其他教授二十年。

三男対策の解決 (八) 未亡人並びに思給失権者への援護 (九) 国字保存と書道教育の振興

一、元呉市助役。全国区参議院当選二回。元朝日生命保険会社取締役。モスコイ経済会議出席。同胞引揚促進日中貿易協定。印度平和会議、世界母親会議代表。原水爆反対運動欧米旅行。赤十字と共に北京会議副団長 東南アジア出張。

中政連、農政連、緑風会推選
全国区参議院議員候補者 **伊藤 修** 六十三

(抱 負)

私は昭和廿二年より廿八年迄参議院議員の末席を汚し其の間、法務委員長として当時占領治下の悪条件のもとで戦後の民主的法律の制定に力を尽し、又金融、財政、予算委員の職にあつて各種金融制度等の確立に努力したのであります。

いま、国内は大企業家と総評の対立の結果社会不安を助長せしめ、殊に民主的な場である国会に於ては、多数党はとかく寛容の精神を失い小教党はその主張を容れられざれば暴力によつてこれを阻止しようとし、国会はしばしば乱闘の場と化し、休会に休会を繰り返しかえし国政を停滞せしめ、国の最高機関たる国会の職責を忘却し国民生活を顧みざる現状をみるときは將に革命の前夜の騒がある私は二院制度を確立し参議院の使命を守り中小企業の上発展と農林漁業の生産性の向上を図り、暴力を否定しない限りは国民の幸福はありえぬとの確信のもとにこのたび全国区参議院議員に立候補致しました。

(主 張)

参議院の特質を守り二院制度の正常化 生存権を守る自主中立外交樹立 中小企業農林漁業への簡易融資と事業税撤廃 中小企業関係法規特に団体法改正 国道全線整備拡充

(経 歴)

参議院法務委員長。弾劾裁判所裁判長代理。中政連、農政連総務。弁護士会長。五回当選。弁護士。

全国区・無所属(純) **駒沢 文雄** 四十九才

一、略 歴

北海道出身、全日本身体障害者団体協議会々長、国民年金推進連盟会長、全国社会福祉協議会役員、昭和三十年欧洲各国福祉施設視察

二、現 在 東京都身理連理事長、日本身体障害者団体連合会副会長兼事務局長、国民年金推進連盟本部長、医療法人真成会理事長

三、推薦団体 日本身体障害者団体連合会、日本盲人会連合、全日本聾啞連盟、日本肢体障害者団体連合会、日本義肢協会

四、立候補の理由 私は二十四才の春交通事故が因で右足を切断した。絶望と哀しみを母の愛情に救はれ再起した。かつての身障者はそれ程辛い、哀しい思いと貧しい生活を余儀なくされたのであつた。戦後身体障害者福祉法が制定されたが殆んど有名無実のものであり今も尚身障者は陽の目を見ることが出来ない。私の願い、それは只一つ「恵まれない身体障害者の胸に生きる希望の灯を点じたい」と云うことである。

五、政 見

- 1 身障福祉法の改正充実
- 2 傷病者の補償確立
- 3 割当雇傭制度の確立
- 4 身体不自由児の教育振興
- 5 国民年金制度の充実
- 6 盲人職業の安定、鍼灸按の保険対象
- 7 義肢義足補装具の価格適正化
- 8 中小企業の減税振興

私は、全国身体障害者各団体より唯一人の推薦候補として出馬致しましたので、その責任の重、且大なる事を痛感するものであります。関係者の皆様におかれましては何卒、駒沢文雄に絶大なる御協力を賜ります様切に御願ひ申し上げます。

自由民主党公認候補者 **青木 一男** 六九

経 歴

東京帝大法科卒業。大蔵省理財局長。企画院総裁。貴族院議員(勲選)。大蔵大臣。外務省外交顧問。国務大臣。大東亜大臣を歴任。参議院議員として予算、大蔵、内閣各委員長歴任、自民党の総務、治安対策委員長。党紀委員長、相談役歴任。弁護士を業とす。著書には歌集「ひまらや杉」と「聖山隨想」。

政 見

日本経済を大きく育て増加人口と学校卒業生に職場を与え国民の生活程度を高める基本政策を強力に推進する。その過程に於て陽の当たらない階層や地方をなくするように努力する。殊に農民と中小企業者の地位の安定向上のための施策に重点をおく。道路、鉄道、工場、学校の配置を再検討し文化の恩沢の地域的不公平を是正し人口の都市集中の弊を改める。

教育を刷新して健全な国民思想の養成と道義の高揚につとめる。純真な青少年に危険な左翼思想を注入する偏向教育を改め学校で、愛国心について教え児童がはつきりした国家観念と民族精神をもつようにする。

我国の一部には外国勢力と呼応して中立政策への転換を主張する者があるがこれは自由主義国と離れて共産陣営に近づけようとするもので共産化の第一歩である。私は昨年十月参議院本会議で共産革命の脅威を説いた。今後も祖国の安泰と民族の永遠の福祉のため反共運動の第一線に立つつもりである。

全国区候補
緑風会公認

おく
奥 むめお

全国各地で心から御支援を頂き感謝にたえません。御伺い出来ない地方が多く誠に残念でございます。

婦人運動四十年、国会議員十二年 主婦連合会々長として常に母のねがい、主婦の声をうしろ立てとして平和と豊かな暮らしをめざして努力して来ました。

茶の間で、家族たちが話合う話題の中にこそ最も大事な国政があるのですから、これを国会に持込み、政治をすべての国民のものとしたいのです。

選挙戦に臨んでは、あくまで清き一票一票の御支持をねがい、良識未だ亡びずと公明選挙の名誉回復の一石になりたいものと切に願っています。

日本社会党公認
参議院議員候補者 後藤俊男(四十七才)

岸内閣の政治は、平和と生活の安定を希望している国民の声を無視して、平和憲法を改悪し、日米安保条約を改定して、又昔のような軍国日本を再現しようとしています。

私は、これからの日本の政治で、一番大切なことは、「世界の平和を守る」とことと、「働らく国民をもつ」と大切にすることだと思えます。そして国民全体が、政治のもつ愛情を信じ、安心して職業に励み、平和な国で仲よく暮らしてゆけるようにすることだと思えます。

私は、これまで苦労してきた自らの体験を通じて、次のことを是非政治に実現したいと考え、約束を致します。

- (一)「憲法」戦争に通ずる憲法改悪を阻止する。
- (二)「外交」日中国交回復、日ソの友好を深め、自主中立政策によりアジアの繁栄をはかる。
- (三)「経済」金持を一そく富ます政策を転換し、大衆所得を増やす。
- (四)「社会保障」誰でもかかれる健康保険制度と、老人年金制度を確立する。保育所を増やし母子年金制度により母子を守り明るい家庭をつくる。
- (五)「文教」義務教育は全額国の費用で行い、教育費の父兄負担を一掃する。
- (六)「労働」シブ教習と勤評に反対し民主教育を守る。
- (七)「労働」完全雇用。働らき甲斐のある賃金。最賃法制定。
- (八)「労働」完全雇用。働らき甲斐のある賃金。最賃法制定。
- (九)「労働」完全雇用。働らき甲斐のある賃金。最賃法制定。
- (十)「労働」完全雇用。働らき甲斐のある賃金。最賃法制定。

○条約批准促進。
(四)「中小企業」融資と減税。中小企業協同化により百貨店の横暴から商店を守る。個人事業税の大幅軽減。(経歴)大正十五年国鉄に就職。国労結成に参加。名古屋地本書記長、委員長、党書記長歴任。現地本委員長。

御挨拶 近藤昌一

政治の基盤である選挙に対し大多数の国民諸君は買収薬の洗礼を受け、主権を犯され、議会をしてボス閣成金の独壇場と化せしめ世界憲法史上稀有の汚点を記録するに到り、議会政治否認の声甚に氾濫し亡国か、興国かの重大岐路に立つに到り、此の超非常時に際して国民諸君と共に猛省を致し参議院の性格を再確認し断乎として政党的侵入を拒否し二院制度の確立を期するは吾人国民の最高の義務であり、最大の責任である事を相共に痛感し、茲に私の信条を主権者の皆様に相計り絶大なる御協力と御賛成を切望して止みません。特に青年男女諸君婦人有権者諸氏の限りなき御支援と御協力を切望致し、立候補の御挨拶と致します。

私の信条 NHK 三十日午後一時五分より 三十分の間

- 一、選挙公営。公報、立会演説に制限し、私営運動を許さず(違反者死刑)
- 一、自主独立の強力外交。原水爆の即時製造禁止を国連提訴。
- 一、全恩給の撤廃。一時金支給(公債に依り)
- 一、養老年金月三千元、母子、天災、年金の創設。
- 一、養老院の建設。
- 一、医療国営。国民健康保険金額国庫負担。
- 一、法人税二割引上。
- 一、中小企業事業税撤廃
- 一、農山漁村の多角経営の推進
- 一、断種法の制定。
- 一、人口問題の解決(任意)
- 一、科学教育、社会教育に重点をおき文化国家建設を確立す
- 一、未組織労働者の最低賃金法の立法
- 一、戦犯内閣を迫放し。若き皇太子の象徴の速やかに実現待つや切なり

参議院議員候補者
無所属 田淵 久 四七

五つの目標

- 一、平和憲法を守り、世界平和に寄与する。
- 一、金力や権力による政治を排する。
- 一、社会保障制度を徹底的に拡充する。
- 一、教育の機会均等、父兄負担の軽減を図る。
- 一、中央集権を排し、地方自治を確立する。

私は小学校へ昼弁当を持つて行けなかつた小作農の子です。苦学の果にどうやら大学の政治科まで行きました。東洋民族の團結繁栄こそ世界平和の基だと思ひ、民族学の研究の爲大陸に渡りました。終戦によるソ連抑留の五ヶ年をどうやら生きて歸れたのは青少年時代の苦勞のお蔭であると共に、祖国の将来に豊かな希望を持つていたからだと思ひます。人間に対する差別感の不当なることを徹底的に学び、政治形態に対する理論的な亦具体的な勉強も致しました。帰国後青少年の教育をと思つて教壇に立つていた私が故郷の町長に推されたのも、今にして思えば偶然ではないようです。私一人がいくら幸福であつても、他の人が不幸であつてはなんにもならないという私の持論と実践は多くの人々から共鳴を受け、岡山市長に推し出していただきました。市長時代の私は最初にあげた五つの目標をかかけてどうにかやつてきました。「悪いことをしないのが取り柄だ」という友もありませんが、そんな政治家が珍らしい我が国の現状を皆様と共に何とか是正して行かなければならないと思うのです。

全国区参議院議員候補者 美念ゆめろむ 三十三

私の抱負

現在内閣の上で行われている、自由党、社会党等の醜い対立の原因何処にあるのか、私わ美者道の立場よりこの判断する、双方ともに政策以前の人生観なり、哲学観の誤りが闘争を生み、それぞれの立場で、御都合的政策で対立するのだから当然闘争に終始する訳だ。彼等わ従来の宗教観なり道徳観として善を至上と信じている。彼等の立場より見る善を守る為に醜い闘争や横暴を平気でやつている、これわ哲学観自体に誤りがある、善わ至上でなく、美こそが至上なのだ、最美こそすべての立場にも共通で、合理性を備えている、資本家も労働者も政治家も最美わ共通唯一のものであるから、協調が生れ、対立は自然に解消する、美者道精神をもつて美しい政治の実現に努力することを誓います。

私の主張

美しい政治わ汚職、金力、権力、不平等、貧乏のない美しい理想社会を建設する。
社会保障制度の完全無欠を期し、生活苦、病氣、失業、義務教育等不備な社会保障制度の充実に全国力を挙げて集中する。
微笑を最高の美と信念して生きる美者道精神で政界を浄化し、健康で清潔な理想国家日本の建設に努力しますから御賛同支援下さいませ御願ひ申し上げます。
私の経歴 關病八年、舞踊、スケート、洋画の研究、
美教、美者道精神の伝導、自由労働者。

社会党公認候補者 山本伊三郎 五十三

(経歴)

十四才より少年工としてゴム工場で働き、大正十一年大阪市役所に勤務、自動車運転手をふり出しに、昭和十九年大阪市主事、市民係長となる。昭和二十一年より組合に専従、市職委員長、大阪総評副議長、日中友好協会、日中日ソ国交回復国民会議理事、社会党大阪府連財務委員長などを歴任、三十一年より全日本自治団体労働組合(自治労)中央執行委員長に選ばれ現在に至る。

(私の政治信条)

民主主義の基本に立脚して、働く者の幸福な社会主義國家を建設する。

(私の公約)

私達の郷土を、平和で幸福な生活の出来る町や村にするため、地方自治を確立する。
そのため中央集権の政治をもたらす道州制に反対し、住民の税負担を軽くするなかで、地方財源の確保をはかる。
日本の完全独立を行い、永久平和実現に努力する。
そのため日米安保条約の改悪に反対し、破棄させる。
住民の要求を実現するための公務員制度をつくる。
そのため、官僚政治を再現し戦争をまき起す、公務員制度の改悪に反対し、地方公務員法、地公企労法、国家公務員法の改正を行い、公務員に完全な労働基本権を与える。

全国区無所属 候補者 **やまだ よし たるう**
参議院議員 **山田 義太郎 (五十二)**

主 張

日本の政治はいま重大な危機に直面しています。本来衆議院の行過ぎを是正する使命をもっている参議院で、衆議院以上のかげひきが行なわれ混乱しています。両院が同様な構成になり、同じことを繰り返すのでは参議院の存在価値はありません。逆に血税の乱費です。それにも増して恐ろしいことは、議会政治に対する国民の不信感のなから左と右の全体主義が頭をもたげることです。参議院には第三勢力が必要です。幾百万同胞の尊い生命で得られた貴重な民主政治を守り抜くために立候補致しました。

政 策

海運事業を強力に推進して、輸出入をすべてわが国の船でまかない、外貨の獲得をはかる。貿易の拡大によって工業を盛んにし、豊漁村の二三男に職場を与える。中小企業に対する融資の簡易化をはかる。

(現 職) 立正交成会会員。海運懇談会常任幹事。
政経調査会理事長。青年経済研究会会長。

日本社会党公認 候補者 **なが おか みつじ**
全国区参議院議員 **永岡 光治 四十六**

1 私 の 抱 負

私は六年前、皆様の代表として参議院議員におくられ、今日まで国会活動をつづけてきました。

いま自民党政府が目的としているのは、ただひとつ軍事国家の再現であります。そのためには国民の利益や権利がどのように踏みじられようと、一顧だにしない有様であります。警職法を遮二無二通過させようとした態度をみればわかるでしょう。その他の場合でも事情は全く同じです。国民への公約は、どこ吹く風とばかりに打ち捨てながら、いざ利権法案になると、有無をいわず多数をたのんで暴力行為によつて押しきつていのが現状であります。

社会党は国民の利益を守るため、これらの背信行為にギリギリの抵抗を試みていますが、私もまた国民の利益を守るために、いま一度立候補を決意した次第であります。

御支援と御協力をお願いいたします。

2 私 の 主 張

- 一、働くものが安心して生活できる政治
- 一、労働者の自由と権利を守る国際条約批准
- 一、戦争に反対し、平和憲法を守る

3 私 の 経 歴

中大予科卒、官吏練習所卒、郵政省通信事務官、全通労組中央執行委員長三期、渡欧二回、参議院議員に当選現在に至る。

無 所 属 候補者 **ふくしま まさる**
全国区参議院議員 **福島 勝 出 熊本県**

粕壁、高松、角館、浦和各中学校教諭、埼玉県視学官、宇部高等工業教授、大阪府社会教育、健民課長、大阪生野中学、高津高校、三国丘高校の各校長を歴任

教育と不幸な人々のために

一 混乱した学校教育を、父兄の立場に立つて、早急

に解決すること

二 精神薄弱児や身体障害児のための特殊教育の普及

徹底、週刊朝日五月十七日号参照

ハ 大学教授の研究費の大幅増額、小中高教諭に対する研究費の支給

ニ 学校設置基準の完全実施

二 社会保障制度を欧米の水準まで引上げること。これについてはさしあたり

ロ 各市町村に無料又は低料金養老院設置を義務づけること

ハ 既設の養老院は公費を以て、設備を充実し、収容者の待遇を改善すること

ニ 母子家庭の生活安定と母子寮の完備

ホ 不具者、身体障害者の生活安定

ヘ 失業保険金と失対日当の大幅増額(但増額分は国費負担)

ト 失業救済事業を事務方面にまで拡張する

政治は真に困っている者を第一に考うべきであるのに資本家や大企業の労働者等困つていない人の事を第一に考える日本の政治家は、重病人には薬をやらず健康者にだけ薬をやらうとする医者のようなものである。利得に目のくらんだ者には真の政治はできぬ。

無所 属候補者 水野 鉄雄 五十五才
全国区参議院議員

政治は或程度力であり努力である、然し政治はあくまで
まじめであらねばならぬと私はかく信ずるものでありま
す私は二十年前中央政界に出馬する積りでありましたが
戦時中軍部の圧迫があり終戦後進駐軍の圧迫があり又其
の他の圧迫があつて今日まで苦難の道を歩んで参りました
私は深く感ずる所ありこゝに敢然として立候したので
あります政見と致しましては

- 一、無産労働階級の生活安定に努力する
 - 一、農村山村漁村の生活安定に努力する
 - 一、中小工業者の発展に努力する
 - 一、俸給生活者の安定に努力する
 - 一、減税の実行に努力する
 - 一、住みよい、暮しよい世の中にする様に努力する
- 全国の有権者の皆様何卒格別の御声援あらんことを御願
ひ申し上げます。

無所 属候補者 根本貞治 七十四
全国区参議院議員

福祉社会を作りたい。これが根本貞治の念願であります。
富める者は貧しいものを救い、賢い人は愚かな人を扶け
なければならぬ。これが社会福祉の根本精神であります。
自分さえよければ人はどうでもよい、と云う考へ方
は動物社会の事であつて、社会福祉の精神に相反するも
のでありますからこの精神を根本から切りかえない限り
福祉社会の建設は望まれません。何事にも鬭争を避け、
話し合いのうちに協力して親しみ合い扶け合つて凡ての事
を解決して行く親和共栄の社会こそ眞の福祉社会であり
ます。根本貞治過去五十余年間この精神を以て社会生活
を続けて参りました。

力ある人、強い人が弱い人を扶けて行くことによつて
のみ明るい、楽しい社会が望まれるのであつて、これこ
そ正しい明るい政治によらなければなりません。根本貞
治が公明選挙を主張するのもこのためであります。

今日の社会に於て不幸な人はたくさんありますが戦争
による災害者、特に戦没者の遺族、傷兵軍人、また身
体障害者、不遇になやんで居る母子家庭、失業者等お氣
の毒な方々がたくさんあります。根本貞治は遺族会長と
してまた民生委員、児童委員として全力をこの方面に捧
げ、あとに続く青少年のために健康な 平和な、明るい
社会を建設してお譲りしなければならぬと念願してあ
るものであります。

縦横討論社主宰 候補者 仲子 武 一 高松市
全国区参議院議員

政界を浄化して国を救へ

当今政界の腐敗墮落は、実に国民の眼に余る。政權担当
の自民党もユル揮でつまらぬが、社共の両党どもは、中
共、ソ聯の傀儡政党で、国家国民眼中に無しである。
一、日ソ漁業交渉の難行したのは、ソ聯政府の社共両党
に対する援護射撃である。漁民諸君の生活を脅かす者
は、実にソ聯中共の手先である、社会共産両党であ
る。恨むならば彼等こそ恨むべきである。

一、中共、ソ聯の実体を知らず、之をほめそやす者は、
ソ聯中共より買収されているか、さもなくば狂人であ
る。これ等の者に投票する者は、己自身を亡ぼす馬鹿
者である。

一、更に金選挙の現状は、民主主義政治の崩壊を招く。
余は敢て言う。私に暫く貴下の一票を貸せと。若し私
に無責任な行為ある時は、辞任して直ちに返却する事
を約束する。

仮面の政治屋を排撃す

一、潜行三千里で売出した辻政信は、シンガポールの
大虚戦を命令し、敵の人肉を喰ひ、ガタルカナルその
他の戦場で、無謀なる作戦を指令し、多数の同胞を戦
死せしめ、敗戦となるや責任を他に転化し、真先に坊
主に化けて逃亡したことを、自慢の種にする恥知らず
の標本である。

一、辻の逃亡により中将三人、少将二人以下百十余名が
死刑に処せられた。責任を解せぬ卑怯参謀である。

参議院議員全国区候補者 横山菊市 (五十七) 士建業 無所属 新 保

今や戦後の日本は、内憂外患交々到来的の時に際し愛國の士が手傍顧するに忍びましようか、昔時の日本に返すには次の三原則の完遂こそ心要であります。乃ち

一、平和俚に国土の回復

二、自由平等条約の締結、乃ち 完全なる国権の回復

三、民生であります。民生とは国民の福利を増進し厚生施設をなす事にて一人の飢えるものもなく腹鼓をうつつて文化樂土に安住させる事であります。乃ち、

外資導入により生産工業、道路貫通、起工対貧、救済難民、医療保険の徹底、戦傷軍人の保護、遺家族の生活補償、貧困なる秀才児童学生の学資の国家補償、老弱者の生活補償等々をやる事です。

この横山菊市は右三原則を遂行する可く日運大上人様より命令されました。然るに今や議員諸兄の大半は党あるを知りて國あるを知らず実に慨嘆に堪えない。ここにおいて私は是々非々主義で国民の利益を護る為め無所属より立候補しました。私は右三原則にて一等國日本を作る為め余生を国民に奉仕致し之を土産として三途の川を渡り、えんま大王にまみえる覚悟であります。之を以て横山菊市の政見発表と致します。

社会党公認・党政策審議委員 総評顧問・地方自治研究所理事 長

木村 禧八郎 五八

失われた「良識」をとりもどしましょう

参議院の特色は「良識」にあるといわれ、参議院議員には「良識」ある人を選ぶ必要があるといわれます。しかしここにいう「良識」とはどういうことなのでしょう。それは 人間が人間を搾取し、一部の階級の利益のために多数の国民が犠牲にされ馬鹿をみる世の中を変えて、失業をなくし、働く人たちがみながしあわせになれる世の中にしたと願うところの健全なる常識を意味するものであると思ひます。

こうした意味での「良識」から、わが国の政治経済をながめるとき、そのゆがみ、その矛盾があまりにもひどくなりつつあることに痛感させられ、憤りをさえおぼえずにはおられません。国民の血税は汚職利権により一部の政治家、大資本の私腹、私益を肥すために使われて、正風な国民は馬鹿をみています。さらに石炭、鉄、纖維、肥料、牛乳、バター、チーズなどが生産過剰でありながら、他方において生活困窮者がたくさんいます。まさに豊富の中の貧困であります。

また金持の米国をまもるために貧乏国の日本人の税金がたたくさん再軍備に使われ、そのうえに日本国民の平和と安全がおびやかされています。このような悪政と斗つて真の「良識」をとりもどすため私は立候補致しました。財政経済に関する私の専門的研究を活用し、全精力を傾けて斗い抜くことをお誓い致します。

無所属 全国区参議院議員候補 伊藤 忠輝 五七

私の抱負

参議院はいふ迄もなく 良識の府である 衆議院の行過ぎを是正し 超党派的に国民の良心の拠点であるところに 立院の本質があり 二院制の意義があるにもかゝらず 真の国民の意志から遊離した方向に進んでいます 即ち現在は金権資本派の自民党と組織労働者を基盤としたる二大政党の戦場の広場に過ぎず 全く二院制度の本質を忘却しているもので 今では参院廃止論まで飛び出している次第であります

私はこの政党色の完全解消を主眼とし 国民の本来良識の上に立つた国民の参議院に致すべくその実現に努力すると共に衆議院の政争の過失を未然に防ぐ防波堤となる覚悟で全国民の皆さんの御支援をお願ひ申し上げます

私の経歴

- 一、日本経理専門学校卒
- 一、日本学士会名誉会員理事
- 一、元自由党大阪府連合幹事長
- 一、元大阪府事業税審査委員
- 一、紺綬褒章授 天皇陛下に上奏を経て有功章を賜る
- 一、天皇陛下より日本赤十字社特別会員に推薦を賜る
- 一、閑院宮より木杯一对を賜る

天皇中心会会長 林 武 一

私は 正しい政治、楽しい生活、明るい社会を建設することを念願と致しまして立候補致しました。

一、日本の発展

新しい天皇を中心とした考え方に依つて、政治、教育、経済を根本的に考へて行きたいと存じます。

一、憲法の改正

早く憲法を改正せねばなりません、何故かと申しますと現在の憲法は日本の発展を邪魔して居る点が所々に見受けられます。故に速に改正する必要があります。

一、青少年の犯罪対策

最近青少年の犯罪が非常に増加して来て居ります、これは日本の将来に取りては重大なる問題でありますのでこの対策としては国家の施設を作らねばなりません。

一、参議院の性格

参議院は常に衆議院の足らざるを補足し、行き過ぎを是正して真の日本の進路を指示して正しき政治を行うことでもあります、然るに現在では衆議院と何等変らざる有様であります。故に参議院の性格を正しく守らねばなりません。

一、最後のお願

全国有権者の皆さん今や日本は内憂外患とももも来るであります。国乱れて忠臣出ず、皆さんが中心になり、清き一票を正しく行使して真の日本国を建設しやうではありませんか。

昭和三十四年五月十五日

自治庁にて 林武一謹書

さいとうみちあつ 斉藤道厚 五十四

みんなのものはみんなに返せ

紙幣はもともと只の紙切れにすぎない、これが絶対の価値を持つているのは皆んなが信じて使っているからだ。則ち札はみんなの共有物である。当然みんな管理すべきものだ、正体不明の政府日本銀行に奪われているみんなの共同管理権を返して貰おう。(NHK放送六月一日 后一時五分)

紙幣発行の民主管理

一、戦争をなくす力としての民主紙幣

お札が民主管理になれば資本主義国は勿論共産国に於いても特定の支配者の利益の為に軍隊を動かすことが出来ない

一、貧乏の原因がなくなる

業種別按分比例発行の札はおのづと働く者へ多く廻り、資本による搾取は出来なくなる、共産国でも強権の根拠を失う

一、生産意欲が起り、又インフレ、デフレが消滅する

民主通貨は通貨安定ではなく生活安定が主体となる故に人意が経済を支配出来る

一、紙幣の発行印証は大神宮が行う

権力再発の防止の為、亦只の紙切れに値をつける権威は他にない

全国区 候補者 綿野庄太郎 六十一
参議院議員

一 私の主張

現在の社会状況を鑑察するに物質文明の驚異的進展は精神文明の不進のため危くポタン一つで地上人類抹殺の危機に直面して居ります。

今や恒久平和が人類滅亡かの岐路に立つ時為政者の党利党略を超越した議会が望ましいのであります。

殊に参議院議員の使命遂行は政党政派の闘争政治でなくあくまで精神文明による世界永久平和と国民の福利増進に寄与し生活水準を高め理想的平和郷を建設する政治を主張するものであります。

二 私の抱負

戦後急速に進展せる世界連邦建設の実現を期し為政者の協力に依り人類愛善の思想普及の徹底によつて生れる核兵器の使用禁止は歎願でなく関係者自ら自覚し武器でなく平和産業への発展に寄与される様邁進するものであります

日本の皆様綿野は皆様の御協力を依り幸いにして当選の際には民主政治より一歩前進した愛善政治の確立に協力をおしまないものであります。何卒皆様方の御支援を伏して御願ひ申し上げます。

純無所屬 加藤大 三 (三十六才)

(経歴)

私は大平洋の波が打ち寄せる国立公園三陸海岸の岩手県大槌町に生れ、郷里の小学校を卒え、県立盛岡商業学校四年修了後上京、国学者今泉定助翁の門下生となり、更に錦城商業学校と日本大学法文学部及び経済学部を卒業しました。その後、東北商事株式会社社長、財団法人皇道社常務、日政会長、世界連邦期成会長として、恩師の教訓を体し一生懸命奮闘中の者です。

(政見)

政治即生活、生活即政治、国民生活に安心と希望を与え、確実に生存権と生活権を保障し之を向上させる政治でなければ国民が税金を支払う価値がないことは十二才の子供でも知っている常識であります。しかるに現下の政界の実態は如何、今日ほど、既成政治家の怠慢と背任行動によつて民衆の生活が重大なる危険にさらされている時はないと思ひます。貧乏と汚職と暴力は岸首相公約にもかかわらず庶民生活を圧迫している。次に科学技術の長足の進歩は、米ソ両陣営が一度戦端を開けば人類皆滅の大惨事を招来する事は必至である。以上の難問題解決の途は只一つ、日本伝統の大和心を發揮して、四海同胞、世界平和、共存同栄の政治を実現することです。明治維新に際し藩籙奉還、鹿藩置県、統一政府を樹立して輝しき明治文化を生み出したる如く、人類の衆智と、総力を大結集して国際連合を發展強化、世界維新を推進し、世界連邦政府を樹立、軍備を全廃し全人類の生活水準を飛躍的に向上するため最善の努力を尽す。

日本共産党 須藤五郎 六一

(政策)

日本の独立と中立。アメリカとの軍事同盟からぬけ出し、いかなる軍事同盟へも不参加。日米安保条約の改定阻止と破壊。米軍の撤退、沖縄、小笠原の返還。日中国交の即時回復、核武装の禁止、極東太平洋に核非武装地帯の設置。軍国主義復活反対。憲法の平和的民主的条項の完全実施。身分、性別による一切の差別待遇の根絶。賃金の引上げ、労働提擡で農業の繁栄を。国家と資本家負担で生活できる社会保障。芸術創造、文化活動の自由。青年と婦人に明るい未来を。自民党と真に対決する日本共産党を。独立、平和、愛国の党、日本共産党に投票を。

(私の抱負)

私は平和で豊かな日本をつくり、日本中の可愛い子供たちのしあわせを守るために、全力をあげて努力します。さる昭和二十五年には皆さんの大きな御支援をうけて当選し、それから六年間参議院議員として活動しました。その間日中貿易調印と日ソ国交促進のため三たび中国ソビエトに行つて力を尽して参りました。私は今後ともこの努力をつづけ一日も早く平和で豊かで失業や首切りのない独立国日本をつくるため決意を新たに、輝しい目的達成をめざし、共産党の参議院議員となつて最善をつくしたいと思ひます。

(私の経歴)

三重県鳥羽市に生れ、宇治山田中学、東京音楽学校卒業。三十年間宝塚歌劇団で作曲と指揮をとる。昭和二十五年参議院選挙に共産党から立候補して当選。現在平和擁護日本委員、日中友好協会大阪府連常任理事、日ソ友好協会大阪府連常任理事、大阪労音顧問。

自民党公認 中政連推薦 川上為治 五十一才

略歴

鹿児島県出身、一高、東大卒、元通産省石炭課長、鉱山局長、公益事業局長、中小企業庁長官

立候補のことば

国民の楽しい生活、明るい社会を築きあげるためには、わが国の産業の力を充実し、貿易を振興して、国の富を豊かにすることが第一であると信じます。そのためには、わが国経済で大きな位置を占める中小企業の積極的育成と、国際競争力を培養するための経済の体質改善に重点をおかなければなりません。

私は二十五年にわたり、中小企業、電力、ガス、石油、石炭、鉱山等の重要産業行政に携つた貴重な体験を生かし、国民の皆様は存分の奉仕を致したいと念じ、立候補を決意しました。

政見の一端

一、中小企業の積極的育成のため(1)組織の強化(2)金融の促進(3)税負担の軽減(4)経営能率の向上(5)小売業の商権擁護を図る
二、電力、ガス、石油、石炭等のエネルギー資源のそれぞれの特質に応じた経済的開発と有効利用の促進
三、経済発展の基盤たる道路、港湾、鉄道等の関連施設の整備

四、治山、治水、電源及び地下資源の開発、土地改良、開拓等の国土総合開発の促進
五、農山漁民の生活安定のため農林畜水産業の積極的振興と農林畜水産物の消費流通対策の強化

また政治的には、不合理な政争の排除、参議院の良識の確立、明朗にして清潔な政治の実現に情熱を捧げたと思ひます。